目次

1　はじめに　～持続可能な街づくりを目指して～ 4

2　三沢市民意識調査の位置づけ 4

3　本調査の目的 5

4　本調査の内容 6

5　全体設計と基本的考え方 7

6　調査概要 8

7　回答者の属性（プロフィール） 8

8　調査結果サマリー 16

9　調査結果①-1：三沢市ブランド化要因 19

9.1　定住意欲 19

9.1.1　熱烈定住派(三沢ファン)の属性 20

9.1.2　住み続けたい理由 23

9.1.3　住み続けたくない理由 26

9.2　三沢市に対する評価(どんな街だと思っているか) 27

9.2.1　三沢市の一番の魅力 29

9.2.2　三沢市の欠点 31

9.2.3　三沢市をどんな街にしたいか 34

9.3　住みたい理想の都市 39

9.3.1　住みたい理想の都市名 39
9.3.2　その都市を選んだ理由（トップ 10） 40
9.3.3　その都市と比較した三沢市の点数 42
9.4　三沢市で暮らす上で重要視する要因 44
10　調査結果①-2：子どもアンケート 45
10.1　属性(プロフィール) 45
10.2　三沢市が好きか 46
10.3　子どもたちから見た三沢市 47
10.3.1　三沢市の好きなところ 47
10.3.2　三沢市の嫌いなところ 49
10.3.3　三沢市を別の言葉で表すと 50
10.3.4　三沢市の自慢 51
10.3.5　三沢市で就きたい職業 52
10.3.6　どんなまちになって欲しいか 53
10.4　子どもアンケート まとめ 54
11　調査結果②：行政サービスに対する満足度 55
11.1　CS ポートフォリオ分析(定住意欲×満足度マトリックス) 56
11.2　マトリックス×全体満足度による事業の優先順位 58
11.3　行政サービスに対する満足度 ＜全体の特徴＞ 61

11.3.1　健康・医療・福祉分野 61

11.3.2　自然環境/基地対策/生活安全/防災/消防・救急分野 62

11.3.3　国際化/学校教育/社会教育分野 64

11.3.4　企業誘致/農業/水産業/商業/観光分野 66

11.3.5　交通/都市整備/上下水道分野 67

11.3.6　地域協働/広報広聴/行財政改革分野 69

12　調査結果③：日ごろの意識 71

13　調査結果④：日ごろの行動 76

14　調査結果⑤：市政に望むことや意見・提案等 82

14.1　全体の傾向(トップ 10) 82

14.2　トップ 10 の詳細 83

15　提言～住民に選ばれる三沢市へ＜三沢市ブランドの確立に向けて＞ 88

＜巻末資料 A＞平成 28 年度　市民意識調査・子どもアンケート　質問票 91

＜巻末資料 B＞調査結果②：行政サービスに対する満足度（属性ごと） 105

＜巻末資料 C＞調査結果③：日ごろの意識（属性ごと） 146

＜巻末資料 D＞調査結果④：日ごろの行動（属性ごと） 163

※注 1）　報告書において、無回答(空欄)は除いて集計・分析しているため、回答総数(980 人)と一致しない場合があります。

※注 2）　割合は百分率で算出し、小数点第 2 位を四捨五入して第 1 位までを表しています。そのため、割合の合計が 100.0%とならない場合があります。

1　はじめに　～持続可能な街づくりを目指して～

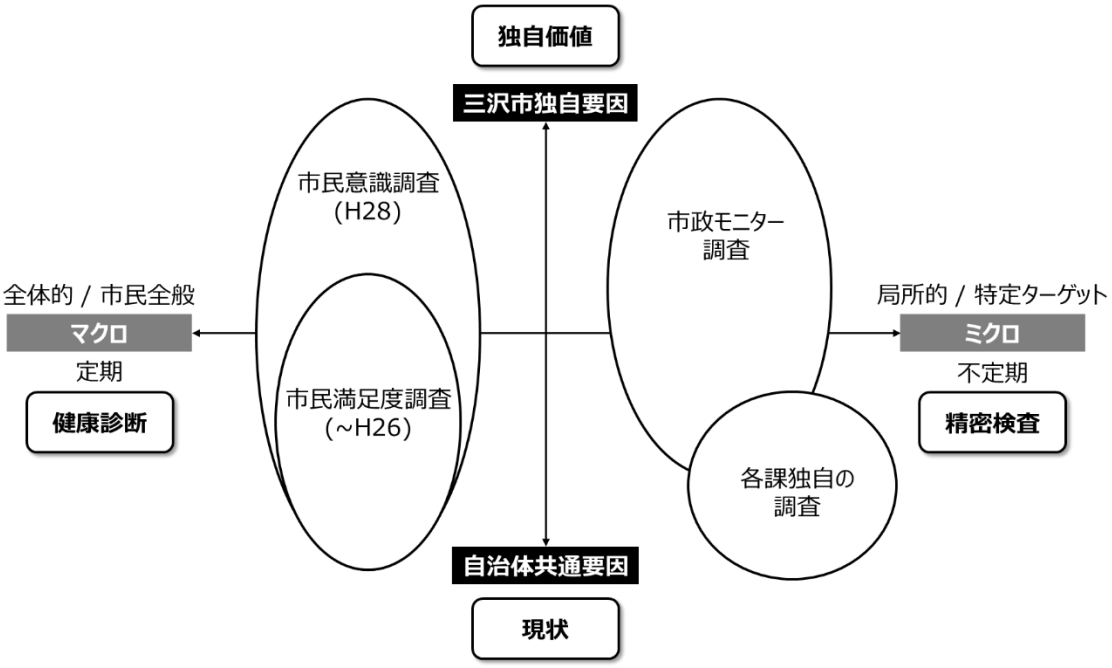
急速な少子高齢化に伴い、全国の地方自治体で人口減少が加速する中、おおむね横ばいで推移してきた三沢市の人口も今後減少に転じていくことが懸念される。人口減少が進むと地方経済が縮小し、産業の衰退や雇用の減少が起こり、その結果大都市へ人口が流出するという負の連鎖スパイラルが起こり、これは地方自治体の存続に関わる重大な危機である。

かつてのような経済成長が見込めない中で持続可能な街づくりを目指すには、「暮らしの質」に主眼をおいた、市民が幸せを感じられる「市民幸福度の向上」が鍵となる。住む場所として選ばれる、魅力ある街づくりを行うことで、定住化や U・I・J ターンを促進し、ひいては、観光で訪れる場所として選ばれるための戦略にも応用可能である。

住民や来訪者から選ばれる三沢ブランドの確立に向けたビジョン策定・実現と、市民幸福度向上の取り組みを行うために、本調査を実施する。

2　三沢市民意識調査の位置づけ

三沢市では、市民の目線に立った客観性・納得性の高い政策立案と優先順位づけのために、市民の声を収集する各種アンケート調査を実施している。

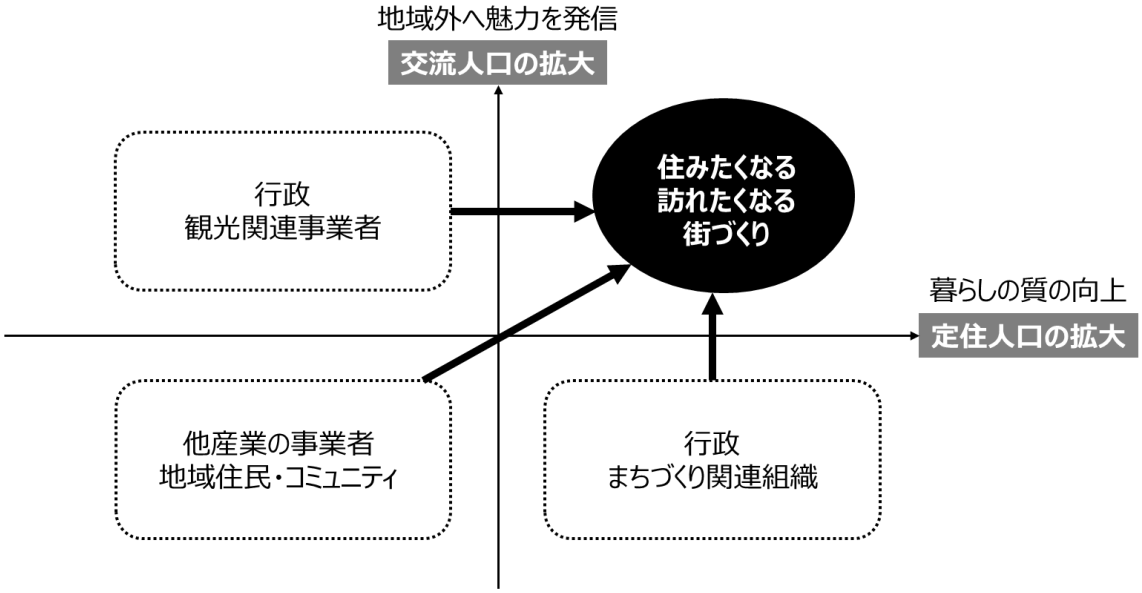


本調査は 10 年前から市民全般を対象に定期的に実施しており（これまでの名称は市民満足度調査）、行政サービスへの満足度を中心とした内容であったが、今年度からは三沢市ならではの魅力（独自価値）を明らかにするための質問を新たに追加し、子どもを対象とした調査も実施した。
これにより、三沢ブランドのキーになるワードや市民幸福度に及ぼす要因も検討することを目的としている。

本調査で見えた大きな傾向や仮説を検証するために、さらにターゲットを絞った具体的質問で市政モニター調査や各課独自の調査を行い、精度の高い結果から効果的な対策を立案・実行する。

3　本調査の目的

これまでの行政サービスに対する満足度と新たに追加した三沢市ならではの独自価値を明らかにする質問から、市民の暮らしの質向上と三沢ブランドを確立させる政策に活用し、住民が誇りと愛着を感じられる街づくりにつなげることをねらいとする。
さらに、本調査で明らかになった住民が感じる三沢市の独自価値を魅力として外に発信することで U・I・J ターンを促し、三沢市の独自価値と地域資源を組み合わせた三沢ならではの観光体験を提供することで来訪客も満足させるといった相乗効果をもたらすことをゴールとしている。
これにより、行政だけではなく様々な産業の事業者や地域社会が一体となった多様性豊かな街づくりを推進し、定住人口および交流人口の拡大を実現させることを目指す。



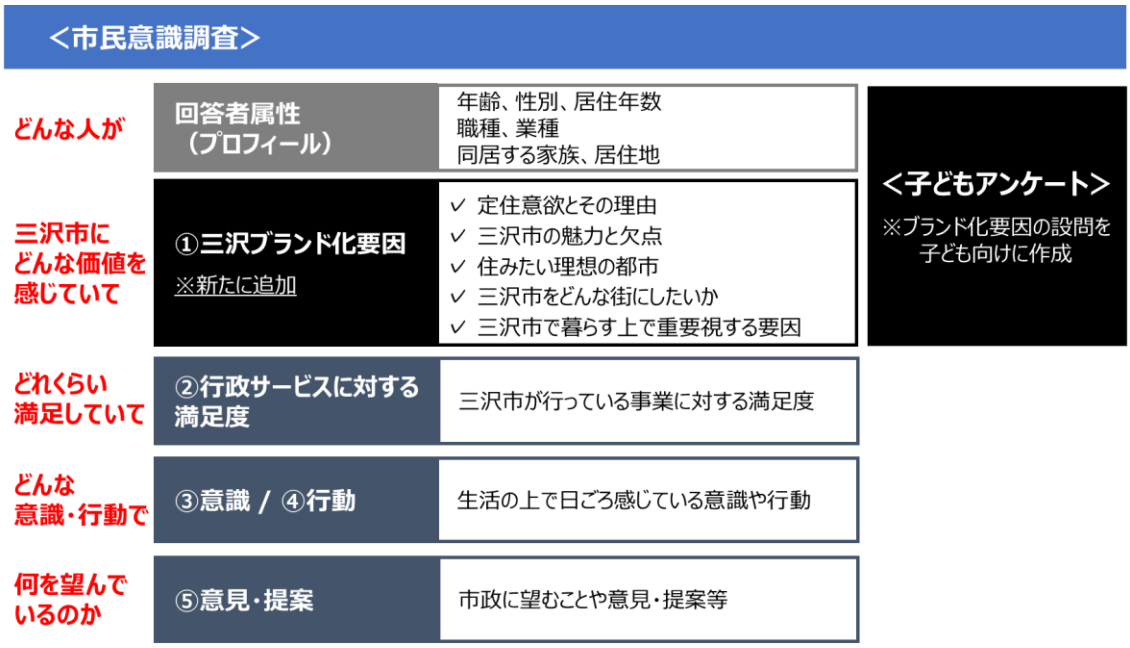
4　本調査の内容

10 年間継続実施している市民満足度調査の中から、これまでの推移や過去データとの比較が必要な質問に絞り、新たに三沢ブランド化の中核となる三沢市の独自価値を明らかにする質問を追加した。

また、成人の市民だけではなく、今回は子ども（市内の小学校 6 年生）を対象とした調査も実施した。これにより、子どもの視点から見た子どもならではの三沢市の良さを再発見するとともに、10 年後には三沢市の未来を担っていくであろう子どもたちが住みたい、戻ってきたいと思う街づくりに活かす。

本調査は、大きく分けて下記の 5 つのセクションから成る。

回答者属性（プロフィール）
①三沢ブランド化要因
②行政サービスへの満足度
③日ごろの意識・行動
④市政に対する意見・提案



今年度の大きな特徴としては、①三沢ブランド化要因の質問を新たに設計・追加したことと、その質問を子ども向けに作成して＜子どもアンケート＞を実施したことである。継続調査している②～⑤の質問から市民満足度の定点観測を行うとともに、新たに追加した質問で三沢市独自の価値・魅力を発見することを目的としている（実際に配布した調査票は、＜巻末資料 A＞を参照）。

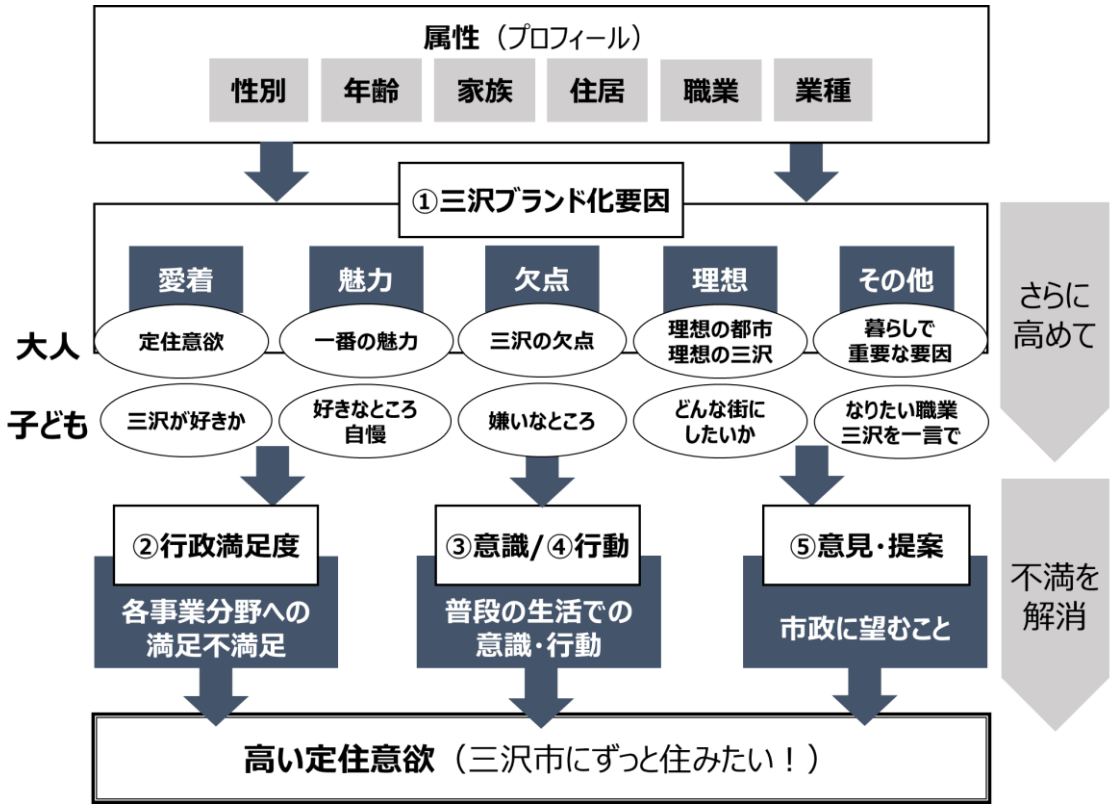
5　全体設計と基本的考え方

人間のモチベーション(意欲・やる気)は 2 種類ある

心理学者のハーズバーグによると、人間のモチベーション(意欲・やる気)は「不満足要因」と「満足要因」という２つの要因から成ることが知られている。積極的な意欲を長く持続させるには、どちらか一方では不十分で、この両方が必要不可欠といえる。

- ✓ **不満足要因**…ないと大きな不満である(最低限必要な)要因。⇒不満足を解消
  （例：仕事の場合はお金、職場環境、福利厚生など）
- ✓ **満足要因**…あると大きな満足である(高い意欲に必要な)要因。⇒さらに高める
  （例：仕事の場合はやりがい、成長、達成感など）

従って、「三沢市にずっと住み続けたい」という高い意欲を持続させるには、**市民の根本的欲求を満たすことで不満足要因を解消し(＝行政サービスへの満足度)**、満足要因である**三沢市の独自価値(＝ブランド化要因)を高めて他市町村と差別化を図る**ことがポイントとなる。



6　調査概要

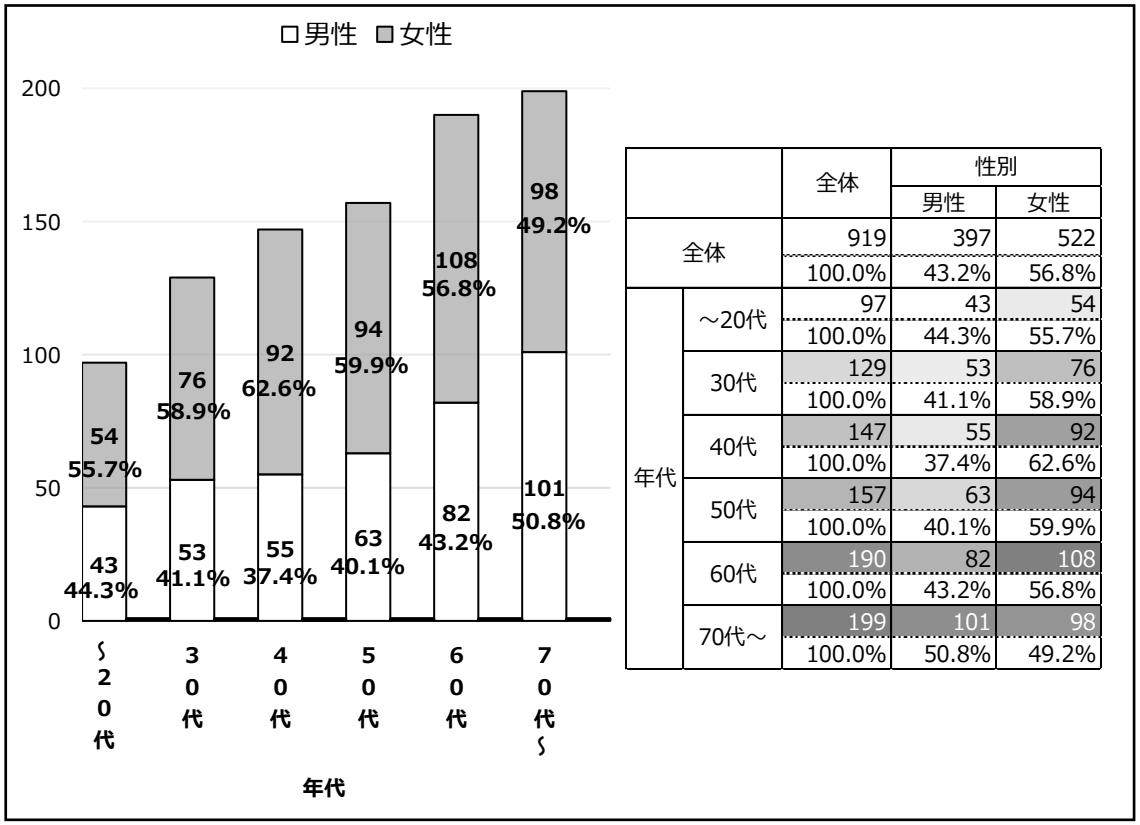
本調査の実施方法ならびに回収結果は下記の通りである。

調査対象	・　18 歳以上の市内居住者
サンプル数	・　住民基本台帳から 2,000 名を無作為抽出
調査方法	・　郵送法（サンプル 2,000 名に質問票と返信用封筒を郵送）
調査時期	・　平成 28 年 12 月（回答期間：12 月 6 日～12 月 26 日）
回収結果	・　配布数：2,000 / 回収数：980（回収率：49%）

7　回答者の属性（プロフィール）

図表 7-1：性別×年代

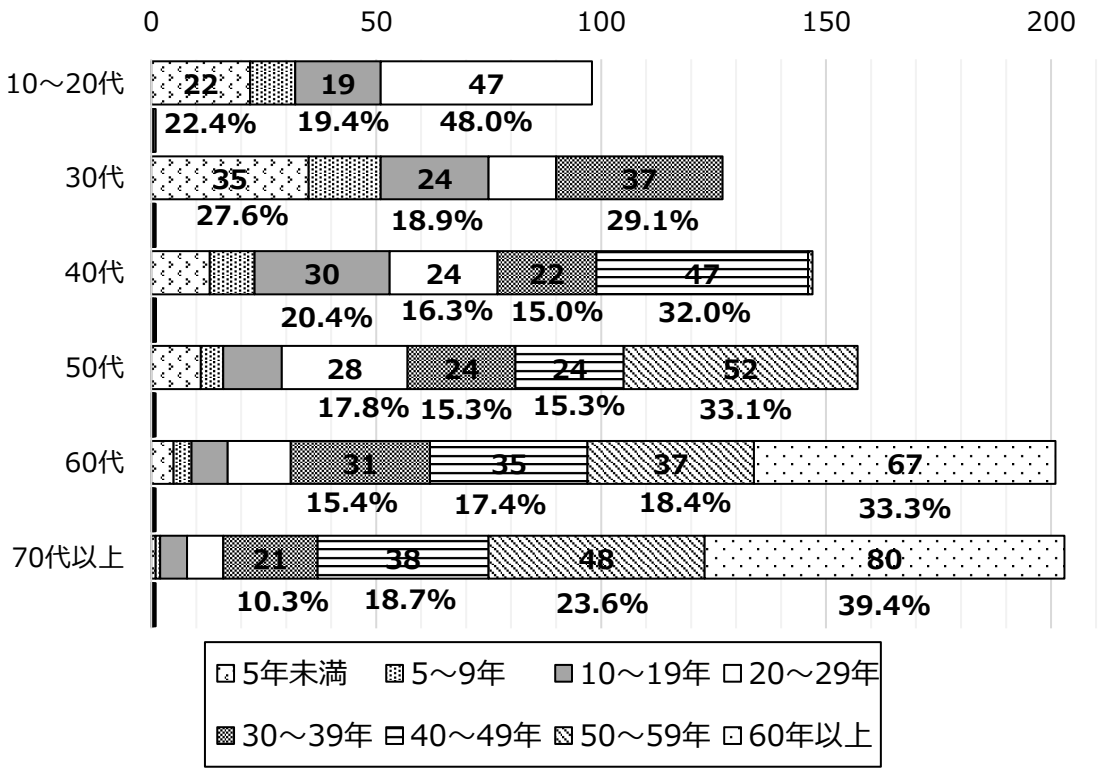
男女比はおおよそ 4：6 で、女性が若干多い。年代別にみても、男女比の傾向はほぼ同じであった。年代では、60 代以上が 389 人と全体の 4 割を占める。



		全体	性別	
			男性	女性
全体		919	397	522
		100.0%	43.2%	56.8%
年代	～20代	97	43	54
		100.0%	44.3%	55.7%
	30代	129	53	76
		100.0%	41.1%	58.9%
	40代	147	55	92
		100.0%	37.4%	62.6%
	50代	157	63	94
		100.0%	40.1%	59.9%
	60代	190	82	108
		100.0%	43.2%	56.8%
	70代～	199	101	98
		100.0%	50.8%	49.2%

図表 7-2：年代×三沢市に住んでいる年数

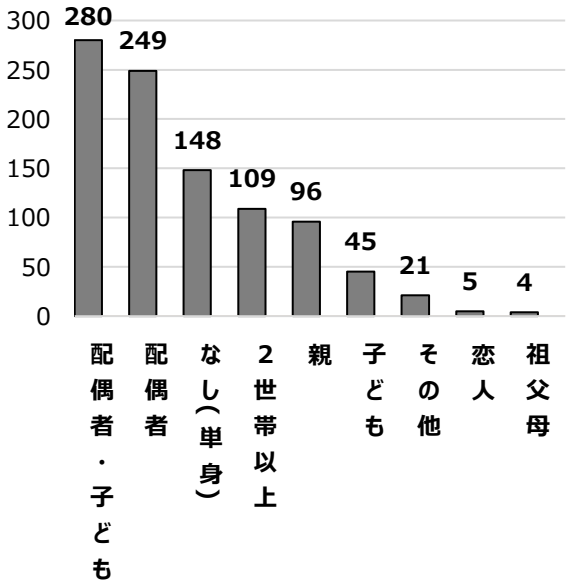
居住年数が 5 年未満は 10～20 代、30 代が多く、これは転勤や転居が多いためと考えられる。60 代、70 代以上は居住年数 60 年以上が多く、年齢が高くなるにつれて居住年数も長い傾向が伺える。



		全体	居住年数							
			5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40～49年	50～59年	60年以上
全体		933	87	46	100	136	135	144	138	147
		100.0%	9.3%	4.9%	10.7%	14.6%	14.5%	15.4%	14.8%	15.8%
年代	10～20代	98	22	10	19	47	0	0	0	0
		100.0%	22.4%	10.2%	19.4%	48.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	127	35	16	24	15	37	0	0	0
		100.0%	27.6%	12.6%	18.9%	11.8%	29.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	40代	147	13	10	30	24	22	47	1	0
		100.0%	8.8%	6.8%	20.4%	16.3%	15.0%	32.0%	0.7%	0.0%
	50代	157	11	5	13	28	24	24	52	0
		100.0%	7.0%	3.2%	8.3%	17.8%	15.3%	15.3%	33.1%	0.0%
	60代	201	5	4	8	14	31	35	37	67
		100.0%	2.5%	2.0%	4.0%	7.0%	15.4%	17.4%	18.4%	33.3%
	70代以上	203	1	1	6	8	21	38	48	80
		100.0%	0.5%	0.5%	3.0%	3.9%	10.3%	18.7%	23.6%	39.4%

図表 7-3：家族構成

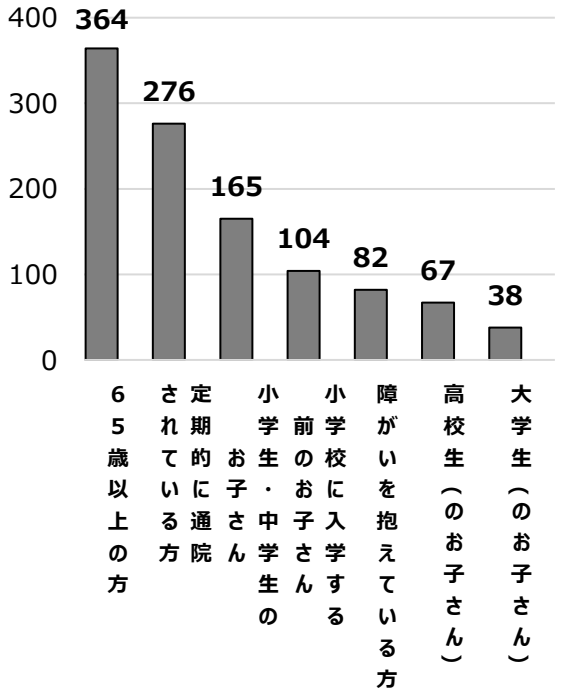
全体のうち５割以上は配偶者、もしくは配偶者＋子ども(核家族)。一方、単身が１割強、2 世帯以上の大家族は 1 割であった。



全体		人数(人)	割合(%)
		957	100.0%
同居家族	配偶者・子ども	280	29.3%
	配偶者	249	26.0%
	なし(単身)	148	15.5%
	2世帯以上	109	11.4%
	親	96	10.0%
	子ども	45	4.7%
	その他	21	2.2%
	恋人	5	0.5%
	祖父母	4	0.4%

図表 7-4：同居する家族（※複数回答で、当てはまる方をすべて選択）

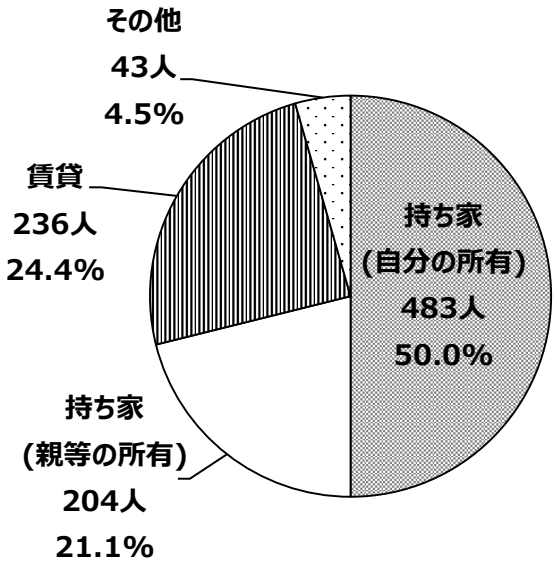
全体のうち 4 割弱は 65 歳以上の方、3 割弱は定期的に通院している方と同居していた。小学校前の子どもと同居が 1 割、小・中学校の子どもと同居が 2 割弱。



	人数(人)	割合(%)
65歳以上の方	364	37.1%
定期的に通院されている方	276	28.2%
小学生・中学生のお子さん	165	16.8%
小学校に入学する前のお子さん	104	10.6%
障がいを抱えている方	82	8.4%
高校生（のお子さん）	67	6.8%
大学生（のお子さん）	38	3.9%

図表 7-5：住居形態

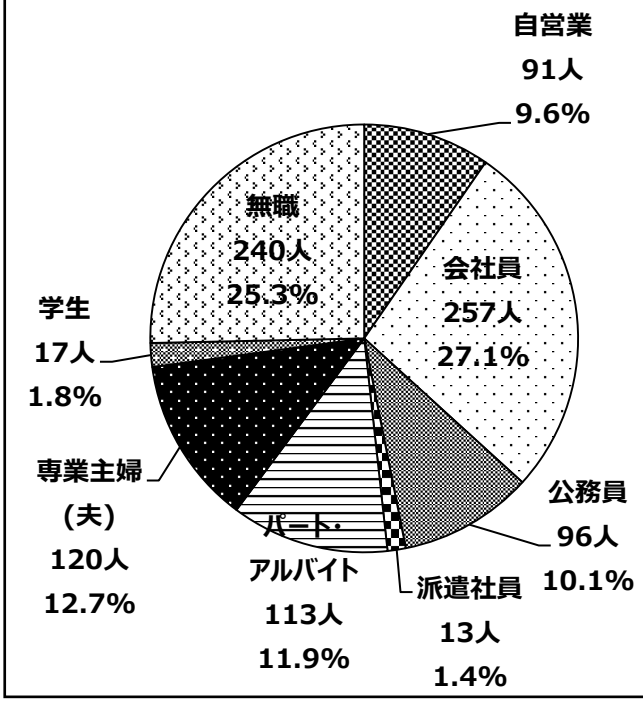
全体のうち半数が持ち家(自分の所有)であった。残りのおよそ半数は、持ち家(親等の所有)か賃貸でそれぞれ 2 割強。



全体		人数(人)	割合(%)
		966	100.0%
住居形態	持ち家(自分の所有)	483	50.0%
	持ち家(親等の所有)	204	21.1%
	賃貸	236	24.4%
	その他	43	4.5%

図表 7-6：職業

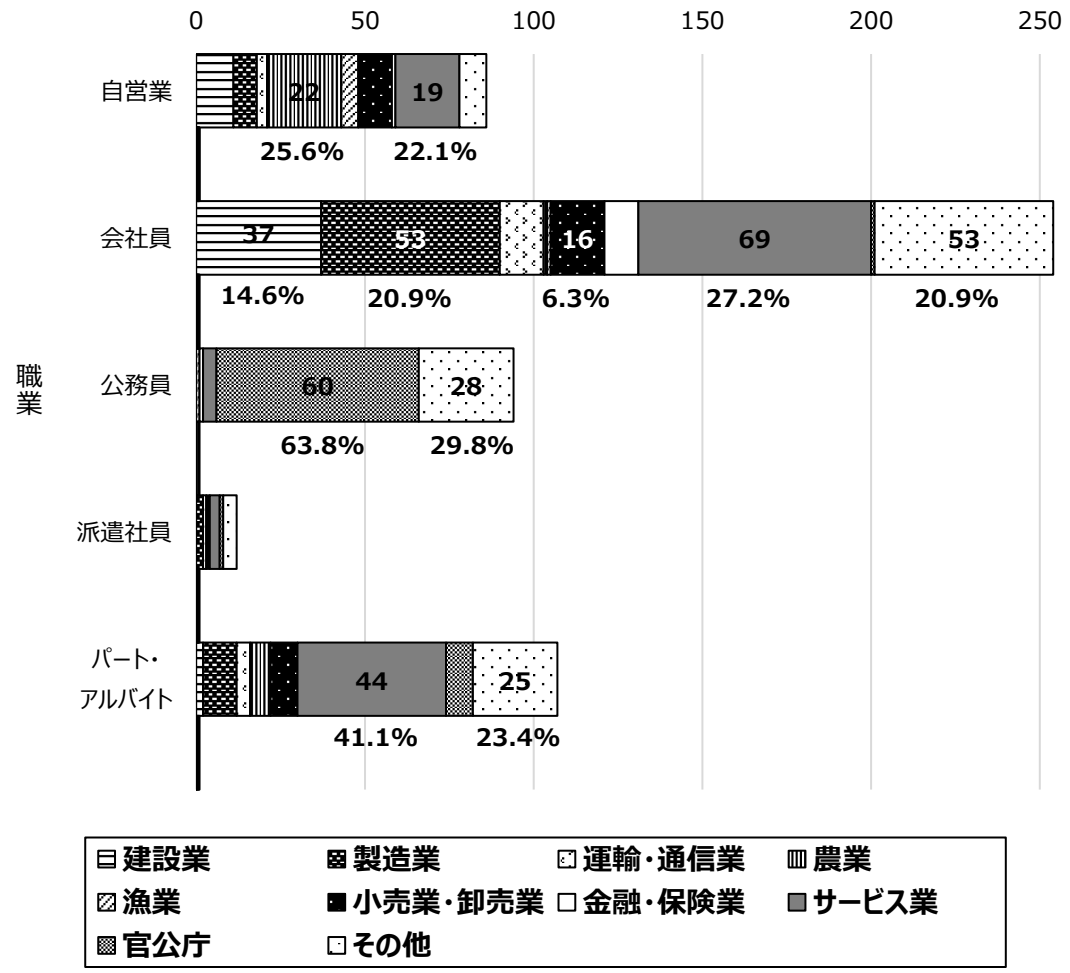
会社員と無職が多く(それぞれ 3 割弱)、無職が多いのは、図表 7-1:性別×年代で 60 代以上が全体の約 4 割であるためと考えられる。全体の約半数は、いわゆる正社員(自営業・会社員・公務員)であった。



全体		人数(人)	割合(%)
		947	100.0%
職業	自営業	91	9.6%
	会社員	257	27.1%
	公務員	96	10.1%
	派遣社員	13	1.4%
	パート・アルバイト	113	11.9%
	専業主婦(夫)	120	12.7%
	学生	17	1.8%
	無職	240	25.3%

図表 7-7：職業×業種

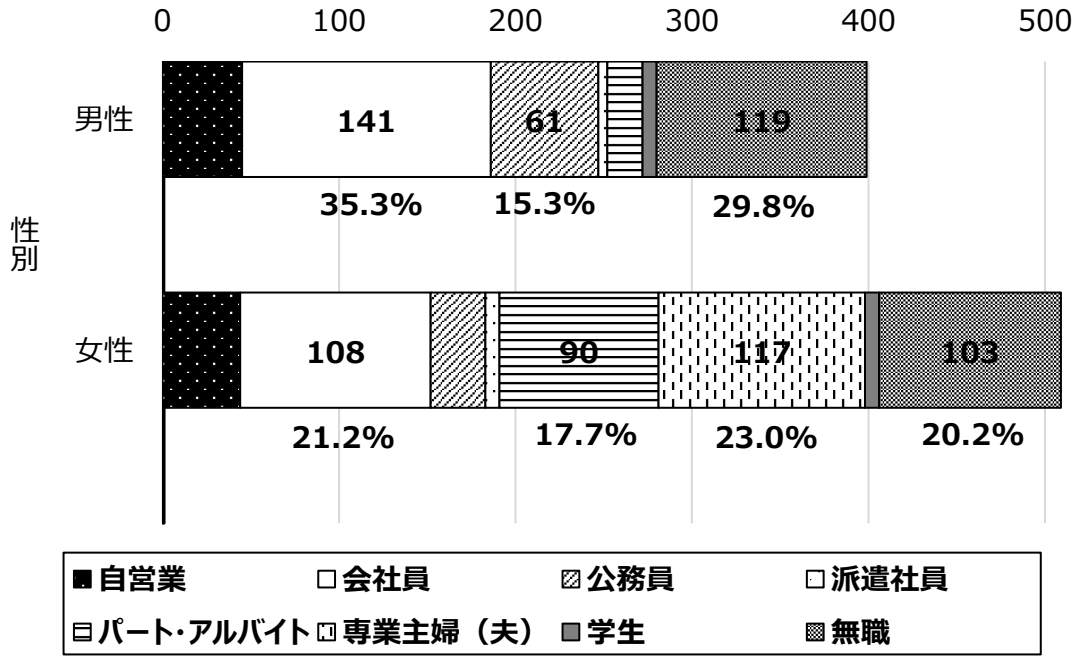
職業ごとに業種の内訳をみると、自営業は農業・サービス業、会社員はサービス業・製造業、公務員は官公庁が多い。



		全体	業種									
			建設業	製造業	運輸・通信業	農業	漁業	小売業・卸売業	金融・保険業	サービス業	官公庁	その他
全体		553	50	72	21	29	7	35	12	139	70	118
		100.0%	9.0%	13.0%	3.8%	5.2%	1.3%	6.3%	2.2%	25.1%	12.7%	21.3%
職業	自営業	86	11	7	3	22	5	10	1	19	0	8
		100.0%	12.8%	8.1%	3.5%	25.6%	5.8%	11.6%	1.2%	22.1%	0.0%	9.3%
	会社員	254	37	53	13	1	1	16	10	69	1	53
		100.0%	14.6%	20.9%	5.1%	0.4%	0.4%	6.3%	3.9%	27.2%	0.4%	20.9%
	公務員	94	0	0	0	0	1	0	1	4	60	28
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	4.3%	63.8%	29.8%
	派遣社員	12	0	2	1	0	0	1	0	3	1	4
		100.0%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%	8.3%	33.3%
	パート・アルバイト	107	2	10	4	6	0	8	0	44	8	25
		100.0%	1.9%	9.3%	3.7%	5.6%	0.0%	7.5%	0.0%	41.1%	7.5%	23.4%

図表 7-8：性別×職業

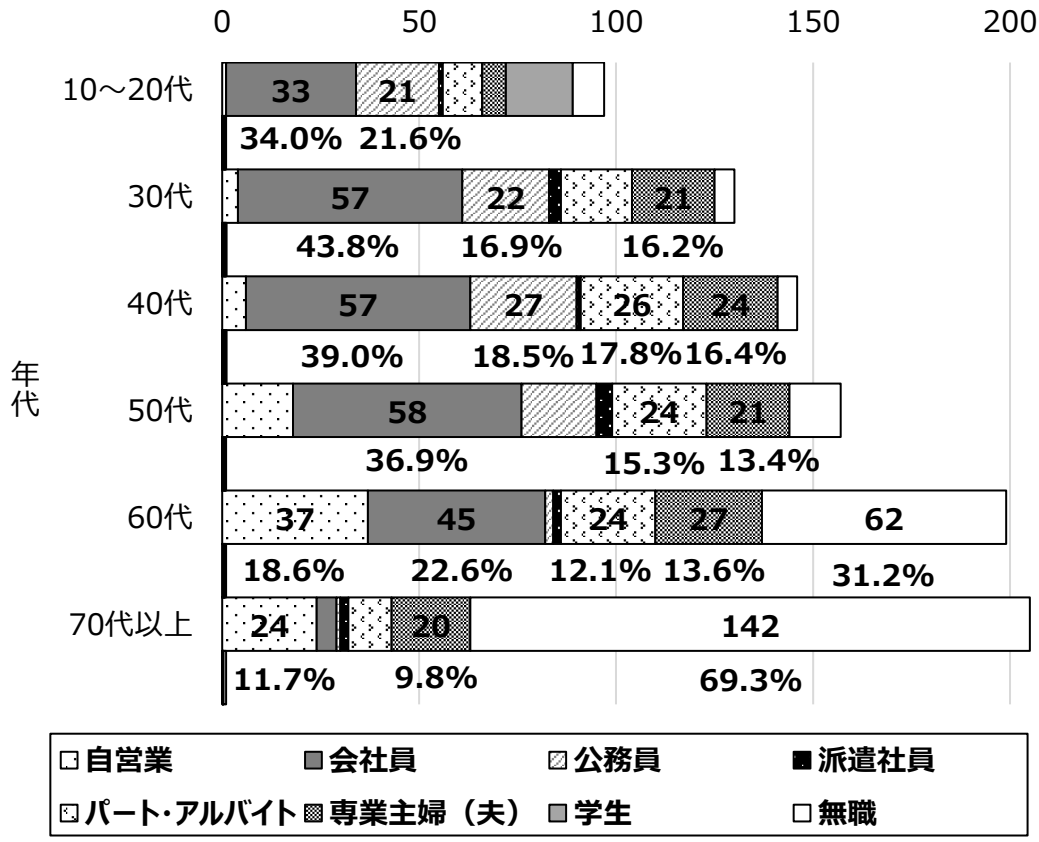
男性は会社員か無職が多く、女性よりも公務員比率が高いのが特徴となっている。
女性は会社員、パート・アルバイト、専業主婦、無職が多い。



		全体	職業							
			自営業	会社員	公務員	派遣社員	パート・アルバイト	専業主婦(夫)	学生	無職
全体		908	89	249	92	13	110	117	16	222
		100.0%	9.8%	27.4%	10.1%	1.4%	12.1%	12.9%	1.8%	24.4%
性別	男性	399	45	141	61	5	20	0	8	119
		100.0%	11.3%	35.3%	15.3%	1.3%	5.0%	0.0%	2.0%	29.8%
	女性	509	44	108	31	8	90	117	8	103
		100.0%	8.6%	21.2%	6.1%	1.6%	17.7%	23.0%	1.6%	20.2%

図表 7-9：年代×職業

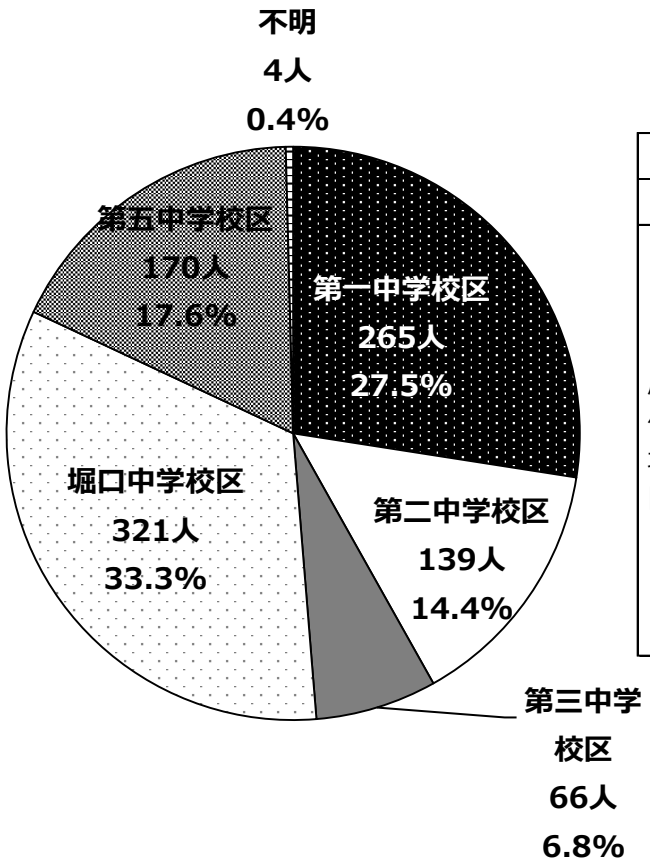
10～50 代は会社員が多く、全体の約 5 割が会社員か公務員であった。無職は主に 60 代以上で、60 代の 3 割、70 代以上の 7 割が無職。



		全体	職業							
			無職	学生	専業主婦(夫)	パート・アルバイト	派遣社員	公務員	会社員	自営業
全体		934	235	17	119	113	13	92	255	90
		100.0%	25.2%	1.8%	12.7%	12.1%	1.4%	9.9%	27.3%	9.6%
年代	10～20代	97	8	17	6	10	1	21	33	1
		100.0%	8.2%	17.5%	6.2%	10.3%	1.0%	21.6%	34.0%	1.0%
	30代	130	5	0	21	18	3	22	57	4
		100.0%	3.8%	0.0%	16.2%	13.8%	2.3%	16.9%	43.8%	3.1%
	40代	146	5	0	24	26	1	27	57	6
		100.0%	3.4%	0.0%	16.4%	17.8%	0.7%	18.5%	39.0%	4.1%
	50代	157	13	0	21	24	4	19	58	18
		100.0%	8.3%	0.0%	13.4%	15.3%	2.5%	12.1%	36.9%	11.5%
	60代	199	62	0	27	24	2	2	45	37
		100.0%	31.2%	0.0%	13.6%	12.1%	1.0%	1.0%	22.6%	18.6%
	70代以上	205	142	0	20	11	2	1	5	24
		100.0%	69.3%	0.0%	9.8%	5.4%	1.0%	0.5%	2.4%	11.7%

図表 7-10：居住地

堀口中学校区が全体の３割強、次いで第一中学校区が３割弱と多く、第五中学校区は２割弱、第三中学校区は１割弱であった。



		人数(人)	割合(%)
全体		965	100.0%
居住地区	第一中学校区	265	27.5%
	第二中学校区	139	14.4%
	第三中学校区	66	6.8%
	堀口中学校区	321	33.3%
	第五中学校区	170	17.6%
	不明	4	0.4%

8　調査結果サマリー

三沢市に愛着と誇りを持つ三沢ファンから定住先として選ばれ、持続可能なまちづくりを実現するために行った本調査の結果サマリーは下記の通りである。

定住意欲

「とても住み続けたい」1 割強　＋「住み続けたい」4 割強

とても住み続けたい回答者(＝三沢ファン)の特徴

半数は 60 代以上、在住 40 年以上　⇒長く住んでいて、これからも住み続けたい

三沢市に住み続けたい理由

全体では「生まれ育ったから」、三沢ファンは「三沢が好きだから住み続けたい」

三沢市に住み続けたくない理由

1 位：娯楽・商業施設がない
2 位：雪・寒い
3 位：仕事がない、交通が不便、子育て支援が不十分

三沢市の魅力・欠点・どんなまちにしたいか(大人＋子ども共通)

＜独自価値＞⇒高める	**＜欠点＞**⇒改善＆強みに変える
• 国際色豊かな基地のまち • 自然が近いのに自然災害が少ない • 安全・安心に暮らせる平和なまち	• 商店街に活気がない • 交通の便が悪い • 仕事がない

＜根底にあるニーズ＞
地方の良さ(自然豊か・安全安心)は失わずに、生活は便利(買い物、交通、仕事)であってほしい

＜理想とする三沢市の姿＞
- 多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち
- 人々(日本人も外国人も)がふれ合うにぎやかな商店街
- 雇用の場があり、若者が定着できるまち

子どもならではの視点

ごみのないきれいなまちになってほしい(だからごみのポイ捨てが三沢市のきらいなところ)
事件や犯罪のない平和なまちになってほしい
公園はたくさんあるが、公園以外の遊び場が少ない
歩道の除雪をしてほしい(歩きづらい)

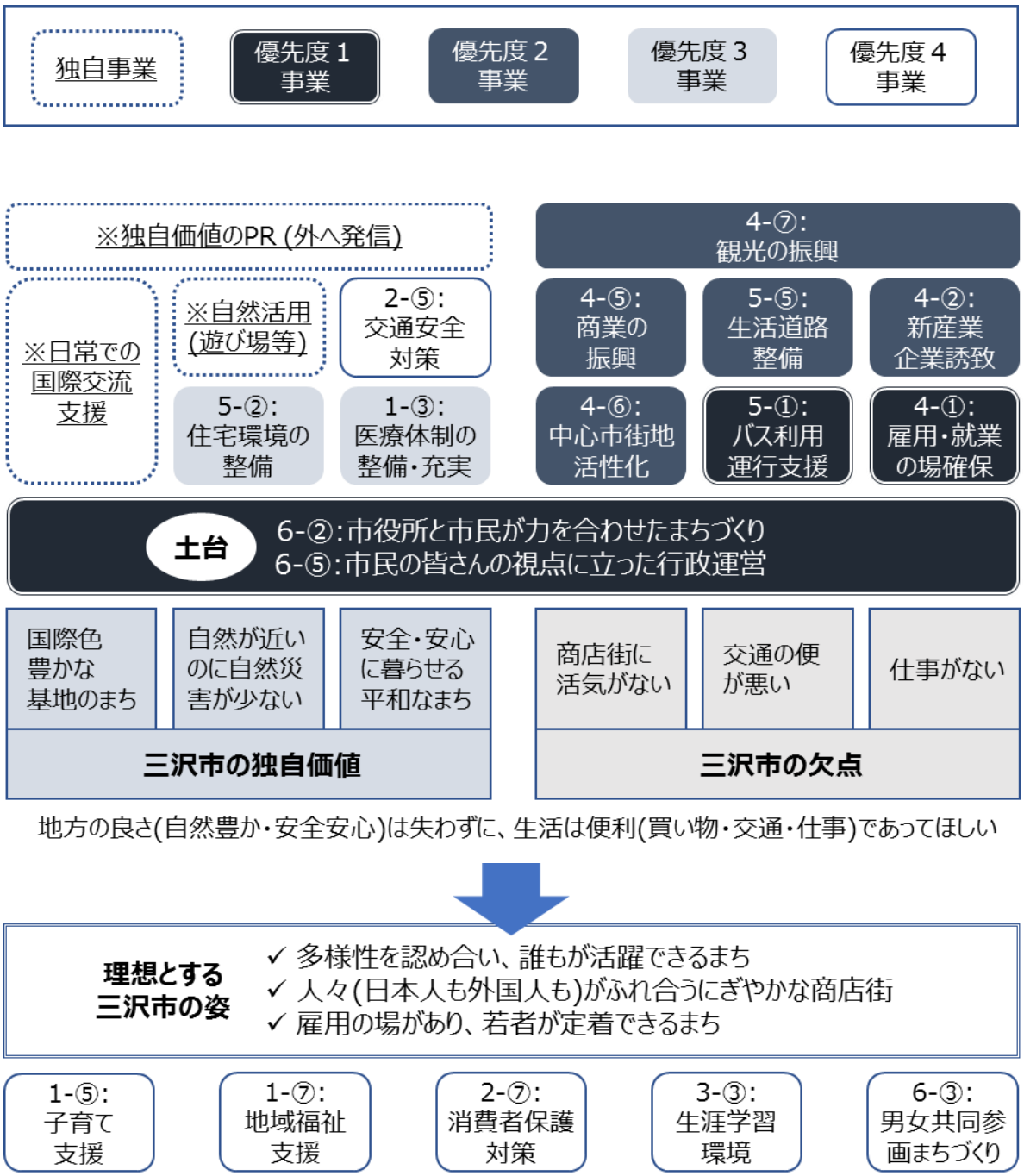
定住意欲の高い三沢ファンを増やすための事業の優先順づけ

1.健康・子育て・福祉　2.自然・基地・安全　3.国際化・教育・文化
4.雇用・産業振興　5.交通・都市インフラ　6.協働まちづくり

※表中の◎〇△×は、全回答者の満足度から４段階に評定したもの(詳細は P.58 参照)。

<B.緊急課題>の事業	<A.強み・アピール>の事業
×6-②:市役所とまちづくり ×6-⑤:市民視点の行政運営 ×5-①:バス利用・運行支援 ×4-①:雇用・就業の場確保 **優先度1** △5-②:住宅環境の整備 △1-③:医療体制の整備・充実 **優先度3** 〇6-③:男女共同参画 〇2-⑦:消費者保護対策 〇2-⑤:交通安全対策 〇1-⑤:子育て支援 〇1-⑦:地域福祉支援 〇3-③:生涯学習環境 **優先度4** **やや満足↓満足へ**	◎1-②:健康診断 ◎1-①:健康づくり ◎6-④:広報・情報発信 ◎5-⑥:上水道整備 ◎2-⑨:消防・救急体制 ◎2-⑧:防災対策 ◎3-②(小中学校)教育環境整備 〇2-⑥:防犯対策 〇2-③:公害防止・環境保全
<C.中長期課題>の事業	**<D.満足度維持>の事業**
×4-②:新産業・企業誘致 ×4-⑥:中心市街地活性化 ×4-⑤:商業の振興 ×4-⑦:観光の振興 ×5-⑤:生活道路整備 **優先度2** △5-④:幹線道路整備 〇6-①:地域団体活動支援 〇4-③:農業の振興 〇4-④:水産業の振興 〇3-④:芸術・歴史・文化 〇3-⑤:スポーツの機会 〇1-⑥:障がい者支援	◎5-⑦:下水道の整備 ◎5-③:公園環境の整備 ◎3-①:国際交流支援 ◎2-②:ごみ減量・再資源化 ◎2-①:自然環境の保全 ◎1-④:高齢者支援 △2-④:基地・騒音対策

さらに三沢市が定住先として選ばれるための(三沢ブランド確立)方向性



地方の良さ(自然豊か・安全安心)は失わずに、生活は便利(買い物・交通・仕事)であってほしい

理想とする三沢市の姿

- ✓ 多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち
- ✓ 人々(日本人も外国人も)がふれ合うにぎやかな商店街
- ✓ 雇用の場があり、若者が定着できるまち

1-⑤:子育て支援 / 1-⑦:地域福祉支援 / 2-⑦:消費者保護対策 / 3-③:生涯学習環境 / 6-③:男女共同参画まちづくり

日本人も外国人も、大人も子どもも、男性も女性も、高齢者も子育て世帯も障がいを持つ人も

多様な人材が尊重し合い、助け合い、ふれ合える
ぬくもりとにぎわいのある三沢市へ

9　調査結果①-1：三沢市ブランド化要因

本セクションでは、三沢市ブランド化要因として、①住民が感じる三沢市での定住意欲(ずっと住みたいか)と②三沢市に対する認知・評価(どんな街だと思うか)の傾向・特徴を明らかにする。全体傾向とともに、三沢市にずっと住み続けたい(＝三沢ファン)とも比較することで、三沢ファンを増やす上で重要な施策に活用することをねらいとする。

9.1　定住意欲

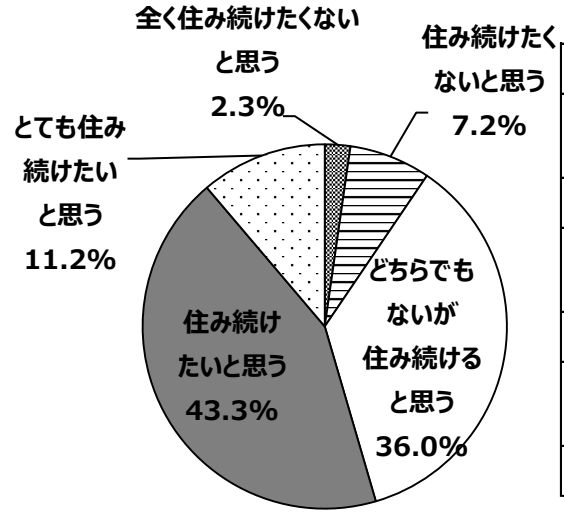
積極的定住派が半数以上、その中でも熱烈定住派(三沢ファン)は 1 割強

「あなたは、今後も三沢市に住み続けたいですか？」という定住意欲を問う質問に対して、「5.とても住み続けたいと思う」と回答した熱烈定住派(＝三沢ファン)は 1 割強で、「4.住み続けたいと思う(4 割強)」も合わせた積極的定住派は全体の半数を超えた。
一方、「1.全く住み続けたくない」「2.住み続けたくない」と回答した定住否定派は合わせても 1 割弱で、「3.どちらでもないが住み続けると思う」という(おそらく家庭・仕事の事情や引っ越すのが面倒という)消極的定住派は 4 割弱という結果となった。

従って、積極的/消極的か、積極的度合いはどの位か幅はあるものの、回答者の 9 割以上は現在住んでいる三沢市での定住を希望しているといえる。

（※転勤・転居の予定や可能性がある場合は、それがないものとして住み続けたいかを質問した。）

図表 9.1-1：三沢市での定住意欲



Q06_住み続けたいか	人数	%
全く住み続けたくないと思う	21	2.3%
住み続けたくないと思う	67	7.2%
どちらでもないが住み続けると思う	334	36.0%
住み続けたいと思う	402	43.3%
とても住み続けたいと思う	104	11.2%
総計	928	100.0%

9.1.1 熱烈定住派(三沢ファン)の属性

半数は 60 代以上/40 年以上居住「長く住んでいてこれからも住み続けたい」

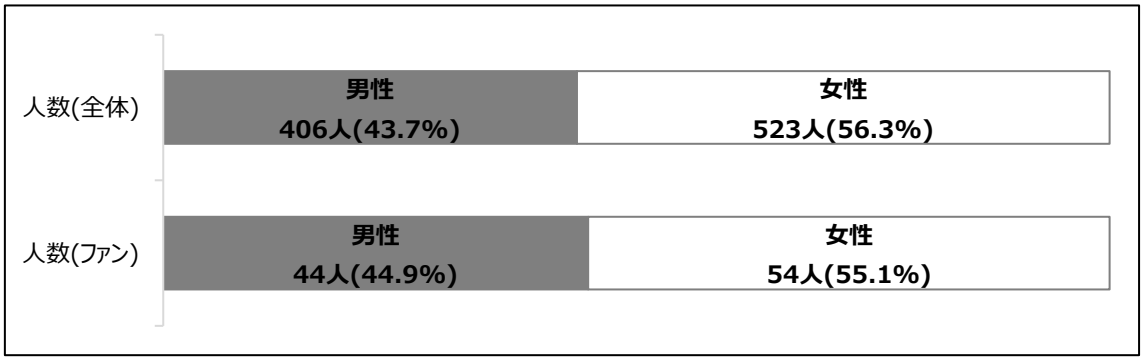
次に、「5.とても住み続けたいと思う」と回答した熱烈定住派(＝三沢ファン)の特徴を明らかにするために、三沢ファンと全体の属性を比較した。

三沢ファンの大きな特徴としては、高齢者が多く、在住年数が長く、持ち家(自分の所有)率が高い。これは三沢市にずっと住んでいる＆今後も住み続けたい層であるといえる。その一方で、若年者や在住年数の短い回答者が少ないのが特徴である。

転勤や転居の予定や可能性はないものとして住み続けたいかを聞いているため、特に若年者や居住年数の短い回答者には、三沢市にずっと住みたいと思える大きな魅力がまだ感じられていないことが推察される。

図表 9.1.1-1：＜性別＞

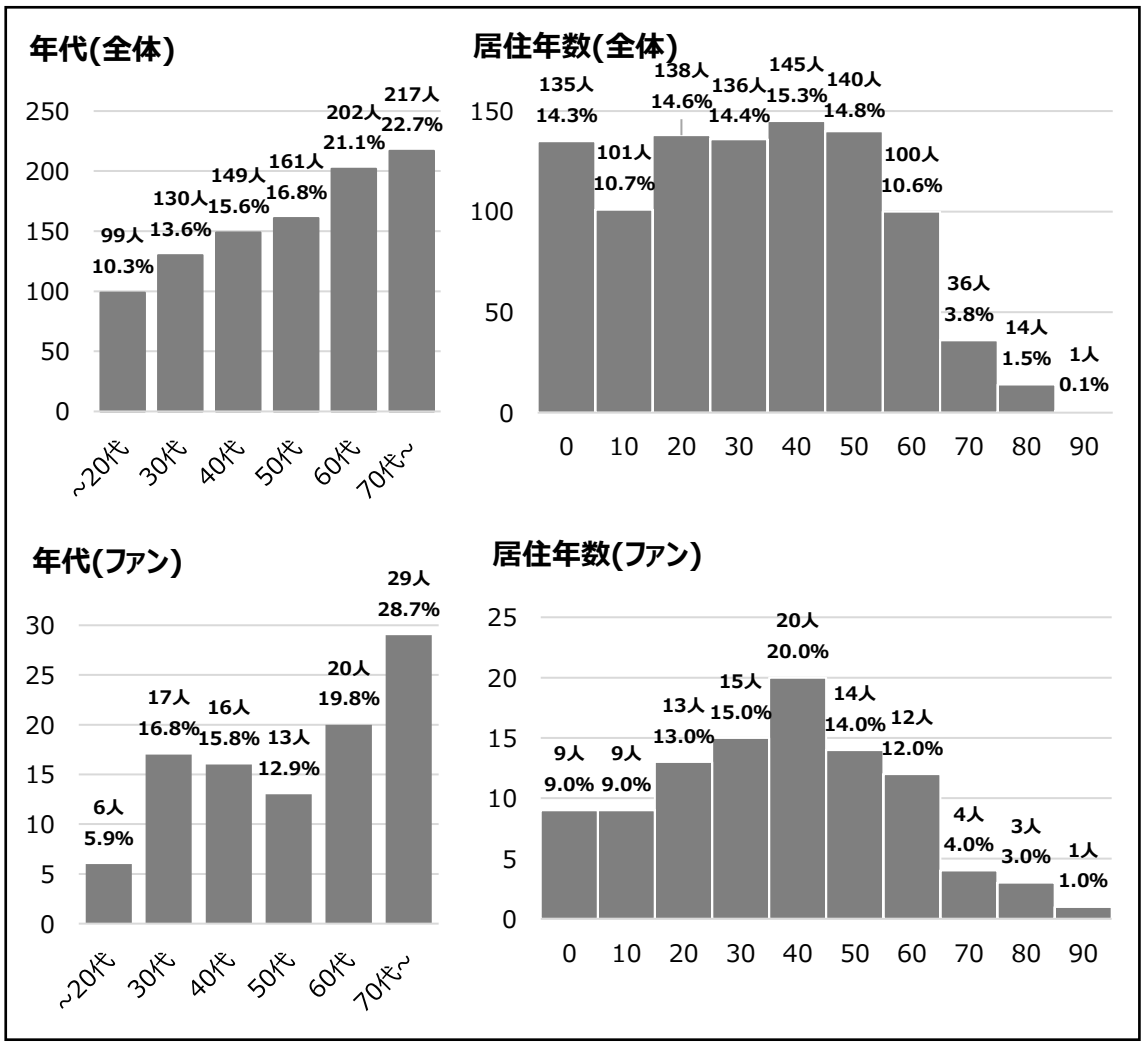
性別においては、全体と三沢ファンとで男女比に大きな差は見られなかった。



図表 9.1.1-2：＜年代・居住年数＞

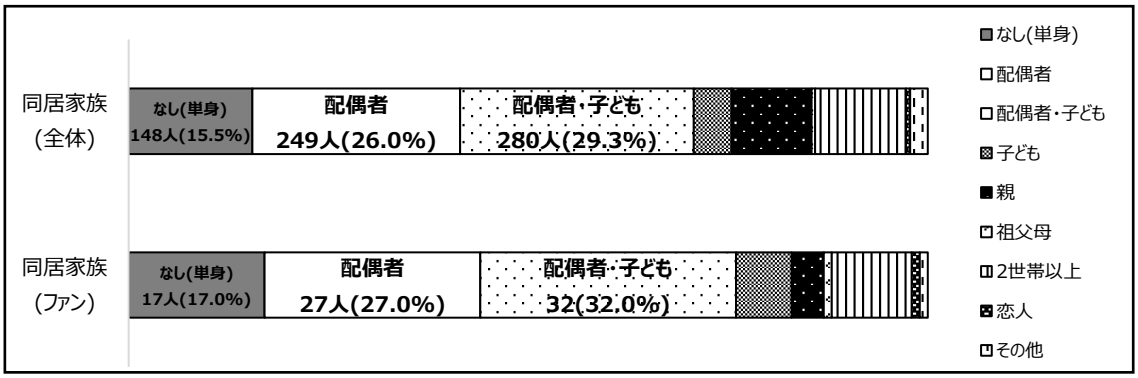
三沢ファンの年代・居住年数をみると、約半数が 60 代以上で、40 年以上住み続けており、これはずっと住んでいる＆今後も住み続けたい層であるといえる。

一方、全体と比較すると三沢ファンの年齢層は特に 20 代の割合が相対的に低くなっていて、居住年数では、(三沢市に多い)年数の短い回答者の割合が低くなるのが大きな特徴である。



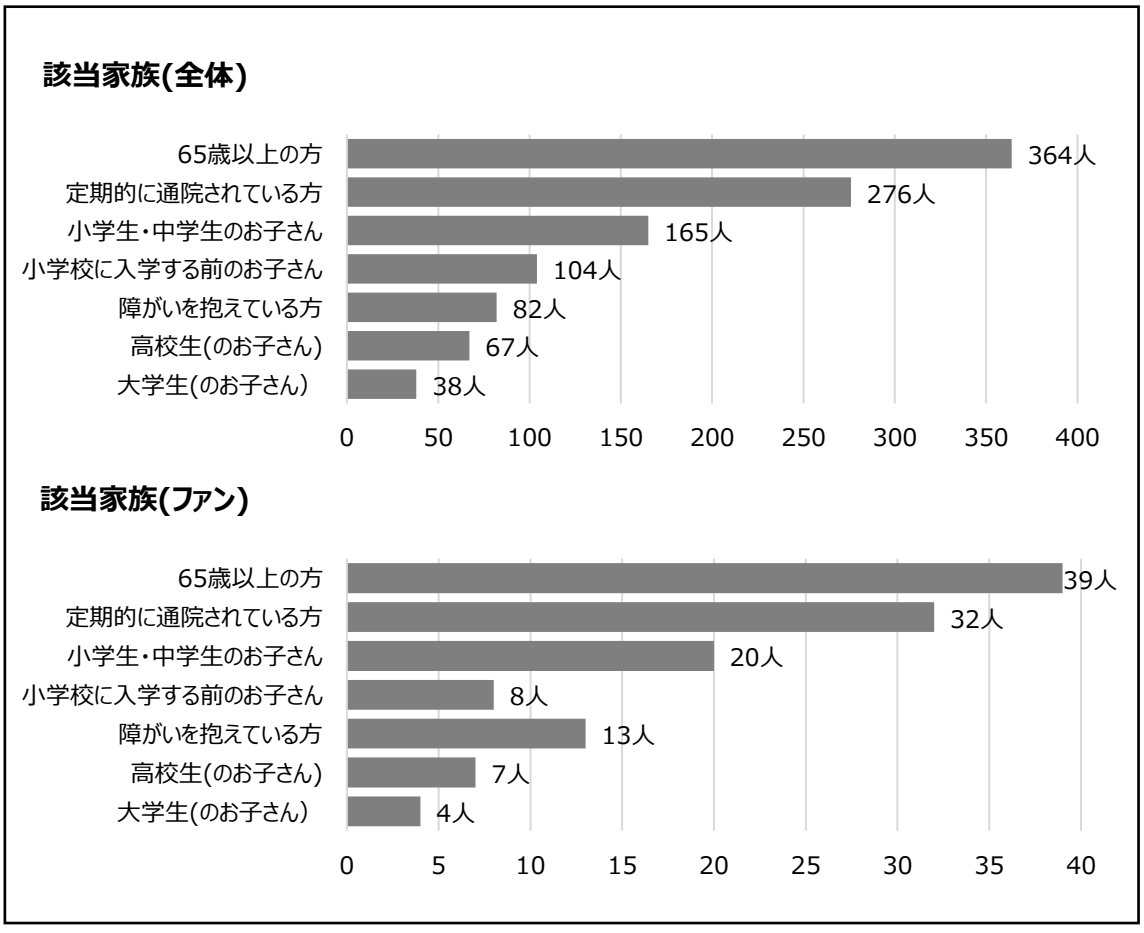
図表 9.1.1-3：＜家族構成＞

家族構成でみると、全体と三沢ファンの構成比はほぼ同じ傾向で、「配偶者・子ども」か「配偶者」と住んでいる割合が 6 割弱と最も高い。「親」と同居が少ないのは、前述の年齢で三沢ファンは高齢者が多いためであると考えられる。



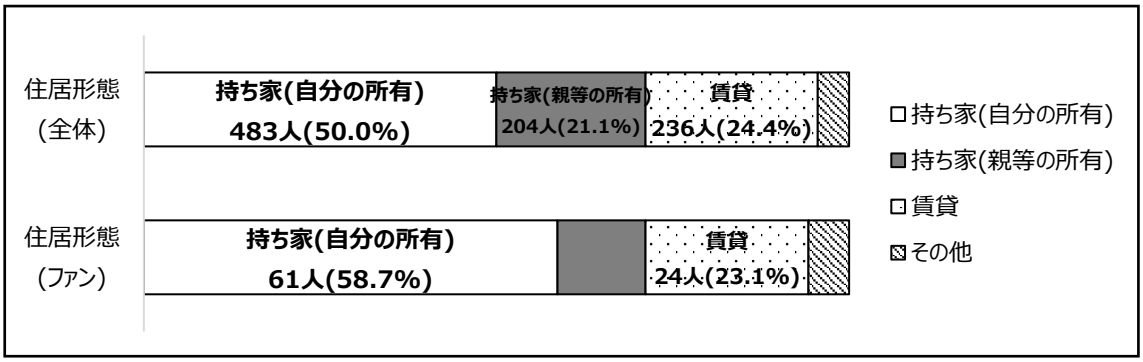
図表 9.1.1-4：＜同居する家族＞

同居する家族も、全体と三沢ファンの構成比はほぼ同じ傾向であるが、三沢ファンは高齢者が多く若年者が少ない傾向があるため、「小学校前のお子さん」の割合が低く、「障がいを抱えている方」が高くなっている。



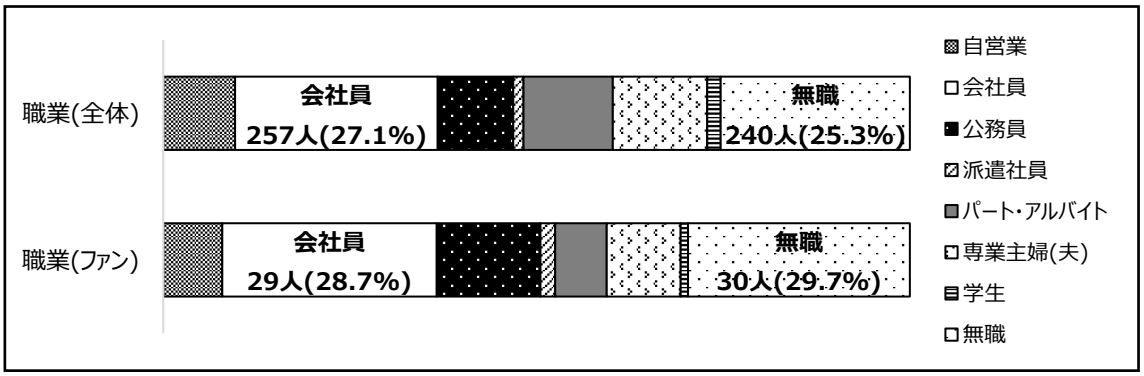
図表 9.1.1-5：＜住居形態＞

住居形態では、全体と同じく三沢ファンは「持ち家(自分の所有)」が最も多いが、全体よりも更に割合が高くなっている。ずっと住んでいる＆今後も住み続けたい三沢ファンが三沢市で住宅を購入している傾向が伺える。



図表 9.1.1-6：＜職業＞

職業においても、全体と三沢ファンの構成比はほぼ同じ傾向であるが、三沢ファンは高齢者が多く若年者が少ない傾向があるため、「無職」の割合が若干高くなっている。



9.1.2 住み続けたい理由

全体では「生まれ育ったから」、三沢ファンは「三沢が好きだから住み続けたい」

9.1 の定住意欲の質問で、三沢市に住み続けたいと答えた回答者に対し(「3.どちらでもないが住み続けると思う」、「4.住み続けたいと思う」、「5.とても住み続けたいと思う」) 、その理由を全体と三沢ファンとで比較した結果、1 位の理由が異なることが明らかとなった。

(※順位回答方式により、理由として当てはまる選択肢の中から 1 位～3 位までを回答。)

全体での理由は、「生まれ育ったから」が 1 位

図表 9.1.2-1：三沢市に住み続けたい理由ランキング＜全体＞

全体では、「生まれ育ったから」という理由がトップで、1 位の理由として選んだ回答者の割合が最も高かった。ランキングでは 2 位「親や親族がいるから」、3 位「生活に便利」と続き、住み続けたい理由として「生まれ育った場所で家族もいて、生活に便利だから」という傾向が読み取れる。
ランキング 4 位の「三沢が好きだから(1 位として選ばれる割合が高い)」という積極的な理由と、ランキング 5 位の「引っ越しは面倒(3 位として選ばれる割合が高い)」という消極的な理由がトップ 5 に混在しており、住み慣れた都であるという反面、よそに引っ越すのは面倒という理由も影響していると考えられる。

※総ポイント数=1 位に選んだ理由を 3 ポイント、2 位を 2 ポイント、3 位を 1 ポイント数として集計し、ランキング(高い順位で選んだ人数が多いほどランキング上位になる)。

			上段:選んだ回答者の人数/下段:選んだ回答者の割合			
ランキング	Q06_理由	総ポイント数	総人数	1位	2位	3位
1	⑩生まれ育ったから	750	312 37.1%	177 21.1%	84 10.0%	51 6.1%
2	⑪親や親族がいるから	690	314 37.4%	122 14.5%	132 15.7%	60 7.1%
3	②生活に便利	643	298 35.5%	112 13.3%	121 14.4%	65 7.7%
4	①三沢が好きだから	542	240 28.6%	123 14.6%	56 6.7%	61 7.3%
5	⑫引っ越しは面倒	428	259 30.8%	52 6.2%	65 7.7%	142 16.9%
6	⑧通勤に便利	372	174 20.7%	69 8.2%	60 7.1%	45 5.4%
7	⑦国際色が豊か	225	144 17.1%	18 2.1%	45 5.4%	81 9.6%
8	③街の雰囲気	224	129 15.4%	19 2.3%	57 6.8%	53 6.3%
9	⑬その他	183	81 9.6%	43 5.1%	16 1.9%	22 2.6%
10	⑥趣味を楽しめる	164	93 11.1%	16 1.9%	39 4.6%	38 4.5%
11	④子育て環境が良い	88	44 5.2%	11 1.3%	22 2.6%	11 1.3%
12	⑨通学に便利	40	23 2.7%	5 0.6%	7 0.8%	11 1.3%
13	⑤教育環境が良い	37	19 2.3%	3 0.4%	12 1.4%	4 0.5%

三沢ファンの理由は、「三沢が好きだから」が 1 位

図表 9.1.2-2：三沢市に住み続けたい理由ランキング＜三沢ファン＞

三沢ファンの場合は、「三沢が好きだから」という理由がトップで、1 位の理由として選んだ回答者の割合が最も高かった。ランキングでは 2 位「生まれ育ったから」、3 位「生活に便利」と続き、住み続けたい理由として「生まれ育った三沢が好きで、生活に便利だから」という傾向が読み取れる。
ランキング 4 位は「親や親族がいるから（1 位として選ばれる割合が高い）」、ランキング 5 位は「国際色が豊か(3 位として選ばれる割合が高い)」という理由がランクインしており、三沢ファンの理由として、三沢市への愛着や国際色豊かな雰囲気が特徴となっている。

※総ポイント数=1 位に選んだ理由を 3 ポイント、2 位を 2 ポイント、3 位を 1 ポイント数として集計し、ランキング(高い順位で選んだ人数が多いほどランキング上位になる)。

			上段:選んだ回答者の人数/下段:選んだ回答者の割合			
ランキング	Q06_理由	総ポイント数	総人数	1位	2位	3位
1	①三沢が好きだから	128	55 52.9%	29 27.9%	15 14.4%	11 10.6%
2	⑩生まれ育ったから	113	46 44.2%	28 26.9%	11 10.6%	7 6.7%
3	②生活に便利	87	43 41.3%	13 12.5%	18 17.3%	12 11.5%
4	⑪親や親族がいるから	65	31 29.8%	11 10.6%	12 11.5%	8 7.7%
5	⑦国際色が豊か	40	23 22.1%	4 3.8%	9 8.7%	10 9.6%
6	⑧通勤に便利	39	21 20.2%	7 6.7%	4 3.8%	10 9.6%
7	⑫引っ越しは面倒	24	15 14.4%	3 2.9%	3 2.9%	9 8.7%
8	③街の雰囲気	23	16 15.4%	1 1.0%	5 4.8%	10 9.6%
9	⑥趣味を楽しめる	23	14 13.5%	0 0.0%	9 8.7%	5 4.8%
10	④子育て環境が良い	16	9 8.7%	0 0.0%	7 6.7%	2 1.9%
11	⑬その他	13	7 6.7%	2 1.9%	2 1.9%	3 2.9%
12	⑤教育環境が良い	6	3 2.9%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%
13	⑨通学に便利	2	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%

9.1.3 住み続けたくない理由

理由として地方都市ならではの不便さが多い

9.1 の定住意欲の質問で、三沢市に住み続けたくないと答えた回答者に対し(「2.住み続けたくないと思う」、「1.全く住み続けたくないと思う」) 、自由記述式でその理由を聞いて集計・分類した結果は下記の通りである。

(※自由記述の内容からカテゴリーに分類し、その人数を集計した。なお、1 人の回答者が複数の理由を記述している場合もあるため、人数は延べ人数である。割合の分母は、「2.住み続けたくないと思う」、「1.全く住み続けたくないと思う」と回答した 88 人で集計。)

図表 9.1.3-1：三沢市に住み続けたくない理由

順位	理由(カテゴリー)	人数	割合	(内訳・人数)
1位	娯楽・商業施設がない	18	20.5%	娯楽施設がない (7) 商業施設が少ない (6) 商店が少ない (5)
2位	雪・寒い	15	17.0%	雪 (11) 寒い (4)
3位	仕事がない	14	15.9%	
	交通手段が不便	14	15.9%	
	子育てしづらい	14	15.9%	子供の医療費 (7) 子育て支援 (4) 子供の遊び場（室内）(3)
6位	地元は別・地元に戻る	13	14.8%	
7位	騒音	6	6.8%	
8位	医療	4	4.5%	
	人	4	4.5%	
10位	田舎	3	3.4%	
	税金が高い	3	3.4%	
	賃金が安い	3	3.4%	
	道路	3	3.4%	
14位	税金の使い道	2	2.3%	
	津波	2	2.3%	
	外国人	2	2.3%	
	老後が心配	2	2.3%	
	その他	37	42.0%	

＜その他の理由＞

生活が不便	公共料金が高い	水がおいしくない
不便	土地の値段が高い	北部の悪臭
色々な便利さ	物価が高い等	坂が多い
色々とない	公共機関の運賃	楽しみが少ない
ない		米軍基地
中心街が遠い	公民館	芸術・文化
	福祉	
学校が少ない	生活交流の場がない	単身赴任
子供の将来	市民へのケア、放送が聞こえない	市職員
小中高にプールがない		転勤族
		親とソリが合わない

全体的に、地方都市であるがゆえの不便さを挙げる理由が多い(娯楽・商業施設がない、仕事がない、交通手段が不便)。その他、北国ならではの不満(雪・寒い)や、子育てに関する理由(子ども医療費、子育て支援、子どもの遊び場)も上位に入っている。

但し、三沢市に住み続けたくないと答えた回答者(88 人)は全体の 1 割にも満たず、限られたリソースを有効に活用するためには、ターゲット(三沢ファン)を確実につなぎとめ、増やす対策に注力する方が三沢ブランド確立の上で効果は高いといえる。

9.2 三沢市に対する評価(どんな街だと思っているか)

9.1.2 住み続けたい理由で、三沢ファンが住み続けたい理由の 1 位は「三沢が好きだから」で、生まれ育っているという以上に三沢市に対する愛着が非常に重要な要因であることが分かった。つまり、**三沢市を好きになる理由(＝三沢市の独自価値)**が明らかになれば、生まれ育っていない人からも移住・定住先として、観光で訪れる場所として選ばれることが可能であるといえる。

本調査の三沢ブランド化要因のセクションでは、三沢市の独自価値を探るために 3 つの自由記述の質問を設けた(**魅力、欠点、どんな街にしたいか**)。ここから、三沢市を好きになる理由や三沢市が目指すべき未来の姿を明らかにするためのキーワードを抽出し、三沢市の独自価値を読み解いていくことをねらいとしている。

この自由記述の質問では、回答者が自分の言葉で自由に答えた文章を、テキストマイニング[1]という手法で解析し、多くの人が発する言葉(=頻出ワード)がどのようなものであるか、どんな人がどんな言葉を発しているかを調べ、その特徴を明らかにする。

＜頻出ワードの出し方＞

※本調査においては、60 代以上の回答者が全体の 4 割を占めるため、単純に全回答者の自由記述の内容から出現するワードを集計すると、60 代以上の回答者が発する言葉が頻出ワードとして抽出される傾向になる(観光等ターゲットがシニアの場合はこの方法で行う)。

※本調査では、老若男女の意見を広く集めて頻出ワードを抽出することを目的としているため、年代と性別で全回答者を 6 つのセグメントに分け、セグメントごとに頻出ワードを抽出する方法を採用した。

10~30 代(若年者)男性 ⇒ 頻出ワード抽出
10~30 代(若年者)女性 ⇒ 頻出ワード抽出
40~50 代(中高年者)男性 ⇒ 頻出ワード抽出
40~50 代(中高年者)女性 ⇒ 頻出ワード抽出
60 代以上(高齢者)男性 ⇒ 頻出ワード抽出
60 代以上(高齢者)女性 ⇒ 頻出ワード抽出

全体の頻出ワードを抽出
(重複するワードはまとめる)

頻出ワードの種類は、「三沢市の一番の魅力」で 17 種類、「三沢市の欠点」、「三沢市をどんな街にしたいか」でそれぞれ 31 種類となった。

これは、「三沢市の一番の魅力」については年代・性別に関わらず共通している(みんなが同じ言葉を発している)傾向があるため種類が少なく、「三沢市の欠点」、「三沢市をどんな街にしたいか」では年代・性別で発する言葉にばらつく傾向があるため種類が多くなっている。

[1] テキストマイニング：文章を単語レベルに細かく分割してその数を数え、属性データや数値データとの関係から「どんな人がどんな言葉を多く発しているか」を調べる手法。コールセンターやカスタマーサービス等で使用されている。

9.2.1　三沢市の一番の魅力

国際色豊かな基地の街(全体) / 自然豊かで災害なく安心して暮らせる街(ファン)

「あなたは、三沢市の一番の魅力は何だと思いますか？」という質問に対する回答(自由記述)で多くの人が発していた頻出ワードの特徴は、下記の通りである。

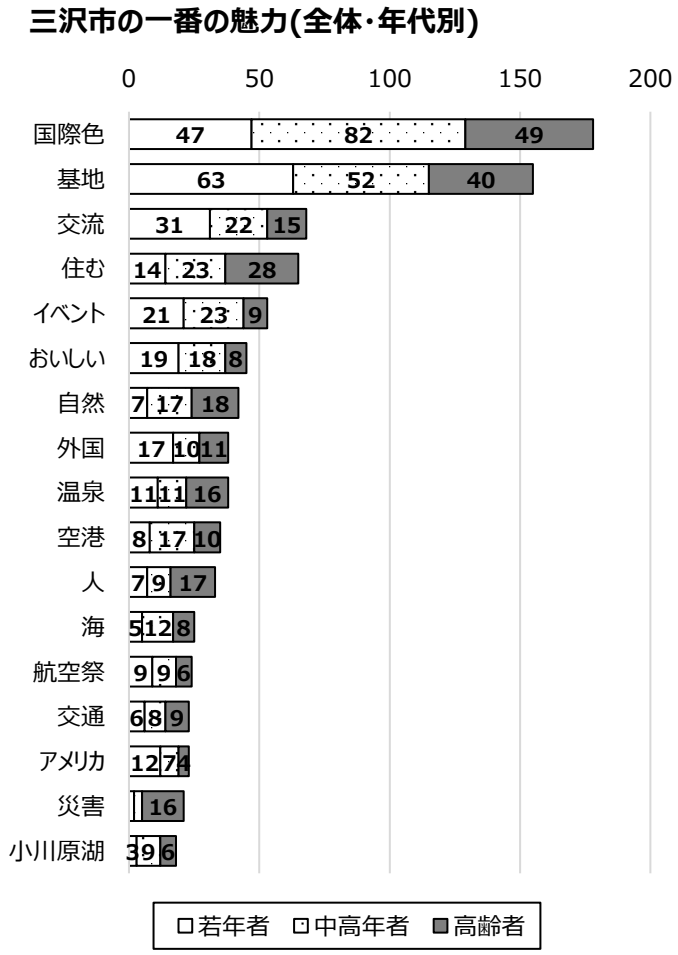
全体では「国際色・基地」が魅力

回答者全体でみると、**「国際色」「基地」**というワードが突出して多く、これはみんなにとっての三沢市の魅力であると考えられる。単に外国人が多いという側面だけではなく、航空祭やアメリカンデー等のイベントや異文化的な雰囲気、基地と共存共栄した友好関係を挙げる声も多かった。

三沢ファンは「自然(多い)」「住む(住みやすい)」「災害(少ない)」が魅力

次に、三沢ファンに絞った頻出ワードを抽出したところ、全体でのランキングとは異なる傾向のワードがいくつかみられた。

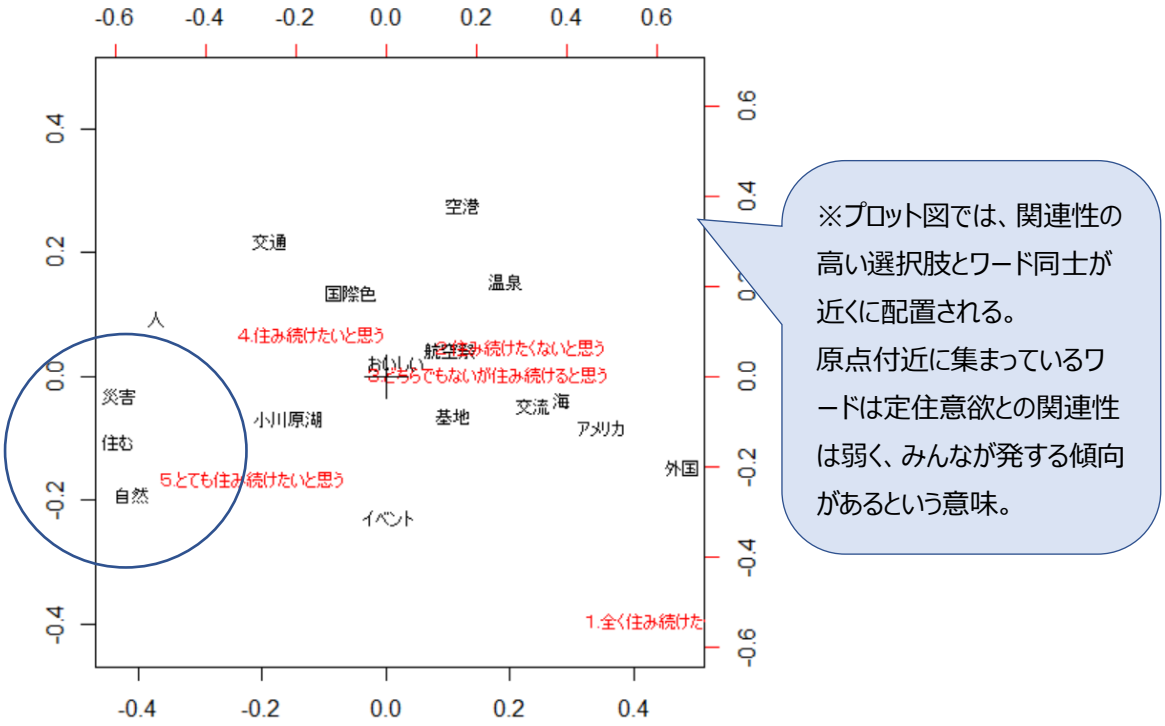
図表 9.2.1-1：三沢市の一番の魅力 <頻出ワードランキング>



	全体	三沢ファン
国際色	178	21
基地	155	24
交流	68	9
住む	65	17
イベント	53	10
おいしい	45	8
自然	42	13
外国	38	4
温泉	38	4
空港	35	2
人	33	7
海	25	3
航空祭	24	2
交通	23	3
アメリカ	23	3
災害	21	5
小川原湖	18	4

図表 9.2.1-2：三沢市の一番の魅力 <三沢ファンの特徴ワード>

三沢ファンの特徴を明確にするために、コレスポンデンス分析[2]を行ったところ、三沢ファンに特徴的なワードは**「自然」「住む」「災害」**であることが分かった。特に三沢ファンにとっては、自然が多く(または近く)、災害が少なく(安心して)暮らしやすいところが魅力であるということがここから読み取れる。



三沢ファン＜自然＞の主な意見

- **自然**に恵まれていると思う。
- 山や大きな川がない分、**自然**災害が少ない。 生まれた時から聞いているせいか、飛行機の音ですらなつかしく感じる。 **自然**が近くにある(湖や林、森など)。 あまり開拓しないでほしい。
- 国際色豊か。**自然**。食。芸能人(小比類巻かほる、エリー、DJ etc)がいる。
- 国際的豊かさがあるかな？ 空港もある事だと思う。**自然**も豊かかな？
- 国際色豊かである。市をあげてのイベントが多い。**自然**が多い。農作物、海産物が新鮮である。
- 太平洋や小川原湖周辺といった**自然**に面しながら、米軍や自衛隊のおかげで人や物の移り変わりによる、交流が絶えずあること。

三沢ファン＜住む＞の主な意見

- **生活**に便利。
- 安心して**生活**が出来る。
- 家賃が安い。他の人が**住みやすい**。
- 自分の家族が**住んでいる**。 自然がある。 田舎暮らしができる。

[2] コレスポンデンス分析：クロス集計表の結果を二次元で表す手法。相対的に関連性の強いもの同士が距離的に近くなるように配置され、ポジショニング分析等に利用される。

- 空港や駅などが近く、**住みやすい**位置にある。
- 生活環境の変化、 **生活**に便利な街、 雪が少ない事。
- 都会すぎなく田舎すぎてもいない所。ちょうどよく、**生活**、文化、が調和とれている。
- やっぱり、ベースの町って事でグローバルな感覚の人が多く**住んでいる**所。
- 基地との共存による**暮らし**の中で人とのかかわり（外国人だけではなく、日本国内の至る所から転勤されてる方々も）イベントやお祭りなどを通して地元の人だけではできない（または創ることのできない）地域の交流が持てるところ。

三沢ファン＜災害＞の主な意見
- **災害**の少ない三沢市で住んでいるので幸福だと感じている。三沢市は安心して住める市 No.1 だと思います。
- 山なく河なく平凡ではあるが**自然**災害に比較的巻き込まれない所。自由である所。広い土地がある事。
- 転勤者等も多く、どっぷり東北の、青森のというのでない所がよい。イベント等、関係者の方々が頑張って下さり、若い方々も大勢集まって来てくれるのが良い。山や川が少なく、**自然**災害が少ないのも良い。スーパーが多い。
- 大きな**災害**がなく住環境が良く暮らしやすい町であること。そして基地と共存共栄がうまくいっている。

9.2.2 三沢市の欠点

商店街に活気がない、交通の便が悪い、仕事がない(全体)
イベントに課題あり、道の駅が不便、国際交流を肌で感じることがない(ファン)

「あなたは、三沢市の欠点は何だと思いますか？」という質問に対する回答(自由記述)で多くの人が発していた頻出ワードの特徴は、下記の通りである。

全体では「商店」「人」「交通」「仕事」が欠点

9.2.1 三沢市の魅力と比較すると頻出ワードの種類が倍増しており、三沢市の魅力に関しては比較的似た意見にまとまっているのに対して、欠点は回答者のばらつきが大きく異なる意見が多いことを意味している。

回答者全体でみると、**「商店」「人」「交通」「仕事」**というワードの数が多く、これは多くの回答者が考える三沢市の欠点であるといえる。商店街の活気のなさ、交通の便の悪さ、仕事のなさを挙げる声が多く、「人」に関しては多種多様な意見が寄せられた(若い人の流出や特定の人のマナーの悪さ、三沢の人の短所や人が少ない、人が集まらない等々)。

三沢ファンは「イベント」「道の駅」「交流」が欠点

次に、三沢ファンに絞った頻出ワードを抽出したところ、全体でのランキングとは異なる傾向のワードがいくつかみられた。

図表 9.2.2-1：三沢市の欠点＜頻出ワードランキング＞

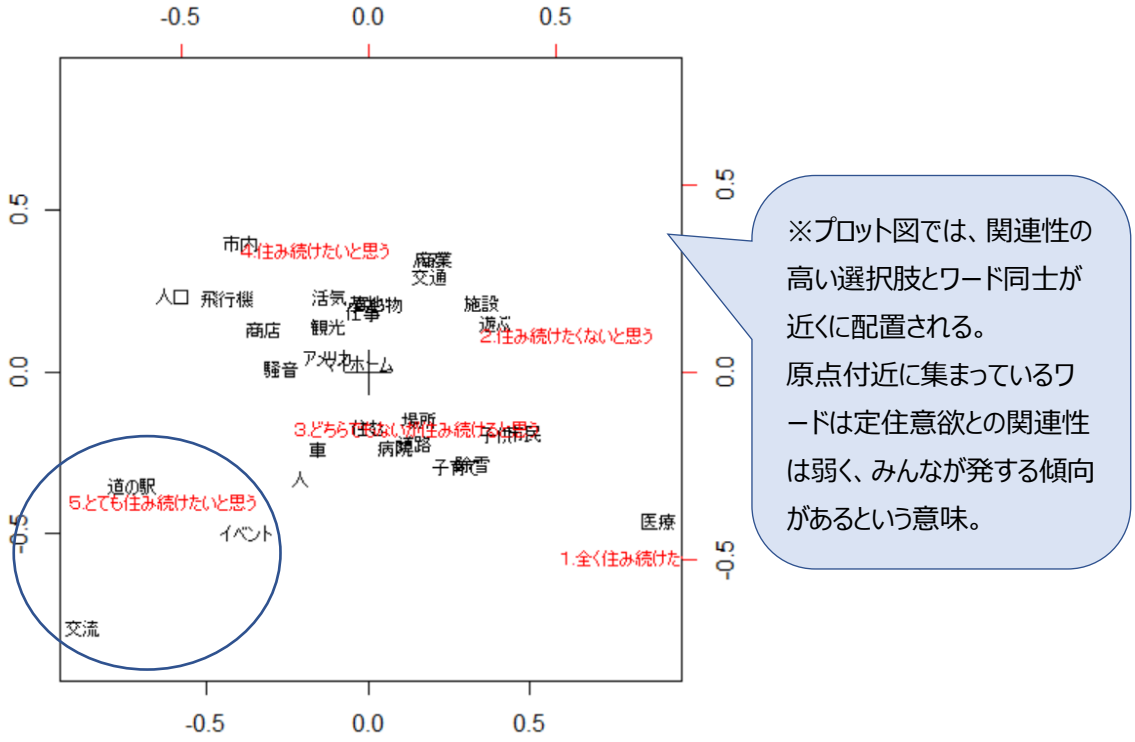
	全体	三沢ファン
商店	77	15
人	61	15
仕事	60	5
交通	58	2
施設	58	2
道路	56	6
騒音	55	11
基地	47	7
場所	43	5
子供	43	5
活気	40	5
買い物	40	5
イベント	40	14
病院	36	5
除雪	31	2
飛行機	26	5
遊ぶ	23	0
住む	22	4
市民	22	1
市内	21	3
医療	20	1
バス	20	1
人口	19	4
商業	19	1
アメリカ	17	3
車	16	4
道の駅	16	7
子育て	16	2
観光	14	2
マイホーム	12	2
交流	9	5

図表 9.2.2-2：三沢市の欠点＜三沢ファンの特徴ワード＞

三沢ファンの特徴を見るために 9.2.1 と同様コレスポンデンス分析を行ったところ、三沢ファンに特徴的なワードは**「イベント」「道の駅」「交流」**であった。

「イベント」に関しては、中途半端もしくはマンネリ化している、PR が十分ではない、駐車場が不足する、イベントがない時は中心街が寂しい、古くから続く行事を通したつながりが希薄と、三沢市の魅力でも頻出ワードとなっているイベントに三沢ファンは問題意識を持っている傾向が伺える。

「道の駅」では、道の駅（をはじめ様々な施設）が不便な場所にある、「交流」では国際交流の街なのに実際には交流することがないという声がファンから寄せられた。



三沢ファン＜イベント＞の主な意見

- **イベント**が多いと思います。夏に集中している気がする。出来るなら地域の方々がコミュニケーションができるよう、集中している**イベント**を月々に分けまんねりしないような**イベント**作りをしてほしい。若い人たちも、年ぱいの方も一緒にできる**イベント**。
- 商業や観光などポテンシャルは高いはずなのにアピールの仕方が下手だと思うし、**イベント**の数はたくさんあるがありすぎてどれも中途半端に思う。
- 米軍基地があり外国人も多いのに市のパンフレットなど英語が充実しておらず外国人にわかりにくい。そのため PR に欠ける。協力態勢に欠ける（国際交流**イベント**）ため似た様な**イベント**が複数あるため、**イベント**疲れする（関わる方、ボランティアなどだいたい同じ人が多い）。似た様な**イベント**は 1 回でまとめて、大きく開催した方が効果的。

- 中心街が何かの**イベント**がない時は人がいない。
- **イベント**等の行事の際の駐車場が少ない、ない！
- **イベント**の宣伝が行き渡っていないので、知らない事の方が多い。

三沢ファン＜道の駅＞の主な意見
- 街計画が悪い。街中から離れている「**道の駅**」、「国際交流センター」、「市立病院」など、色んなものがバラバラに配置されすぎ。
- **道の駅**みさわの場所が悪いと思います。もっと、市民や他の方々が行きやすい場所があったのではないでしょうか？
- **道の駅**の場所。
- **道の駅**、寺山記念館など、人が行きやすい所にない為、行かない。
- 公共施設があちこちにちらばりすぎている。1 つ 1 つは立派なのに集客に弱いのではないでしょうか。**道の駅**はもっと皆の利用しやすい所に移すべき。一部の人のみのちょっと恥ずかしい**道の駅**になってると思う。おいしい、おしゃれなレストランがない。
- 三沢の**道の駅**は遠すぎる。

三沢ファン＜交流＞の主な意見
- 全てにおいて対応が悪い。接客レベルが低すぎる。国際**交流**をする意欲はあるようだが実際していない。
- 国際**交流**をうたっている街なのに国際**交流**を感じることがない。

9.2.3　三沢市をどんな街にしたいか

多様な人々の交流や結びつき / にぎわいのある商店街(全体)
プラス雇用の場・若い人材定着・真の国際化＆基地以外の独自性(ファン)

「何でも出来るとしたら、あなたは三沢市をどんな街にしたいですか？」という質問に対する回答(自由記述)で多くの人が発していた頻出ワードの特徴は、下記の通りである。

全体では「人」「商店」「住む」「活気」がキーワード

9.2.2 三沢市の欠点と同様に頻出ワードの種類が非常に多く、様々に異なる多種多様な意見が寄せられたことを意味している。

回答者全体でみると、**「人」「商店」「住む」「活気」**というワードの数が多く、これは多くの回答者が考える三沢市の理想像を表すキーワードであるといえる。

「人」に関しては、人が集まる、若い人が定着できる、人とのふれ合いや交流のある街といった意見が多かった。「商店」はにぎわいのある商店街、「住む」は誰もが安心して住みやすい街(若者も子育て世帯も弱者も高齢者も外国人も)と、人々が街に集う、暮らしやすい街と

いう声が多くみられた。その結果、「活気」のある、活力ある街にしたいというのが全体として多い声であると考えられる。

上記の声をまとめると、単に人が多く集まる街というだけではなく、多様性のある人々の交流や人々の結びつき、絆を望んでいる傾向が伺える。

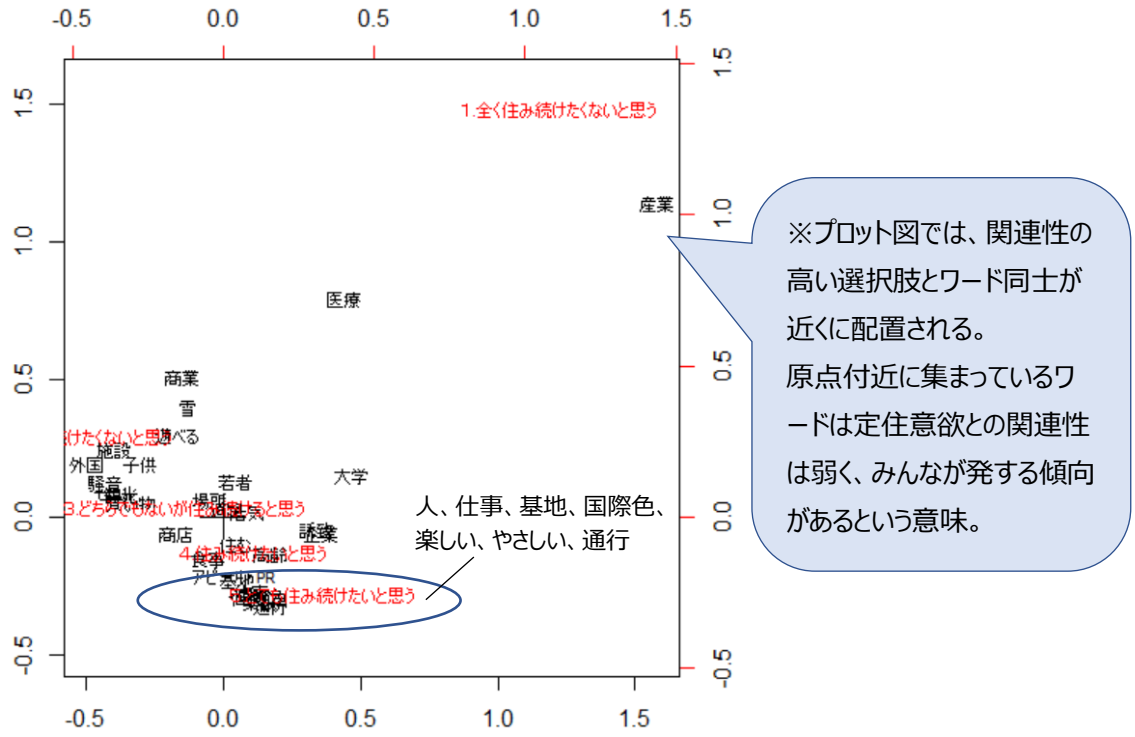
三沢ファンは「人　仕事　基地　国際色　楽しい　やさしい　通行」がキーワード

次に、三沢ファンに絞った頻出ワードを抽出したところ、全体でのランキングとは異なる傾向のワードがいくつかみられた。

図表 9.2.3-1：三沢市をどんな街にしたいか＜頻出ワードランキング＞

	全体	三沢ファン
人	66	17
商店	66	8
住む	64	8
活気	57	5
施設	56	3
子供	52	4
高齢	44	7
仕事	40	5
買い物	36	1
場所	35	5
道路	31	3
基地	31	4
国際色	31	7
楽しい	31	6
大学	22	2
遊べる	22	2
食事	21	4
若者	20	0
観光	20	1
外国	20	2
医療	19	1
モール	19	0
誘致	18	4
企業	17	3
雪	17	3
やさしい	16	2
商業	13	0
通行	12	3
産業	10	3
騒音	7	0
アピール・PR	6	1

図表 9.2.3-2：三沢市をどんな街にしたいか＜三沢ファンの特徴ワード＞



三沢ファンの特徴を見るために 9.2.1 と同様コレスポンデンス分析を行ったところ、三沢ファンに特徴的なワードは 7 つあり、**「人　仕事　基地　国際色　楽しい　やさしい　通行」**であった。

- 「人」＝人々が集まりふれ合い協力し合える、若い人が定着できる街
- 「仕事」＝雇用の場がたくさんある街
- 「基地」＝基地の街でありながら、それ以外の独自性もある街
- 「国際色」＝表向きだけではなく名実ともに国際交流の街
- 「楽しい」＝みんなが集まって楽しい街
- 「やさしい」＝弱者にやさしく偏見や差別がない(ユニバーサルな)街
- 「通行」＝一方通行を活用した商店街で楽しめる街

全体での「多様性ある人々の交流や結びつき」という意見に加え、雇用の場があり若い人材が残れる街、肌で感じられる国際交流の街を目指しつつ、基地以外の独自性もある街、一方通行(商店街)に人が集まり、みんなに優しく楽しい街にしたいというのがファンの特徴である。

三沢ファン＜人＞の主な意見

- 困っている**人**、苦しんでいる**人**を皆で助け合うことが出来る街にしたい。それが自然に安心できる住みよい街になります。
- 三沢市のモットーの国際都市三沢になるように、国際交流が表面的なものだけでなく、異文化にお

ける**人と人**が活発にコミュニュケーションを取り活気あふれる街になるように是非とも協力したいです。

- **人**が集まる所。
- おいらせ町に**人**が流れない様に、分譲地をおいらせより安く、魅力ある企業を入れて、大卒者の流出を防ぐ。
- 市の中心となる所を定め、大型の無料駐車場を作り、バスの発着場にする。旅立つ**人**、旅人が到着する所。そして出逢いの多い街。 ※下田のジャスコは成功したかも(中心地ではないが)

三沢ファン＜仕事＞の主な意見

- 自然はくずさず、でも"問 7"に書いた事項を検討してほしい。米軍や、航空祭だけが知られる三沢ではなく、山林を利用した、室内外で遊べるアスレチックのようなものがあれば、大人も子供もたのしめると思う。**雇用**も増えるのでは。
- **働ける場所**がたくさんある街にしたいと思います。
- 市にカジノを誘致し、名実共に国際文化都市にする。 観光客と**雇用**を確保できる。
- **働く場所**がたくさんあり、若い人が**仕事**しやすいように都市に行かなくてもいいようにしたい。

三沢ファン＜基地＞の主な意見

- **基地**産業都市(防衛大学の誘致　防衛産業企業の誘致)。
- 「三沢ならでは」と感じられる事を増やしたい。人口が少ないこと、田舎であることをプラスに考えられる、思えるような街にしたい。「米軍**基地**がある街」としてもっと PR し、他の市や県から客を呼び、街に利益をもたらせる。未来が見える街にしたい。

三沢ファン＜国際色＞の主な意見

- 大企業の製造部門を誘致し人口増を図り活気のある街にしたいです。そして**国際交流**をもっと盛んにしたいです。
- **国際色**を前面に出して、中途半端なことはしない。
- 東北一**国際交流**が盛んな街。
- 大学の創設(三沢の**国際色**豊かな雰囲気を生かして) インターナショナルスクール。

三沢ファン＜楽しい＞の主な意見

- お金に余裕のある高齢者が長期滞在できるレジャー施設と地産地消の食材でのすごくおいしいインパクトある多様な食事を**楽しめる**レストラン街。そして市内の温泉をめぐるしかけをつくる。→県内及び他府県からの集客を目指す。
- 気軽にいけて毎日が**楽しい**街。
- **楽しい**街。
- 子供も大人も**楽しめる**施設を作る。
- 人々が集まって、助けながら**楽しく**生活ができたら、いいと思う。 下水道を通してほしい。

三沢ファン＜やさしい＞の主な意見

- あらゆるものに理解のある先進的な街、偏った考え方をせず、差別等のない、**優しい**街。
- 老人、子供に**優しい**街にしたい。

三沢ファン＜通行＞の主な意見

- **一方通行**の所をもう少し改革し、自然も取り入れ、海・山は無理でも、店だけ並べるのではなく自然を生かして店を立て(温泉等も)国際色を生かし、老若男女が楽しめて、買物、又はホッと出来る様に…。又、もう少し市営住宅とか何か老人、経済苦しい人にも策を練れれば…(笑)私の様な者にも…。
- **一方通行**のお店がいつも人であふれるように東京などにある車の通らないアーケード商店街にしたい。
- **一方通行**で週末など、自由に場所をかしだして、フリーマーケットなどいいと思います。人が集まると思います。さみしくなった商店街も、にぎやかになると思います。

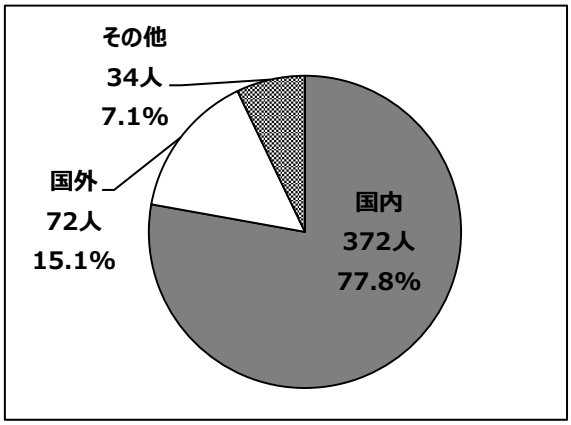
9.3 住みたい理想の都市

理想とする都市は国内なら仙台、国外ならハワイ
都会と田舎の良さが両方味わえるのが魅力

これまでは、三沢市のブランド化要因について尋ねる質問であったが、その他に「あなたが住みたい理想の都市(国内外問わず)」という質問を用意した。
これは、市民が「住んでみたい」と憧れるような実存する都市(＝ベンチマーク都市)とその理由を明らかにすることで、ベンチマーク都市の優れた点を三沢市のまちづくりに取り入れることを目的としている。

9.3.1 住みたい理想の都市名

図表 9.3.1-1：理想の都市＜国内外比率＞



国内外でみると、住みたい理想の都市として 8 割近くの回答者が国内の市町村名を挙げていた。

図表 9.3.1-2：住みたい理想の都市 <国内・国外ランキング>

次に都市名の内訳をみると、国外ではハワイ、国内では仙台を挙げる回答者が最も多かった。国内では、東京、横浜、北海道、沖縄、京都と観光地としてブランド化されている市町村がトップ 10 に入る傾向がある。これは知名度の高さから、どんな都市なのかが連想しやすいためと思われる。

国外トップ5			国内トップ10		
1位	アメリカ (うちハワイ14人)	23人	1位	宮城県(主に仙台)	92人
2位	シンガポール	7人	2位	青森県(八戸25人、三沢24人、おいらせ9人、十和田7人など)	71人
3位	スイス	6人	3位	東京都(主に東京)	51人
4位	オーストラリア	5人	4位	神奈川県(主に横浜)	22人
5位	スウェーデン	5人	5位	北海道(主に札幌か函館)	20人
<その他> ・イギリス(3人)　・フィンランド(2人) ・カナダ(3人)　・ブータン(2人) ・デンマーク(2人)　・フランス(2人) ・ドイツ(2人)　・マレーシア(2人)			6位	沖縄県(主に沖縄)	17人
			7位	京都府(主に京都)	17人
			8位	岩手県(主に盛岡)	10人
			9位	福岡県(主に福岡)	10人
			10位	千葉県(主に千葉)	8人

9.3.2 その都市を選んだ理由（トップ 10）

国外トップのハワイを選んだ理由としては、ほとんどが気候の良さであった。国内トップの仙台は、1 位:交通の便の良さを始め 2 位:商業・娯楽施設、3 位:都会と続くが、4 位:自然、5 位:都会と自然のバランスと、「都会(便利さ)と田舎(自然)の両方がある、いいとこどり」というのが仙台を選ぶ理由といえる。

図表 9.3.2-1：その都市を選んだ理由(ハワイ・仙台)

ハワイ

キーワード	人数
暖かい・気候が良い	11
自然・景色	2
その他	6
交通の便、人柄、治安の良さ、海、時間がゆっくり、都会	

宮城県(主に仙台)

キーワード	人数
交通の便の良さ	25
商業・娯楽施設	18
都会	11
自然	11
都会と自然のバランス	11
東京に近い	10
三沢より温暖・雪が少ない	10
買い物	9
仕事	7
教育	7

次に国内ランキングで 2 位に入った青森県(主に八戸、三沢)と、3 位の東京都(主に東京)、4 位の神奈川県(主に横浜)、5 位の北海道(主に札幌、函館)の理由トップ 10 は下記の通りである。

住みたい理想の都市として選ぶ理由は回答者によって様々であるが、青森県(三沢)以外で共通の理由として挙げられるのは交通の便の良さと都市の利便性である。
但し、神奈川県(主に横浜)の理由には「景観・街並み、都会すぎない、自然」、北海道(主に札幌・函館)の理由に「街並み・雰囲気」がランクインされており、ここでも「都会(便利さ)と田舎(自然)の両方がある、いいとこどり」を魅力と感じる傾向が伺える。

図表 9.3.2-2：その都市を選んだ理由(八戸・三沢・東京・横浜・札幌函館)

青森県(八戸)

キーワード	人数
気候の良さ・雪が少ない	5
店	4
仕事	3
活気	3
色々ある	2
その他	17
工場、遊ぶ所、インフラ、海・川、街の雰囲気、便利、子育て環境、人の出入り、交通の便、財源の使い方、買い物、取り組み姿勢、芸術・スポーツ、道路、静か、行きたい場所がある、住んでみたい	

青森県(三沢)

キーワード	人数
好き	2
都会と田舎のバランス	1
イベント	1
将来性	1
国際色	1
災害がない	1
人が親切で明るい	1
雪が少ない	1
欠点がない	1
住めば都	1

東京(主に東京)

キーワード	人数
交通の便	19
色々とそろっている	13
娯楽・商業施設	9
仕事	6
便利	5
店	4
活気	4
芸術・文化	4
医療	3
選択肢の多さ	3
楽しめる	3

神奈川県(主に横浜)

キーワード	人数
景観・街並み	3
都会すぎない	3
気候	3
交通の便	2
住みやすい	2
利便性	2
経済	2
自然	2
商業施設	2
店	2
個性・特長	2

北海道(主に札幌・函館)

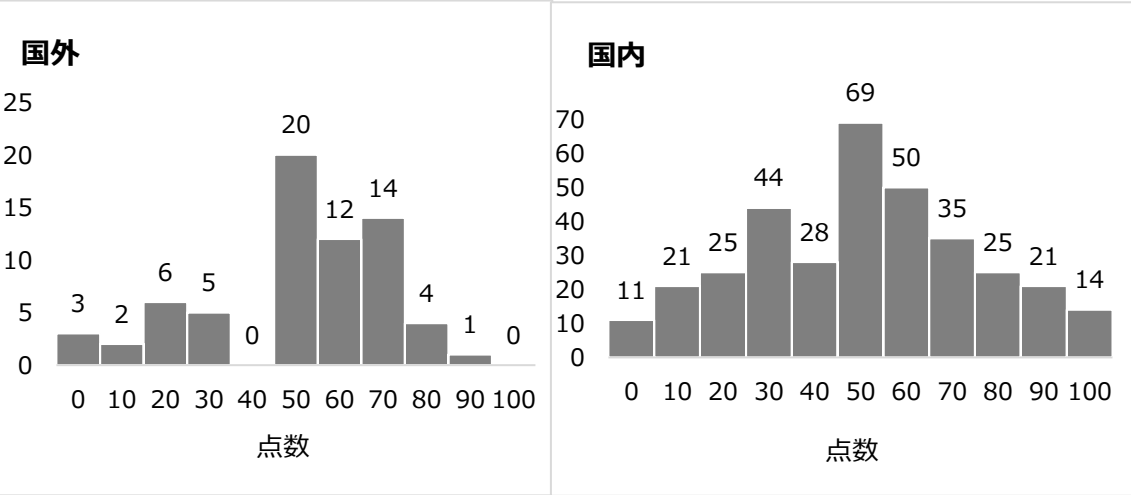
キーワード	人数
交通の便	7
観光	3
街並み・雰囲気	3
街の整備	2
大学	2
その他	24
静か、子どもの医療費、空港、道路、建物、地下道、物価、衣食住、行事、娯楽、環境、店、スポーツ、公務員、除雪、札幌に近い、季節感、活魚、文化、小樽運河、落ち着く、自然、人が集まる、食	

9.3.3 その都市と比較した三沢市の点数

理想の都市と比較して、三沢市の良いところも悪いところも評価

理想の都市に関する最後の質問では、先ほど挙げた国や市町村と比較して、三沢市は何点なのかを尋ねている。その点数を集計・分析した結果は下記の通りである。

図表 9.3.3-1：理想の都市と比較した三沢市の点数 <ヒストグラム>



国外、国内別にみると、全体的に 50 点代を山とした分布となっている。観光マーケティング調査で同様の質問をすると(これまでに一番感動した旅と比較した、今旅行に来ているエリアの点数)、80 点代や 90 点代が山となる傾向があり、観光の場合はエリアの良い場所を巡り良いところに目がいくためであると思われる。
本調査の場合は、50 点代が中心であるものの、50 点以上をつけた回答者の割合が高く(国外は 7 割以上、国内は 6 割以上)、これは理想の都市と比較して三沢市の良いところも悪いところも見ているためであると考えられる。

国内で上位にあがった都市別に点数の分布をみると、仙台・八戸・東京は全体と同じく 50 点代が中心で、東京は大都市のためか 50 点よりも低い点数をつけた回答者が多くなっているのが特徴である(横浜と札幌・函館は人数が少ないが参考値として掲載)。

図表 9.3.3-2：理想の都市と比較した三沢市の点数＜都市別＞

仙台	
0点	1
10点代	4
20点代	4
30点代	12
40点代	9
50点代	17
60点代	14
70点代	10
80点代	5
90点代	4
100点	2

八戸	
0点	1
10点代	0
20点代	1
30点代	4
40点代	0
50点代	9
60点代	4
70点代	0
80点代	2
90点代	3
100点	0

東京	
0点	4
10点代	6
20点代	7
30点代	5
40点代	7
50点代	9
60点代	4
70点代	4
80点代	5
90点代	0
100点	0

横浜	
0点	3
10点代	1
20点代	3
30点代	3
40点代	0
50点代	1
60点代	1
70点代	0
80点代	0
90点代	0
100点	0

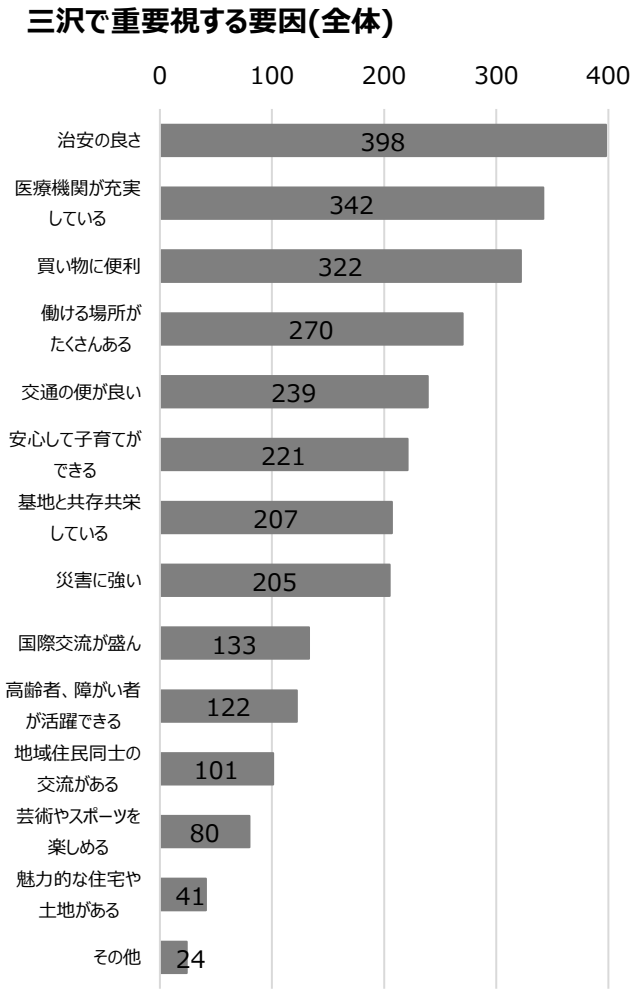
札幌・函館	
0点	0
10点代	1
20点代	2
30点代	2
40点代	0
50点代	4
60点代	1
70点代	2
80点代	0
90点代	1
100点	0

9.4 三沢市で暮らす上で重要視する要因

「治安の良さ」「医療機関が充実」「買い物に便利」

三沢ブランド化要因の質問では、「あなたが三沢市で暮らす上で重要視する事」を３つ選択してもらった。

図表 9.4-1：三沢市で暮らす上で重要視する要因 ※複数回答(3 つ選択)



	全体（人数）	三沢ファン（人数）
治安の良さ	398	50
医療機関が充実している	342	34
買い物に便利	322	32
働ける場所がたくさんある	270	22
交通の便が良い	239	19
安心して子育てができる	221	22
基地と共存共栄している	207	23
災害に強い	205	24
国際交流が盛ん	133	20
高齢者、障がい者が活躍できる	122	20
地域住民同士の交流がある	101	16
芸術やスポーツを楽しめる	80	10
魅力的な住宅や土地がある	41	4
その他	24	2

回答者全体と三沢ファンの特徴はだいたい一致しており、トップ３の要因も同じであった。三沢市で暮らす上で重要視する要因は両者ともに、１位:「治安の良さ」、２位:「医療機関が充実している」、３位:「買い物に便利」である。

治安が良く(身の危険を感じることなく)、病気になっても医療が充実しており、買い物が便利であるということは、**安全・安心に暮らせて生活に便利**であることを回答者は重視しているといえる。

10　調査結果①-2：子どもアンケート

9.調査結果①-1 の三沢ブランド化要因では、大人を対象として、市民が感じる三沢市の魅力(独自価値)を集計・分析した。次に、三沢ブランド化要因を探る同様の質問を、子どもを対象に設計し、市内の小学校でアンケート調査を実施した。三沢市の未来を担う子どもたちが良いと思っている三沢の魅力を大人とは違う視点で広くとらえるとともに、子どもたちが大人になっても住みたい三沢市を目指すことを目的としている。

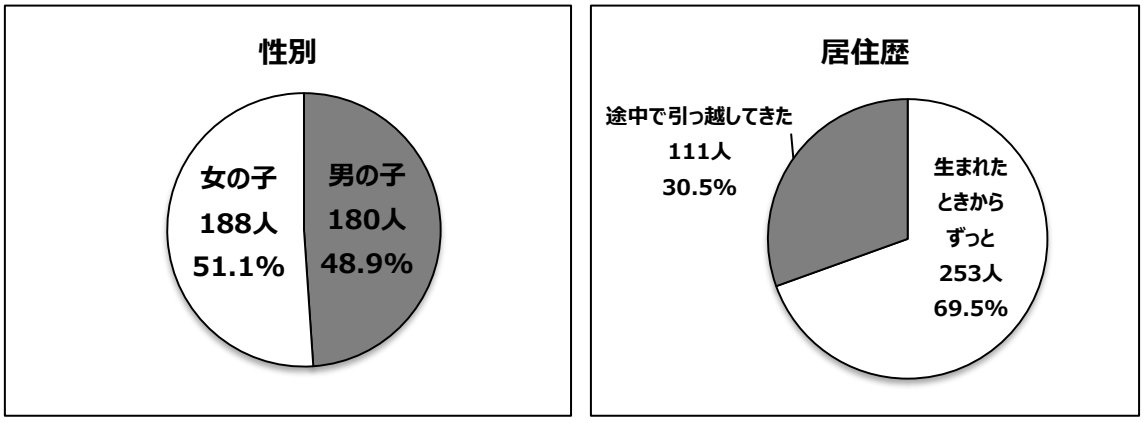
調査対象	・　三沢市内の小学校 6 年生（全数調査）
対象校	・　市内の小学校 7 校 （古間木小学校、上久保小学校、木崎野小学校、岡三沢小学校、三沢小学校、三川目小学校、おおぞら小学校）
回答数	・　368 名
調査方法	・　三沢市から各小学校を通じて配布・回収
調査時期	・　平成 29 年 1 月

10.1 属性(プロフィール)

男女は半々、7 割は三沢で生まれ育った子ども

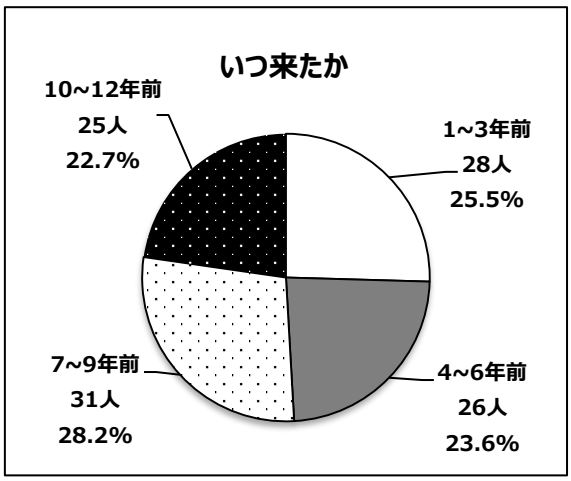
図表 10.1-1：性別と居住歴

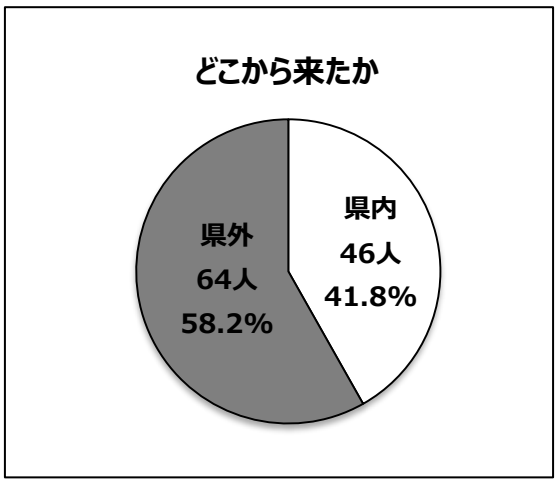
男女比はほぼ同数で、男女半々。「いつから三沢市に住んでいるか？」という質問に対しては、約 7 割が「生まれたときからずっと」で、3 割は「途中で引っ越してきた」。



図表 10.1-2：いつどこから三沢市に来たか

「途中で引っ越してきた」と回答した回答者(全体の 3 割)のうち、「いつ来たか(何年前)」についてはまちまちで、居住年数の浅い子から 10 年以上いる子まで分布が分かれた。
「どこから来たか」については、県内：県外=おおよそ４ ： ６という比率となった。



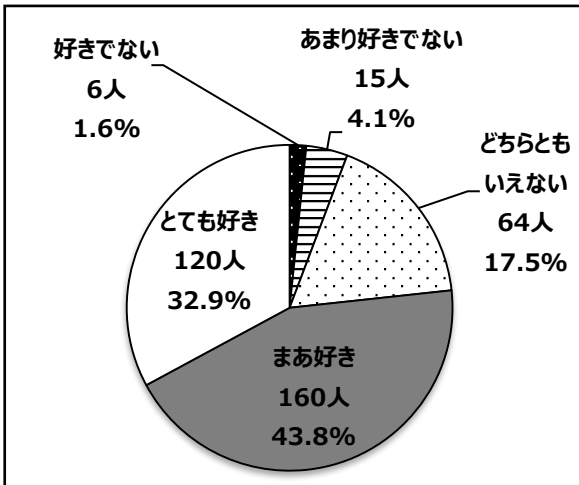


10.2 三沢市が好きか

３人に１人は三沢市が「とても好き」、「まあ好き」と合わせると８割弱が好き

図表 10.2-1：三沢市が好きか

「あなたは、いま住んでいる三沢市が好きですか？」という質問に対し、3 割強が「とても好き」、4 割強が「まあ好き」と回答した。子どもたちのおよそ 8 割は三沢市が好きだと思っており、「好きでない」「あまり好きでない」と回答したのはわずか 5.7%であった。大部分の子どもたちは、今住んでいる三沢市のことが好きであるといえる。



	人数	%
好きでない	6	1.6%
あまり好きでない	15	4.1%
どちらともいえない	64	17.5%
まあ好き	160	43.8%
とても好き	120	32.9%
総計	365	100.0%

10.3 子どもたちから見た三沢市

次に、三沢ブランド化要因のセクションで大人に聞いた「9.2 三沢市に対する評価(魅力、欠点、どんなまちにしたいか)」の内容を子ども用に設計し、下記の 6 つの質問を自由記述式で答えてもらった。

① **あなたが三沢市の好きなところ、または良いと思うところは何ですか？**
② **あなたが三沢市のきらいなところ、または良くなってほしいと思うところは何ですか？**
③ **三沢市を別の言葉で言い表すとしたら、どんな言葉がぴったり来ますか？**
④ **他のまちにはない、三沢市ならではのじまんを教えて下さい。**
⑤ **あなたが大人になった時、三沢でどんな職業につきたいと思いますか？（今ない職業でもいいです）**
⑥ **あなたが大人になった時、三沢がどんなまちになっていたらいいと思いますか？**

上記の質問に対し子どもたちが思っていることを言葉で自由に書いてもらい、その回答内容を分類・集計した。その特徴や傾向は下記の通りである。

10.3.1 三沢市の好きなところ

自然や緑、公園が多いところ
基地があり、祭りや行事を通じて地域やベースの人と交流できる
人が優しい・親切

三沢市の好きなところとして上位にあがったのは、「自然」、「祭りやイベント」、「外国人・基地」、「交流」、「人の良さ」、「安全・治安」であり、これは大人が思っている「9.2.1 三沢市の一番の魅力」の結果とほぼ同様の傾向となった。

大人同様に子どもたちも、自然豊かで国際色あふれる基地のまちであるところが好きだと思っており、地域や近所の人たちが優しく親切で、安全に暮らせるところも三沢市の好きな理由となっている。

図表 10.3.1-1：三沢市の好きなところ、または良いと思うところ＜分類結果＞

順位	分類ワード	全体	Q:三沢市が好きか？				
			好きでない	あまり好きでない	どちらともいえない	まあ好き	とても好き
1位	自然	50	0	0	7	21	22
2位	祭り・行事	45	0	0	9	19	16
3位	外国・外国人	37	2	0	5	17	13
4位	米軍基地	32	0	2	4	13	13
4位	交流	32	1	0	6	11	14
6位	優しい・親切	28	0	0	5	13	10
6位	公園	28	0	0	6	14	8
8位	安全・治安	14	0	2	1	7	4
8位	楽しい・面白い	14	0	0	2	6	6
10位	仲が良い	9	1	0	0	4	4
10位	英語	9	0	2	1	3	3
10位	静か	9	1	0	1	5	2

トップ 10 の主な意見

1 位：**自然**・・・自然が豊かである、緑が多い

2 位：**祭り・行事**・・・様々な行事がある（三沢祭り、航空祭、ハロウィン等）、行事を通して地域の人やベースの人と交流がある

3 位：**外国・外国人**・・・外国人が多い、外国人と交流がある、外国人と日本人の仲が良い

4 位：**米軍基地**・・・基地がある

4 位：**交流**・・・行事を通して地域の人や外国人と交流がある

6 位：**優しい・親切**・・・地域の人や近所の人が優しい

6 位：**公園**・・・公園が多い＝遊び場が多い

8 位：**安全・治安**・・・事件や犯罪が少ない

8 位：**楽しい・面白い**・・・行事がたくさんあって楽しい、公園が多くて楽しい、外国人が多くて面白い

10 位：**仲が良い**・・・近所の人や外国人と仲が良い

10 位：**英語**・・・早くから英語を学べる

10 位：**静か**・・・静かである

10.3.2 三沢市の嫌いなところ

特に多いのはごみのポイ捨て
デパートや店、遊べる場所がない
歩道の除雪をしてほしい

一方、三沢市の嫌いなところとしては、大人が感じる「9.2.2 三沢市の欠点」とは異なる傾向となった。「ごみのポイ捨て」が特に多く、次いで「デパートや店、遊べる場所」がないという声も多く寄せられた。5 位の「雪」は「歩道の除雪をしてほしい」、9 位の「工事」は「工事が多くて歩きづらい」というのが主な意見で、普段歩道を歩くことが多い子どもの視点から見た三沢市の嫌いなところであるといえる。

図表 10.3.2-1：三沢市の嫌いなところ、または良くなってほしいところ＜分類結果＞

順位	分類ワード	全体	Q:三沢市が好きか？				
			好きでない	あまり好きでない	どちらともいえない	まあ好き	とても好き
1位	ごみ	40	0	0	4	18	18
2位	ショッピングモール・デパート	26	0	3	5	7	11
3位	店	22	0	6	2	8	6
4位	遊び場・楽しめる場所	21	0	2	5	11	3
5位	雪	16	2	0	0	7	6
6位	建物	9	0	0	1	5	3
7位	騒音	8	0	0	1	6	1
8位	たばこ	7	0	1	2	3	1
9位	寒い	6	1	0	0	3	2
9位	商店街の活性化	6	0	0	1	4	1
9位	コンビニ	6	0	0	2	4	0
9位	工事	6	0	0	1	1	4

トップ 10 の主な意見
1 位：**ごみ**・・・ごみのポイ捨てをやめてほしい
2 位：**ショッピングモール・デパート**・・・イオンやイトーヨーカドーがほしい
3 位：**店**・・・店が増えてほしい（文具屋、服屋、楽譜屋等）
4 位：**遊び場・楽しめる場所**・・・公園以外に遊べる場がほしい、家族で楽しめる場がほしい
5 位：**雪**・・・歩道の除雪をしてほしい
6 位：**建物**・・・建物が少ない（誰でも利用できる便利な室内）
7 位：**騒音**・・・飛行機の騒音
8 位：**たばこ**・・・たばこのポイ捨てが多い

9 位：**寒い**・・・冬は寒い
9 位：**商店街の活性化**・・・商店街がにぎやかになってほしい
9 位：**コンビニ**・・・コンビニが少ない、コンビニしかない
9 位：**工事**・・・工事が多くて歩きにくい

10.3.3 三沢市を別の言葉で表すと

自然　平和　アメリカ　外国　国際　きれい

「三沢市を別の言葉で言い表すとしたら、どんな言葉がぴったりきますか？」という質問に対しては、アメリカや外国、国際といった言葉よりも 1 位「自然」、2 位「平和」を選んだ子どもたちが多い結果となった。
国際色豊かな基地のまちである以上に、子どもたちは三沢市を「自然豊かで平和に暮らせるまち」だと思っていることがここから読み取れる。
5 位の「きれい」は「ごみがなくきれい」が主な意見で、ごみが少ないきれいなまちであるからこそ、三沢市の嫌いなところで「ごみ(のポイ捨て)」を挙げる子が多かったものと思われる。

図表 10.3.3-1：三沢市を別の言葉で言い表すと＜分類結果＞

順位	分類ワード	全体	Q:三沢市が好きか？				
			好きでない	あまり好きでない	どちらともいえない	まあ好き	とても好き
1位	自然	48	1	1	13	17	14
2位	平和	30	0	1	6	12	11
3位	アメリカ・アメリカ人	19	1	2	2	6	8
4位	外国・外国人	18	0	0	2	11	5
5位	きれい	13	0	0	3	6	4
5位	国際	13	0	1	2	6	4
7位	楽しい	12	0	0	0	4	8
7位	田舎	12	2	3	4	2	1
7位	交流	12	0	1	2	6	3
10位	優しい	10	0	0	0	5	5
10位	緑	10	0	0	0	4	6
10位	豊か	10	0	0	1	4	5

トップ 10 の主な意見
1 位：**自然**・・・自然豊か、自然が多い
2 位：**平和**・・・事故のない平和な町、穏やかで平和な町、みんなが笑顔で平和な町
3 位：**アメリカ・アメリカ人**・・・アメリカンな町、アメリカ人が多い町、アメリカ人と楽しく交流できる明るい町

4 位：**外国・外国人**・・・外国のような町、外国人が多い町、外国人と交流が多い町
5 位：**きれい**・・・ごみのないきれいな町
5 位：**国際**・・・国際的な町、国際色豊かな町、国際交流な町
7 位：**楽しい**・・・祭りが楽しい、アメリカ人と楽しく交流ができる、みんなが仲良く楽しい
7 位：**田舎**・・・田舎である
7 位：**交流**・・・外国人や異文化交流
10 位：**優しい**・・・優しい人が多い
10 位：**緑**・・・緑が多い
10 位：**豊か**・・・住みやすい豊かな町

10.3.4 三沢市の自慢

基地があって祭り・イベントで外国人と交流できる
ビードル号、ごぼうなどの農産物、オオセッカ、温泉

「ほかのまちにはない、三沢市ならではの自慢を教えて下さい」という質問で圧倒的に多かった意見としては、「米軍基地があり、祭りやイベントで外国人と交流できる」というものであった。子どもたちにとって、やはり基地があり、外国人と交流できるところが三沢市ならではの自慢であるといえる。
ほかにもビードル号やごぼうなどの農産物、オオセッカ、温泉という意見も寄せられた。

図表 10.3.4-1：他のまちにはない、三沢市ならではの自慢＜分類結果＞

順位	分類ワード	全体	Q:三沢市が好きか？				
			好きでない	あまり好きでない	どちらともいえない	まあ好き	とても好き
1位	米軍基地	71	1	4	11	36	19
2位	外国・外国人	46	0	2	4	27	12
3位	ビードル号	21	0	1	2	10	8
4位	交流	15	0	0	1	10	4
4位	航空祭	15	0	0	1	12	2
6位	祭り・イベント	14	0	0	1	7	5
6位	ごぼう	14	0	1	2	10	1
8位	オオセッカ	12	0	0	3	5	4
9位	野菜・農産物	11	0	0	3	6	2
9位	温泉	11	2	1	3	0	5

トップ 10 の主な意見
1 位：**米軍基地**・・・基地があることで外国人と交流できる
2 位：**外国・外国人**・・・外国人が多い、外国人と交流がある

3 位：**ビードル号**・・・ミスビードル号の出発地
4 位：**交流**・・・外国人との交流
4 位：**航空祭**・・・航空祭がある
6 位：**祭り・イベント**・・・イベントが多い、外国人と一緒にイベントを楽しめる
6 位：**ごぼう**・・・ごぼうの生産量が日本一、ごぼうがおいしい
8 位：**オオセッカ**・・・オオセッカがいる
9 位：**野菜・農産物**・・・野菜がたくさん採れる、野菜がおいしい
9 位：**温泉**・・・温泉がたくさんある

10.3.5 三沢市で就きたい職業

全体的に医療系・公務員系が人気　男の子は農業もランクイン

「あなたが大人になった時、三沢でどんな職業につきたいと思いますか？」という質問に対しては、男女で傾向が大きく異なった。

男子：スポーツ選手、農業、ゲームクリエイター・プログラマー、料理人・シェフ
女子：保育園・幼稚園の先生、医師・看護師、薬剤師

全体的に現実的な(医療や公務員系の)職業が並び、特に女子は保育・医療に偏っているのが特徴である。三沢市で就けそうな職業から、就きたい職業を考える子が多いのではないかと考えられる。

図表 10.3.5-1：三沢市で就きたい職業 <分類結果(男女別)>

順位	分類ワード	全体	男の子	女の子
1位	保育士・幼稚園の先生	32	2	30
2位	医者	16	6	10
3位	看護師	15	0	15
4位	料理人・シェフ	13	9	4
5位	スポーツ選手	12	12	0
6位	市役所	11	7	4
6位	農業	11	10	1
6位	薬剤師	11	1	10
9位	教師	10	5	5
9位	ゲームクリエイター・プログラマー	10	10	0
9位	警察官	10	4	6

10.3.6 どんなまちになって欲しいか

自然豊かなまちになってほしい派 VS 都会になってほしい派
ごみがなくきれいなまち、にぎやかで活気のあるまち、平和なまち、今のままでいてほしい

「あなたが大人になった時、三沢がどんなまちになっていたらいいと思いますか？」という質問に対しては、1 位「自然・緑が多いまち」、2 位「東京のような大都市、都会」と真逆の姿に分かれる結果となった。三沢市の嫌いなところの 2 位・3 位が「デパート・店が少ない」であるため、都会へのあこがれを感じる子が多いのかもしれない。

他にも、ごみがなくきれいなまち、にぎやかで活気があるまち、犯罪などがなく平和なまち、今と変わらないでいてほしいという意見が多く寄せられた。

図表 10.3.6-1：大人になった時、三沢がどんなまちになっていたらいいか＜分類結果＞

順位	分類ワード	全体	Q:三沢市が好きか？				
			好きでない	あまり好きでない	どちらともいえない	まあ好き	とても好き
1位	自然・緑が多い	34	0	0	5	18	11
2位	大都市・都会・東京	26	0	5	5	10	5
2位	きれい	26	0	0	8	5	13
4位	にぎやか・活気	25	1	0	1	10	13
4位	今と変わらない	25	1	0	3	11	10
6位	明るい	19	1	1	1	10	6
7位	平和	18	0	1	1	12	4
8位	犯罪・事故・被害がない	17	0	2	4	6	5
9位	人口増	16	0	0	2	5	9
10位	優しい・親切	15	0	0	2	7	6

トップ 10 の主な意見

1 位：**自然・緑が多い**・・・自然が多い、豊か
2 位：**大都市・都会・東京**・・・東京のような都会、大都市
3 位：**きれい**・・・自然がきれい、工事が終わって道路や家がきれい
4 位：**にぎやか・活気**・・・たくさんお店がある、子どもが遊んでいる、商店街、人が多い
5 位：**今と変わらない**・・・今と変わらないでいてほしい
6 位：**明るい**・・・店がたくさんある、明るい人が多い
7 位：**平和**・・・争いがなく平和なまち
8 位：**犯罪・事故・被害がない**・・・安全に暮らせるまち

9 位：**人口増・・・**人口が増えてにぎやか
10 位：**優しい・親切・・・**人が優しい、親切、外から来た人に対して優しい

10.4 子どもアンケート まとめ

これまでの子どもアンケートの結果から、大人との共通点・子どもの独自視点をまとめたのが次の表である。

図表 10.4-1：子どもアンケートまとめ ＜大人との共通点と子ども独自視点＞

	共通点		子どもの独自視点	
好き	**・自然**	自然や緑がたくさん	**・公園**	公園がたくさんある
	・外国	外国人が多い、外国人と仲が良い	**・楽しい**	楽しいイベントが多い
	・交流	外国人との交流	**・平和**	事件や犯罪のない、穏やか
	・基地	基地がある		
	・イベント	三沢ならではの祭り・イベント		
きらい	**・商店街**	店が少なく活気がない	**・ごみ、たばこ**	ポイ捨てが多い
	・騒音	飛行機の音がうるさい	**・遊び場**	公園以外に遊べる場所が少ない
			・除雪	歩道の除雪をしてほしい
			・遊び場	公園以外の遊び場が少ない
理想	**・優しい**	人が優しい、親切	**・きれい**	ごみがなくきれい
	・活気	人が多い、商店街がにぎわっている	**・今と変わらない**	今と変わらずにいてほしい
			・平和	事件や犯罪のない

子どもの独自視点で特徴的なのは、「**ごみのないきれいなまち**になってほしい(だからごみのポイ捨てが嫌い)」、「**公園がたくさんある**ところが好きだが、**公園以外の遊び場が少ない**」。「**歩道の除雪**をしてほしい(歩きづらい)」といったものであった。

大人と共通するのは、「**基地があって外国人と交流できる**」、「**自然・緑が多い**」、「**商店街に活気がない**」、「(地域の)**人が優しい、親切**」といった点である。

「(事件や犯罪なく)**平和**」という意見が上位にランクインしているのは子どもに特徴的だが、9.4 三沢市で暮らす上で重要視する要因の 1 位が「治安の良さ」であることから、大人も子どもも**「安全・安心に暮らせる平和なまち」**が三沢市の魅力だと感じているといえる。

また、「どんなまちになってほしいか」で都会派と自然派に分かれたのも、大人にみられた「**都会と田舎と両方あるのが魅力**」と感じる点や、「**安全・安心に暮らせて、かつ生活に便利**」を重視する点と共通していると考えられる。

11　調査結果②：行政サービスに対する満足度

これまでの三沢ブランド化要因のセクションから見えてきた、市民から見た「三沢市の独自価値」と「理想とする三沢市の姿(=ビジョン)」は下記の通りである。

＜独自価値＞⇒高める	**＜欠点＞**⇒改善＆強みに変える
・　国際色豊かな基地のまち ・　自然が近いのに自然災害が少ない ・　安全・安心に暮らせる平和なまち	・　商店街に活気がない ・　交通の便が悪い ・　仕事がない

＜根底にあるニーズ＞
地方の良さ(自然豊か・安全安心)は失わずに、生活は便利(買い物、交通、仕事)であってほしい

＜理想とする三沢市の姿＞
- 多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち
- 人々(日本人も外国人も)がふれ合うにぎやかな商店街
- 雇用の場があり、若者が定着できるまち

5.全体設計と基本的考え方で示した通り、住民に選ばれる三沢市になるためには、この独自価値により他市町村との差別化を図ることがキーとなる。但し、そもそもの市民の根本欲求が満たされていない状態で、この独自価値だけで積極的な定住意欲を持続させることは困難である。

そこで、本セクションでは、**三沢市での定住意欲を高める上で土台となる行政サービスの満足度**に焦点を当てる。マーケティングの基本的考えに基づき、全体の底上げではなく(すべての顧客を喜ばせるのはリソース的に不可能)、得たい成果(定住先として選ばれる)に基づいて、各事業の位置づけと対策のポイントを整理する。

ここでは、定住意欲の高い三沢ファンを増やすための事業の優先順位を行うとともに、満足・不満足の実態を明らかにし、限られたリソース(お金・人員・時間)を有効に活用して三沢市の独自価値を高める相乗効果をもたらすことをねらいとしている。

図表 11-1：質問項目（６つの事業領域と 40 の質問項目）

Q12:行政サービスへの満足度は下記の６つの事業領域から成り、それぞれの事業領域において行政サービスの内容を表す 40 の質問項目で構成される。

１．健康・子育て・福祉	２．自然・基地・安全	３．国際化・教育・文化
1-① 健康づくりへの支援 1-② 各種健康診断事業の実施 1-③ 医療体制の整備・充実 1-④ 介護サービスなどの高齢者への支援 1-⑤ 保育サービス、子育てへの支援 1-⑥ 障がい者への支援 1-⑦ 地域福祉体制、福祉活動への支援	2-① 自然環境の保全活動 2-② ごみの減量化、再資源化の推進 2-③ 公害防止活動、環境保全活動の推進 2-④ 基地対策（騒音対策）の活動 2-⑤ 交通安全対策の推進 2-⑥ 防犯対策の推進 2-⑦ 消費者保護対策の推進 2-⑧ 防災対策の推進 2-⑨ 消防、救急体制の推進	3-① 国際交流活動への支援 3-② 小中学校の教育環境の整備 3-③ 多様な生涯学習環境の提供 3-④ 芸術・歴史・文化に親しむ機会の提供 3-⑤ スポーツに親しむ機会の提供
４．雇用・産業振興	５．交通・都市インフラ	６．協働まちづくり
4-① 雇用・就業の場の確保 4-② 新たな産業・企業の誘致 4-③ 農業の振興 4-④ 水産業の振興 4-⑤ 商業の振興 4-⑥ 中心市街地活性化の取り組み 4-⑦ 観光の振興	5-① バスの利用促進・運行への支援 5-② 住宅環境の整備 5-③ 公園環境の整備 5-④ 他市町村への幹線道路の整備 5-⑤ 安全で通行しやすい身近な生活道路の整備 5-⑥ 安全で安定した上水道の整備 5-⑦ 下水道の整備	6-① 地域団体の活動への支援 6-② 市役所と皆さんが力を合わせたまちづくり 6-③ 男女共同参画を推進したまちづくり 6-④ 広報みさわやケーブルテレビによる情報発信 6-⑤ 市民の皆さんの視点に立った行政運営

11.1 CS ポートフォリオ分析(定住意欲×満足度マトリックス)

本セクション(行政サービスへの満足度)では、顧客満足度調査でよく利用される「CS ポートフォリオ分析」を行い、満足度のみの単純集計ではなく定住意欲 × 満足度というマトリックスを作成した。

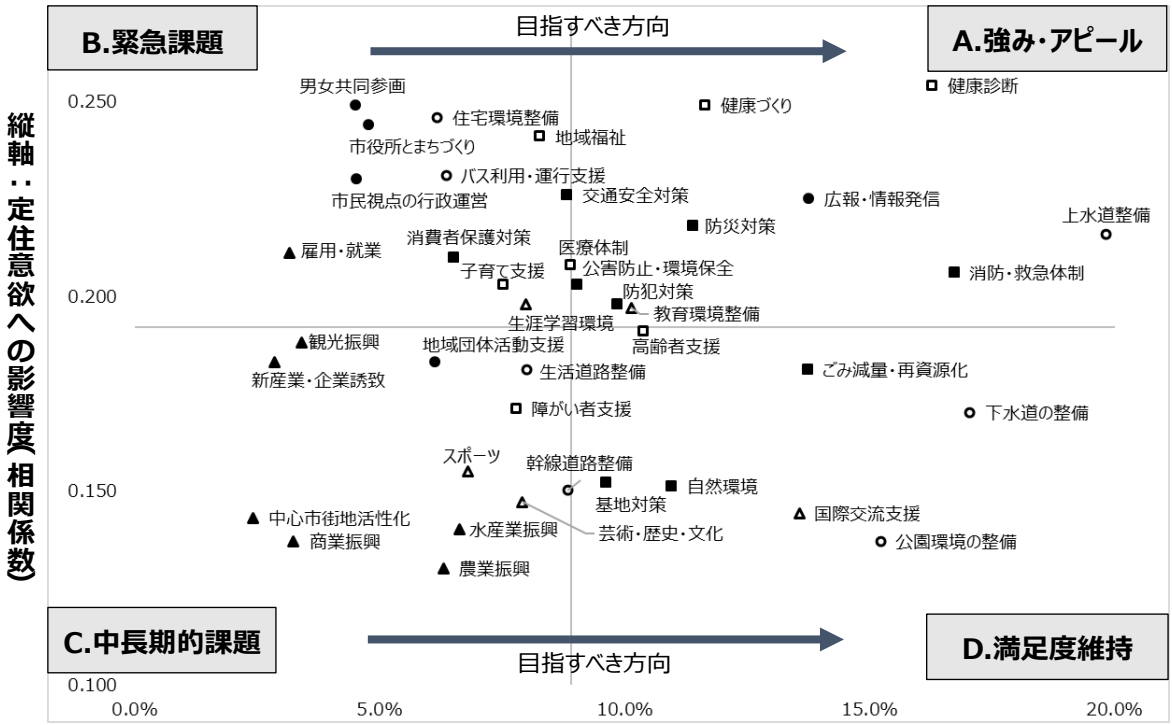
すべての事業において市民全員を喜ばせるのは現実的、リソース的に不可能であるため、より定住意欲へ影響する事業で、満足度の低い事業を優先させ、そこに注力していきましょうというのが基本的考え方である。

優先度の高い事業へよりリソースを配分し、満足度を高めて市民の不満足を解消するとともに、さらに三沢市の独自価値を高める事業内容を盛り込むことで、高い定住意欲(＝目指す成果)をもたらすことが可能となる。

図表 11.1-1：CS ポートフォリオ分析によるマトリックス

□：1.健康・子育て・福祉　/■：2.自然・基地・安全　/△：3.国際化・教育・文化

▲：4.雇用・産業振興　　/○：5.交通・都市インフラ /●：6.協働まちづくり



※縦軸は「Q6:定住意欲(今後も三沢市に住み続けたいか？)」との相関係数であり、**定住意欲への影響度**を表す。0 ～ 1 の範囲で「 1 に近ければ近いほどプラスの関連性が高い＝満足度が高いほど定住意欲も高い」といえる。

※横軸は、Q12:行政サービスへの満足度で「満足している(最高評価)」と回答した人の割合で、**市民の満足度**を表す。0%～100%の範囲で「100%に近いほど最高評価を付けた人が多い」となる。

※縦軸の「定住意欲への影響度(相関係数)」は 0.130～0.254 と全体的に低くなっており、これは行政サービスが定住意欲に及ぼす影響が弱いというよりも、間接的に影響している不満足要因(ないと大きな不満)であり、定住意欲に強く影響するのは満足要因(あると大きな満足＝三沢ブランド化要因)であるためと考えらえる(P.7 参照)。

※例えば、民間企業や店舗を対象とした CS ポートフォリオ分析の場合は「リピート意欲への影響度」は 0.50 前後と高くなる傾向があり、これは「接客態度」や「品揃え」といったリピートに直結する満足度を聞いているためである。

図表 11.1-2：マトリックス上の 4 つの領域

＜B.緊急課題＞の事業 **◎定住への影響度が比較的強いのに、** **×満足度が低い** 今すぐ、リソースをかけて対策を打つ 三沢ファン・定住希望者のニーズが最優先	＜A.強み・アピール＞の事業 **◎定住への影響度が比較的強く、** **◎満足度も高い** 改善ではなく、外に対してアピールする (良さを知ってもらう)
＜C.中長期課題＞の事業 **×定住への影響度は比較的弱いものの、** **×満足度も低い** 市民全体から「不満」であるとのメッセージ すぐに結果が出ないので今から取り組む	＜D.満足度維持＞の事業 **×定住への影響度は比較的弱いが、** **◎満足度が高い** 必要以上にリソースをかけず、今の満足度 をキープする

11.2 マトリックス×全体満足度による事業の優先順位

ここでは、行政サービスへの満足度に関する 6 事業分野、40 の質問に対して、全回答者の満足度から 4 段階のランキングを行った（評価の高い順から、◎、○、△、×）。

評価の基準は、2 つの条件を満たしているかどうかである。まず、条件①として「満足している」もしくは「不満である」がそれぞれ 10%以上かどうかをみる。次に、条件②として「満足している」と「やや満足している」の合計、もしくは「不満である」と「あまり満足していない」の合計がそれぞれ 50%以上かどうかをみる。最終的に、①と②の組み合わせで評価する。

図表 11.2-1：市民満足度によるランキング

評価の度合い ↑

評価	条件①(優先)		条件②
◎	「満足している」 10%以上	かつ	「満足している」 ＋ 「やや満足している」 ＝ 50%以上
○		もしくは	
△	「不満である」 10%以上	もしくは	「不満である」 ＋ 「あまり満足していない」 ＝ 50%以上
×		かつ	

図表 11.2-2：マトリックスと全体満足度を組み合わせた事業の優先順位

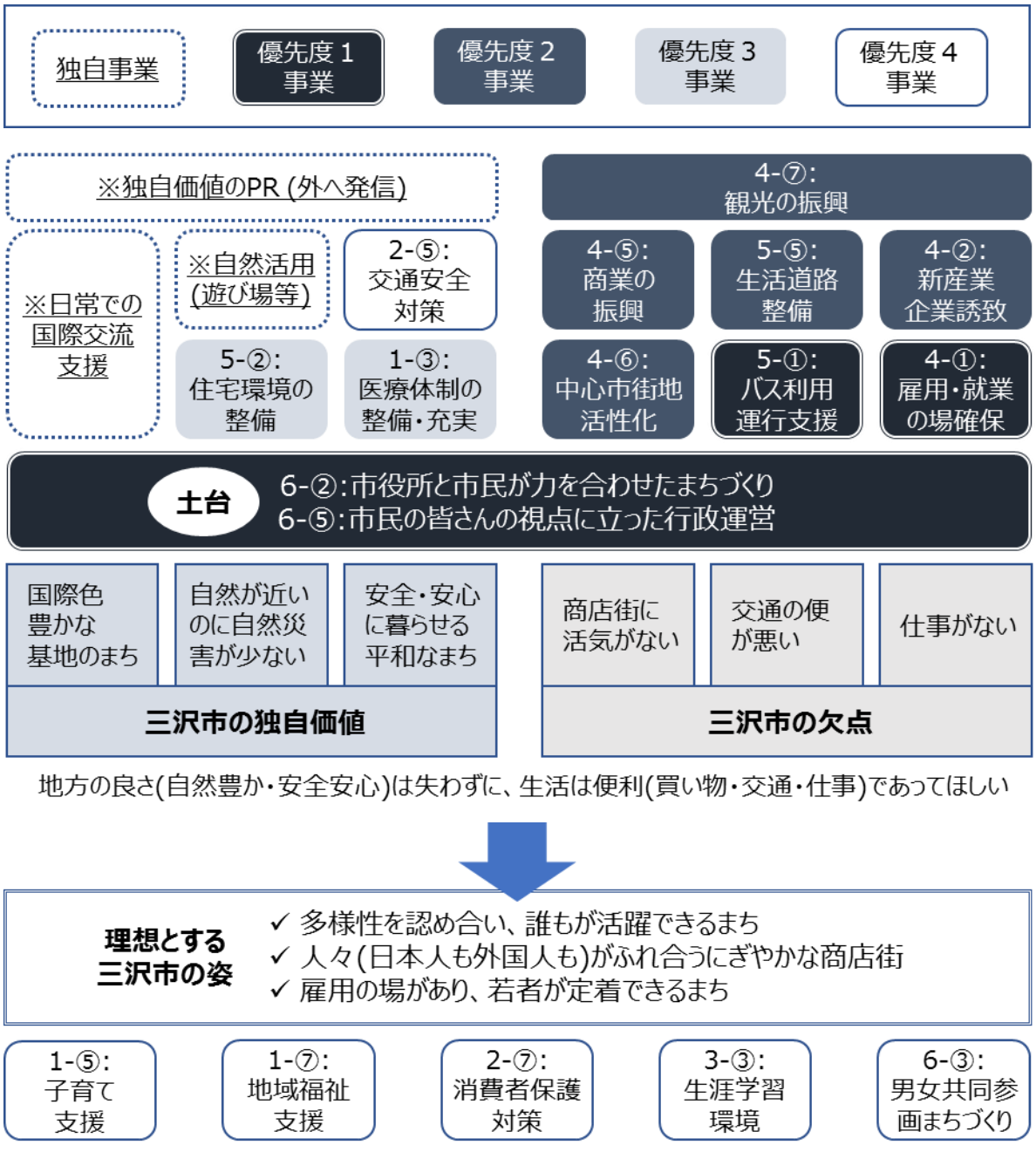
マトリックスの４領域と全体満足度による事業の優先度は下記の通りである。

1.健康・子育て・福祉	2.自然・基地・安全	3.国際化・教育・文化
4.雇用・産業振興	5.交通・都市インフラ	6.協働まちづくり

＜B.緊急課題＞の事業 ×6-②:市役所とまちづくり ×6-⑤:市民視点の行政運営 ×5-①:バス利用・運行支援 ×4-①:雇用・就業の場確保 **優先度1** △5-②:住宅環境の整備 △1-③:医療体制の整備・充実 **優先度3** 〇6-③:男女共同参画 〇2-⑦:消費者保護対策 〇2-⑤:交通安全対策 〇1-⑤:子育て支援 〇1-⑦:地域福祉支援 〇3-③:生涯学習環境 **優先度4** **やや満足↓満足へ**	**＜A.強み・アピール＞の事業** ◎1-②:健康診断 ◎1-①:健康づくり ◎6-④:広報・情報発信 ◎5-⑥:上水道整備 ◎2-⑨:消防・救急体制 ◎2-⑧:防災対策 ◎3-②(小中学校)教育環境整備 〇2-⑥:防犯対策 〇2-③:公害防止・環境保全
＜C.中長期課題＞の事業 ×4-②:新産業・企業誘致 ×4-⑥:中心市街地活性化 ×4-⑤:商業の振興 ×4-⑦:観光の振興 ×5-⑤:生活道路整備 **優先度2** △5-④:幹線道路整備 〇6-①:地域団体活動支援 〇4-③:農業の振興 〇4-④:水産業の振興 〇3-④:芸術・歴史・文化 〇3-⑤:スポーツの機会 〇1-⑥:障がい者支援	**＜D.満足度維持＞の事業** ◎5-⑦:下水道の整備 ◎5-③:公園環境の整備 ◎3-①:国際交流支援 ◎2-②:ごみ減量・再資源化 ◎2-①:自然環境の保全 ◎1-④:高齢者支援 △2-④:基地・騒音対策

図表 11.2-3：全体像まとめ(三沢ブランド化要因×行政サービスへの満足度)

これまでの調査結果をまとめた全体像は下記の通りである。



三沢市の独自価値を高め、欠点を改善＆強みに変えて、理想とする姿を実現するためのベースとなる方向性がこちらの図となる。

11.3 行政サービスに対する満足度 <全体の特徴>

これまでの調査結果から、三沢市が定住先として選ばれるためのブランド化要因と行政サービス(三沢市で行われている事業)の優先順位が明らかとなった。

ここからは、行政サービスへの満足度や市民の意識・行動についてその傾向・特徴を詳しくみるために、個々の質問の結果と傾向ポイントを解説する。

11.3.1 健康・医療・福祉分野

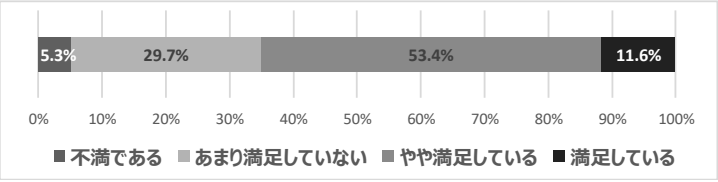
「③医療体制の整備・充実」を除いた全ての項目が、◎もしくは○であった。特に、「①健康づくりへの支援」「②各種健康診断事業の実施」は「満足している」が 10%を超え、健康支援事業に対する満足度の高さが伺える。
行政による日ごろの健康支援には満足であるものの、病気・怪我になった際の**「優先度３：③医療体制の整備・充実」**には不満と感じる回答者が多い。9.4 三沢市で暮らす上で重要視することの 2 位が「医療機関が充実している(全体でも三沢ファンも)」であることからも、医療体制については対策を講じ満足度を上げる必要があるといえる。
優先度４の「⑤保育サービス、子育てへの支援」や「⑦地域福祉体制、福祉活動の支援」については、全体満足度は低くないものの定住者を増やす上で重要な「B.緊急課題エリア」にプロットされており、ターゲットを定めて満足度を向上させる必要がある。

１．健康・子育て・福祉	マトリックス	全体満足度	優先度
１-① 健康づくりへの支援	A	◎	
１-② 各種健康診断事業の実施	A	◎	
１-③ 医療体制の整備・充実	B	△	3
１-④ 介護サービスなどの高齢者への支援	D	◎	
１-⑤ 保育サービス、子育てへの支援	B	○	4
１-⑥ 障がい者への支援	C	○	
１-⑦ 地域福祉体制、福祉活動への支援	B	○	4

図表 11.3.1-1：満足度の内訳 <健康・子育て・福祉 関連>

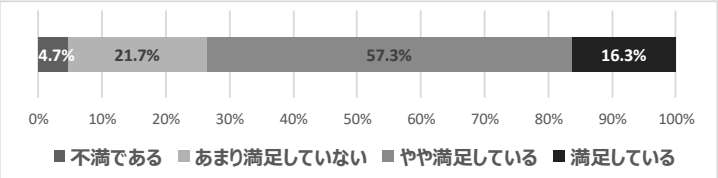
【1-①:健康づくりへの支援】

Q12_1-①	人数(人)	割合(%)
不満である	46	5.3%
あまり満足していない	260	29.7%
やや満足している	468	53.4%
満足している	102	11.6%
総計	876	100.0%



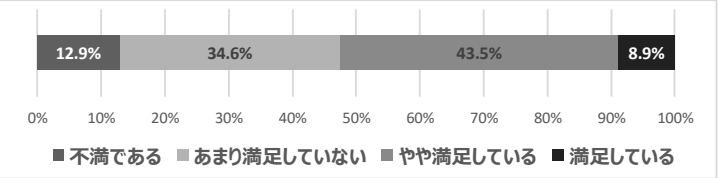
【1-②:各種健康診断事業の実施】

Q12_1-②	人数(人)	割合(%)
不満である	41	4.7%
あまり満足していない	189	21.7%
やや満足している	500	57.3%
満足している	142	16.3%
総計	872	100.0%



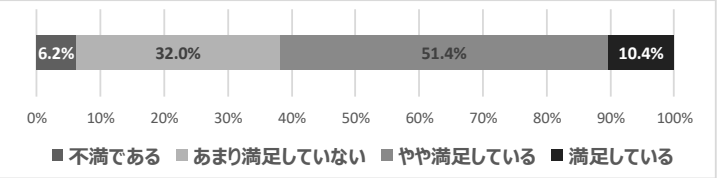
【1-③:医療体制の整備・充実】

Q12_1-③	人数(人)	割合(%)
不満である	112	12.9%
あまり満足していない	300	34.6%
やや満足している	377	43.5%
満足している	77	8.9%
総計	866	100.0%



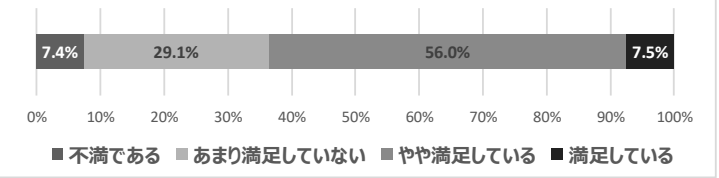
【1-④:介護サービスなどの高齢者への支援】

Q12_1-④	人数(人)	割合(%)
不満である	52	6.2%
あまり満足していない	268	32.0%
やや満足している	430	51.4%
満足している	87	10.4%
総計	837	100.0%



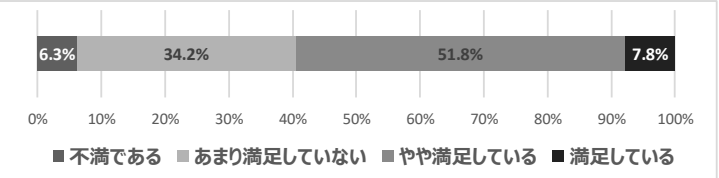
【1-⑤:保育サービス、子育てへの支援】

Q12_1-⑤	人数(人)	割合(%)
不満である	59	7.4%
あまり満足していない	232	29.1%
やや満足している	447	56.0%
満足している	60	7.5%
総計	798	100.0%



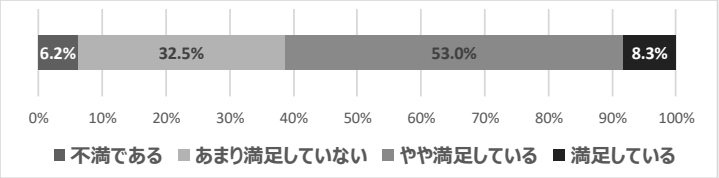
【1-⑥:障がい者への支援】

Q12_1-⑥	人数(人)	割合(%)
不満である	50	6.3%
あまり満足していない	272	34.2%
やや満足している	412	51.8%
満足している	62	7.8%
総計	796	100.0%



【1-⑦:地域福祉体制、福祉活動への支援】

Q12_1-⑦	人数(人)	割合(%)
不満である	51	6.2%
あまり満足していない	267	32.5%
やや満足している	436	53.0%
満足している	68	8.3%
総計	822	100.0%



11.3.2 自然環境/基地対策/生活安全/防災/消防・救急分野

「①自然環境の保全活動」や「⑧防災対策の推進」、「⑨消防、救急体制の推進」において「満足している」が 10%を超え、満足度が高い。ほとんどの質問において「不満である」の

割合が１桁と少ない一方で、「④基地対策(騒音対策)の活動」のみは「不満である」が16.8%と突出して高いのが特徴となっている。但し、基地対策は「満足している」と「やや満足している」を合わせると 50%以上と全体的に低いわけではないので、これは一部の回答者が特に不満を持っていると考えられる。

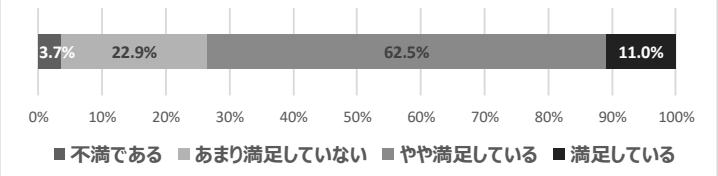
むしろ定住者を増やす上で重要なのは「B.緊急課題エリア」にプロットされている**「優先度４:⑤交通安全対策の推進」**、**「優先度４:⑦消費者保護対策の推進」**であり、安全・安心に暮らせる街が三沢市の独自価値であるため「やや満足している」から「満足している」人を増やしていく対策が必要といえる。

２．自然・基地・安全	マトリックス	全体満足度	優先度
２-① 自然環境の保全活動	D	◎	
２-② ごみの減量化、再資源化の推進	D	◎	
２-③ 公害防止活動、環境保全活動の推進	A	○	
２-④ 基地対策（騒音対策）の活動	D	△	
２-⑤ 交通安全対策の推進	B	○	4
２-⑥ 防犯対策の推進	A	○	
２-⑦ 消費者保護対策の推進	B	○	4
２-⑧ 防災対策の推進	A	◎	
２-⑨ 消防、救急体制の推進	A	◎	

図表 11.3.2-1：満足度の内訳＜自然・基地・安全 関連＞

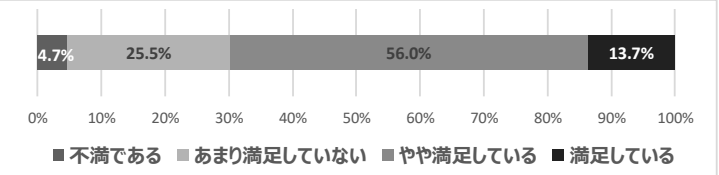
【2-①:自然環境の保全活動】

Q12_2-①	人数(人)	割合(%)
不満である	31	3.7%
あまり満足していない	192	22.9%
やや満足している	525	62.5%
満足している	92	11.0%
総計	840	100.0%



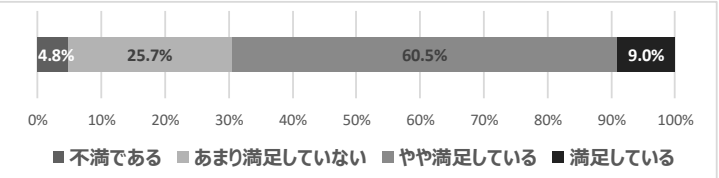
【2-②:ごみの減量化、再資源化の推進】

Q12_2-②	人数(人)	割合(%)
不満である	41	4.7%
あまり満足していない	221	25.5%
やや満足している	485	56.0%
満足している	119	13.7%
総計	866	100.0%



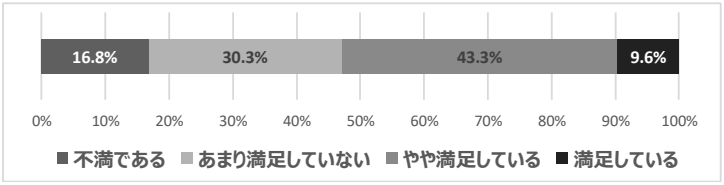
【2-③:公害防止活動、環境保全活動の推進】

Q12_2-③	人数(人)	割合(%)
不満である	40	4.8%
あまり満足していない	213	25.7%
やや満足している	502	60.5%
満足している	75	9.0%
総計	830	100.0%



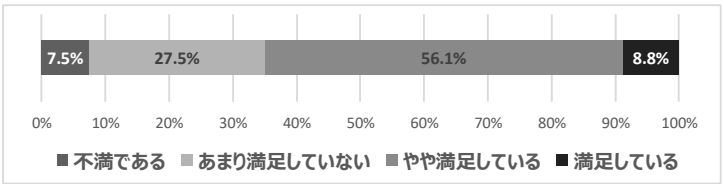
【2-④:基地対策（騒音対策）の活動】

Q12_2-④	人数(人)	割合(%)
不満である	145	16.8%
あまり満足していない	261	30.3%
やや満足している	373	43.3%
満足している	83	9.6%
総計	862	100.0%



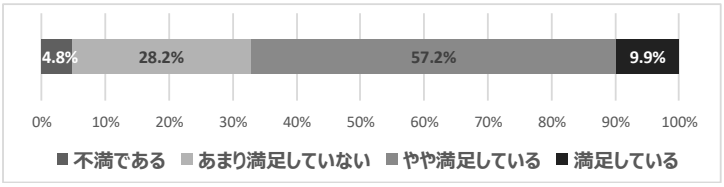
【2-⑤:交通安全対策の推進】

Q12_2-⑤	人数(人)	割合(%)
不満である	64	7.5%
あまり満足していない	234	27.5%
やや満足している	477	56.1%
満足している	75	8.8%
総計	850	100.0%



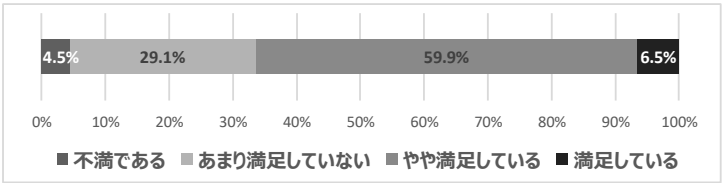
【2-⑥:防犯対策の推進】

Q12_2-⑥	人数(人)	割合(%)
不満である	40	4.8%
あまり満足していない	237	28.2%
やや満足している	482	57.2%
満足している	83	9.9%
総計	842	100.0%



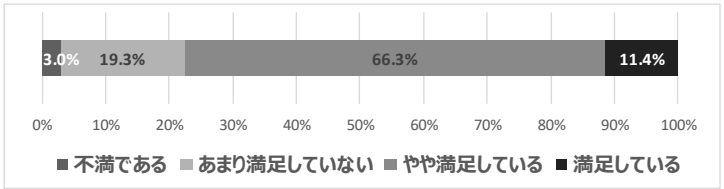
【2-⑦:消費者保護対策の推進】

Q12_2-⑦	人数(人)	割合(%)
不満である	37	4.5%
あまり満足していない	241	29.1%
やや満足している	496	59.9%
満足している	54	6.5%
総計	828	100.0%



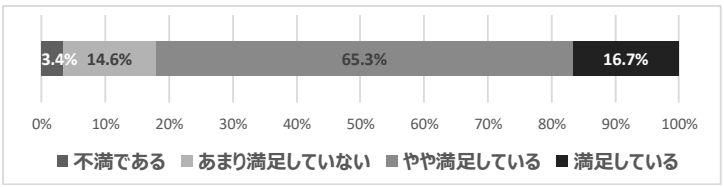
【2-⑧:防災対策の推進】

Q12_2-⑧	人数(人)	割合(%)
不満である	25	3.0%
あまり満足していない	163	19.3%
やや満足している	559	66.3%
満足している	96	11.4%
総計	843	100.0%



【2-⑨:消防、救急体制の推進】

Q12_2-⑨	人数(人)	割合(%)
不満である	29	3.4%
あまり満足していない	125	14.6%
やや満足している	558	65.3%
満足している	143	16.7%
総計	855	100.0%



11.3.3 国際化/学校教育/社会教育分野

全般的に満足度は高めだが、特に「①国際交流活動への支援」、「②小中学校の教育環境の整備」は「満足している」が10%以上、かつ「満足している」+「やや満足している」の合

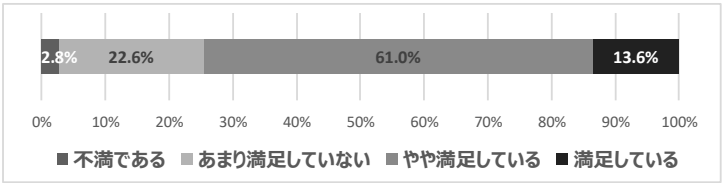
計が 70%以上と国際交流・学校教育への満足度は非常に高い。
唯一**「優先度４：③多様な生涯学習環境の提供」**のみが「B.緊急課題エリア」にプロットされており、全体の満足度は決して低いとはいえないが、定住意欲に影響している質問であるため、ターゲットを定めた対策が必要となる。

３．国際化・教育・文化	マトリックス	全体満足度	優先度
３-① 国際交流活動への支援	D	◎	
３-② 小中学校の教育環境の整備	A	◎	
３-③ 多様な生涯学習環境の提供	B	○	4
３-④ 芸術・歴史・文化に親しむ機会の提供	C	○	
３-⑤ スポーツに親しむ機会の提供	C	○	

図表 11.3.3-1：満足度の内訳＜国際化・教育・文化 関連＞

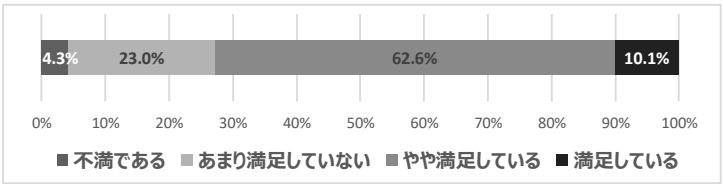
【3-①:国際交流活動への支援】

Q12_3-①	人数(人)	割合(%)
不満である	23	2.8%
あまり満足していない	187	22.6%
やや満足している	504	61.0%
満足している	112	13.6%
総計	826	100.0%



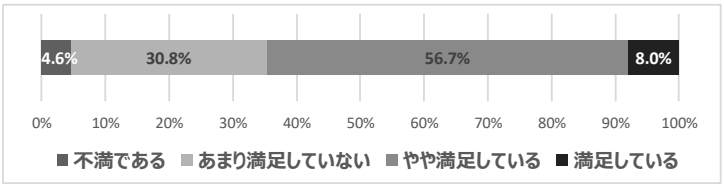
【3-②:小中学校の教育環境の整備】

Q12_3-②	人数(人)	割合(%)
不満である	35	4.3%
あまり満足していない	188	23.0%
やや満足している	513	62.6%
満足している	83	10.1%
総計	819	100.0%



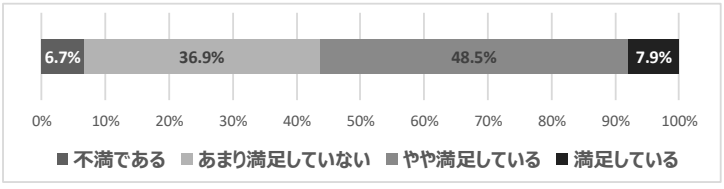
【3-③:多様な生涯学習環境の提供】

Q12_3-③	人数(人)	割合(%)
不満である	38	4.6%
あまり満足していない	254	30.8%
やや満足している	468	56.7%
満足している	66	8.0%
総計	826	100.0%



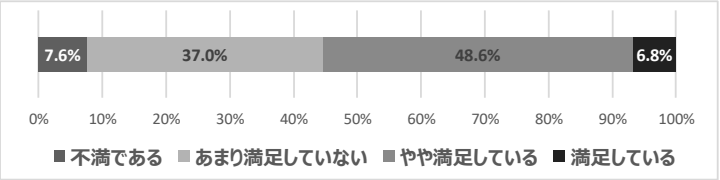
【3-④:芸術・歴史・文化に親しむ機会の提供】

Q12_3-④	人数(人)	割合(%)
不満である	58	6.7%
あまり満足していない	317	36.9%
やや満足している	417	48.5%
満足している	68	7.9%
総計	860	100.0%



【3-⑤:スポーツに親しむ機会の提供】

Q12_3-⑤	人数(人)	割合(%)
不満である	65	7.6%
あまり満足していない	315	37.0%
やや満足している	414	48.6%
満足している	58	6.8%
総計	852	100.0%



11.3.4 企業誘致/農業/水産業/商業/観光分野

「③農業の振興」「④水産業の振興」を除いた全ての項目について、「不満である」＋「あまり満足していない」の合計が 70%前後と満足していない回答者が非常に多いのが特徴である。特に「B.緊急課題エリア」にプロットされかつ全体満足度が非常に低い**「優先度 1:①雇用・就業の場の確保」**は、喫緊に取り組まなくてはならない最重要課題である。三沢市の欠点として「仕事がない」、将来ありたい姿として「雇用の場がある、若い人が定着できる」という意見が多いことからも、定住者を増やす上で非常に重要な事業であるといえる。

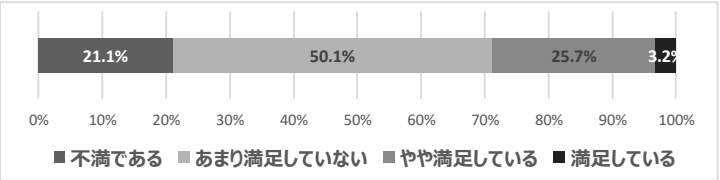
優先度２の「②新たな産業・企業の誘致」、「⑤商業の振興」、「⑥中心市街地活性化の取り組み」、「⑦観光の振興」も全体満足度が非常に低く、市民全体から「不満である」とのメッセージと受け取れる。定住への影響度は比較的弱いものの、すぐに結果が出る事業ではないため、今から中長期的な取り組みを行う必要がある。

４．雇用・産業振興	マトリックス	全体満足度	優先度
４-① 雇用・就業の場の確保	B	×	1
４-② 新たな産業・企業の誘致	C	×	2
４-③ 農業の振興	C	○	
４-④ 水産業の振興	C	○	
４-⑤ 商業の振興	C	×	2
４-⑥ 中心市街地活性化の取り組み	C	×	2
４-⑦ 観光の振興	C	×	2

図表 11.3.4-1：満足度の内訳＜雇用・産業振興 関連＞

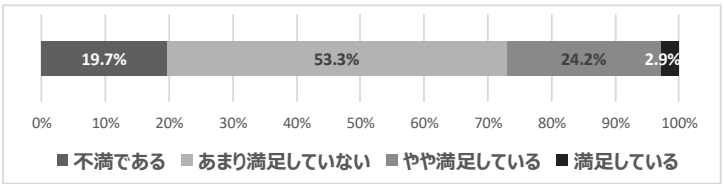
【4-①:雇用・就業の場の確保】

Q12_4-①	人数(人)	割合(%)
不満である	180	21.1%
あまり満足していない	427	50.1%
やや満足している	219	25.7%
満足している	27	3.2%
総計	853	100.0%



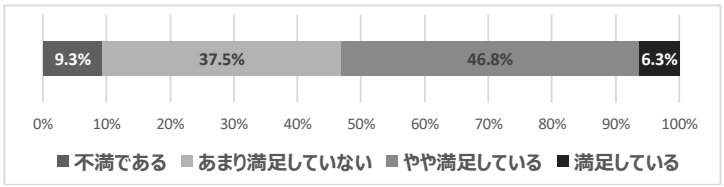
【4-②:新たな産業・企業の誘致】

Q12_4-②	人数(人)	割合(%)
不満である	165	19.7%
あまり満足していない	447	53.3%
やや満足している	203	24.2%
満足している	24	2.9%
総計	839	100.0%



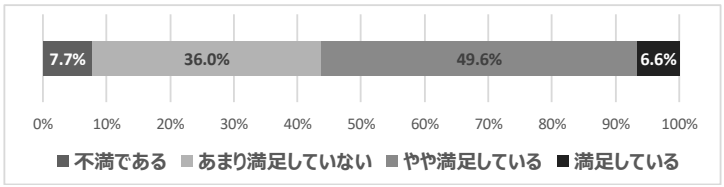
【4-③:農業の振興】

Q12_4-③	人数(人)	割合(%)
不満である	77	9.3%
あまり満足していない	309	37.5%
やや満足している	386	46.8%
満足している	52	6.3%
総計	824	100.0%



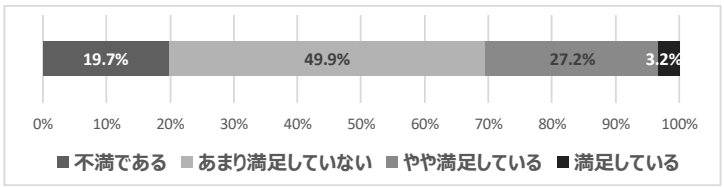
【4-④:水産業の振興】

Q12_4-④	人数(人)	割合(%)
不満である	63	7.7%
あまり満足していない	293	36.0%
やや満足している	404	49.6%
満足している	54	6.6%
総計	814	100.0%



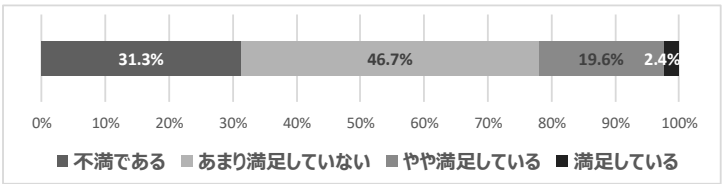
【4-⑤:商業の振興】

Q12_4-⑤	人数(人)	割合(%)
不満である	164	19.7%
あまり満足していない	415	49.9%
やや満足している	226	27.2%
満足している	27	3.2%
総計	832	100.0%



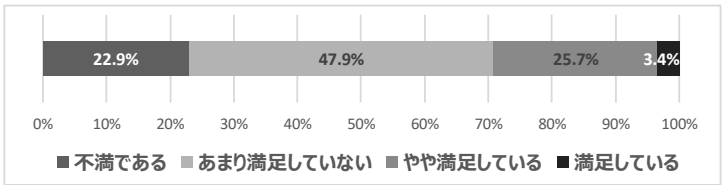
【4-⑥:中心市街地活性化の取り組み】

Q12_4-⑥	人数(人)	割合(%)
不満である	272	31.3%
あまり満足していない	405	46.7%
やや満足している	170	19.6%
満足している	21	2.4%
総計	868	100.0%



【4-⑦:観光の振興】

Q12_4-⑦	人数(人)	割合(%)
不満である	195	22.9%
あまり満足していない	408	47.9%
やや満足している	219	25.7%
満足している	29	3.4%
総計	851	100.0%



11.3.5 交通/都市整備/上下水道分野

交通・都市インフラについては、質問によってマトリックスのエリアも全体満足度も傾向が大きく異なるため、個々の事業ごとに対策を打っていく必要がある。「③公園環境の整備」や「⑥

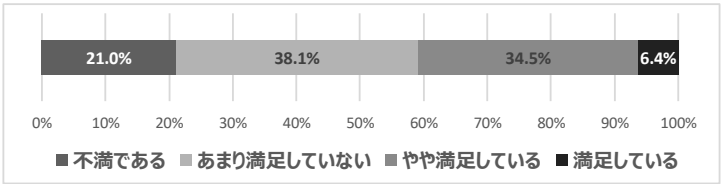
⑦上下水道の整備」については満足度が高く、事業の優先度は低いといえる。
最も重要な課題は**「優先度１:①バスの利用促進・運行への支援」**であり、「B.緊急課題エリア」にプロットされかつ全体満足度が非常に低い。三沢市の欠点として「交通が不便」を挙げる声がとても多く、最優先で対策を打つ必要があるといえる。
次に優先度が高いのは**「優先度２:⑤安全で通行しやすい身近な生活道路の整備」**、**「優先度３:②住宅環境の整備」**であり、⑤生活道路の整備は「B.緊急課題エリア」でないものの、全体満足度が非常に低い(ちなみに子どもアンケートでは、除雪していないので歩道が歩きにくい、工事が多く道路が歩きにくいという声が多かった)。一方、②住宅環境の整備については全体満足度は低くはないものの「B.緊急課題エリア」にプロットされており、定住者を増やす上で重要な要因である。「自然豊かで災害が少ない」ことが三沢の独自価値でもあるため、自然を壊さない住宅環境の整備が求められているといえる。

５．交通・都市インフラ	マトリックス	全体満足度	優先度
５-① バスの利用促進・運行への支援	B	×	1
５-② 住宅環境の整備	B	△	3
５-③ 公園環境の整備	D	◎	
５-④ 他市町村への幹線道路の整備	C	△	
５-⑤ 安全で通行しやすい身近な生活道路の整備	C	×	2
５-⑥ 安全で安定した上水道の整備	A	◎	
５-⑦ 下水道の整備	D	◎	

図表 11.3.5-1：満足度の内訳 <交通・都市インフラ 関連>

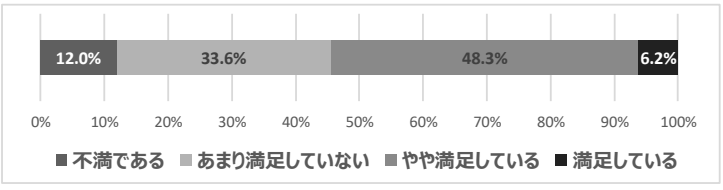
【5-①:バスの利用促進・運行への支援】

Q12_5-①	人数(人)	割合(%)
不満である	185	21.0%
あまり満足していない	336	38.1%
やや満足している	304	34.5%
満足している	56	6.4%
総計	881	100.0%



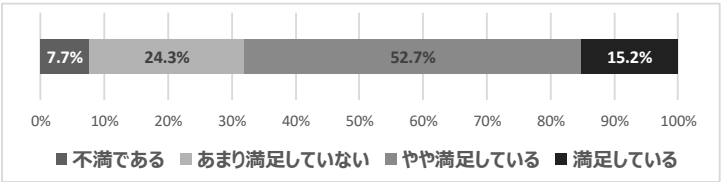
【5-②:住宅環境の整備】

Q12_5-②	人数(人)	割合(%)
不満である	101	12.0%
あまり満足していない	283	33.6%
やや満足している	407	48.3%
満足している	52	6.2%
総計	843	100.0%



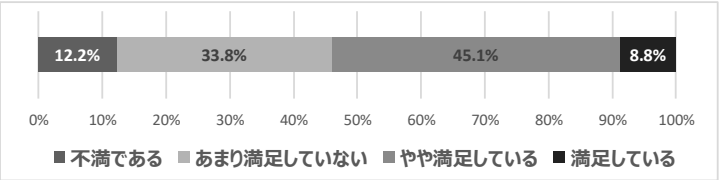
【5-③:公園環境の整備】

Q12_5-③	人数(人)	割合(%)
不満である	67	7.7%
あまり満足していない	211	24.3%
やや満足している	457	52.7%
満足している	132	15.2%
総計	867	100.0%



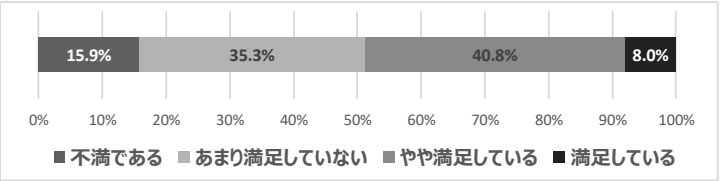
【5-④:他市町村への幹線道路の整備】

Q12_5-④	人数(人)	割合(%)
不満である	105	12.2%
あまり満足していない	291	33.8%
やや満足している	388	45.1%
満足している	76	8.8%
総計	860	100.0%



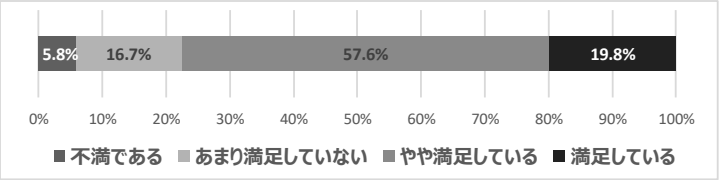
【5-⑤:安全で通行しやすい身近な生活道路の整備】

Q12_5-⑤	人数(人)	割合(%)
不満である	139	15.9%
あまり満足していない	309	35.3%
やや満足している	357	40.8%
満足している	70	8.0%
総計	875	100.0%



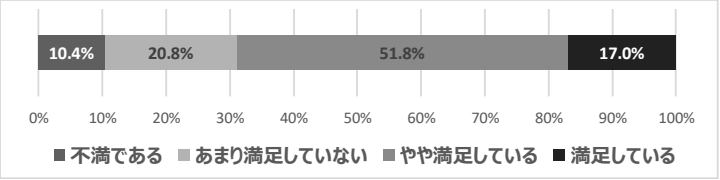
【5-⑥:安全で安定した上水道の整備】

Q12_5-⑥	人数(人)	割合(%)
不満である	51	5.8%
あまり満足していない	147	16.7%
やや満足している	506	57.6%
満足している	174	19.8%
総計	878	100.0%



【5-⑦:下水道の整備】

Q12_5-⑦	人数(人)	割合(%)
不満である	92	10.4%
あまり満足していない	184	20.8%
やや満足している	459	51.8%
満足している	151	17.0%
総計	886	100.0%



11.3.6 地域協働/広報広聴/行財政改革分野

広報広聴分野については全体的に満足度が高いが、**「優先度１:②市役所と皆さんが力を合わせたまちづくり」**、**「優先度１:⑤市民の皆さんの視点に立った行政運営」**については、定住に影響する「B.緊急課題エリア」にプロットされているにも関わらず「不満である」が10%を超え全体満足度が非常に低い最重要課題である。

「優先度４:③男女共同参画を推進したまちづくり」も、全体的な満足度は低くないものの「B.緊急課題エリア」であり、優先度は下がるが定住者を増やす上で満足度を上げていく対策が必要となる。

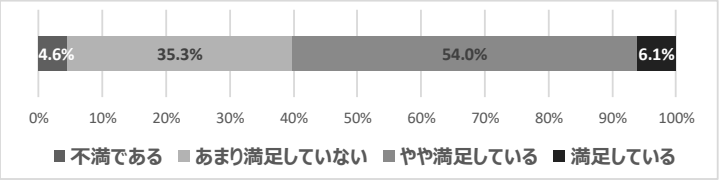
市民目線で市民と協働したまちづくりを強化し、そういった取り組みを(強み・アピール要因である)「④広報みさわやケーブルテレビによる情報発信」を活用して市民に知ってもらう認知・PR 活動も重要になってくるといえる。

6．協働まちづくり	マトリックス	全体満足度	優先度
6-① 地域団体の活動への支援	C	○	
6-② 市役所と皆さんが力を合わせたまちづくり	B	×	1
6-③ 男女共同参画を推進したまちづくり	B	○	4
6-④ 広報みさわやケーブルテレビによる情報発信	A	◎	
6-⑤ 市民の皆さんの視点に立った行政運営	B	×	1

図表 11.3.6-1：満足度の内訳 <協働まちづくり 関連>

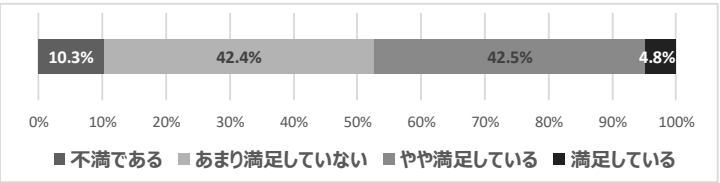
【6-①:地域団体の活動への支援】

Q12_6-①	人数(人)	割合(%)
不満である	38	4.6%
あまり満足していない	293	35.3%
やや満足している	449	54.0%
満足している	51	6.1%
総計	831	100.0%



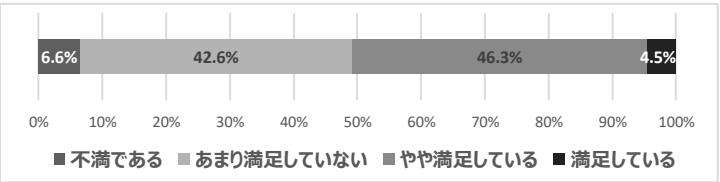
【6-②:市役所と皆さんが力を合わせたまちづくり】

Q12_6-②	人数(人)	割合(%)
不満である	86	10.3%
あまり満足していない	355	42.4%
やや満足している	356	42.5%
満足している	40	4.8%
総計	837	100.0%



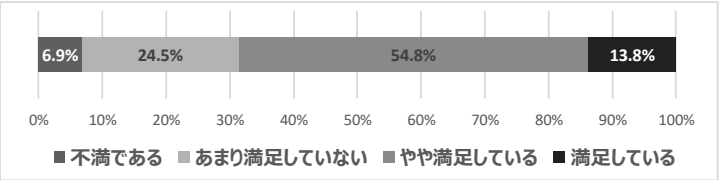
【6-③:男女共同参画を推進したまちづくり】

Q12_6-③	人数(人)	割合(%)
不満である	54	6.6%
あまり満足していない	350	42.6%
やや満足している	380	46.3%
満足している	37	4.5%
総計	821	100.0%



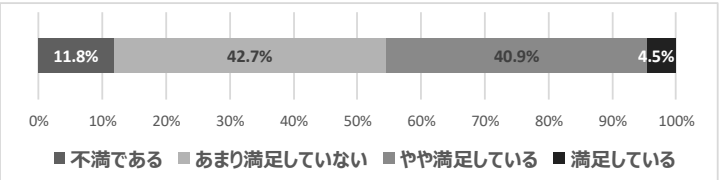
【6-④:広報みさわやケーブルテレビによる情報発信】

Q12_6-④	人数(人)	割合(%)
不満である	60	6.9%
あまり満足していない	214	24.5%
やや満足している	478	54.8%
満足している	120	13.8%
総計	872	100.0%



【6-⑤:市民の皆さんの視点に立った行政運営】

Q12_6-⑤	人数(人)	割合(%)
不満である	99	11.8%
あまり満足していない	358	42.7%
やや満足している	343	40.9%
満足している	38	4.5%
総計	838	100.0%



12　調査結果③：日ごろの意識

「11.行政サービスに対する満足度」の結果を受け、ここからは、満足度に関連する「12.市民の日ごろの意識」「13.市民の日ごろの行動」に関する質問の結果と特徴を解説する。

＜1：健康・医療・福祉分野に関する質問＞ ⇒ ①～④、⑥

健康や医療・福祉分野における市民の評価は全体的に高く、特に**「①心身ともに健康に生活している」**は、「そう思う」が 15%を超え、日ごろ健康に生活できていると思っている回答者が多い。

一方で、**「②安心して質の高い医療が受けられている」**は「そう思わない」が多く(10%以上)、**「③妊娠・出産支援が充実している」**は「そう思わない」が 20%超えと非常に低い評価となっている。

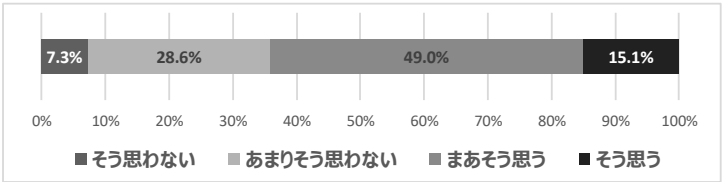
これは 11.行政サービスへの満足度と同じ傾向を示している(各種健康診断事業や健康づくりへの支援が強み・アピールの要因であるのに対し、医療体制の整備・充実は優先度３、子育て支援は優先度４の課題)。

医療体制の整備・充実と子育て支援については、誰がどう不満、なぜ不満なのかを明らかにし対策を打っていく必要があるといえる。

図表 12-1：日ごろの意識＜健康・子育て・福祉 関連＞

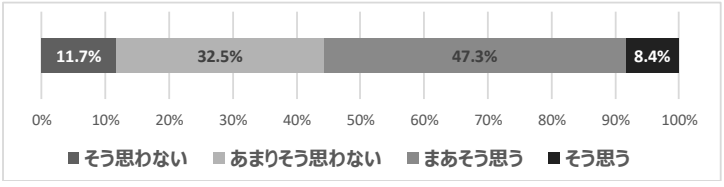
【①心身ともに健康に生活している】

Q13_①	人数(人)	割合(%)
そう思わない	68	7.3%
あまりそう思わない	267	28.6%
まあそう思う	457	49.0%
そう思う	141	15.1%
総計	933	100.0%



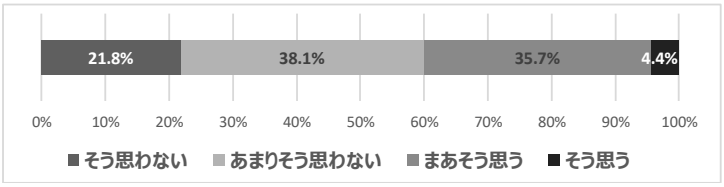
【②安心して質の高い医療が受けられている】

Q13_②	人数(人)	割合(%)
そう思わない	109	11.7%
あまりそう思わない	302	32.5%
まあそう思う	439	47.3%
そう思う	78	8.4%
総計	928	100.0%



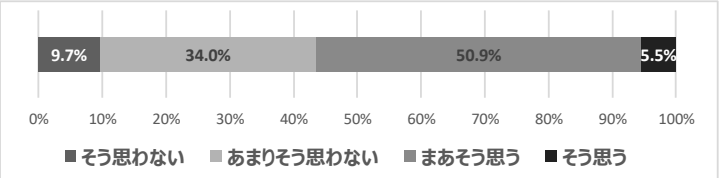
【③妊娠・出産支援が充実している】

Q13_③	人数(人)	割合(%)
そう思わない	179	21.8%
あまりそう思わない	313	38.1%
まあそう思う	293	35.7%
そう思う	36	4.4%
総計	821	100.0%



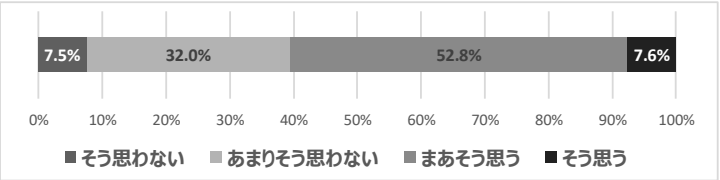
【④子育ての環境が充実している】

Q13_④	人数(人)	割合(%)
そう思わない	81	9.7%
あまりそう思わない	285	34.0%
まあそう思う	427	50.9%
そう思う	46	5.5%
総計	839	100.0%



【⑥市の福祉サービスや相談体制に満足している】

Q13_⑥	人数(人)	割合(%)
そう思わない	66	7.5%
あまりそう思わない	282	32.0%
まあそう思う	465	52.8%
そう思う	67	7.6%
総計	880	100.0%



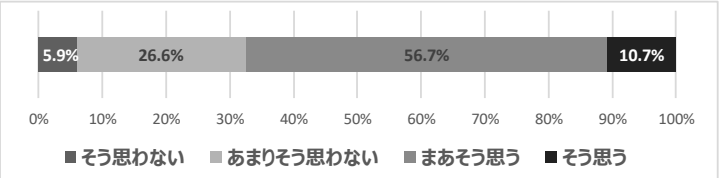
＜２：自然環境/基地対策/生活安全/防災/消防・救急分野に関する質問＞ ⇒⑤

「⑤普段の生活を安心して過ごしている」については、「そう思う」「まあそう思う」の合計が 7 割弱で評価は高いといえる。三沢市の独自価値の１つが「安全・安心に暮らせる平和なまち」であることからも、これは高い評価を維持していく必要がある。

図表 12-2：日ごろの意識＜自然・基地・安全 関連＞

【⑤普段の生活を安心して過ごしている】

Q13_⑤	人数(人)	割合(%)
そう思わない	54	5.9%
あまりそう思わない	243	26.6%
まあそう思う	517	56.7%
そう思う	98	10.7%
総計	912	100.0%



＜３：国際化/学校教育/社会教育分野に関する質問＞ ⇒ ⑦～⑩

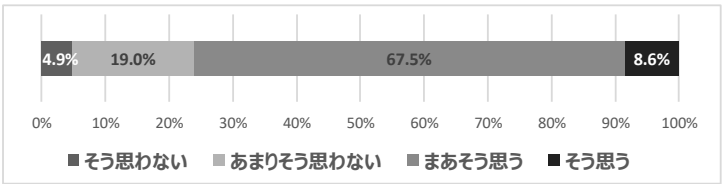
「⑦小学生・中学生が充実した教育を受けている」については「そう思う」＋「まあそう思う」の合計が 7 割を超え、学校教育に対する評価は非常に高い。これは、11.行政サービスへの満足度で「小中学校の教育環境の整備」が強み・アピールの要因になっていることと一致している。

「⑧図書館や公民館などの社会教育施設が充実している」や**「⑨伝統文化や歴史遺産が大切に後世に伝えられている」**といった社会教育や文化継承分野では「そう思う」＋「まあそう思う」の合計が 6 割を超えおおむね評価は高いが、**「⑩市内の体育施設は利用しやすい」**は「そう思わない」が 10%を超え、「そう思わない」＋「あまりそう思わない」の合計は 5 割で利用しやすさへの評価が低い。具体的にどの施設で、誰が、どんなところが利用しにくいのか、明らかにしていく必要があるといえる。

図表 12-3：日ごろの意識＜国際化・教育・文化 関連＞

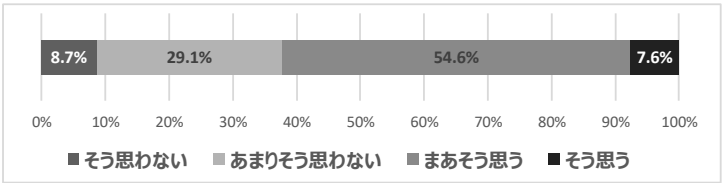
【⑦小学生・中学生が充実した教育を受けている】

Q13_⑦	人数(人)	割合(%)
そう思わない	41	4.9%
あまりそう思わない	160	19.0%
まあそう思う	568	67.5%
そう思う	72	8.6%
総計	841	100.0%



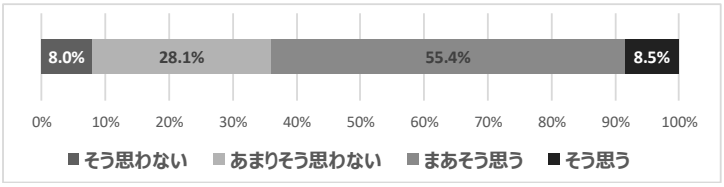
【⑧図書館や公民館などの社会教育施設が充実している】

Q13_⑧	人数(人)	割合(%)
そう思わない	76	8.7%
あまりそう思わない	255	29.1%
まあそう思う	478	54.6%
そう思う	67	7.6%
総計	876	100.0%



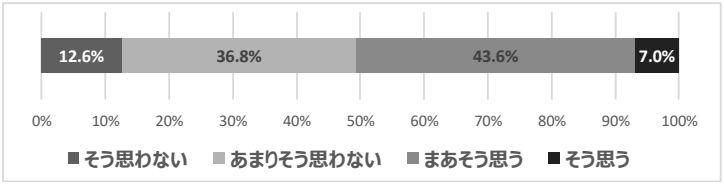
【⑨伝統文化や歴史遺産が大切に後世に伝えられている】

Q13_⑨	人数(人)	割合(%)
そう思わない	70	8.0%
あまりそう思わない	247	28.1%
まあそう思う	487	55.4%
そう思う	75	8.5%
総計	879	100.0%



【⑩市内の体育施設は利用しやすい】

Q13_⑩	人数(人)	割合(%)
そう思わない	107	12.6%
あまりそう思わない	312	36.8%
まあそう思う	370	43.6%
そう思う	59	7.0%
総計	848	100.0%



＜４：企業誘致/農業/水産業/商業/観光分野に関する質問＞ ⇒ 該当質問なし

＜５：交通/都市整備/上下水道分野に関する質問＞ ⇒ ⑪～⑬

「⑫三沢空港は利用しやすい」は「そう思う」が 17%を超え、「まあそう思う」と合わせると 7 割と利用しやすさへの評価は高い。その一方で、**「⑬青い森鉄道は利用しやすい」**は「そう思わない」が 20%を超え「あまりそう思わない」を加えると約 6 割と、利用しやすさへの評価が非常に低くなっている。9.三沢ブランド化要因において、三沢市に住み続けたくない理由や三沢市の欠点として「交通の便が悪い」を挙げる声が多く、バスの他に鉄道の利用しやすさについても対策を講じる必要があるといえる。

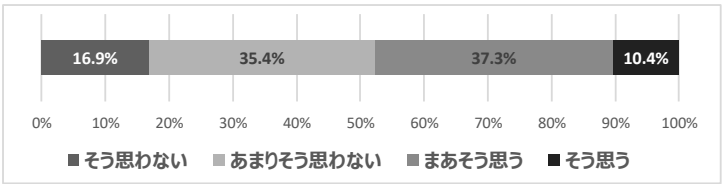
「⑪自宅周辺の道路は安全で利用しやすい」については、「そう思わない」が約 17%で「あまりそう思わない」と合わせると 5 割以上と、評価が低い。11.行政サービスへの満足度で「安全で通行しやすい身近な生活道路の整備」が優先度 2 の課題となっており、生活道路

においても改善が必要である。

図表 12-4：日ごろの意識＜交通・都市インフラ 関連＞

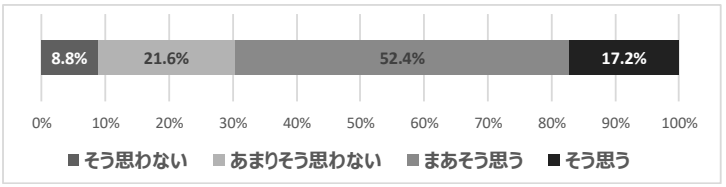
【⑪自宅周辺の道路は安全で利用しやすい】

Q13_⑪	人数(人)	割合(%)
そう思わない	158	16.9%
あまりそう思わない	331	35.4%
まあそう思う	349	37.3%
そう思う	97	10.4%
総計	935	100.0%



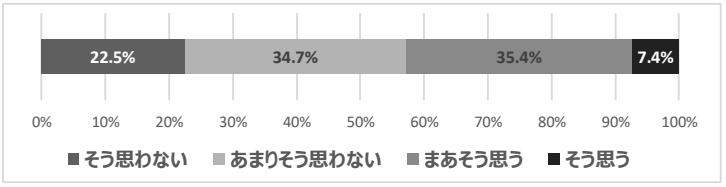
【⑫三沢空港は利用しやすい】

Q13_⑫	人数(人)	割合(%)
そう思わない	77	8.8%
あまりそう思わない	188	21.6%
まあそう思う	456	52.4%
そう思う	150	17.2%
総計	871	100.0%



【⑬青い森鉄道は利用しやすい】

Q13_⑬	人数(人)	割合(%)
そう思わない	201	22.5%
あまりそう思わない	311	34.7%
まあそう思う	317	35.4%
そう思う	66	7.4%
総計	895	100.0%



＜6：地域協働/広報広聴/行財政改革分野に関する質問＞ ⇒ ⑭、⑮

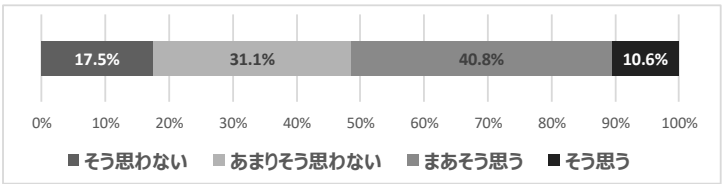
「⑭隣近所や地域の方々と交流や助け合いがある」については「そう思わない」が 17.5%と非常に高く「あまりそう思わない」を合わせると約半数と、「交流や助け合いがあるとは思っていない」傾向が伺える。9.三沢ブランド化要因では、三沢市の魅力やどんな街にしたいかという質問で「人々の交流やふれ合い、助け合い」といったワードが多くみられたものの、この質問と合わせると「交流や助け合いのあるまちが理想だが実際はそうではない」と市民は感じているようである。

「⑮行政サービスの質が向上している」については、「そう思わない」が約 14%とやや多いが「そう思う」「まあそう思う」を合わせると約 6 割と、全体的な評価はおおむね良い。11.行政サービスへの満足度では「市役所と皆さんが力を合わせたまちづくり」「市民の皆さんの視点に立った行政運営」が優先度 1 の事業で最優先課題であったが、行政サービスの質自体は向上していると市民が感じている傾向が伺える。

図表 12-5：日ごろの意識＜協働まちづくり 関連＞

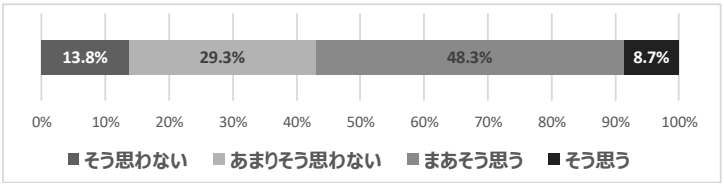
【⑭隣近所や地域の方々と交流や助け合いがある】

Q13_⑭	人数(人)	割合(%)
そう思わない	162	17.5%
あまりそう思わない	288	31.1%
まあそう思う	377	40.8%
そう思う	98	10.6%
総計	925	100.0%



【⑮行政サービスの質が向上している】

Q13_⑮	人数(人)	割合(%)
そう思わない	125	13.8%
あまりそう思わない	266	29.3%
まあそう思う	439	48.3%
そう思う	79	8.7%
総計	909	100.0%



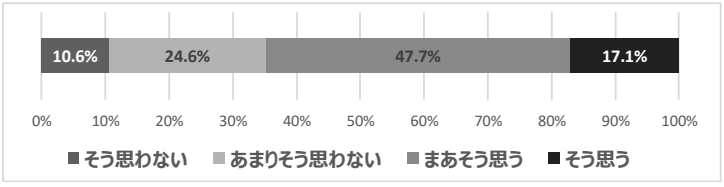
＜その他の質問＞ ⇒⑯：三沢市に誇りや愛着を感じている

「⑯三沢市に誇りや愛着を感じている」については、「そう思う」が約 17%(159 人)と非常に高くなっている(9.三沢ブランド化要因で「三沢市に住み続けたい理由」として「三沢が好きだから」を 1 位として挙げた回答者が 123 人であることとも大体一致している)。定住意欲の高い「三沢ファン」が住み続けたい理由のトップは「三沢市が好きだから」であるため、今後は市民の不満足を解消し、三沢市の独自価値を高めてファンを増やしていく対策が必要不可欠となる。

図表 12-6：日ごろの意識＜その他＞

【⑯三沢市に誇りや愛着を感じている】

Q13_⑯	人数(人)	割合(%)
そう思わない	99	10.6%
あまりそう思わない	229	24.6%
まあそう思う	444	47.7%
そう思う	159	17.1%
総計	931	100.0%



13　調査結果④：日ごろの行動

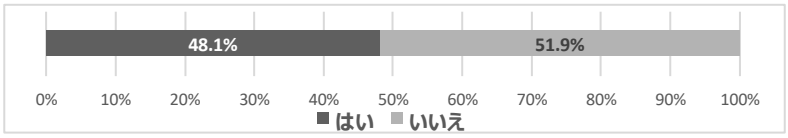
＜1：健康・医療・福祉分野に関する質問＞ ⇒ ①、②、⑬、⑭

「①週 1 回以上の健康づくりに取り組んでいる」に関しては「はい」が約 5 割、**「②かかりつけ医がいる」**は「はい」が 7 割弱であった。
「⑬家庭内で協力して家事・育児ができている」は約 8 割が「はい」で、この割合が高いためか**「⑭仕事と生活のバランスが取れている」**では半数以上が「はい」という結果となった。

図表 13-1：日ごろの行動 ＜健康・子育て・福祉 関連＞

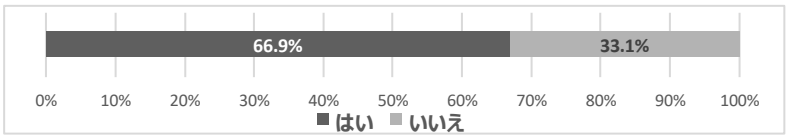
【①週1回以上の運動やウォーキングなどの健康づくりに取り組んでいますか？】

Q14_①	人数(人)	割合(%)
はい	453	48.1%
いいえ	488	51.9%
総計	941	100.0%



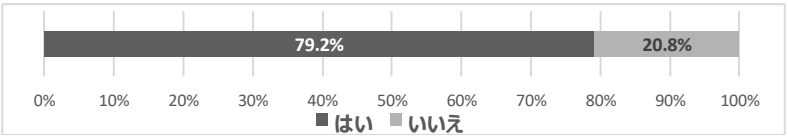
【②かかりつけ医がいますか？】

Q14_②	人数(人)	割合(%)
はい	635	66.9%
いいえ	314	33.1%
総計	949	100.0%



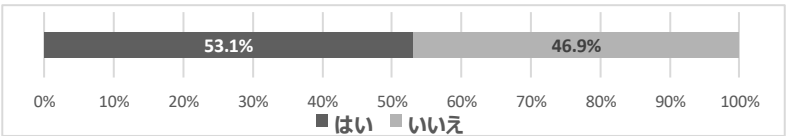
【⑬家族や夫婦で協力し、家事や子育てなどができていますか？】

Q14_⑬	人数(人)	割合(%)
はい	705	79.2%
いいえ	185	20.8%
総計	890	100.0%



【⑭子育てや介護のための休暇の取得など、仕事と生活のバランスが取れていますか？】

Q14_⑭	人数(人)	割合(%)
はい	432	53.1%
いいえ	381	46.9%
総計	813	100.0%



＜2：自然環境/基地対策/生活安全/防災/消防・救急分野に関する質問＞

⇒ ⑦、⑧、⑫、⑳

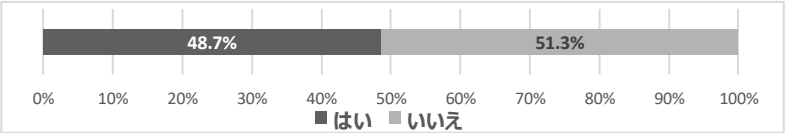
「⑦航空機の騒音に悩まされている」は、約半数が「はい」(騒音がうるさい)と回答した。但し、9.三沢ブランド化要因で三沢市の欠点としては上位に上がらず、11.行政サービスへの満足度でも「基地・騒音対策」は「満足度維持」の事業であった。回答者は、飛行機の騒音以上に商店街や交通の便、仕事がないことが課題であると感じているようである。

「⑧災害時の緊急避難場所を知っている」は 7 割以上が「はい」で、**「⑫ごみ減量・省エネの取り組みをしている」**は 9 割近くが「はい」とエコ意識が非常に高い結果となった。
「⑳高齢を理由に免許証を積極的に返納するか」については約 7 割が「はい」であった。

図表 13-2：日ごろの行動＜自然・基地・安全 関連＞

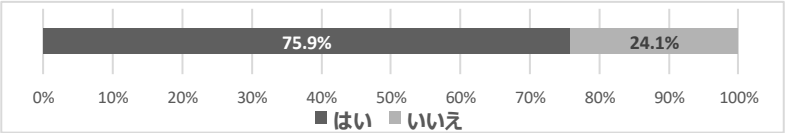
【⑦航空機の騒音に悩まされていますか？】

Q14_⑦	人数(人)	割合(%)
はい	456	48.7%
いいえ	481	51.3%
総計	937	100.0%



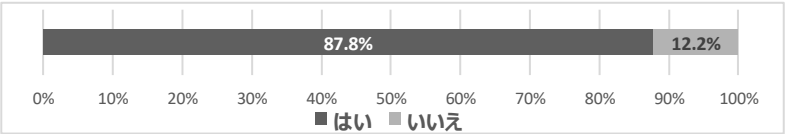
【⑧災害時の緊急避難場所をご存知ですか？】

Q14_⑧	人数(人)	割合(%)
はい	718	75.9%
いいえ	228	24.1%
総計	946	100.0%



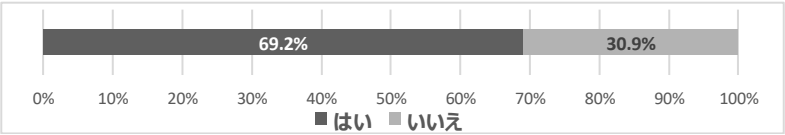
【⑫ごみの減量、節電、節水など省エネの取組みをしていますか？】

Q14_⑫	人数(人)	割合(%)
はい	829	87.8%
いいえ	115	12.2%
総計	944	100.0%



【⑳将来、高齢等を理由に、運転免許証を積極的に返納しようと思いますか？】

Q14_⑳	人数(人)	割合(%)
はい	623	69.2%
いいえ	278	30.9%
総計	901	100.0%



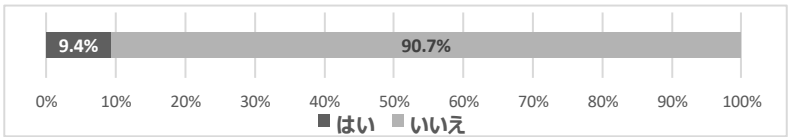
＜3：国際化/学校教育/社会教育分野に関する質問＞ ⇒ ⑤、⑥、㉑

9.三沢ブランド化要因では、三沢の独自価値の 1 つが「国際色豊かな基地のまち」で、イベント等で外国人との交流があるという意見も多かったが、**「⑤過去 1 年間に国際交流活動に参加した」**は「はい」が 1 割にも満たず、イベント以外での国際交流に乏しい傾向が伺える。三沢市の欠点としてイベント以外に「国際交流を肌で感じることがない(三沢ファン)」という声もあり、日常での国際交流の場が求められているといえる。
「⑥過去 1 年間に講座・サークル活動に参加した」、**「㉑日常会話程度の英語が話せる」**は、両者とも「はい」が約 2 割であった。

図表 13-3：日ごろの行動＜国際化・教育・文化 関連＞

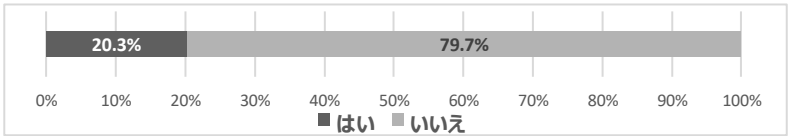
【⑤過去1年間に、国際交流活動に参加されたことはありますか？】

Q14_⑤	人数(人)	割合(%)
はい	88	9.4%
いいえ	853	90.7%
総計	941	100.0%



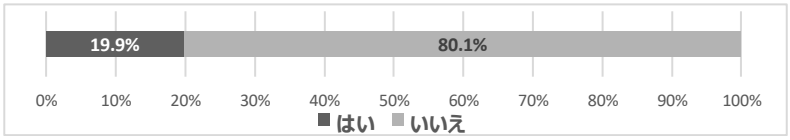
【⑥過去1年間に、各種講座やサークル活動に参加されたことはありますか？】

Q14_⑥	人数(人)	割合(%)
はい	191	20.3%
いいえ	749	79.7%
総計	940	100.0%



【㉑日常会話程度の英語を話すことができますか？】

Q14_㉑	人数(人)	割合(%)
はい	187	19.9%
いいえ	755	80.1%
総計	942	100.0%



＜４：企業誘致/農業/水産業/商業/観光分野に関する質問＞ ⇒ ⑨～⑪、㉒

「⑨道の駅みさわを定期的に利用している」で「はい」は 1 割程度で、9.三沢ブランド化要因で三沢市の欠点として挙げられた「道の駅が遠くて不便(三沢ファン)」という理由が影響しているものと思われる。

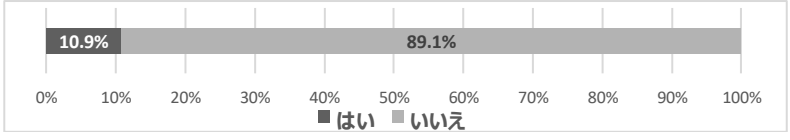
「⑩三沢市漁業協同組合の直売所を利用したことがある」で「はい」は 2 割強、**「過去 1 年に三沢市青果市場を利用した」**で「はい」は約 5 割であった。これは立地が影響しているものと考えられる。

「㉒休日などに市外へ出かけることが多い」では、「はい」が 6 割強であった。

図表 13-4：日ごろの行動＜雇用・産業振興 関連＞

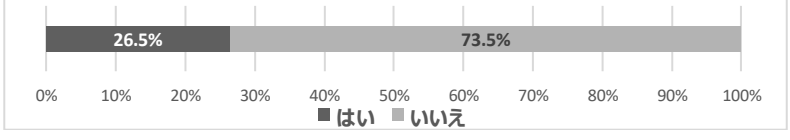
【⑨道の駅みさわを定期的に利用していますか？】

Q14_⑨	人数(人)	割合(%)
はい	103	10.9%
いいえ	842	89.1%
総計	945	100.0%



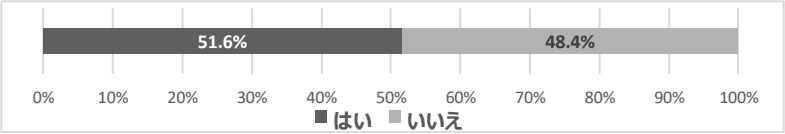
【⑩三沢市漁業協同組合の直売所を利用されたことはありますか？】

Q14_⑩	人数(人)	割合(%)
はい	250	26.5%
いいえ	694	73.5%
総計	944	100.0%



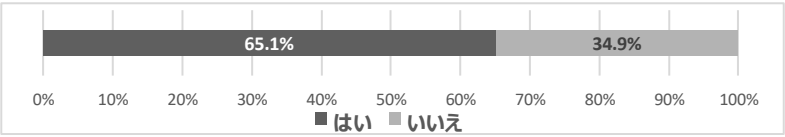
【⑪過去1年間に、三沢市野菜集出荷所（三沢市青果市場）を利用されたことはありますか？】

Q14_⑪	人数(人)	割合(%)
はい	488	51.6%
いいえ	457	48.4%
総計	945	100.0%



【㉒休日などに、市外に出かけることが多いですか？】

Q14_㉒	人数(人)	割合(%)
はい	615	65.1%
いいえ	330	34.9%
総計	945	100.0%



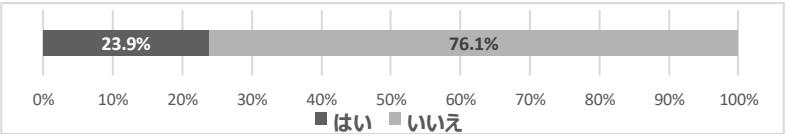
＜5：交通/都市整備/上下水道分野に関する質問＞ ⇒ ⑰～⑲

「⑰過去 1 年間に三沢空港から飛行機を利用した」では「はい」が 2 割強、**「⑱過去 1 年間に三沢駅から青い森鉄道を利用した」**では「はい」が 5 割強であった。
一方**「⑲過去 1 年間にコミュニティバス(路線バス等)を利用した」**では「はい」が 2 割弱と飛行機、鉄道よりも利用回数が少なく、9.三沢ブランド化要因で「交通の便が悪い」ことが三沢市の欠点という意見が多かったにも関わらずバスが利用されていないという実態が浮き彫りとなった。

図表 13-5：日ごろの行動＜交通・都市インフラ 関連＞

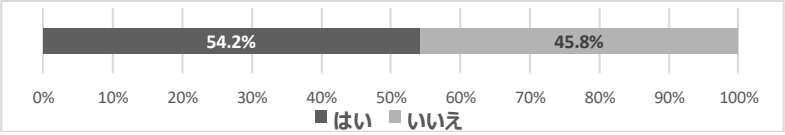
【⑰過去1年間に、三沢空港発着の飛行機を利用されたことはありますか？】

Q14_⑰	人数(人)	割合(%)
はい	226	23.9%
いいえ	719	76.1%
総計	945	100.0%



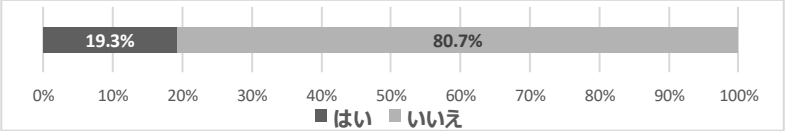
【⑱過去1年間に、三沢駅で青い森鉄道を利用されたことはありますか？】

Q14_⑱	人数(人)	割合(%)
はい	513	54.2%
いいえ	434	45.8%
総計	947	100.0%



【⑲過去1年間に、市内でコミュニティバス（路線バス等）を利用されたことはありますか？】

Q14_⑲	人数(人)	割合(%)
はい	182	19.3%
いいえ	761	80.7%
総計	943	100.0%



＜6：地域協働/広報広聴/行財政改革分野に関する質問＞

⇒ ③、④、⑮、⑯、㉓～㉕

「③過去 1 年間に市民団体で活動した」で「はい」は 2 割弱、**「④過去 1 年間に町内会や PTA で活動した」**で「はい」は 4 割と、町内会や PTA 等のコミュニティ組織での活動には比較的参加しているようである。

「⑮HP や SNS 等で市の情報を得る」、**「⑯三沢市の基本理念を知っている」**で両者ともに「はい」が約 5 割で、ネット等で市の情報を積極的に収集している傾向が伺える。

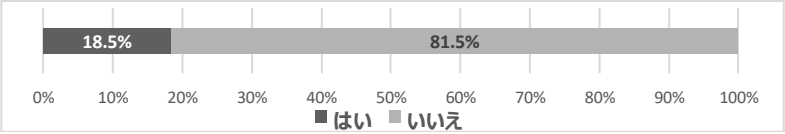
「㉓隣近所であいさつや立ち話をする」で「はい」は 7 割強であるが、11.3 日ごろの意識:「⑭隣近所や地域の方々と交流や助け合いがある」の質問において「交流や助け合いがあるとは思っていない」傾向があり、あいさつや立ち話程度はするがそれ以上の交流は少ないことが読み取れる。

「㉔市役所の仕事や事業、予算等に興味がある」では「はい」が約 6 割と、市民の市政に対する関心は高く、「㉕市政モニター制度に登録している」で「はい」は約 2%(20 人)であった。11.行政サービスへの満足度で「市役所と市民でまちづくり」「市民視点に立った行政運営」が優先度 1 の最優先課題となったことからも、市民参加型の市民視点に立った取り組みが今後いっそう必要になってくるといえる。

図表 13-6：日ごろの行動 ＜協働まちづくり 関連＞

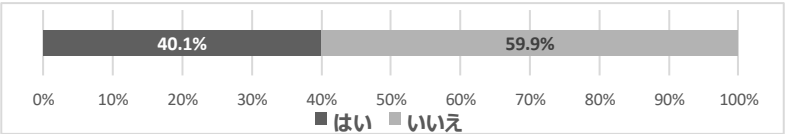
【③過去1年間に、NPOやボランティアなどの市民活動団体で活動されたことはありますか？】

Q14_③	人数(人)	割合(%)
はい	174	18.5%
いいえ	768	81.5%
総計	942	100.0%



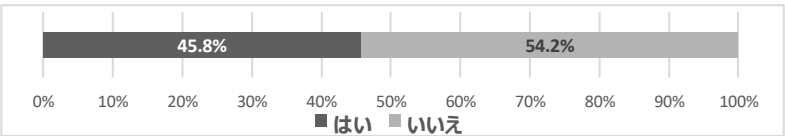
【④過去1年間に、町内会やPTAといったコミュニティ組織で活動されたことはありますか？】

Q14_④	人数(人)	割合(%)
はい	377	40.1%
いいえ	564	59.9%
総計	941	100.0%



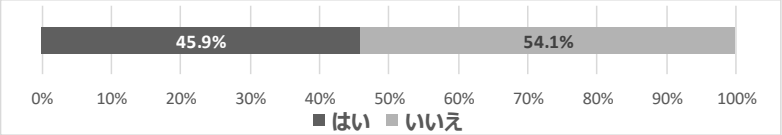
【⑮三沢市ホームページやSNS等で、市の情報を得ることはありますか？】

Q14_⑮	人数(人)	割合(%)
はい	421	45.8%
いいえ	498	54.2%
総計	919	100.0%



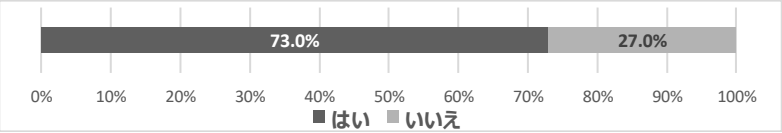
【⑯三沢市の基本理念「人とまち　みんなで創る　国際文化都市」をご存知ですか？】

Q14_⑯	人数(人)	割合(%)
はい	425	45.9%
いいえ	501	54.1%
総計	926	100.0%



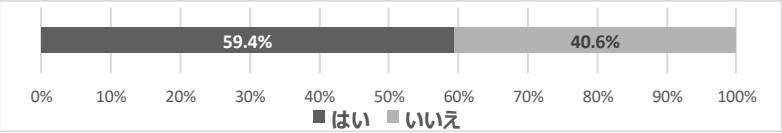
【㉓隣近所の方とあいさつや立ち話などをされますか？】

Q14_㉓	人数(人)	割合(%)
はい	685	73.0%
いいえ	253	27.0%
総計	938	100.0%



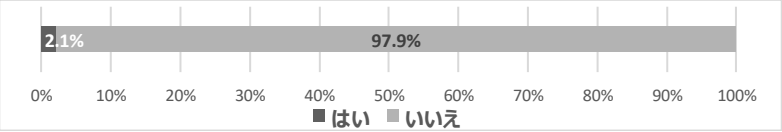
【㉔市役所の仕事、事業、予算などに関心はありますか？】

Q14_㉔	人数(人)	割合(%)
はい	558	59.4%
いいえ	381	40.6%
総計	939	100.0%



【㉕市政モニター制度に登録されていますか？】

Q14_㉕	人数(人)	割合(%)
はい	20	2.1%
いいえ	917	97.9%
総計	937	100.0%



14　調査結果⑤：市政に望むことや意見・提案等

ここでは、三沢市をより良いまちにするために、回答者から市政に望むことや意見・提案を自由記述式(任意)で答えてもらった内容の傾向を解説する。

なお、この質問は任意回答のため、無回答と「特になし」を除いた回答人数は 360 人(回答率 36.7%)であった。

14.1 全体の傾向(トップ 10)

図表 14.1-1：市政に望むことや意見・提案等(分類結果)

順位	分類内容	合計
1位	行財政改革の推進	83
2位	商業の振興	49
3位	道路の整備	43
3位	都市環境の整備	43
5位	児童福祉の充実	37
6位	観光の振興	32
7位	交通網の充実	28
8位	企業誘致と雇用創出	26
8位	市民意識調査	26
10位	生活安全の確保	24

自由記述の文章をテーマ(政策レベル)で分類し、その数を集計した。

※なお、複数の内容について意見・提案を記述する回答者もいるため、その場合は 1 人の回答者につき複数の分類内容でカウントしている。

14.2 トップ 10 の詳細

図表 14.2-1：市政に望むことや意見・提案等(1 位：行財政改革の推進)

キーワード	数
職員	**27**
財政（税金・予算）	**22**
窓口	**11**
行政の取り組み	9
人材・採用	7
市議会議員	6
建物	5
選挙	3
研修	2
市長	2
市民意見の反映	1
周辺地域との連携	1

行財政改革の推進に関する主な意見

・職員の方々が家族や親戚を思うように、一般市民のことを考える、市のためになる政治をして欲しい。

・市役所職員が自分たちは、税金という収入を得ているサービス業を行っているんだという自覚をもってほしい。

・三沢の未来や、子ども達の未来を考えられる人材の確保と育成。

・市民のための行政、そのための教育をしっかりとやってほしい。お金のかかる事業ではなく、市民が相談が出来、安心して暮らせる街づくりをお願いしたい。

・市役所の方や福祉事務所の方々が丁寧に関わって下さり三沢に来たばかりの頃はとても助かりました。ひとり親の手続きの仕方やその他よく分からない事なども何度も分かりやすく説明して下さり支えになったのを今でも感謝しています。

図表 14.2-2：市政に望むことや意見・提案等(2 位：商業の振興)

キーワード	数
店の数・種類の増加	**27**
活性化	**16**
駐車場	5
道の駅	4
イベント	4
一方通行	4
英語表記	1
楽しめる場所	1
市場	1
店員のマナー	1
アメリカ村	1
スカイプラザ	1

商業の振興に関する主な意見

・若者が市内でも充実した休日を送れるよう、商店街等に様々な店をつくったり、アウトレットモールのような施設を建設したりすると、より一層、三沢市が活性化していけると思います。

・未就園児を連れて、親も楽しめる施設や機会を増やして欲しいです。

・三沢に立ち寄った人が楽しめるような店、施設を増やす。特に駅や空港の近くや周辺をさかんにする。

・地元の人。地元企業。地元商店。それぞれ一部しか盛り上がりが感じられず、古い体制、体質が浮き彫りになっていて、三沢市の豊かな魅力が活かされていないのはとても、もったいない事だと思います。

図表 14.2-3：市政に望むことや意見・提案など(3 位：道路の整備)

キーワード	数
補修・整備	**25**
工事時期	2
雪の対応	1
道路の建設	1
一方通行の廃止	1
道路計画の見直し	1

道路の整備に関する主な意見

・他県の方もわかりやすいように道路整備を進めてほしい。

・三沢駅から周辺の道路に歩行者や自転車の専用道路を作って欲しい(学生も不便で危険なので)。
・小中学校の通学路の整備など。

・お年よりがいつでも町にお買物に出られる様な、又、買いやすい様な街づくり(道路整備)。

図表 14.2-4：市政に望むことや意見・提案等(3 位：都市環境の整備)

キーワード	数	キーワード	数	キーワード	数
除雪・融雪	**15**	分譲住宅の促進	1	休耕地の活用	1
移住	5	段差	1	散歩コースの整備	1
住宅取得支援	4	家賃	1	小川原湖の整備	1
公園	3	車社会	1	過疎化防止	1
人口増の施策	3	アンテナ	1	街並みの整備	1
駐車場	3	投資	1	他市町村との連携	1
子供の遊び場	3	空き家対策	1	市内と市外	1
雨除け・休息所	3	南北の分断	1	土地利用計画	1
三沢空港・三沢駅	2	家の振動	1	公共施設	1
ペットの飼い主のマナー	1	ゴルフ場	1		

都市環境の整備に関する主な意見

・除雪作業をするとき、道路だけを除雪して、歩道や、入り口に雪がたくさんある。

・人口の少ない中で各団体で交流しあい、住みやすい楽しく明るい街にしてほしい。転勤者が転出時、また来たいと思ってくれるように。

図表 14.2-5：市政に望むことや意見・提案等(5 位：児童福祉の充実)

キーワード	数
子供医療費	**13**
子育て政策	**9**
親子の遊び・交流の場	**7**
出産・子育て環境	6
授業料	3
保育料	2
保育園の土日対応	2
児童館	2
インフルエンザ助成金	2
イクボス	1
保育園の定員	1
検診	1
学習スペース	1
養育費	1
給食費	1
プール	1

児童福祉の充実に関する主な意見

・子どもをたくさん産んでも安心できる町にしてください(教育費・医療費)。

・児童館が少ない為働く人にとって子供を預ける場所がない所が不便です。

・スケート場あたりに、子供達が屋内で無料で遊べる施設があると若いお母さん達の交流の場になると思います。

図表 14.2-6：市政に望むことや意見・提案等(6 位：観光の振興)

キーワード	数
イベント	**14**
魅力	6
アピール	6
施設	5
活性化	3
店	3
接客	2
B級グルメ	1
道の駅	1
小川原湖	1
ビードルビーチ	1
アメリカ村	1

観光の振興に関する主な意見

・農業、水産業も品質の良い物があるので、もっと市外、県内へのアピールをし、商品開発を広めて、市全体が活気づき、潤うといいと思います。もっと市政で外へ広めないと。生産者さんの士気がより高まるように。

・どんどん市民の意見を聞いていただき、いろいろなイベントを企画してほしいです。

・せっかく様々イベントをやっていて、他市や近隣町村からお客様が来ているのに、おもてなしが足りないと感じます。

図表 14.2-7：市政に望むことや意見・提案等(7 位：交通網の充実)

キーワード	数
バス・交通の便	**9**
バスの本数	**7**
バスの路線	4
バスの料金	3
バス停	2
電車の本数	1
バスのデザイン	1

交通網の充実に関する主な意見

・バス路線が複雑で判りづらい。

・定期バスが、土曜、日曜にも走ってもらえればと思います。

・交通の便利が良くなると、もっと三沢の町がにぎやかになると思う。

・高齢者の運転免許自主返納は公共交通機関の充実や返納者への優遇を充実させる事が必至と思う。

・病院、大型店舗などへのバス運行便が増加すれば利便性が向上する。

図表 14.2-8：市政に望むことや意見・提案等(8 位：企業誘致と雇用創出)

キーワード	数
就職・仕事場	**10**
若者	**8**
企業・工場の誘致	7
賃金	2
産業	2

企業誘致と雇用創出に関する主な意見

・若い世代が就職や結婚、子育てがしやすい三沢市にしてほしいと思います。

・三沢市独自の産業を作り出していったらいいと思います。

・企業誘致しても、それなりの賃金でないと離職者も多くなると思う。やはり、住むためには金銭面でも魅力が必要。

図表 14.2-9：市政に望むことや意見・提案等(8 位：市民意識調査)

キーワード	数
質問内容	**10**
選択肢	**8**
活用	**5**
体裁	2
アンケートの必要性	2
回答時間	1
対象者	1

市民意識調査に関する主な意見

・行政サービスの満足度、以前に取組内容を知らないので書けない。認知度調査が先では？

・意識調査についてわからない部分も多かったので(どちらでもない)という項目があってもよかったかなと思います。

・今回のアンケートが効果的に市の行政に活用される事を期待します。

・私自身、他の人たちがどんな要望・提案をされているのか知りたいので。それをアンケートを送った人たち全員に「このアンケート結果はこうでしたよ。」と知らせてほしいです。

・こういったアンケートの実施はとても良い事だと思いますが意見や提案が活かされる事を望みます。

図表 14.2-10：市政に望むことや意見・提案等(10 位：生活安全の確保)

キーワード	数
ドライバー	**5**
外灯	**4**
安心できる街	**4**
交通事故防止	**3**
免許証返納	1
カーブミラー	1
歩道	1
規定	1
公共施設	1
警察の取り締まり	1
ステッカー	1
車の渋滞	1

生活安全の確保に関する主な意見

・安全運転を心がけることを強く市民に声がけるべき。歩行者優先が全くできていない。

・外灯をもっと増やし明るくして欲しい。

・子どもの安全を守ってほしい。防げる事(信号を変えて、危険をへらすなど)に、もっと力を入れてほしい。

・公共施設(公園、道路)等の安全面　看板・遊具など見回りして気を配ってほしい。

・恐ろしい事件もなく治安も良く安心して暮らせるのが一番何よりと思います

15　提言～住民に選ばれる三沢市へ＜三沢市ブランドの確立に向けて＞

本調査では、市民の暮らしの質を向上させるとともに、三沢市が好きだからずっと住み続けたいと思えるような、定住先として選ばれる三沢市を実現するために実施した。

すべての市民を満足させることは現実的に不可能であるため、ここで基本とした考え方は、得たい成果(＝三沢ブランドの確立と定住者の獲得)に焦点を当てて事業に優先順位をつけ、個々の事業同士が相乗効果を生むような戦略と対策によって高い成果を上げるというマーケティングのセオリーである。

そこで最後に、本調査結果とマーケティングの考え方に基づいた対策案を提言する。

＜独自価値＞⇒高める	**＜欠点＞**⇒改善＆強みに変える
・　国際色豊かな基地のまち ・　自然が近いのに自然災害が少ない ・　安全・安心に暮らせる平和なまち	・　商店街に活気がない ・　交通の便が悪い ・　仕事がない

＜根底にあるニーズ＞
地方の良さ(自然豊か・安全安心)は失わずに、生活は便利(買い物、交通、仕事)であってほしい

＜理想とする三沢市の姿＞
- 多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち
- 人々(日本人も外国人も)がふれ合うにぎやかな商店街
- 雇用の場があり、若者が定着できるまち

提言１．イベント時だけでなく、日々の生活に国際色が感じられる取り組みを
＜国際色豊かな基地のまち＞取り組み例
・外国人と日常から触れ合えるフリーマーケットを定期的に開催
・外国人に関わる生活関連事業主のメニューの多言語化
（外国人向け商品、ベジタリアン、ハラール対応食のコーナー設置など）
・ドッグランなど交流スペースでの多言語対応（出来る事と出来ない事を明記）

提言２．自然と調和したまちとして、循環型社会に配慮した仕組みを

＜自然が近く、生活の中に自然があるまち＞取り組み例

・自然と共生を体験できる親子で楽しめるアクティビティの開発

・自然アクティビティと食育を組み合わせた、生活の中の自然体験促進の実施

・森林保全活動、開発ではなく既存遊休地の活用促進

・雨天時や冬季、スポーツを楽しめる室内設備との自然アクティビティ連携

提言３．災害や犯罪が少なく、安心して暮らせるまちであることの PR を

＜安全・安心に暮らせる平和なまち＞取り組み例

・自然災害や犯罪が少ない根拠(データ)の情報発信

・犯罪情報のみではなく、警察や消防に寄せられたポジティブな情報の発信

提言４．路線バス以外に市民が気軽に利用できる交通手段を

＜交通の便が悪い＞取り組み例

・乗り合いタクシー、循環ミニバン、カーシェアリング等の先駆的な取り組み

・路線バス活用促進の実施（週末、みーバスで家族の時間を楽しむ企画など）

提言５．多様な能力が発揮できる「仕事づくり」「雇用創出」の取り組みを

＜仕事がない＞取り組み例

・女性や高齢者が在宅で出来る仕事を市内企業とマッチング

・高齢者のチームで取り組む、民間事業主のフラッグシップとなりえる仕事の創造

・知的労働、専門職を活かす事が出来る起業の支援及びモデル事業の実施

提言６．生活は便利でありながら、自然豊かな独自性を活用した取り組みを

＜地方の良さは失わずに、生活は便利であってほしい＞取り組み例

・自然環境を壊さない住宅開発(リノベーション・リフォームの支援)

・上記対策について、移住者に対する追加支援（助成金、補助含む）

提言７．多様な価値観を受け入れる受容力あふれるまちとしてのイメージ戦略を

＜多様性を認め合い、誰もが活躍できるまち＞取り組み例

・様々な国からの観光受入れ体制整備(案内看板、多言語対応)

・禁止看板のみではなく、可能な事を伝える表現による情報伝達
（公園の「ペット禁止」看板→「ペット同伴可能エリア」看板など）

・「福祉から雇用」の実現。障害を抱えている方の活用（保護ではなく活かす政策）

・多言語でのウェルカムメッセージの掲示（空港、駅、市役所車両など）

提言８．多様な人々が集まりふれ合える商店街の活用を

＜人々がふれ合うにぎやかな商店街＞取り組み例

・商店街、市内店舗で外国人をターゲットとした商品サービスの開発・提供

・多国籍に対応した、常設コミュニティースペースの運営

提言９．若者が活躍できる、故郷に戻って来られる仕事の場を

＜雇用の場があり、若者が定着できるまち＞取り組み例

・創業支援及びベンチャー企業の三沢支社設立支援

・今後求められる職業人材の調査、把握及び育成と仕事、働く場所の創造支援

・加工販売業など地域に不足している業種の調査及び設備投資支援

提案 10．子供が誇りを持ち、将来が明るいと思えるまちづくりを

＜大人も高齢者も、明るく元気なまち＞取り組み例

・仕事のやりがいを増進する、従業員及び職員満足度調査プラットフォームの設置

・シルバー人材センターやシニア団体と連携した生きがいに繋がる仕事の創造

・子ども、大人、高齢者、外国人と「みんなでつくる」市民提案事業の推進

＜最後に＞

三沢のブランド化にデータ活用を

現在、住民満足度調査や観光マーケティング等から得られたデータを、自治体がブランド化にまで活用している事例は少ない。一部の上層部や経営者の思い付きではなく、確かなデータから経営を行いブランド化にまで繋げる事はグローバル市場では当たり前の事となっており、世界の先駆的な成功例になっているエリアでの取り組みにおいては（ニュージーランドの観光産業やノルウェーの水産業など）データを活用しターゲット毎に戦略を変えているという共通点がある。

三沢市が国際的な都市としての認知を県外や海外に広げるために、本データを活用し、短期～中長期的な戦略を立案、評価指標の策定や評価後の改善、ひいてはブランド化を実現して頂きたい。

＜巻末資料 A＞平成 28 年度 市民意識調査･子どもアンケート 質問票

0001

「三沢市民意識調査」へのご協力をお願いします

日頃から市政運営に関しましてご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

三沢市では、「人とまち　みんなで創る　国際文化都市」を基本理念とし市政運営に取組んでおりますが、今後の市政運営の参考とするため、市民の皆さまを対象とした意識調査（アンケート調査）を実施いたします。

※本調査にあたりましては、18 歳以上の市内居住者から 2,000 名を無作為抽出し、こちらのご案内を送付させて頂きました。

回答結果は統計的に集計され、本調査の目的のみに使用し個人が特定されることはありません。お忙しいところ恐れ入りますが、15 分ほどで回答できるアンケートですので、より良い三沢市づくりのために皆さまの率直なご意見をお聞かせ下さいますようお願い申し上げます。

平成 28 年 12 月 6 日

三沢市長　　種市　一正

【ご記入にあたってのお願い】

◆ご回答の際は、それぞれの設問の当てはまる番号に○印をつけて下さい。
　※設問ごとに、選ぶ個数が異なりますので（○は１つ、○はいくつでも可など）ご注意下さい。

◆宛名のご本人様への回答をお願いしておりますが、ご本人が回答できない場合は 18 歳以上の代理の方でも構いません。

【返送方法】

◆ご回答頂いたこちらの調査票は **12 月 26 日（月）** までに同封の返信用封筒に入れてご返送下さい（返信用封筒の切手代は不要です）。

※本調査についてのお問合せ先
　三沢市役所 政策部 政策調整課 TEL:0176-53-5111（内線 539）

1

0001

はじめに、あなたご自身についてお伺いします

問１．あなたの性別・年齢（それぞれ１つに○）

１．男性　　２．女性	１．10～20 代　　２．30 代 ３．40 代　　４．50 代 ５．60 代　　６．70 代以上

問２．三沢市に住んでいる年数（数字で記入）

□ 年　（※途中で転居された方は、今までの合計年数をご記入下さい。）

問３．あなたの家族構成・住居形態

同居されているご家族を下記よりお選び下さい。（○は１つ）

１．なし(単身)　２．配偶者　３．配偶者・子ども　４．子ども　５．親
６．祖父母　７．２世帯以上　８．恋人　９．その他（　　）

あなたご自身も含め、**ご家族で該当する方すべて**をお選び下さい。（○はいくつでも可）
※該当する方がいない場合は、記入の必要はございません。

１．小学校に入学する前のお子さん	２．小学生・中学生のお子さん
３．高校生（のお子さん）	４．大学生（のお子さん）
５．65 歳以上の方	６．定期的に通院されている方
７．障がいを抱えている方	

現在のお住まいの形態を下記よりお選び下さい。（○は１つ）

１．持ち家（自分の所有）	２．持ち家（親等の所有）	３．賃貸
４．その他（　　）		

問４．あなたの職業・業種（○は１つ）

１．自営業
２．会社員
３．公務員
４．派遣社員
５．パート・アルバイト
６．専業主婦(夫)
７．学生
８．無職

１～５を選んだ方は業種もお選び下さい。
（○は１つ）

１．建設業	２．製造業
３．運輸・通信業	４．農業
５．漁業	６．小売業・卸売業
７．金融・保険業	８．サービス業
９．官公庁	
10．その他（　　）	

問５．あなたの居住地（○は１つ）

下記の一覧の中からお住まいの地区を選び、１～６のいずれかをお選び下さい。

１．第一中学校区	**花園町**１・２・３・４・５丁目、**中央町**１・２・３・４丁目、**上久保**、**上久保**１・２・３・４丁目、**松園町**１・２・３丁目（３丁目１～３番）、**駒沢**（猫又）、**南町**１・２・３・４丁目、**東町**１・２丁目、**桜町**１・２・３丁目、**平畑（64 番除く）**、**平畑**１・２丁目、**幸町**１・２・３丁目、**緑町**１・２・３丁目、**岡三沢**１・２・３丁目
２．第二中学校区	**南山**１・２・３・４丁目、**大津**、**大津**１・２・３・４丁目、**前平**、**前平**１・２・３丁目、**浜三沢**＜**横沢**、**北山**、**上野**、**下野**、**向平**、**下堀**、**山下**、**水筒**、**中平**、**下沢**、**園沢**、**山ノ神**、**上屋敷**、**南山**の一部、**堀口**の一部、**淋代平**の一部、**浜通り**の一部＞、**流平**、**四川目**１・２・３・４・５・６丁目、**五川目**１・２・３・４丁目、**三川目**１・２・３・４丁目、**鹿中**１・２・３・４丁目、**港町**１・２丁目、**淋代**１・２・３・４・５・６丁目、**さつきヶ丘**１丁目
３．第三中学校区	**細谷**１・２・３・４丁目、**六川目**１・２・３・４・５・６・７・８丁目、**織笠**１・２・３・４丁目、**塩釜**１・２・３・４丁目、**新森**１・２丁目（砂森）、**高野沢**１・２丁目、**富崎**１・２丁目、**谷地頭**１・２・３・４丁目、**八幡**１・２丁目、**越下**１丁目、**庭構**、**根井**１・２丁目、**朝日**１・２丁目
４．堀口中学校区	**松原町**１・２丁目、**東町**３・４丁目、**美野原**１・２・３丁目、**深谷**１・２・３丁目、**日の出**１・２・３・４丁目、**東岡三沢**１・２・３丁目、**岡三沢**４・５・６・７・８丁目、**後久保**、**下久保**１・２・３丁目、**堀口**１・２・３丁目、**泉町**１・２丁目、**平畑**の一部、**堀口**の一部、**南山**の一部、**下久保**の一部
５．第五中学校区	**春日台**１・２・３丁目、**本町**１・２・３（古間木、古間木山）・４丁目、**古間木**１・２・３・４丁目、**薬師**１・２丁目（古間木山）、**古間木**、**堀切沢**、**大町**１・２・３丁目、**栄町**１・２・３丁目、**松園町**３丁目（１～３番除く）、**新町**１（猫又）・２・３・４丁目、**千代田町**１・２・３・４・５丁目
６．不明	１～５のどれに当てはまるか分からない

次に、定住の意向・三沢市についてのご意見をお伺いします

問６．あなたは、今後も三沢市に住み続けたいですか？（番号に○は１つ）
※転勤・転居の予定や可能性がある方は、それがないものとして住み続けたいかをお答え下さい。

1 全く住み続けたくないと思う	2 住み続けたくないと思う	3 どちらでもないが住み続けると思う	4 住み続けたいと思う	5 とても住み続けたいと思う

※１、２を選んだ方は、三沢市に住み続けたくない理由をご記入下さい。
（自由記述）

（　　）

※３、４、５を選んだ方は、**その理由**を下記の①～⑬の中から選んで **１位、２位、３位の番号を記入**して下さい。

１位	２位	３位

三沢市に関する理由

①三沢が好きだから
②生活に便利
③街の雰囲気
④子育て環境が良い
⑤教育環境が良い
⑥趣味を楽しめる
⑦国際色が豊か

ご自身に関する理由

⑧通勤に便利
⑨通学に便利
⑩生まれ育ったから
⑪親や親族がいるから
⑫引っ越しは面倒

⑬その他　（①～⑫のどれにも当てはまらない）
（　　）

問７．あなたは、三沢市の欠点は何だと思いますか？（自由記述）

（　　）

問８．あなたは、三沢市の一番の魅力は何だと思いますか？（自由記述）

（　　）

問９．あなたが住みたい理想の都市はどこですか？（国内外問わず）

国名もしくは都市名	その国もしくは都市を選んだ理由 （その都市が優れている点）
その都市と比較して三沢市は何点ですか？ □ 点 / 100 点満点中	（　　）

問 10．何でも出来るとしたら、あなたは三沢市をどんな街にしたいですか？（自由記述）

（　　）

問 11．あなたが三沢市で暮らす上で重要視する事を下記の中から３つ選んで下さい。
（○は３つ）

１．高齢者、障がい者が活躍できる	２．医療機関が充実している
３．安心して子育てができる	４．災害に強い
５．治安の良さ	６．基地と共存共栄している
７．国際交流が盛ん	８．芸術やスポーツを楽しめる
９．働ける場所がたくさんある	10．買い物に便利
11．交通の便が良い	12．魅力的な住宅や土地がある
13．地域住民同士の交流がある	
14．その他（　　）	

三沢市の行政サービスに対する満足度をお伺いします

問 12. あなたは、三沢市が行っている下記の事業分野に対して、どのくらい満足していますか？
それぞれの項目について、当てはまる番号をお選び下さい。（○は１つ）

▼事業分野	満足度			
1．健康･医療･福祉分野	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
1-① 健康づくりへの支援	1	2	3	4
1-② 各種健康診断事業の実施	1	2	3	4
1-③ 医療体制の整備･充実	1	2	3	4
1-④ 介護サービスなどの高齢者への支援	1	2	3	4
1-⑤ 保育サービス、子育てへの支援	1	2	3	4
1-⑥ 障がい者への支援	1	2	3	4
1-⑦ 地域福祉体制、福祉活動への支援	1	2	3	4
	満足度			
2．自然環境/基地対策/生活安全/防災/消防･救急分野	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
2-① 自然環境の保全活動	1	2	3	4
2-② ごみの減量化、再資源化の推進	1	2	3	4
2-③ 公害防止活動、環境保全活動の推進	1	2	3	4
2-④ 基地対策（騒音対策）の活動	1	2	3	4
2-⑤ 交通安全対策の推進	1	2	3	4
2-⑥ 防犯対策の推進	1	2	3	4
2-⑦ 消費者保護対策の推進	1	2	3	4
2-⑧ 防災対策の推進	1	2	3	4
2-⑨ 消防、救急体制の推進	1	2	3	4
	満足度			
3．国際化/学校教育/社会教育分野	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
3-① 国際交流活動への支援	1	2	3	4
3-② 小中学校の教育環境の整備	1	2	3	4
3-③ 多様な生涯学習環境の提供	1	2	3	4

	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
3-④ 芸術・歴史・文化に親しむ機会の提供	1	2	3	4
3-⑤ スポーツに親しむ機会の提供	1	2	3	4
	満足度			
4．企業誘致/農業/水産業/商業/観光分野	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
4-① 雇用・就業の場の確保	1	2	3	4
4-② 新たな産業・企業の誘致	1	2	3	4
4-③ 農業の振興	1	2	3	4
4-④ 水産業の振興	1	2	3	4
4-⑤ 商業の振興	1	2	3	4
4-⑥ 中心市街地活性化の取り組み	1	2	3	4
4-⑦ 観光の振興	1	2	3	4
	満足度			
5．交通/都市整備/上下水道分野	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
5-① バスの利用促進・運行への支援	1	2	3	4
5-② 住宅環境の整備	1	2	3	4
5-③ 公園環境の整備	1	2	3	4
5-④ 他市町村への幹線道路の整備	1	2	3	4
5-⑤ 安全で通行しやすい身近な生活道路の整備	1	2	3	4
5-⑥ 安全で安定した上水道の整備	1	2	3	4
5-⑦ 下水道の整備	1	2	3	4
	満足度			
6．地域協働/広報広聴/行財政改革分野	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
6-① 地域団体の活動への支援	1	2	3	4
6-② 市役所と皆さんが力を合わせたまちづくり	1	2	3	4
6-③ 男女共同参画を推進したまちづくり	1	2	3	4
6-④ 広報みさわやケーブルテレビによる情報発信	1	2	3	4
6-⑤ 市民の皆さんの視点に立った行政運営	1	2	3	4

あなたの日ごろの意識についてお伺いします

問 13. あなたは普段、下記の項目についてどのように思っていますか？

それぞれの項目について、当てはまる番号をお選び下さい。（○は１つ）

▼質問項目	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
①心身ともに健康に生活している 自主的に健康づくりに取組むなど、健康で生きがいを持ち生活できていると思いますか？	1	2	3	4
②安心して質の高い医療が受けられている 症状に応じた適切な治療を受けられていると思いますか？	1	2	3	4
③妊娠・出産支援が充実している 妊産婦や乳幼児健診など、安心して出産できる環境が整っていると思いますか？	1	2	3	4
④子育ての環境が充実している 子育て相談・子育て支援など、安心して育てられる環境が整っていると思いますか？	1	2	3	4
⑤普段の生活を安心して過ごしている 家族や地域、福祉事業者、病院、保育所などと協力・交流し、安心した暮らしができていると思いますか？	1	2	3	4
	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
⑥市の福祉サービスや相談体制に満足している 高齢者や介護、障がい者など福祉に関するサービス・支援・相談体制に満足していますか？	1	2	3	4
⑦小学生・中学生が充実した教育を受けている 児童生徒が充実した教育を受けられていると思いますか？	1	2	3	4
⑧図書館や公民館などの社会教育施設が充実している 図書館や公民館は、誰もが利用しやすく各種講座など学びの機会が充実していると思いますか？	1	2	3	4
⑨伝統文化や歴史遺産が大切に後世に伝えられている 神楽・駒踊りなどの伝統芸能、埋蔵文化財などが適切に保存され、活用されていると思いますか？	1	2	3	4

	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
⑩市内の体育施設は利用しやすい 体育館や武道館などの体育施設は、団体活動や大会開催などで利用しやすいですか？	1	2	3	4
⑪自宅周辺の道路は安全で利用しやすい 自宅周辺の道路は、通勤や通学、日常生活において、安全で利用しやすいですか？	1	2	3	4
⑫三沢空港は利用しやすい 三沢空港発着路線は、出張や旅行などで利用しやすいですか？	1	2	3	4
⑬青い森鉄道は利用しやすい 青い森鉄道は、通勤・通学・新幹線への乗り換えなどで利用しやすいですか？	1	2	3	4
⑭隣近所や地域の方々と交流や助け合いがある 近所に住んでいる方や町内会やサークル活動をしている近隣の方々などと日頃から交流などがありますか？	1	2	3	4
⑮行政サービスの質が向上している 市役所の窓口サービスや相談時の対応、利用しやすさなどが以前と比べ向上していると感じますか？	1	2	3	4
⑯三沢市に誇りや愛着を感じている 三沢市や自分の暮らしている地区などに誇りや愛着を持っていますか？	1	2	3	4

あなたの日ごろの行動についてお伺いします

問 14. あなたは日頃、下記のようなことを日ごろ行っていますか？

それぞれの項目について、「はい(1)」か「いいえ(2)」のどちらかをお選び下さい。（○は１つ）

▼質問項目	選択肢	
①週１回以上の運動やウォーキングなどの健康づくりに取組んでいますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
②かかりつけ医がいますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
③過去１年間に、ＮＰＯやボランティアなどの市民活動団体で活動されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
④過去１年間に、町内会やＰＴＡといったコミュニティ組織で活動されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑤過去１年間に、国際交流活動に参加されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑥過去１年間に、各種講座やサークル活動に参加されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑦航空機の騒音に悩まされていますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑧災害時の緊急避難場所をご存知ですか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑨道の駅みさわを定期的に利用していますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑩三沢市漁業協同組合の直売所を利用されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑪過去１年間に、三沢市野菜集出荷所（三沢市青果市場）を利用されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑫ごみの減量、節電、節水など省エネの取組みをしていますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑬家族や夫婦で協力し、家事や子育てなどができていますか？	1 **はい**	2 **いいえ**

▼質問項目	選択肢	
⑭子育てや介護のための休暇の取得など、仕事と生活のバランスが取れていますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑮三沢市ホームページや SNS 等で、市の情報を得ることはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑯三沢市の基本理念「人とまち　みんなで創る　国際文化都市」をご存知ですか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑰過去１年間に、三沢空港発着の飛行機を利用されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑱過去１年間に、三沢駅で青い森鉄道を利用されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑲過去１年間に、市内でコミュニティバス（路線バス等）を利用されたことはありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
⑳将来、高齢等を理由に、運転免許証を積極的に返納しようと思いますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
㉑日常会話程度の英語を話すことができますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
㉒休日などに、市外に出かけることが多いですか？	1 **はい**	2 **いいえ**
㉓隣近所の方とあいさつや立ち話などをされますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
㉓市役所の仕事、事業、予算などに関心はありますか？	1 **はい**	2 **いいえ**
㉕市政モニター制度に登録されていますか？	1 **はい**	2 **いいえ**

◎最後に、三沢市をより良いまちにするために、あなたが市政に望むことやご意見・ご提案がございましたらご自由にお書き下さい。

質問項目は以上となります。ご協力ありがとうございました。

頂きました貴重な声を、三沢市のまちづくりに役立てて参ります。

こちらの調査票は、同封の返信用封筒にて **12 月 26 日（月）** までに
郵便ポストへ投函願います。（返信用封筒の切手は不要です）

「三沢市　子どもアンケート」へのご協力をお願いします

みなさんこんにちは。三沢市では、**だれもが住みたくなるより良いまちづくり**を目指し、そのために子どもアンケートを行うことにしました。このアンケートは、**みなさんがもっと三沢市を好きになるための取り組み**を行っていくために役立てられます。みなさんが三沢市について思っていること、感じていることを自由に書いてください。
※このアンケートにはお名前を書く必要はなく、あなたが書いた内容を他のお友達に見せることもありません。

問 1. あなたの性別（○は１つ）

１．男の子　　２．女の子

問 2. あなたはいつから三沢市に住んでいますか？
（○は１つ）

１．生まれたときからずっと
２．とちゅうで引っこしてきた

とちゅうで引っこしてきた方だけにお聞きします。

引っこしてきたのは何年くらい前ですか？（数字で記入）

（　　）年くらい前に

青森県内／県外のどこから来ましたか？（○は１つ）

１．県内　　２．県外

問 3. あなたは、いま住んでいる三沢市が好きですか？（番号に○は１つ）

好きでない	あまり好きでない	どちらともいえない	まあ好き	とても好き
1	2	3	4	5

ここからは、みなさんの思っていることを**言葉で自由に**お答えください。

問 4. あなたが三沢市の好きなところ、または良いと思うところは何ですか？

問 5. あなたが三沢市のきらいなところ、または良くなってほしいと思うところは何ですか？

問 6. 三沢市を別の言葉で言い表すとしたら、どんな言葉がぴったり来ますか？

例）○○○なまち、○○○みたいなまち

問 7. 他のまちにはない、三沢市ならではのじまんを教えて下さい。

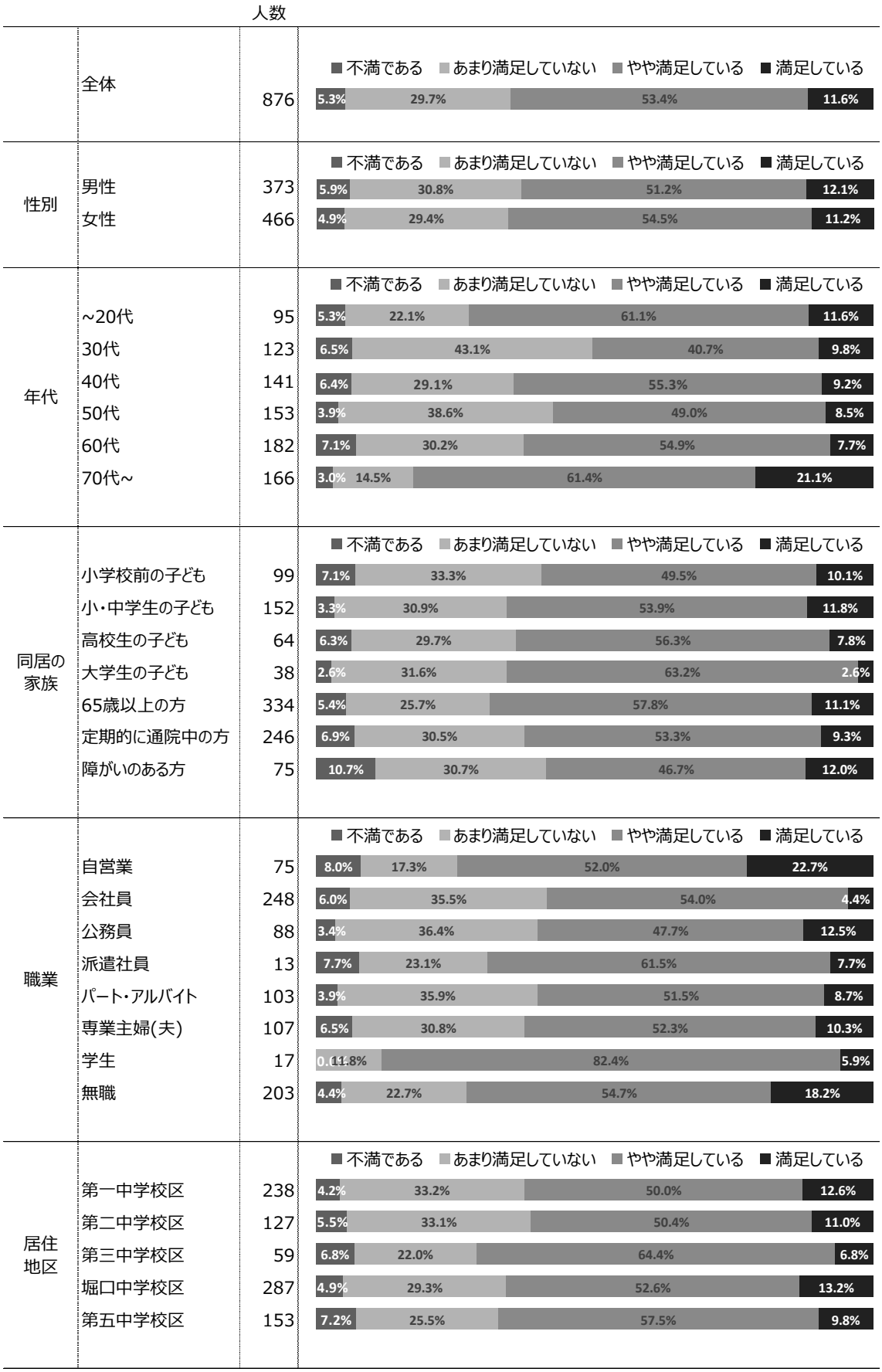
問 8. あなたが大人になった時、三沢でどんな職業につきたいと思いますか？（今ない職業でもいいです）

問 9. あなたが大人になった時、三沢がどんなまちになっていたらいいと思いますか？

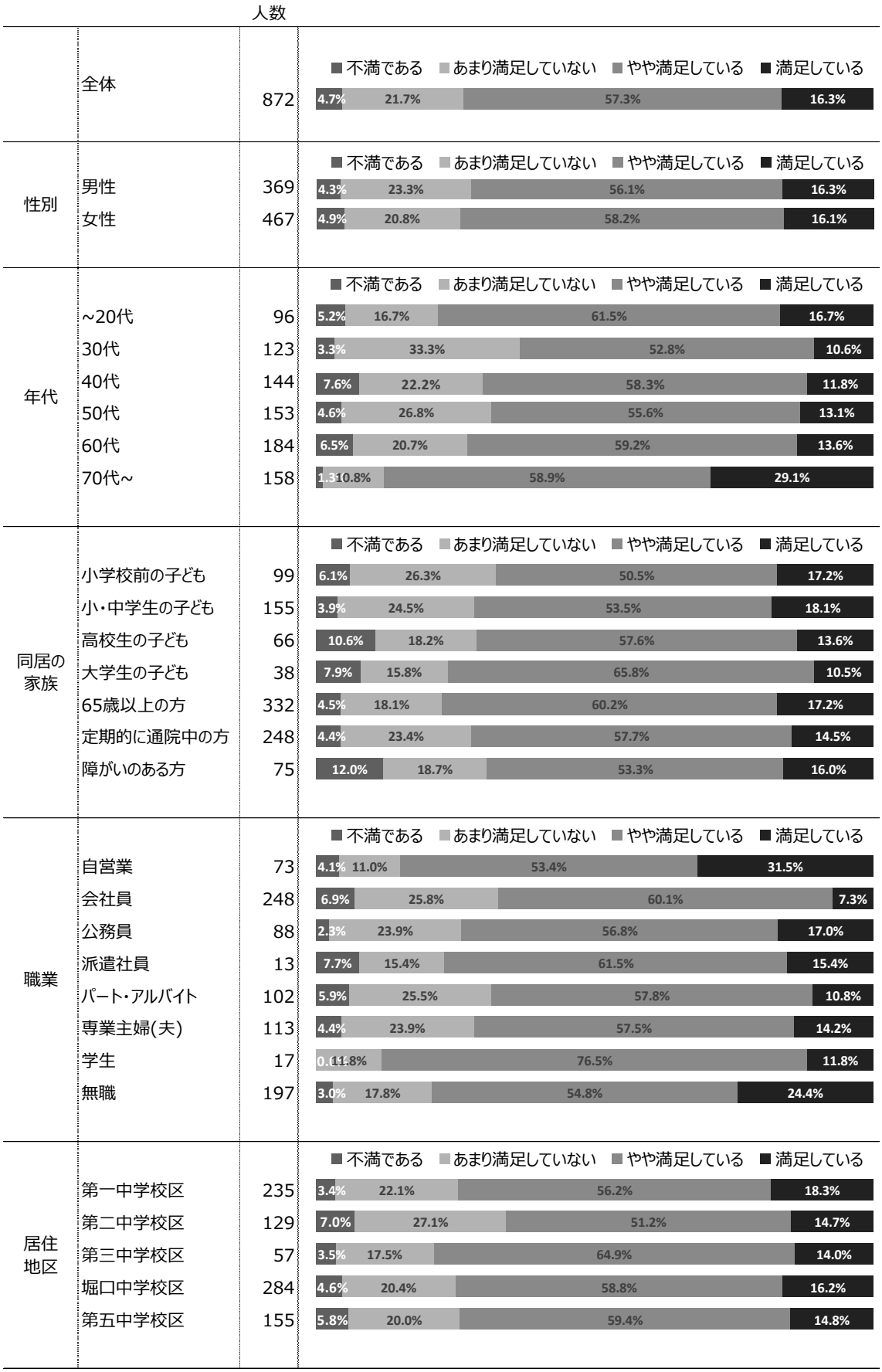
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

＜巻末資料 B＞ 調査結果②：行政サービスに対する満足度（属性ごと）

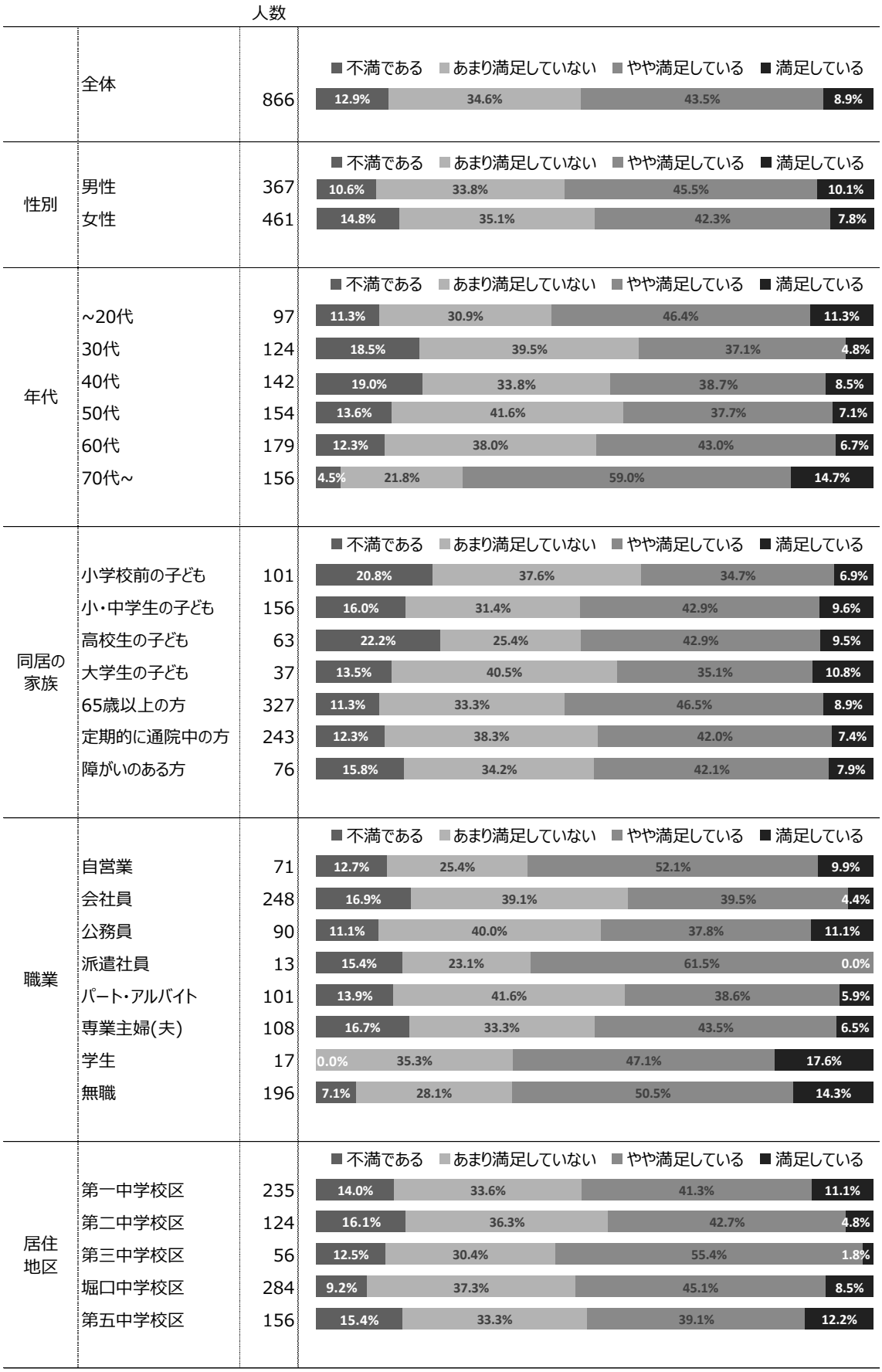
Q12_1-①【健康づくりへの支援】



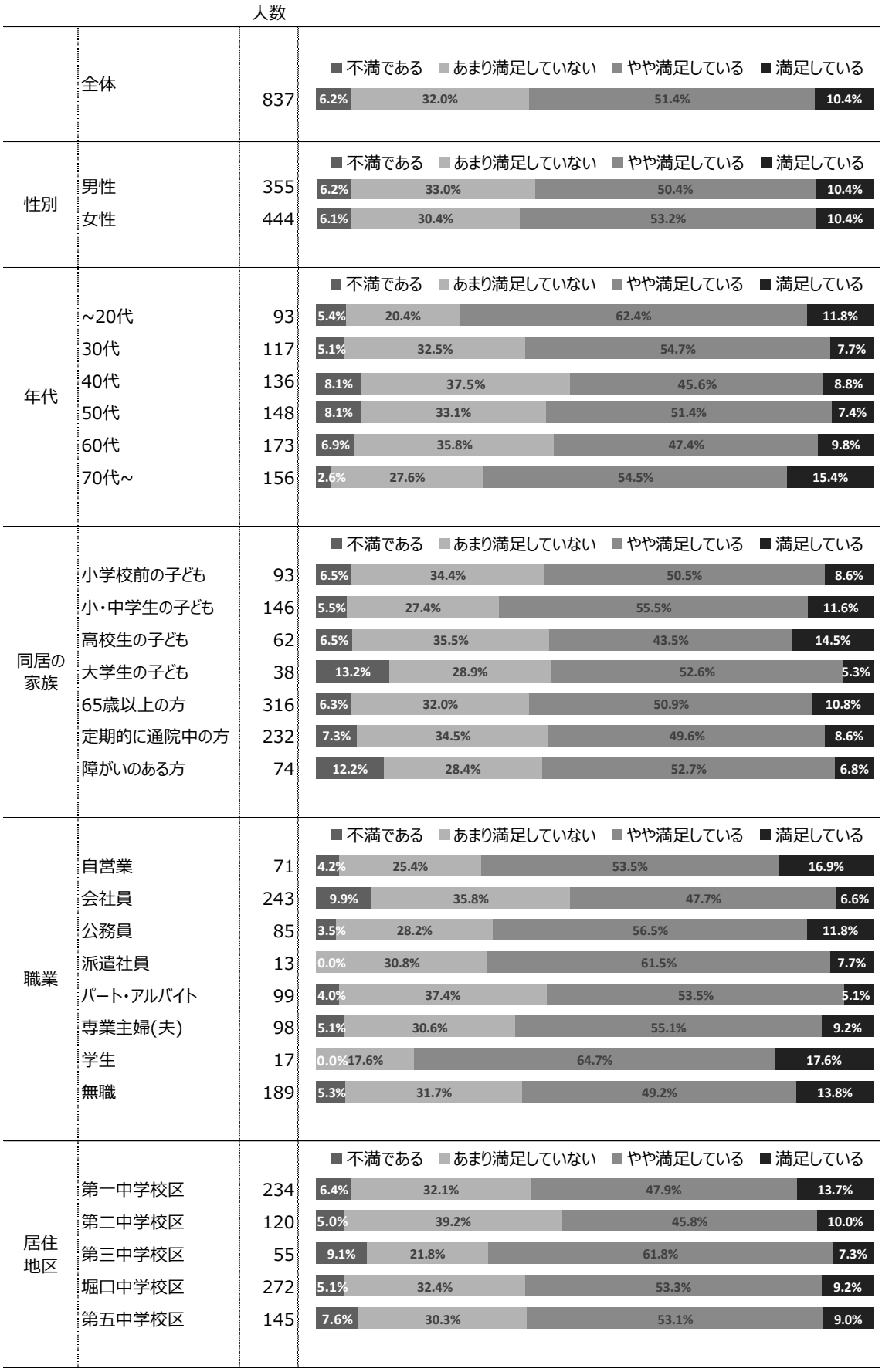
Q12_1-②【各種健康診断事業の実施】



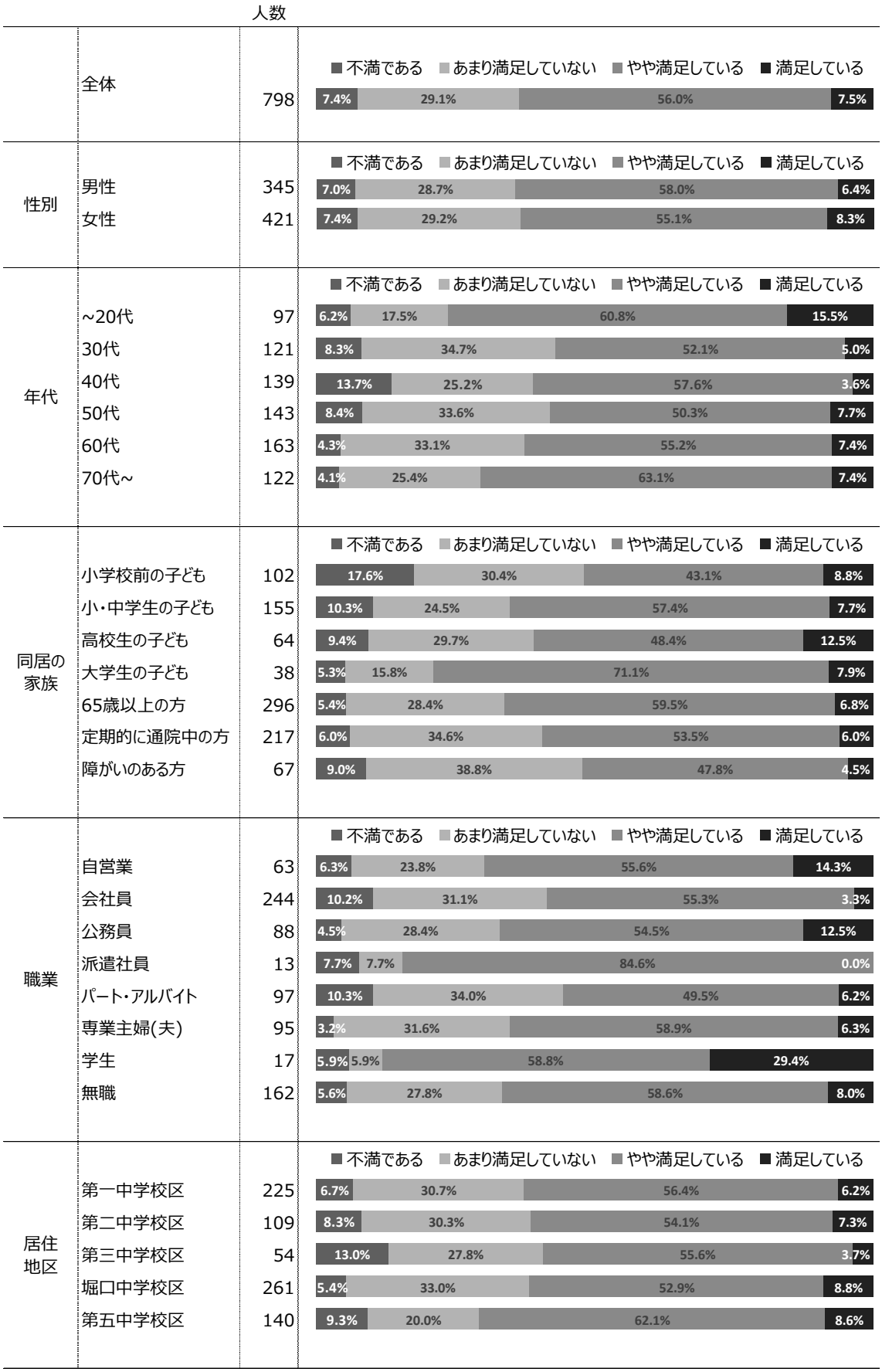
Q12_1-③【医療体制の整備・充実】



Q12_1-④【介護サービスなどの高齢者への支援】



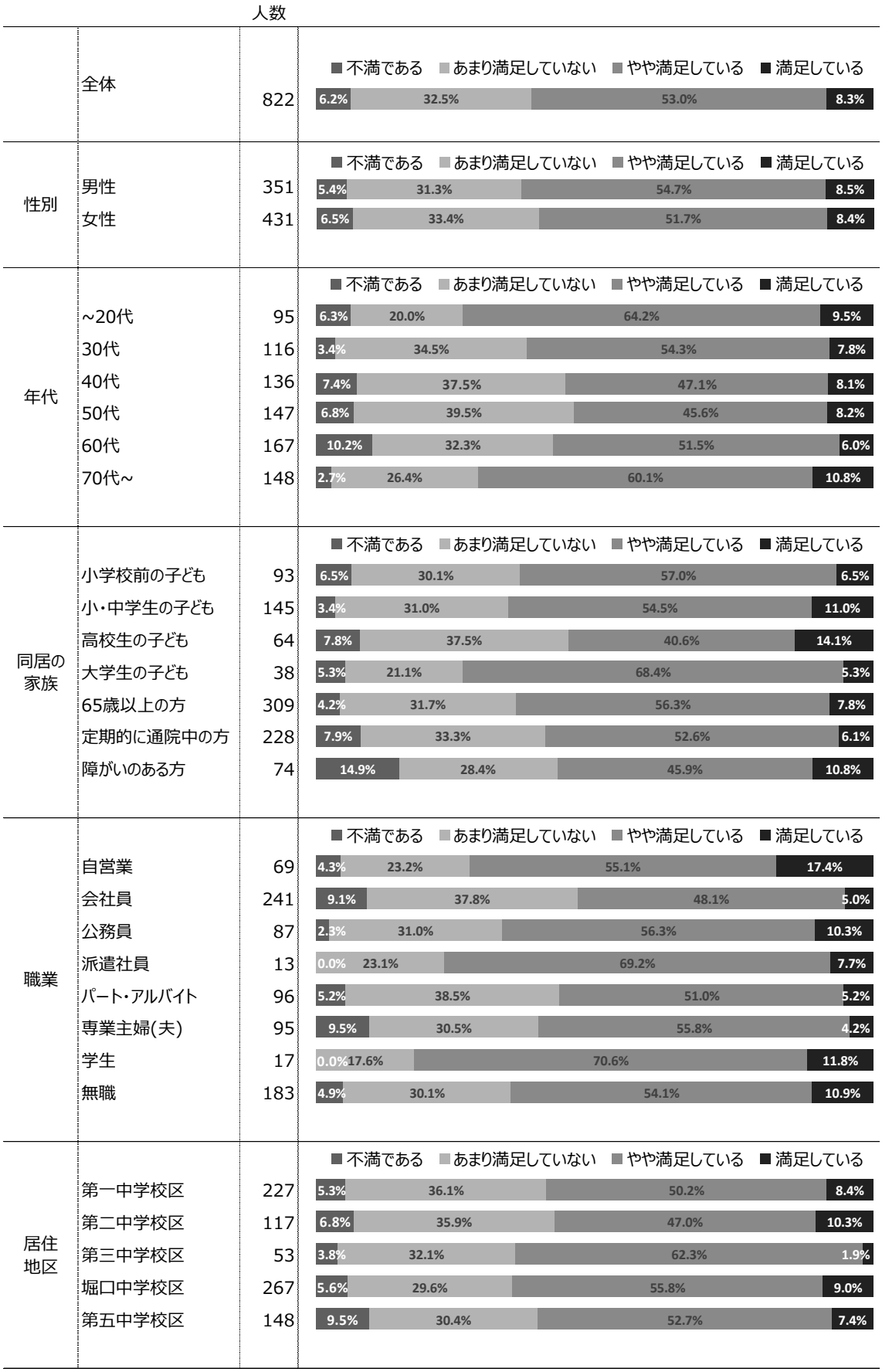
Q12_1-⑤【保育サービス、子育てへの支援】



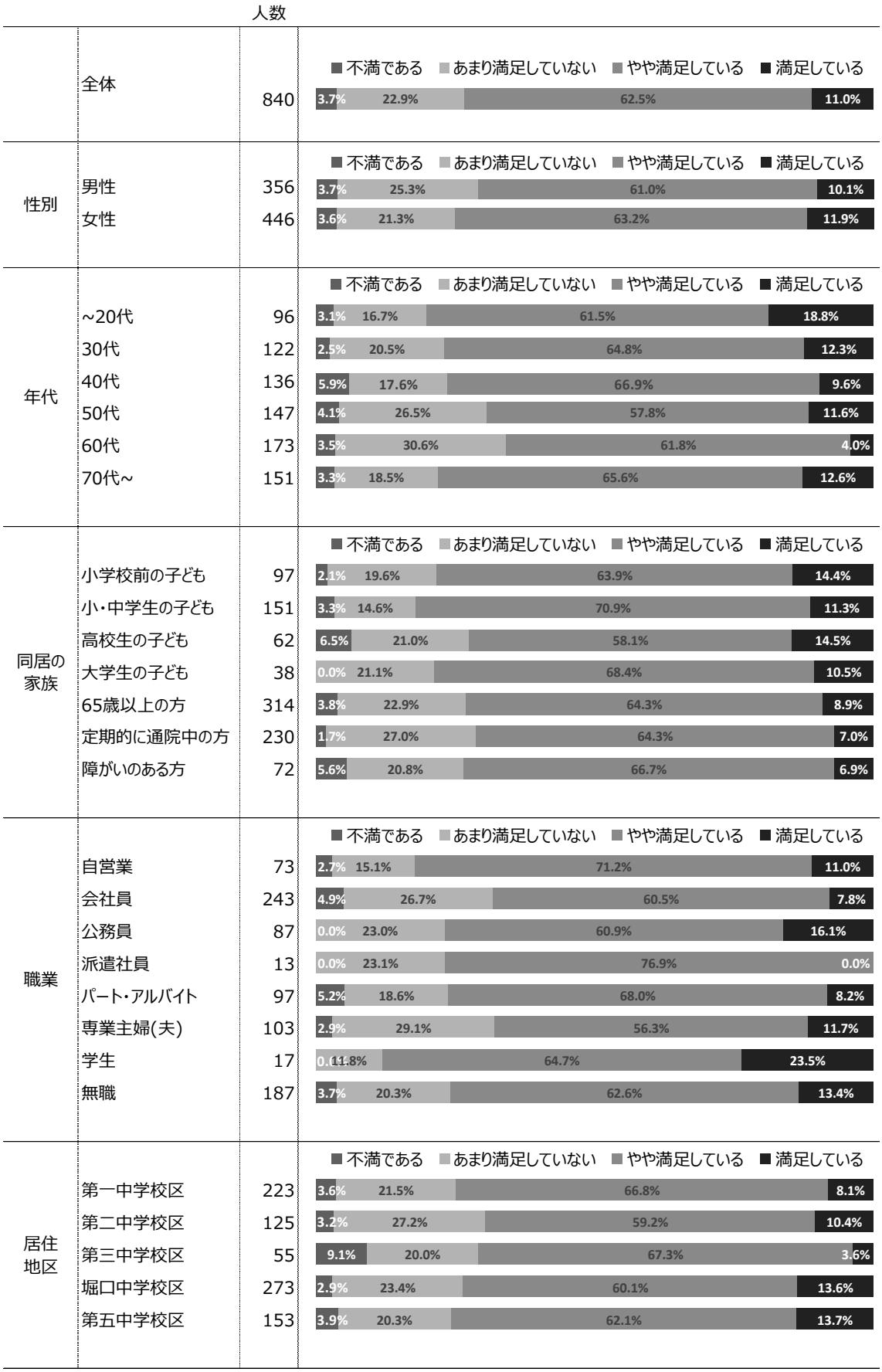
Q12_1-⑥【障がい者への支援】

		人数	■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
	全体	796	6.3% 34.2% 51.8% 7.8%
性別	男性	339	5.6% 36.0% 51.3% 7.1%
	女性	424	6.4% 32.8% 53.1% 7.8%
年代	~20代	95	6.3% 22.1% 60.0% 11.6%
	30代	117	4.3% 33.3% 56.4% 6.0%
	40代	133	5.3% 37.6% 50.4% 6.8%
	50代	144	9.0% 40.3% 43.8% 6.9%
	60代	163	9.2% 35.0% 49.1% 6.7%
	70代~	131	3.1% 30.5% 57.3% 9.2%
同居の家族	小学校前の子ども	92	8.7% 28.3% 57.6% 5.4%
	小・中学生の子ども	142	3.5% 29.6% 59.9% 7.0%
	高校生の子ども	62	6.5% 40.3% 46.8% 6.5%
	大学生の子ども	38	5.3% 26.3% 60.5% 7.9%
	65歳以上の方	296	4.7% 36.5% 51.7% 7.1%
	定期的に通院中の方	219	7.8% 40.2% 45.7% 6.4%
	障がいのある方	72	15.3% 34.7% 40.3% 9.7%
職業	自営業	64	4.7% 31.3% 51.6% 12.5%
	会社員	238	7.6% 38.2% 50.4% 3.8%
	公務員	86	3.5% 32.6% 54.7% 9.3%
	派遣社員	13	0.0% 23.1% 61.5% 15.4%
	パート・アルバイト	95	6.3% 35.8% 51.6% 6.3%
	専業主婦(夫)	92	8.7% 34.8% 52.2% 4.3%
	学生	17	0.0% 17.6% 64.7% 17.6%
	無職	171	6.4% 32.2% 50.9% 10.5%
居住地区	第一中学校区	226	7.5% 35.8% 49.6% 7.1%
	第二中学校区	111	7.2% 40.5% 45.0% 7.2%
	第三中学校区	53	5.7% 24.5% 66.0% 3.8%
	堀口中学校区	256	5.1% 33.6% 53.5% 7.8%
	第五中学校区	140	6.4% 31.4% 51.4% 10.7%

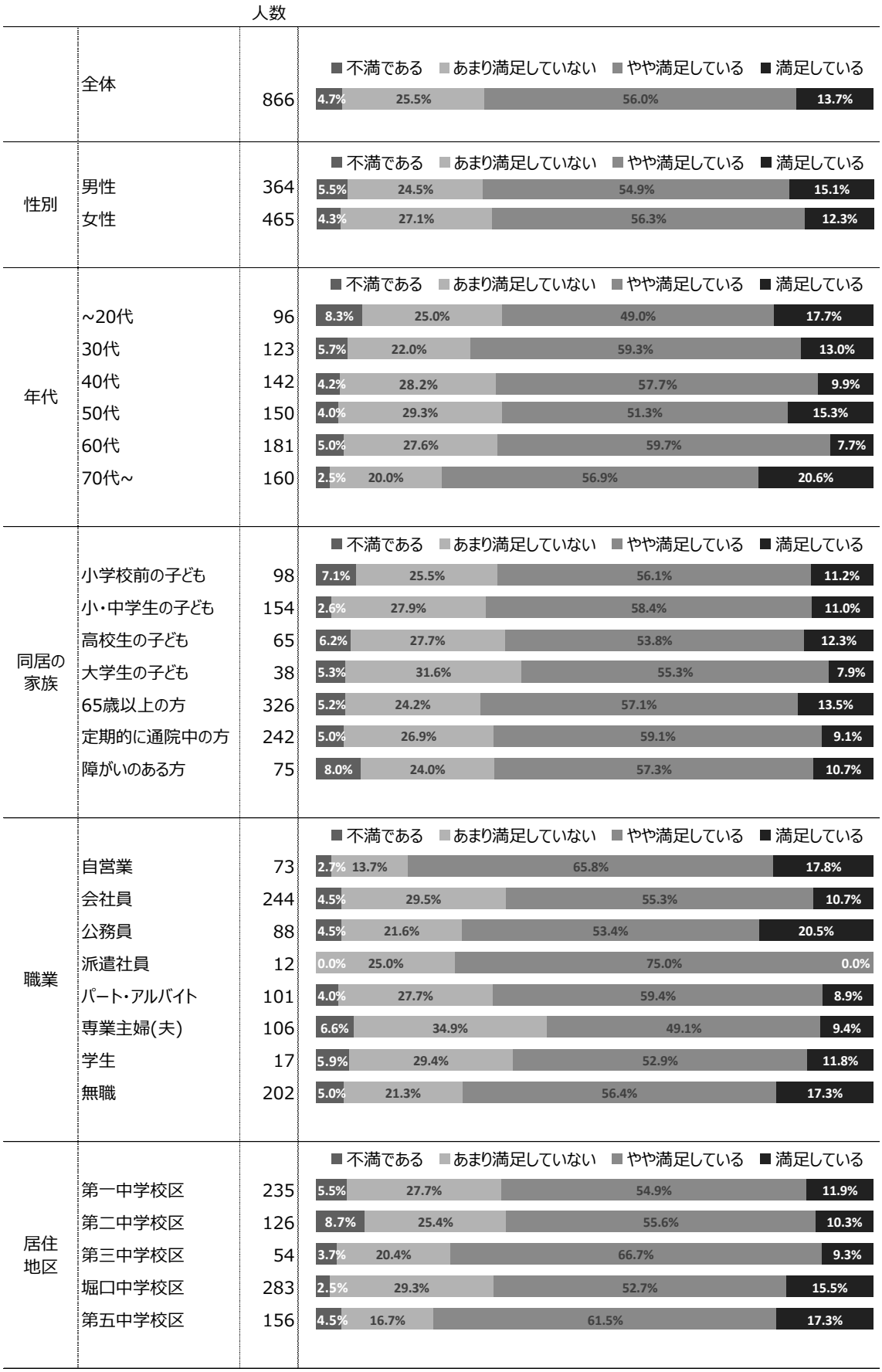
Q12_1-⑦【地域福祉体制、福祉活動への支援】



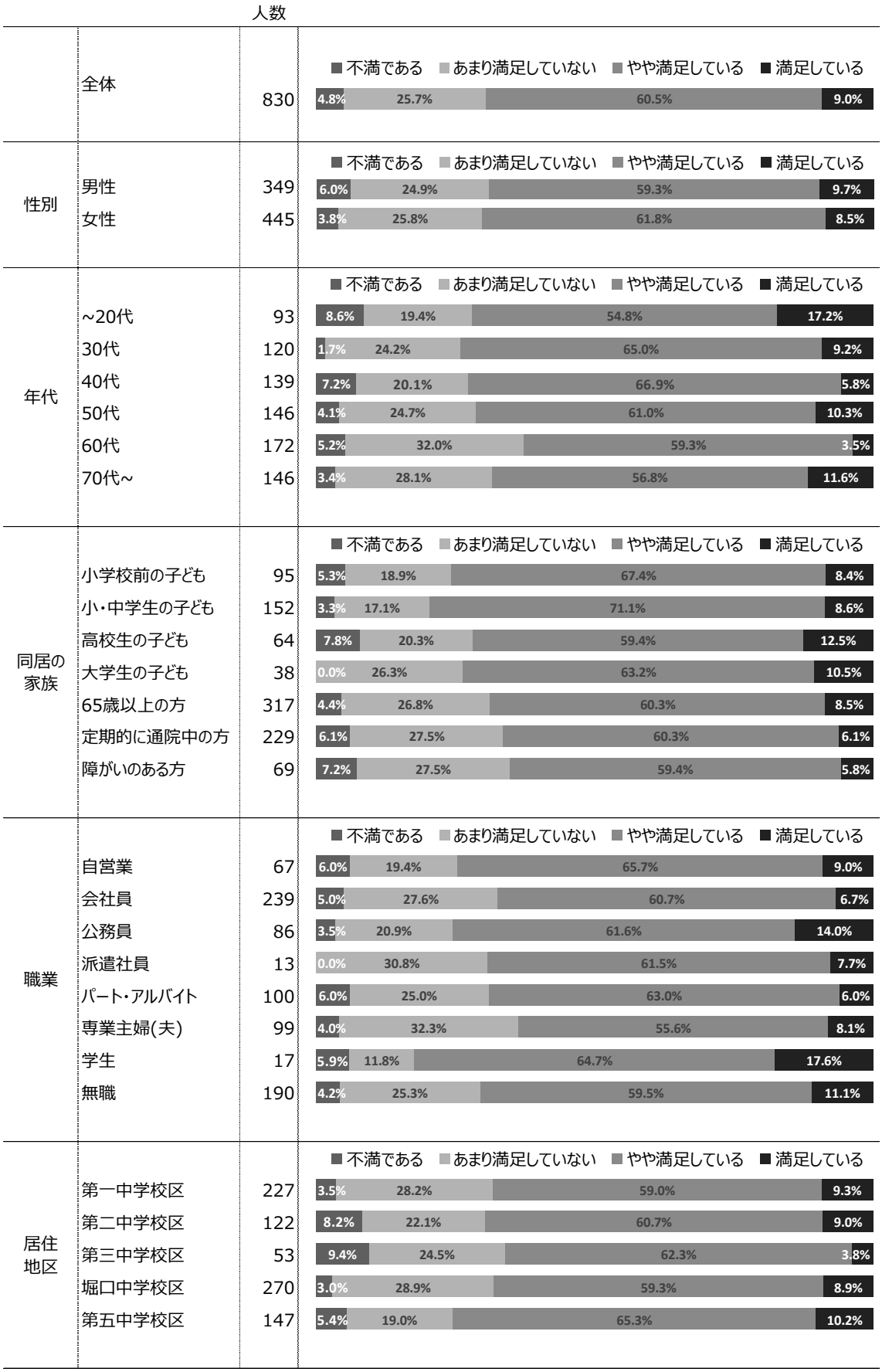
Q12_2-①【自然環境の保全活動】



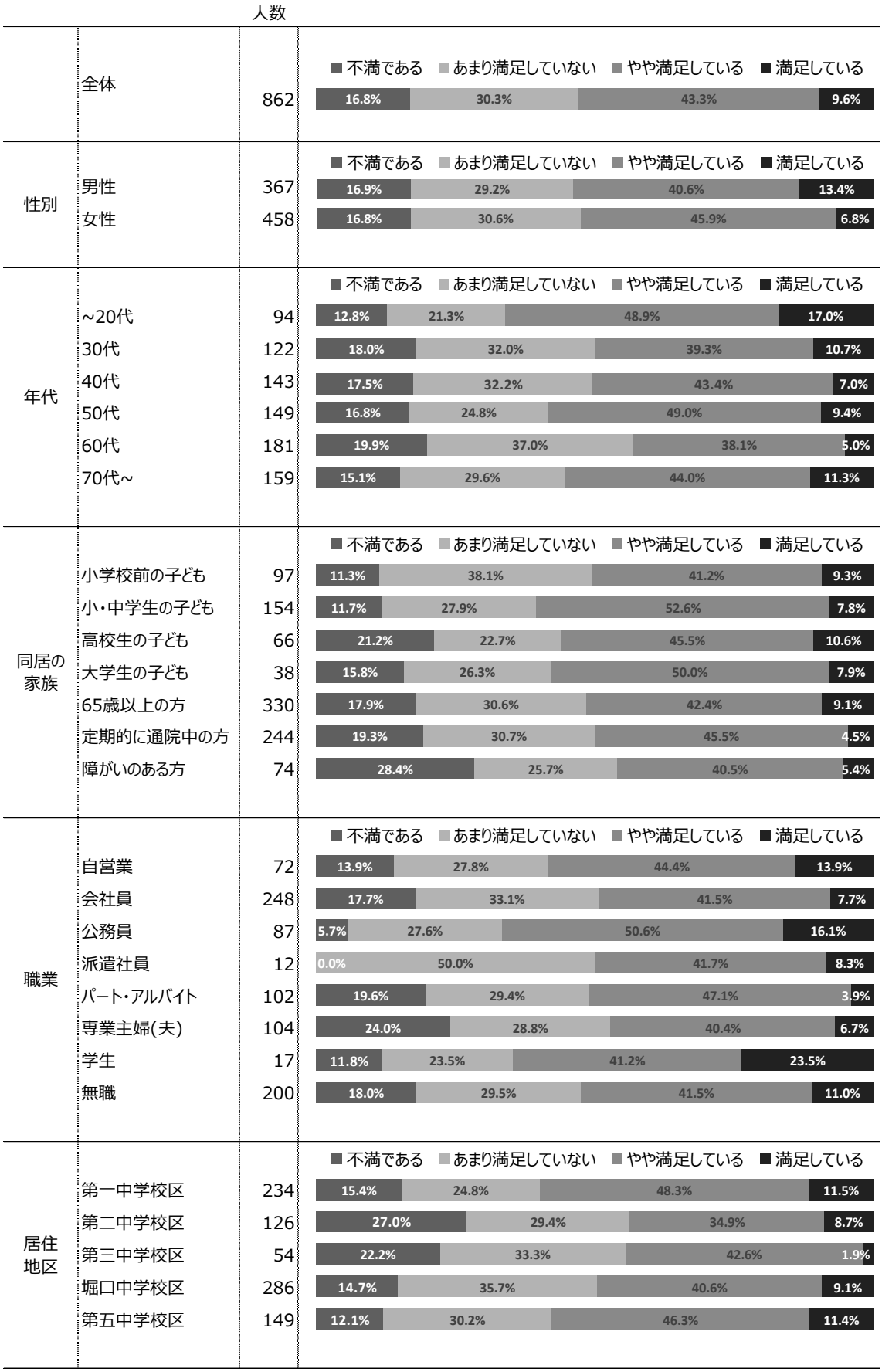
Q12_2-②【ごみの減量化、再資源化の推進】



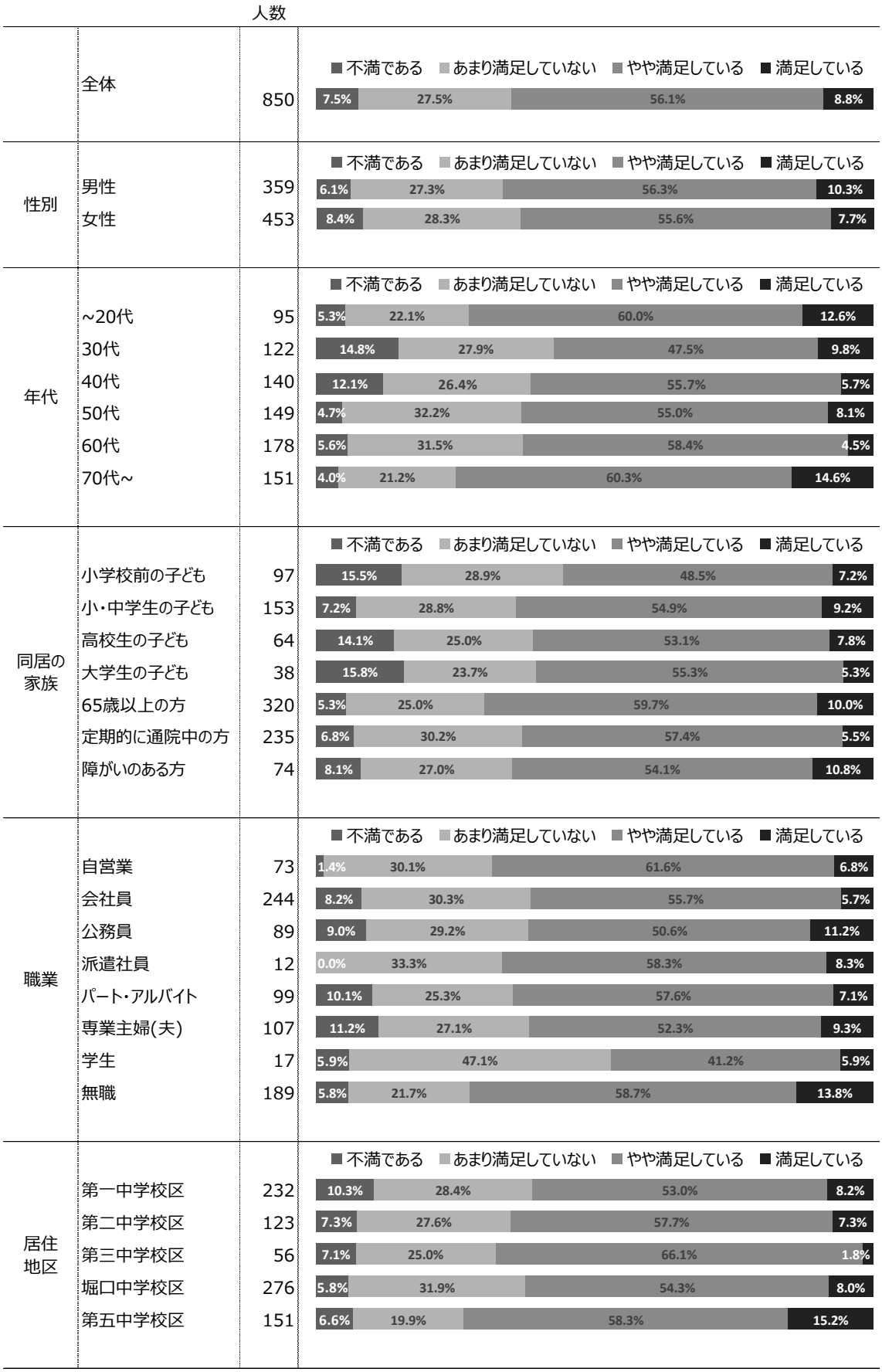
Q12_2-③【公害防止活動、環境保全活動の推進】



Q12_2-④【基地対策（騒音対策）の活動】



Q12_2-⑤【交通安全対策の推進】



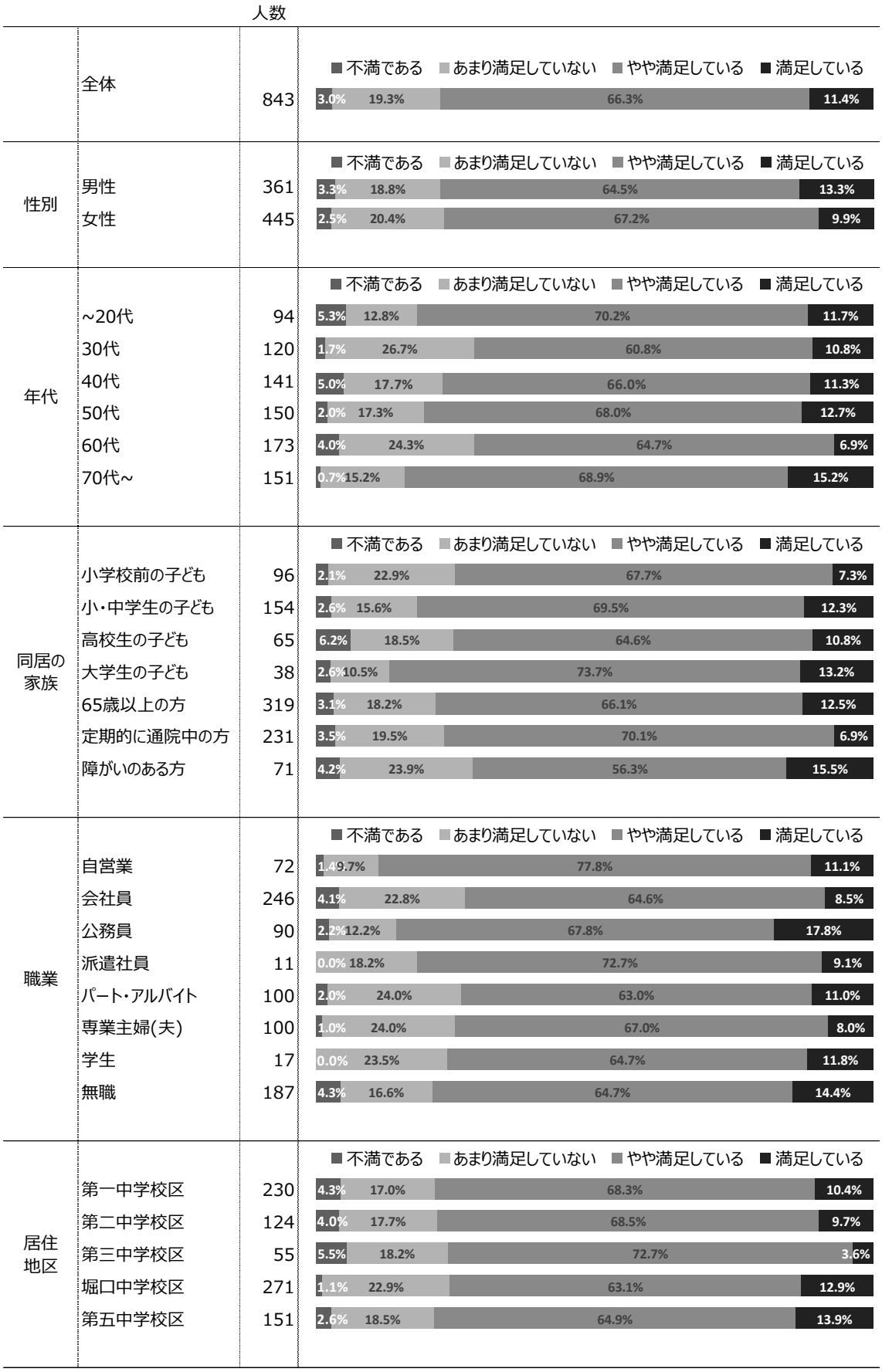
Q12_2-⑥【防犯対策の推進】

		人数	■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
	全体	842	4.8% 28.1% 57.2% 9.9%
性別	男性	358	4.5% 25.7% 57.8% 12.0%
	女性	449	5.1% 30.5% 56.1% 8.2%
年代	~20代	94	4.3% 23.4% 58.5% 13.8%
	30代	122	9.0% 31.1% 52.5% 7.4%
	40代	139	7.2% 26.6% 60.4% 5.8%
	50代	149	4.0% 32.2% 53.7% 10.1%
	60代	178	3.9% 29.2% 60.7% 6.2%
	70代~	146	1.4% 25.3% 56.2% 17.1%
同居の家族	小学校前の子ども	97	7.2% 33.0% 51.5% 8.2%
	小・中学生の子ども	151	4.0% 28.5% 57.6% 9.9%
	高校生の子ども	64	9.4% 26.6% 56.3% 7.8%
	大学生の子ども	38	7.9% 26.3% 63.2% 2.6%
	65歳以上の方	320	2.8% 27.8% 58.1% 11.3%
	定期的に通院中の方	231	2.6% 35.5% 55.4% 6.5%
	障がいのある方	73	6.8% 28.8% 52.1% 12.3%
職業	自営業	71	1.4% 25.4% 64.8% 8.5%
	会社員	245	6.9% 29.4% 57.6% 6.1%
	公務員	87	2.3% 23.0% 63.2% 11.5%
	派遣社員	12	0.0% 25.0% 58.3% 16.7%
	パート・アルバイト	100	8.0% 23.0% 61.0% 8.0%
	専業主婦(夫)	102	2.9% 41.2% 44.1% 11.8%
	学生	17	0.0% 41.2% 58.8% 0.0%
	無職	187	4.3% 25.7% 55.1% 15.0%
居住地区	第一中学校区	232	7.3% 28.0% 55.6% 9.1%
	第二中学校区	123	8.1% 25.2% 57.7% 8.9%
	第三中学校区	56	3.6% 28.6% 66.1% 1.8%
	堀口中学校区	272	1.5% 32.4% 55.5% 10.7%
	第五中学校区	148	4.1% 24.3% 58.1% 13.5%

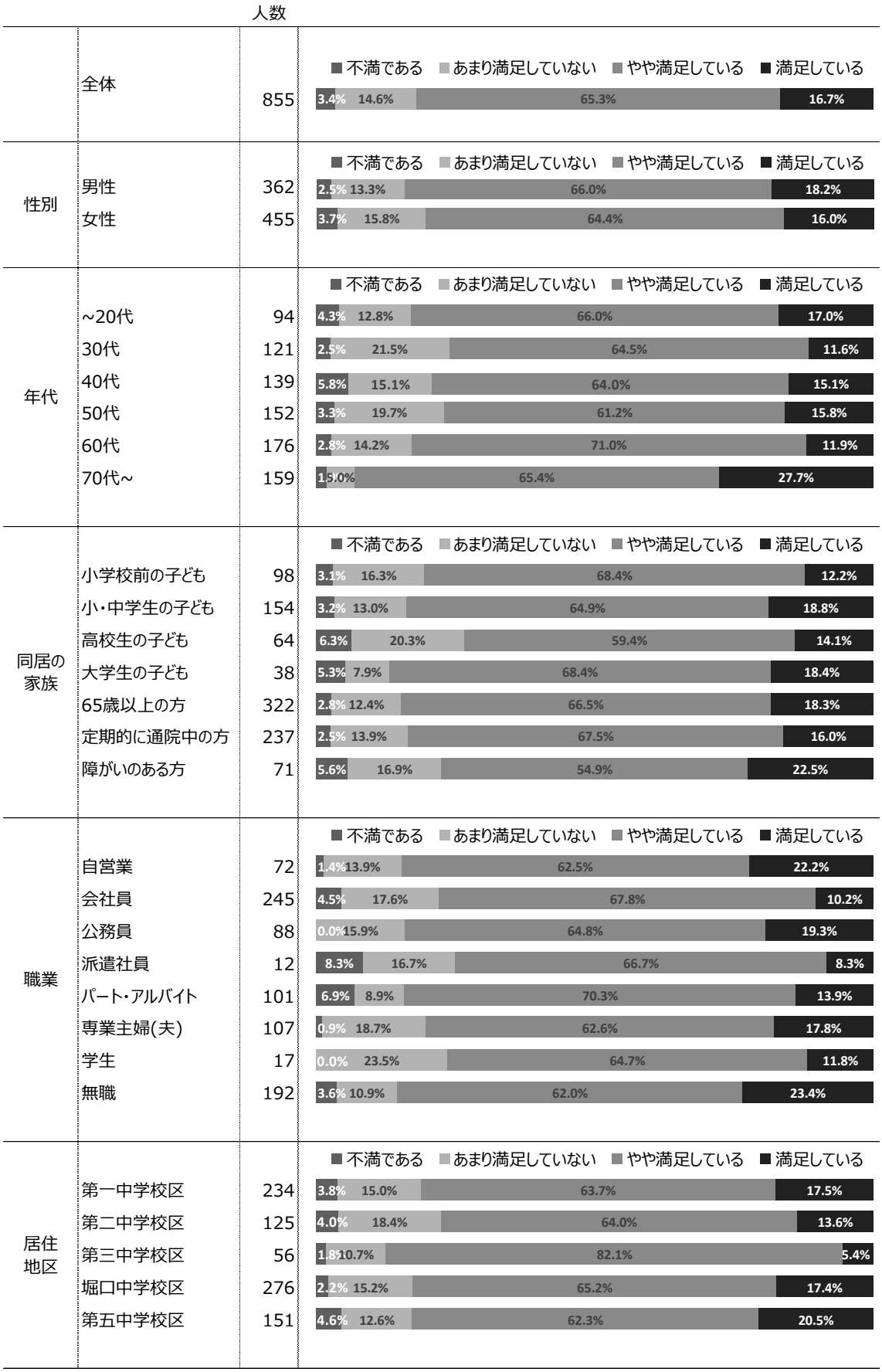
Q12_2-⑦【消費者保護対策の推進】

		人数	■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
	全体	828	4.5% 29.1% 59.9% 6.5%
性別	男性	351	5.4% 31.1% 57.0% 6.6%
	女性	439	3.6% 28.2% 61.5% 6.6%
年代	~20代	94	5.3% 24.5% 59.6% 10.6%
	30代	119	3.4% 32.8% 56.3% 7.6%
	40代	137	8.0% 25.5% 61.3% 5.1%
	50代	148	2.0% 36.5% 56.1% 5.4%
	60代	172	4.7% 31.4% 58.7% 5.2%
	70代~	144	4.2% 22.9% 66.7% 6.3%
同居の家族	小学校前の子ども	94	4.3% 27.7% 60.6% 7.4%
	小・中学生の子ども	150	3.3% 20.7% 68.0% 8.0%
	高校生の子ども	64	9.4% 29.7% 53.1% 7.8%
	大学生の子ども	38	2.6% 15.8% 78.9% 2.6%
	65歳以上の方	315	5.1% 26.3% 62.5% 6.0%
	定期的に通院中の方	227	4.8% 31.7% 59.9% 3.5%
	障がいのある方	70	11.4% 24.3% 57.1% 7.1%
職業	自営業	70	2.9% 25.7% 67.1% 4.3%
	会社員	242	6.6% 31.8% 57.4% 4.1%
	公務員	87	0.0% 29.9% 58.6% 11.5%
	派遣社員	12	0.0% 33.3% 66.7% 0.0%
	パート・アルバイト	98	6.1% 23.5% 65.3% 5.1%
	専業主婦(夫)	98	2.0% 35.7% 54.1% 8.2%
	学生	17	0.0% 29.4% 70.6% 0.0%
	無職	183	5.5% 25.7% 60.1% 8.7%
居住地区	第一中学校区	225	5.8% 30.2% 59.1% 4.9%
	第二中学校区	123	5.7% 28.5% 60.2% 5.7%
	第三中学校区	55	3.6% 36.4% 56.4% 3.6%
	堀口中学校区	265	2.6% 29.8% 59.6% 7.9%
	第五中学校区	148	4.7% 25.7% 61.5% 8.1%

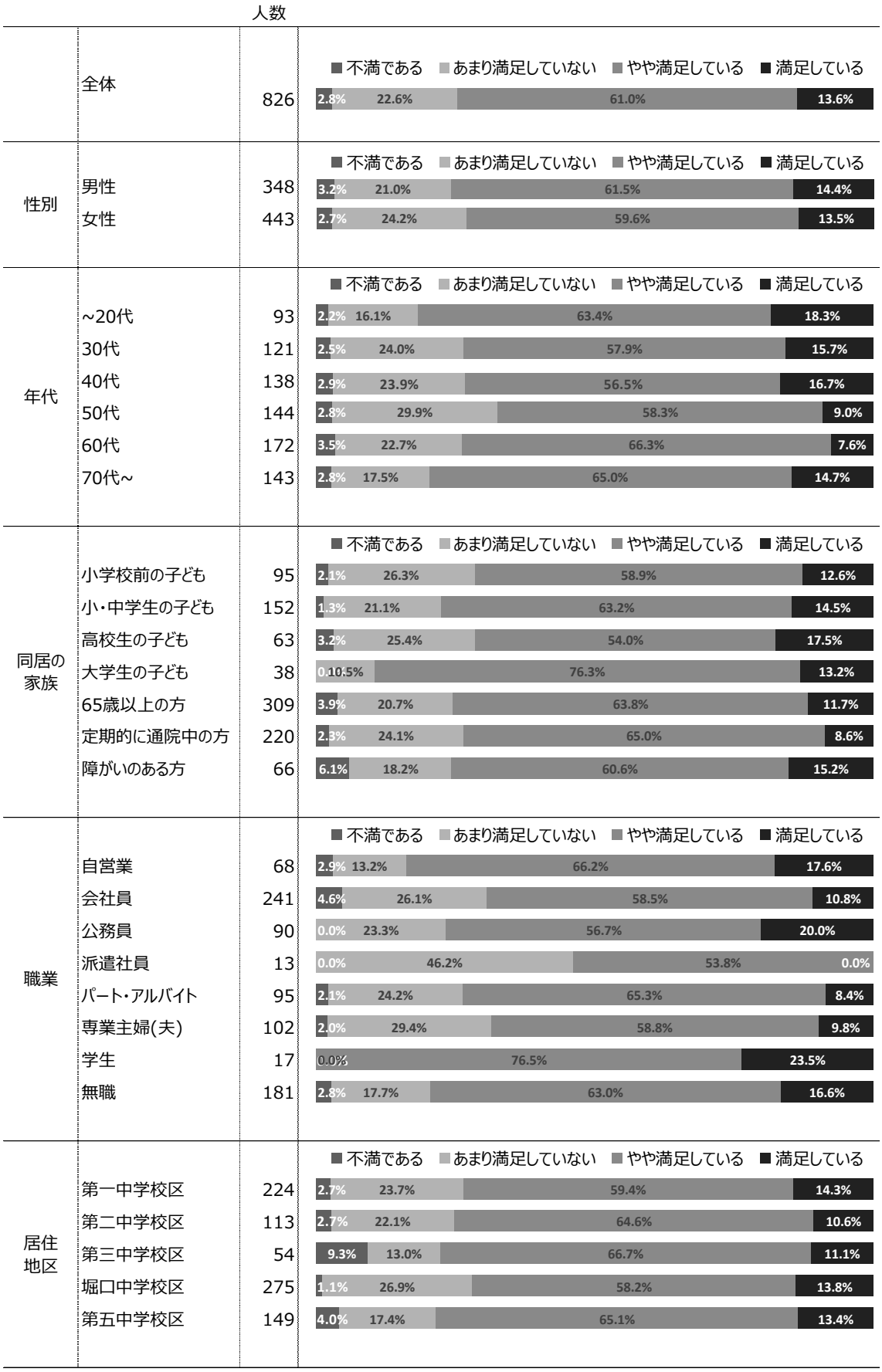
Q12_2-⑧【防災対策の推進】



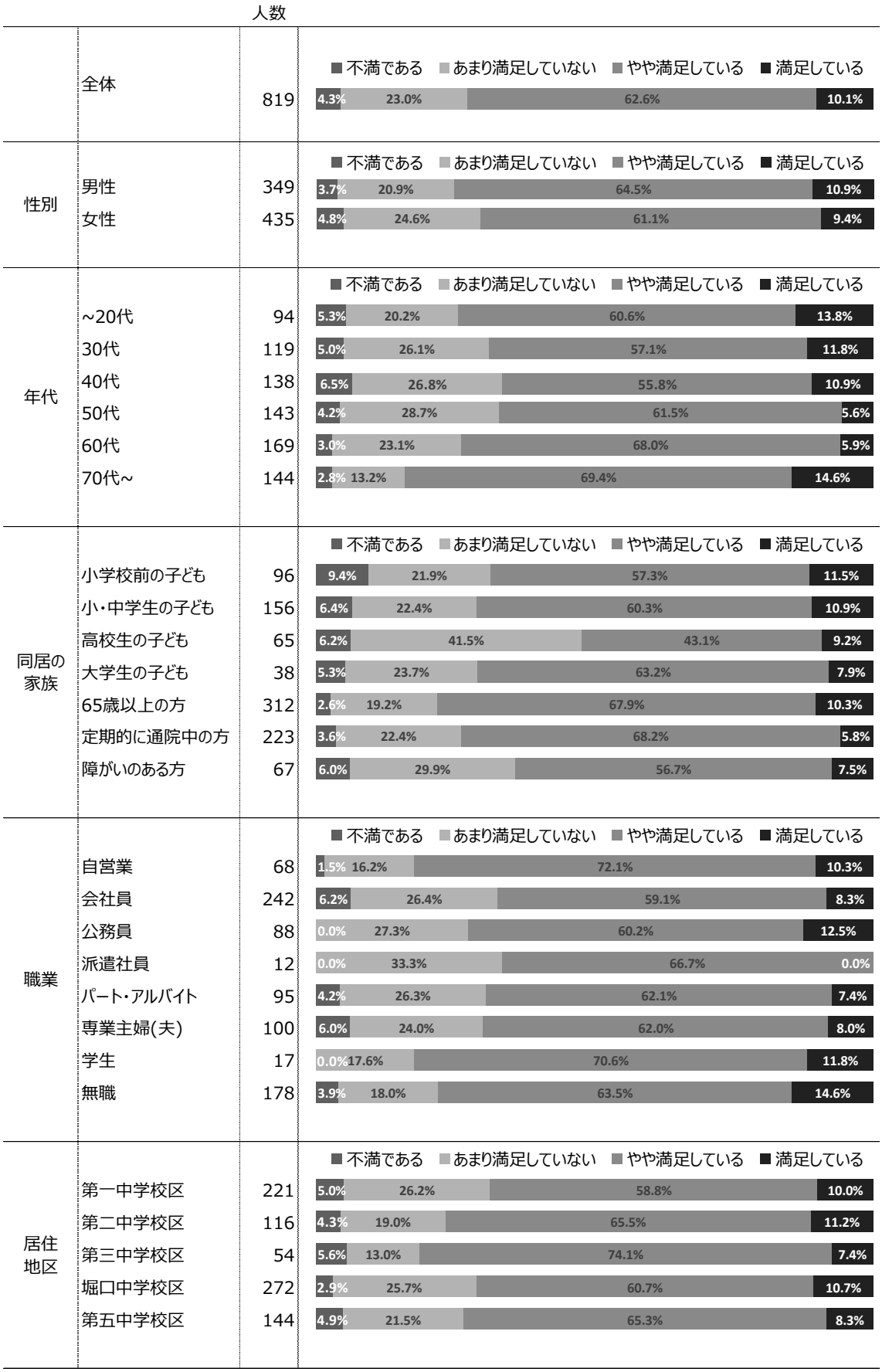
Q12_2-⑨【消防、救急体制の推進】



Q12_3-①【国際交流活動への支援】



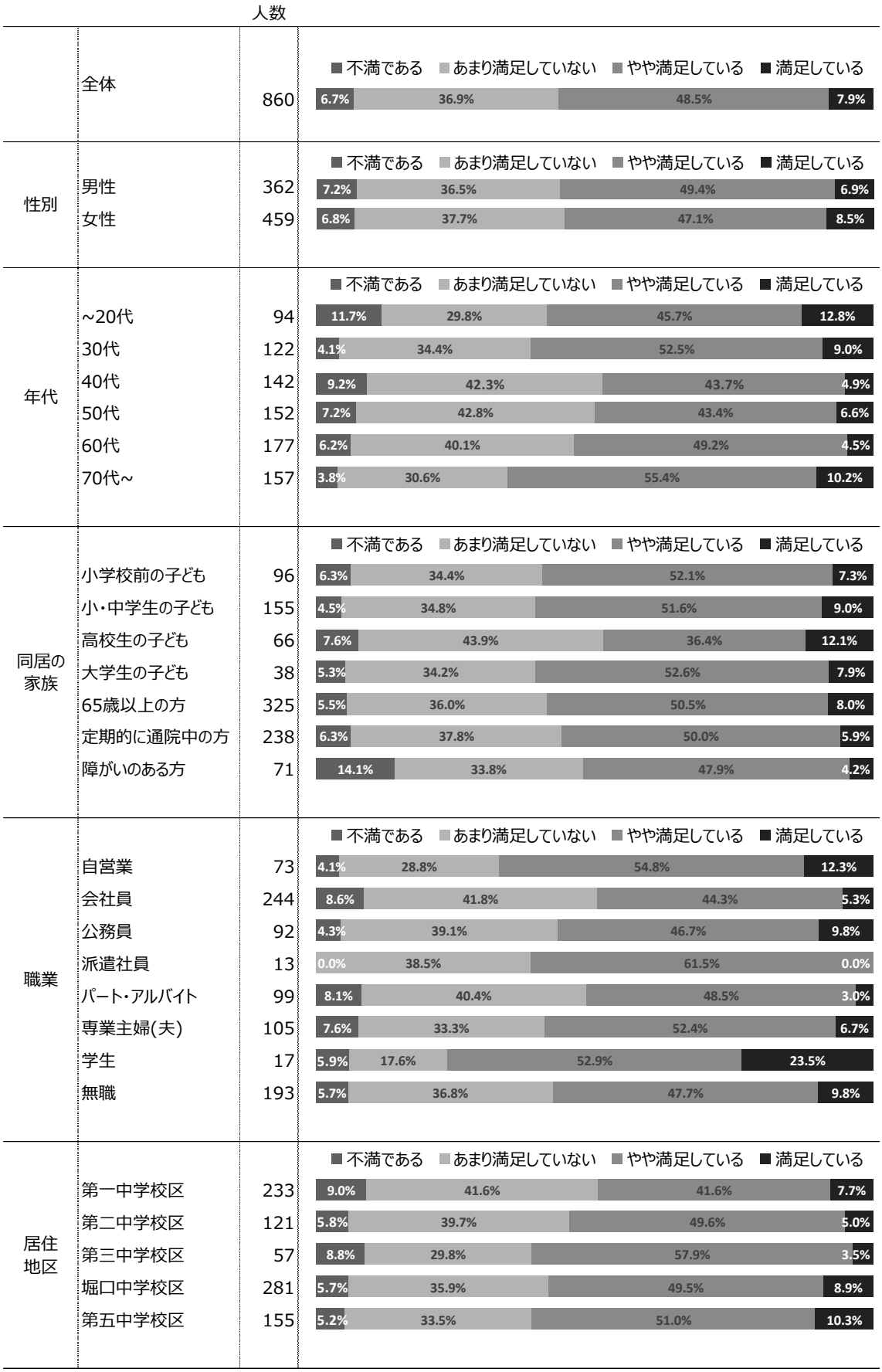
Q12_3-②【小中学校の教育環境の整備】



Q12_3-③【多様な生涯学習環境の提供】

		人数	■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
	全体	826	4.6% 30.8% 56.7% 8.0%
性別	男性	348	4.3% 29.3% 58.9% 7.5%
	女性	442	5.2% 32.6% 53.4% 8.8%
年代	~20代	93	3.2% 31.2% 54.8% 10.8%
	30代	120	4.2% 30.8% 55.8% 9.2%
	40代	137	8.8% 33.6% 50.4% 7.3%
	50代	147	4.1% 36.7% 53.7% 5.4%
	60代	173	4.6% 30.1% 60.1% 5.2%
	70代~	143	2.8% 21.7% 63.6% 11.9%
同居の家族	小学校前の子ども	93	7.5% 28.0% 55.9% 8.6%
	小・中学生の子ども	153	5.2% 31.4% 55.6% 7.8%
	高校生の子ども	64	6.3% 42.2% 45.3% 6.3%
	大学生の子ども	38	0.0% 28.9% 63.2% 7.9%
	65歳以上の方	311	3.9% 27.3% 60.1% 8.7%
	定期的に通院中の方	224	3.1% 30.8% 61.2% 4.9%
	障がいのある方	69	7.2% 34.8% 50.7% 7.2%
職業	自営業	71	4.2% 19.7% 67.6% 8.5%
	会社員	241	6.2% 32.4% 54.4% 7.1%
	公務員	88	2.3% 30.7% 59.1% 8.0%
	派遣社員	13	0.0% 53.8% 46.2% 0.0%
	パート・アルバイト	99	5.1% 31.3% 57.6% 6.1%
	専業主婦(夫)	100	5.0% 37.0% 52.0% 6.0%
	学生	17	0.0% 23.5% 64.7% 11.8%
	無職	176	4.0% 29.5% 55.7% 10.8%
居住地区	第一中学校区	226	5.3% 34.1% 50.9% 9.7%
	第二中学校区	115	5.2% 27.0% 60.0% 7.8%
	第三中学校区	54	7.4% 18.5% 70.4% 3.7%
	堀口中学校区	272	3.3% 32.7% 56.6% 7.4%
	第五中学校区	148	4.1% 30.4% 57.4% 8.1%

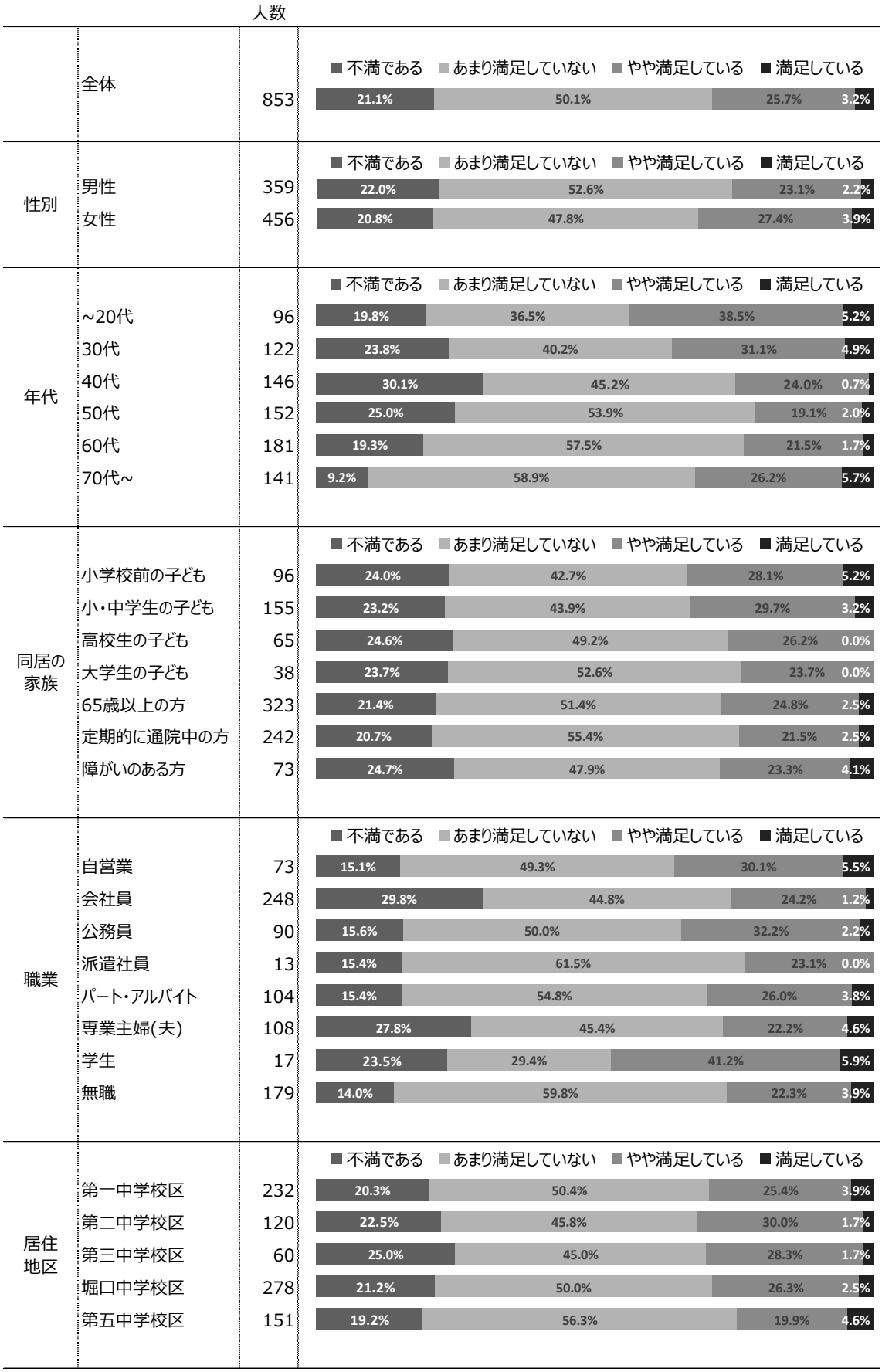
Q12_3-④【芸術・歴史・文化に親しむ機会の提供】



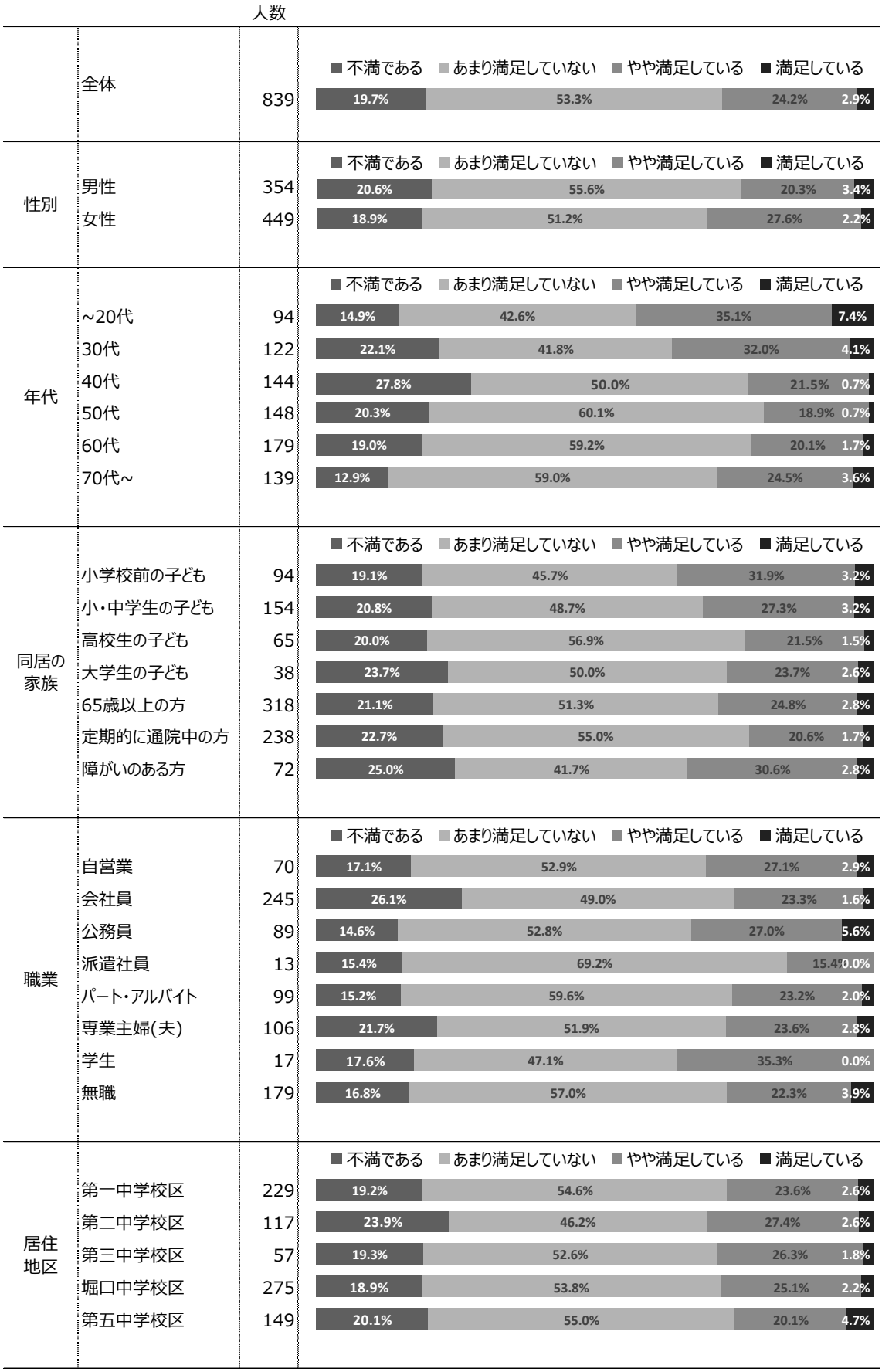
Q12_3-⑤【スポーツに親しむ機会の提供】

		人数	■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
	全体	852	7.6% 37.0% 48.6% 6.8%
性別	男性	361	8.3% 36.8% 47.6% 7.2%
	女性	454	7.5% 36.6% 49.6% 6.4%
年代	~20代	94	10.6% 33.0% 41.5% 14.9%
	30代	122	4.9% 35.2% 52.5% 7.4%
	40代	142	10.6% 42.3% 43.0% 4.2%
	50代	153	7.2% 46.4% 40.5% 5.9%
	60代	179	8.4% 35.8% 52.5% 3.4%
	70代~	146	4.8% 28.8% 59.6% 6.8%
同居の家族	小学校前の子ども	95	7.4% 31.6% 55.8% 5.3%
	小・中学生の子ども	156	7.1% 37.2% 48.1% 7.7%
	高校生の子ども	66	7.6% 47.0% 34.8% 10.6%
	大学生の子ども	38	5.3% 31.6% 52.6% 10.5%
	65歳以上の方	322	5.6% 36.3% 52.5% 5.6%
	定期的に通院中の方	236	8.1% 36.0% 52.5% 3.4%
	障がいのある方	73	13.7% 42.5% 39.7% 4.1%
職業	自営業	71	7.0% 26.8% 59.2% 7.0%
	会社員	245	9.8% 42.4% 42.0% 5.7%
	公務員	90	5.6% 40.0% 44.4% 10.0%
	派遣社員	13	0.0% 46.2% 53.8% 0.0%
	パート・アルバイト	99	9.1% 40.4% 46.5% 4.0%
	専業主婦(夫)	105	9.5% 36.2% 50.5% 3.8%
	学生	17	0.0% 23.5% 47.1% 29.4%
	無職	190	5.8% 32.1% 54.2% 7.9%
居住地区	第一中学校区	231	9.5% 41.1% 42.4% 6.9%
	第二中学校区	123	6.5% 37.4% 49.6% 6.5%
	第三中学校区	56	8.9% 26.8% 62.5% 1.8%
	堀口中学校区	283	7.1% 36.0% 49.5% 7.4%
	第五中学校区	148	6.1% 37.8% 48.6% 7.4%

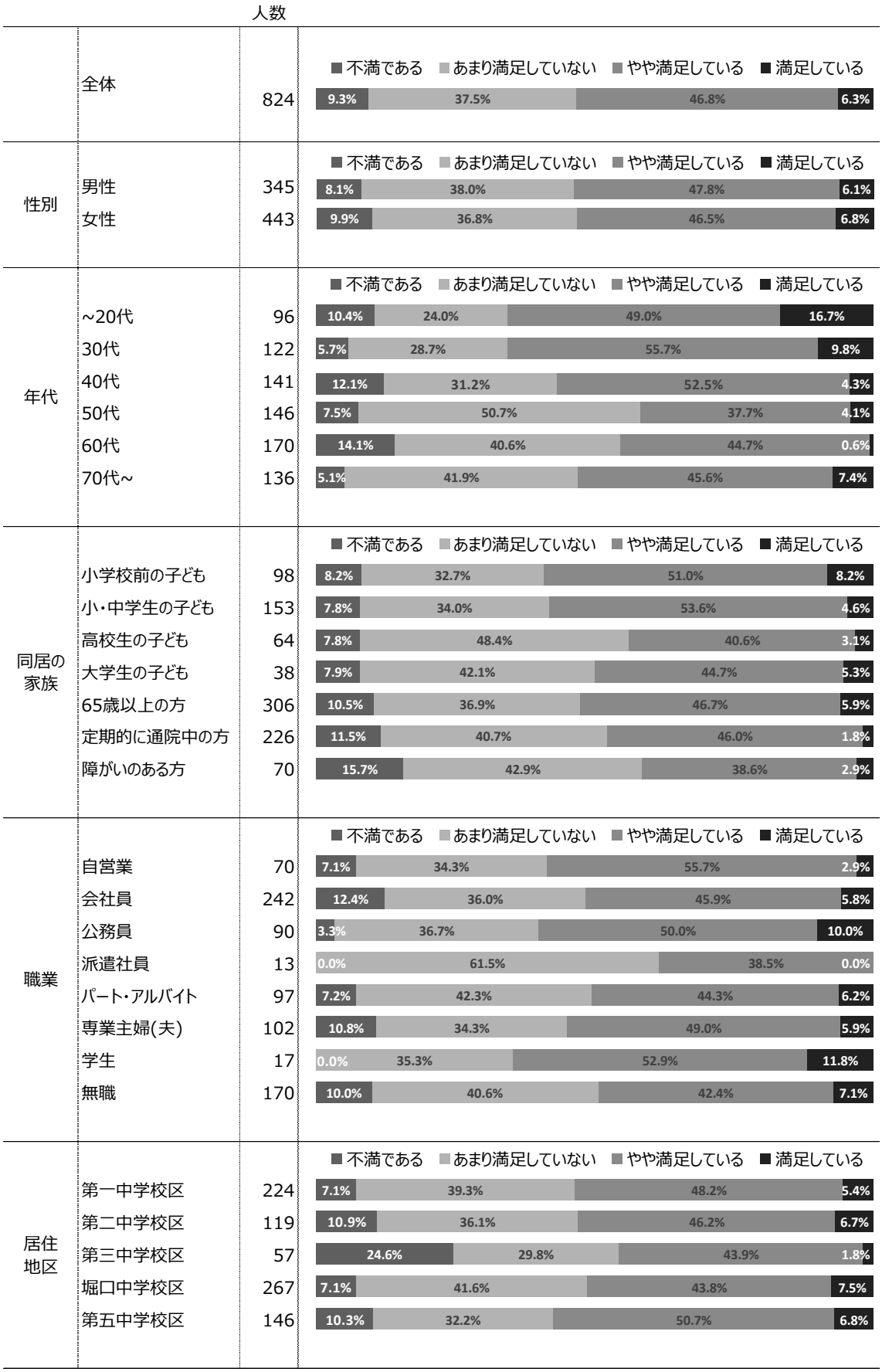
Q12_4-①【雇用・就業の場の確保】



Q12_4-②【新たな産業・企業の誘致】



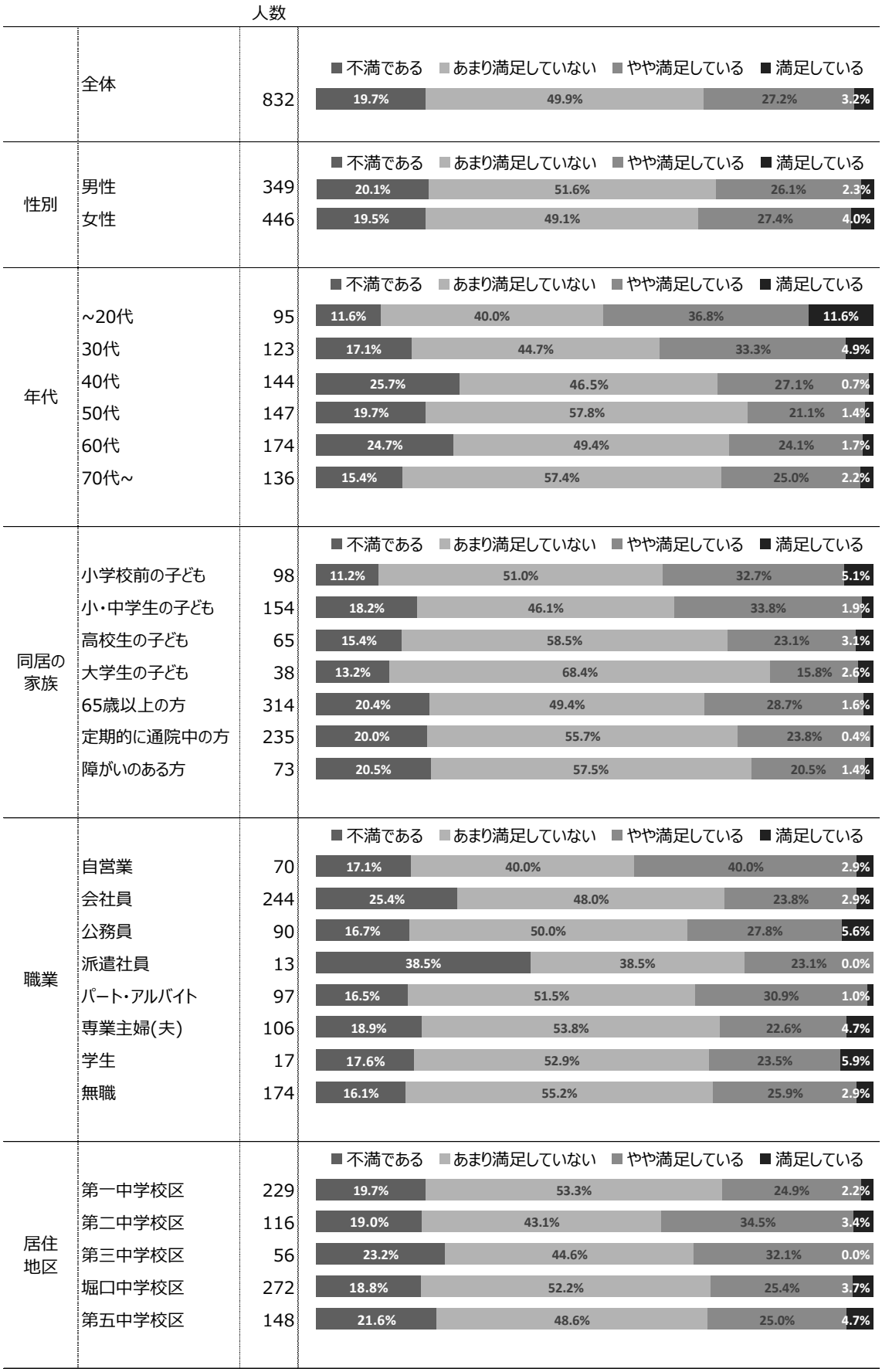
Q12_4-③【農業の振興】


人数
■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
全体 824 9.3% 37.5% 46.8% 6.3%
性別
男性 345 8.1% 38.0% 47.8% 6.1%
女性 443 9.9% 36.8% 46.5% 6.8%
年代
~20代 96 10.4% 24.0% 49.0% 16.7%
30代 122 5.7% 28.7% 55.7% 9.8%
40代 141 12.1% 31.2% 52.5% 4.3%
50代 146 7.5% 50.7% 37.7% 4.1%
60代 170 14.1% 40.6% 44.7% 0.6%
70代~ 136 5.1% 41.9% 45.6% 7.4%
同居の家族
小学校前の子ども 98 8.2% 32.7% 51.0% 8.2%
小・中学生の子ども 153 7.8% 34.0% 53.6% 4.6%
高校生の子ども 64 7.8% 48.4% 40.6% 3.1%
大学生の子ども 38 7.9% 42.1% 44.7% 5.3%
65歳以上の方 306 10.5% 36.9% 46.7% 5.9%
定期的に通院中の方 226 11.5% 40.7% 46.0% 1.8%
障がいのある方 70 15.7% 42.9% 38.6% 2.9%
職業
自営業 70 7.1% 34.3% 55.7% 2.9%
会社員 242 12.4% 36.0% 45.9% 5.8%
公務員 90 3.3% 36.7% 50.0% 10.0%
派遣社員 13 0.0% 61.5% 38.5% 0.0%
パート・アルバイト 97 7.2% 42.3% 44.3% 6.2%
専業主婦(夫) 102 10.8% 34.3% 49.0% 5.9%
学生 17 0.0% 35.3% 52.9% 11.8%
無職 170 10.0% 40.6% 42.4% 7.1%
居住地区
第一中学校区 224 7.1% 39.3% 48.2% 5.4%
第二中学校区 119 10.9% 36.1% 46.2% 6.7%
第三中学校区 57 24.6% 29.8% 43.9% 1.8%
堀口中学校区 267 7.1% 41.6% 43.8% 7.5%
第五中学校区 146 10.3% 32.2% 50.7% 6.8%

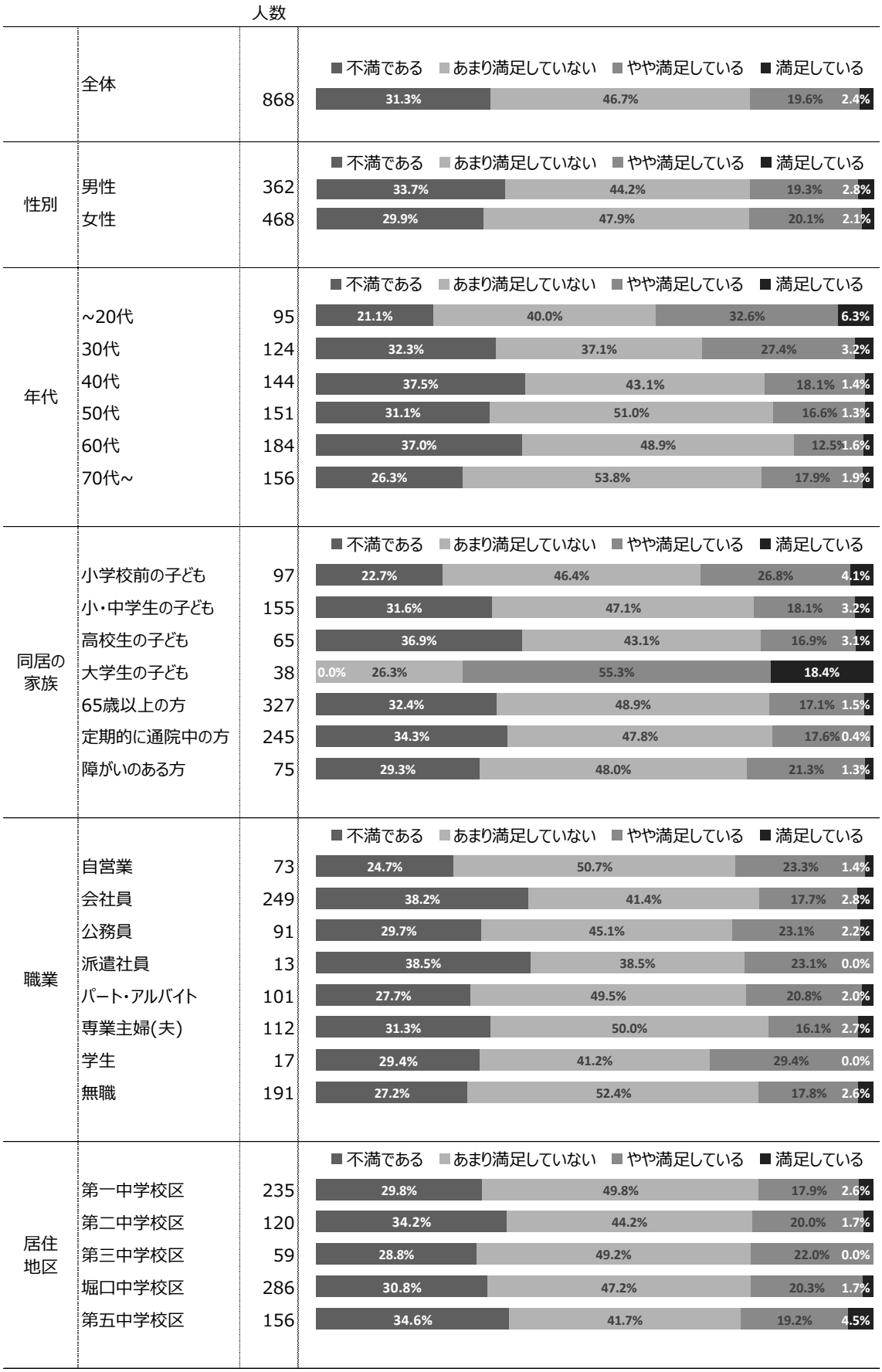
Q12_4-④【水産業の振興】

		人数	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
	全体	814	7.7%	36.0%	49.6%	6.6%
性別	男性	346	7.2%	37.3%	49.7%	5.8%
	女性	432	7.6%	35.6%	49.3%	7.4%
年代	~20代	94	7.4%	21.3%	55.3%	16.0%
	30代	120	5.8%	29.2%	56.7%	8.3%
	40代	140	10.7%	32.9%	51.4%	5.0%
	50代	144	7.6%	43.8%	44.4%	4.2%
	60代	168	9.5%	42.9%	47.0%	0.6%
	70代~	134	4.5%	38.8%	47.0%	9.7%
同居の家族	小学校前の子ども	96	4.2%	33.3%	53.1%	9.4%
	小・中学生の子ども	153	5.9%	32.0%	56.9%	5.2%
	高校生の子ども	65	6.2%	38.5%	50.8%	4.6%
	大学生の子ども	38	5.3%	47.4%	39.5%	7.9%
	65歳以上の方	305	6.9%	35.4%	52.1%	5.6%
	定期的に通院中の方	226	8.4%	39.8%	50.0%	1.8%
	障がいのある方	71	11.3%	45.1%	40.8%	2.8%
職業	自営業	71	7.0%	38.0%	49.3%	5.6%
	会社員	240	11.7%	32.5%	50.8%	5.0%
	公務員	89	3.4%	36.0%	50.6%	10.1%
	派遣社員	13	0.0%	61.5%	38.5%	0.0%
	パート・アルバイト	94	5.3%	42.6%	46.8%	5.3%
	専業主婦(夫)	100	5.0%	36.0%	52.0%	7.0%
	学生	17	0.0%	29.4%	58.8%	11.8%
	無職	169	8.3%	37.9%	45.6%	8.3%
居住地区	第一中学校区	223	8.1%	38.1%	48.0%	5.8%
	第二中学校区	117	6.8%	39.3%	45.3%	8.5%
	第三中学校区	54	14.8%	29.6%	53.7%	1.9%
	堀口中学校区	264	5.7%	37.1%	49.6%	7.6%
	第五中学校区	145	9.7%	29.7%	54.5%	6.2%

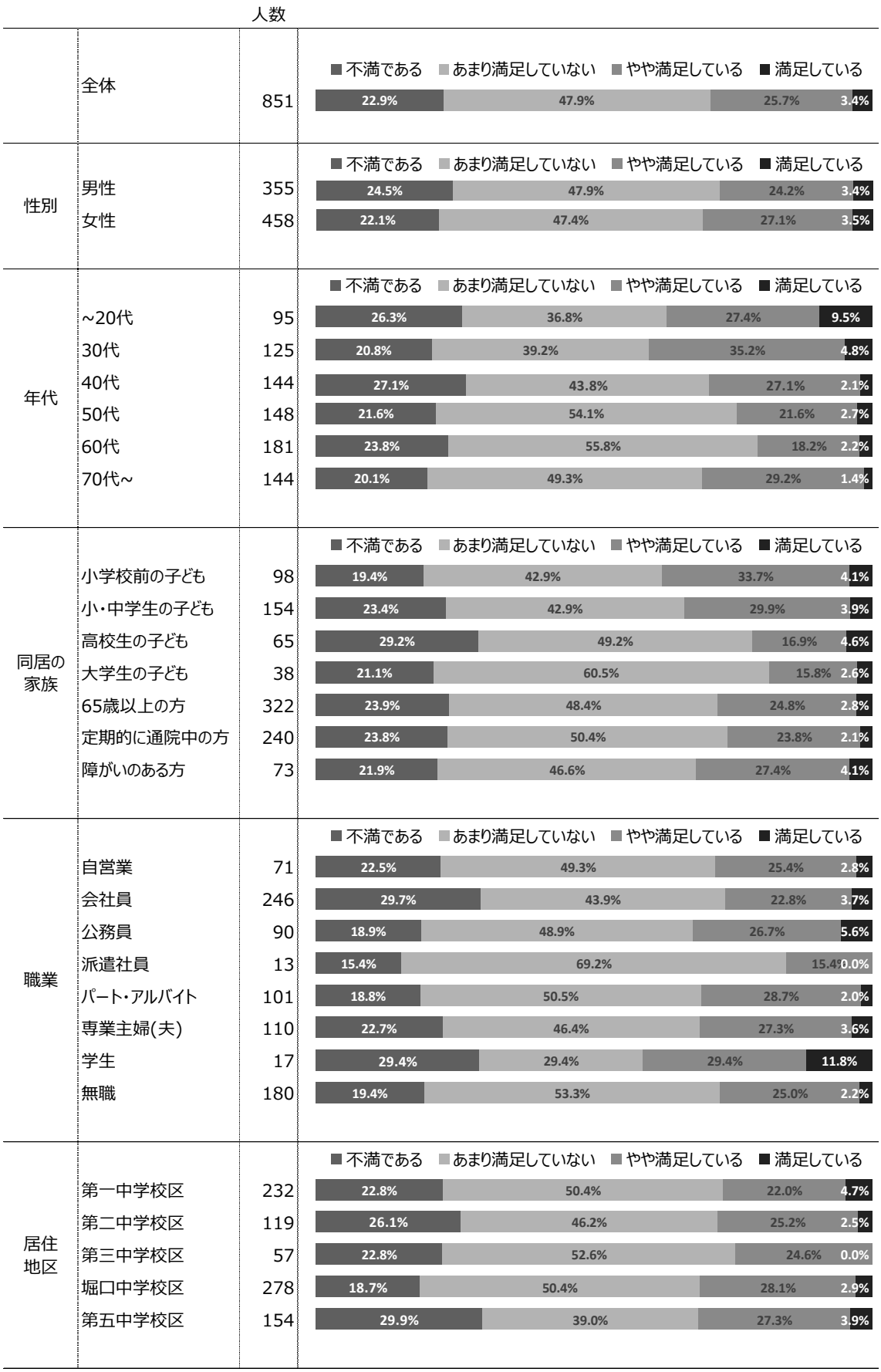
Q12_4-⑤【商業の振興】


人数
■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
全体 832 19.7% 49.9% 27.2% 3.2%
性別
男性 349 20.1% 51.6% 26.1% 2.3%
女性 446 19.5% 49.1% 27.4% 4.0%
年代
~20代 95 11.6% 40.0% 36.8% 11.6%
30代 123 17.1% 44.7% 33.3% 4.9%
40代 144 25.7% 46.5% 27.1% 0.7%
50代 147 19.7% 57.8% 21.1% 1.4%
60代 174 24.7% 49.4% 24.1% 1.7%
70代~ 136 15.4% 57.4% 25.0% 2.2%
同居の家族
小学校前の子ども 98 11.2% 51.0% 32.7% 5.1%
小・中学生の子ども 154 18.2% 46.1% 33.8% 1.9%
高校生の子ども 65 15.4% 58.5% 23.1% 3.1%
大学生の子ども 38 13.2% 68.4% 15.8% 2.6%
65歳以上の方 314 20.4% 49.4% 28.7% 1.6%
定期的に通院中の方 235 20.0% 55.7% 23.8% 0.4%
障がいのある方 73 20.5% 57.5% 20.5% 1.4%
職業
自営業 70 17.1% 40.0% 40.0% 2.9%
会社員 244 25.4% 48.0% 23.8% 2.9%
公務員 90 16.7% 50.0% 27.8% 5.6%
派遣社員 13 38.5% 38.5% 23.1% 0.0%
パート・アルバイト 97 16.5% 51.5% 30.9% 1.0%
専業主婦(夫) 106 18.9% 53.8% 22.6% 4.7%
学生 17 17.6% 52.9% 23.5% 5.9%
無職 174 16.1% 55.2% 25.9% 2.9%
居住地区
第一中学校区 229 19.7% 53.3% 24.9% 2.2%
第二中学校区 116 19.0% 43.1% 34.5% 3.4%
第三中学校区 56 23.2% 44.6% 32.1% 0.0%
堀口中学校区 272 18.8% 52.2% 25.4% 3.7%
第五中学校区 148 21.6% 48.6% 25.0% 4.7%

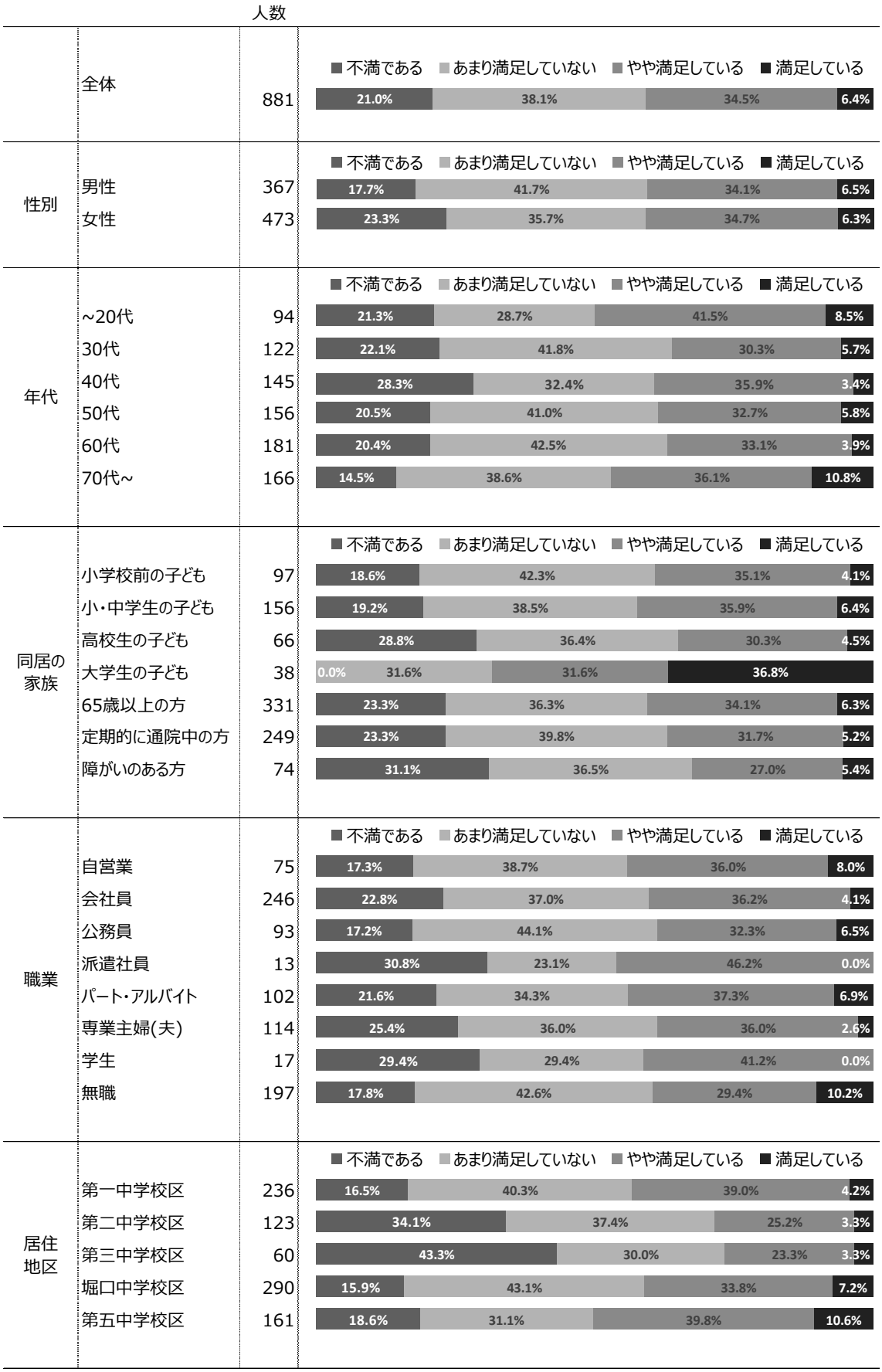
Q12_4-⑥【中心市街地活性化の取り組み】



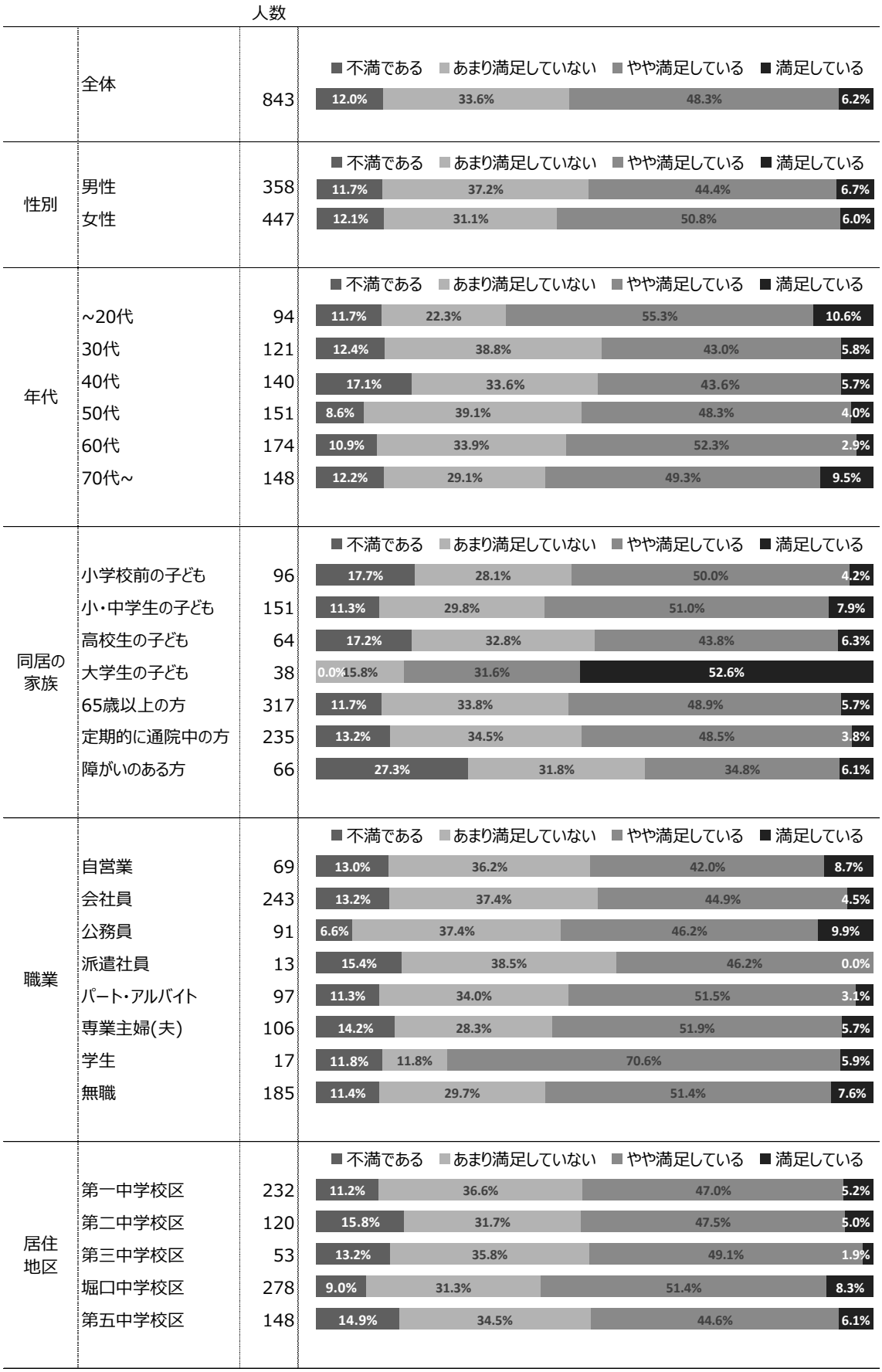
Q12_4-⑦【観光の振興】


人数
■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
全体 851 22.9% 47.9% 25.7% 3.4%
性別
男性 355 24.5% 47.9% 24.2% 3.4%
女性 458 22.1% 47.4% 27.1% 3.5%
年代
~20代 95 26.3% 36.8% 27.4% 9.5%
30代 125 20.8% 39.2% 35.2% 4.8%
40代 144 27.1% 43.8% 27.1% 2.1%
50代 148 21.6% 54.1% 21.6% 2.7%
60代 181 23.8% 55.8% 18.2% 2.2%
70代~ 144 20.1% 49.3% 29.2% 1.4%
同居の家族
小学校前の子ども 98 19.4% 42.9% 33.7% 4.1%
小・中学生の子ども 154 23.4% 42.9% 29.9% 3.9%
高校生の子ども 65 29.2% 49.2% 16.9% 4.6%
大学生の子ども 38 21.1% 60.5% 15.8% 2.6%
65歳以上の方 322 23.9% 48.4% 24.8% 2.8%
定期的に通院中の方 240 23.8% 50.4% 23.8% 2.1%
障がいのある方 73 21.9% 46.6% 27.4% 4.1%
職業
自営業 71 22.5% 49.3% 25.4% 2.8%
会社員 246 29.7% 43.9% 22.8% 3.7%
公務員 90 18.9% 48.9% 26.7% 5.6%
派遣社員 13 15.4% 69.2% 15.4% 0.0%
パート・アルバイト 101 18.8% 50.5% 28.7% 2.0%
専業主婦(夫) 110 22.7% 46.4% 27.3% 3.6%
学生 17 29.4% 29.4% 29.4% 11.8%
無職 180 19.4% 53.3% 25.0% 2.2%
居住地区
第一中学校区 232 22.8% 50.4% 22.0% 4.7%
第二中学校区 119 26.1% 46.2% 25.2% 2.5%
第三中学校区 57 22.8% 52.6% 24.6% 0.0%
堀口中学校区 278 18.7% 50.4% 28.1% 2.9%
第五中学校区 154 29.9% 39.0% 27.3% 3.9%

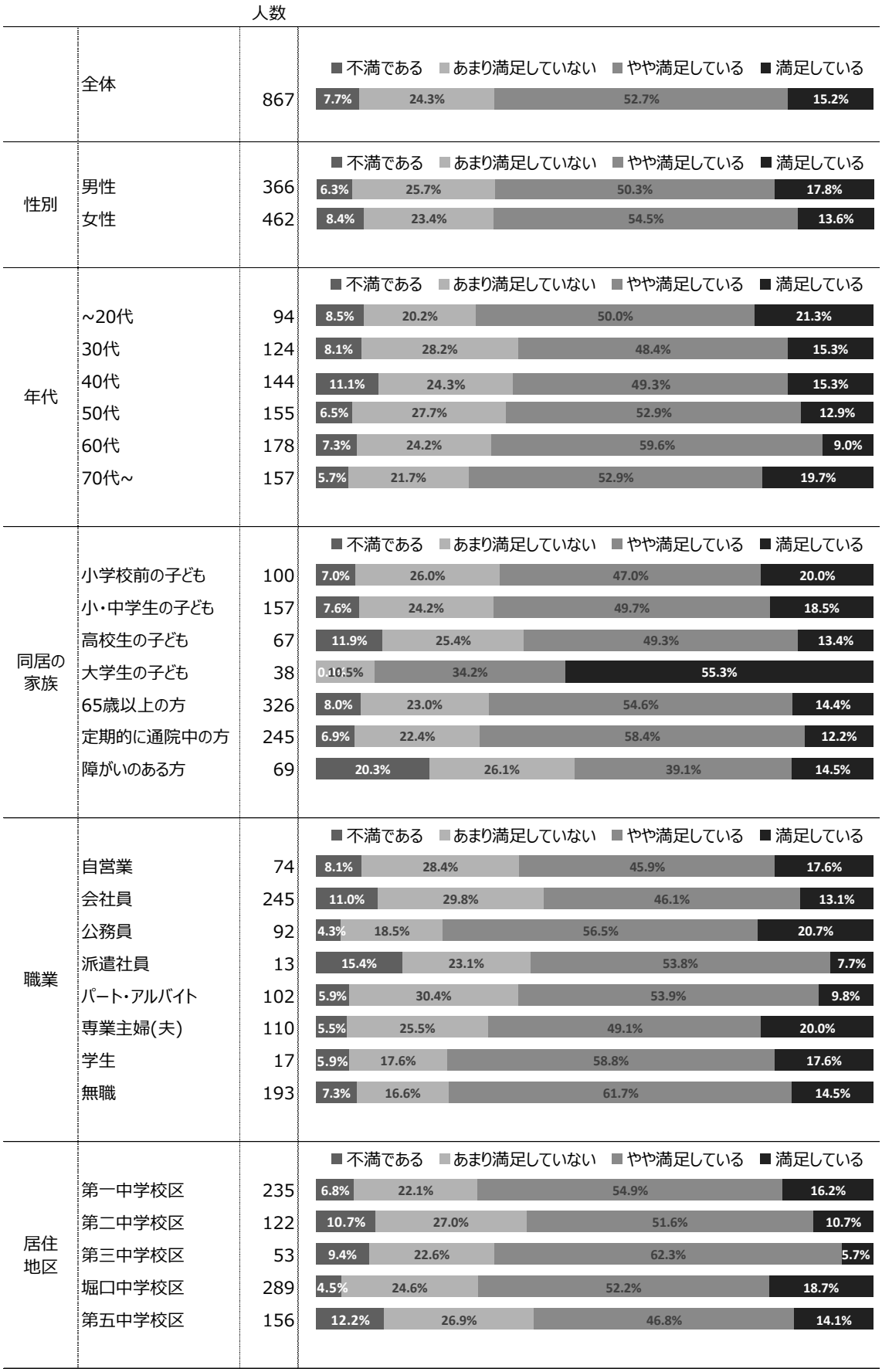
Q12_5-①【バスの利用促進・運行への支援】



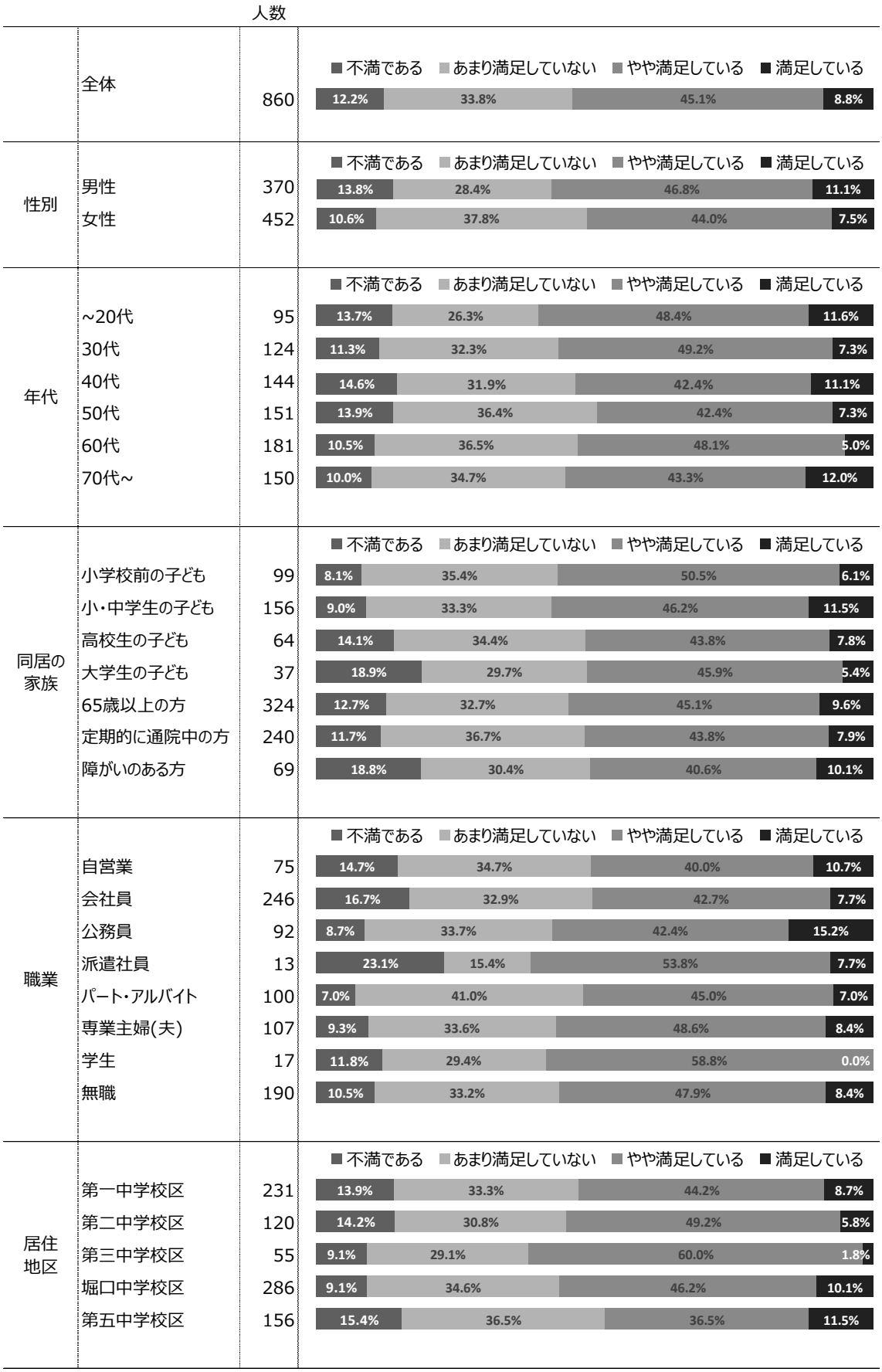
Q12_5-②【住宅環境の整備】



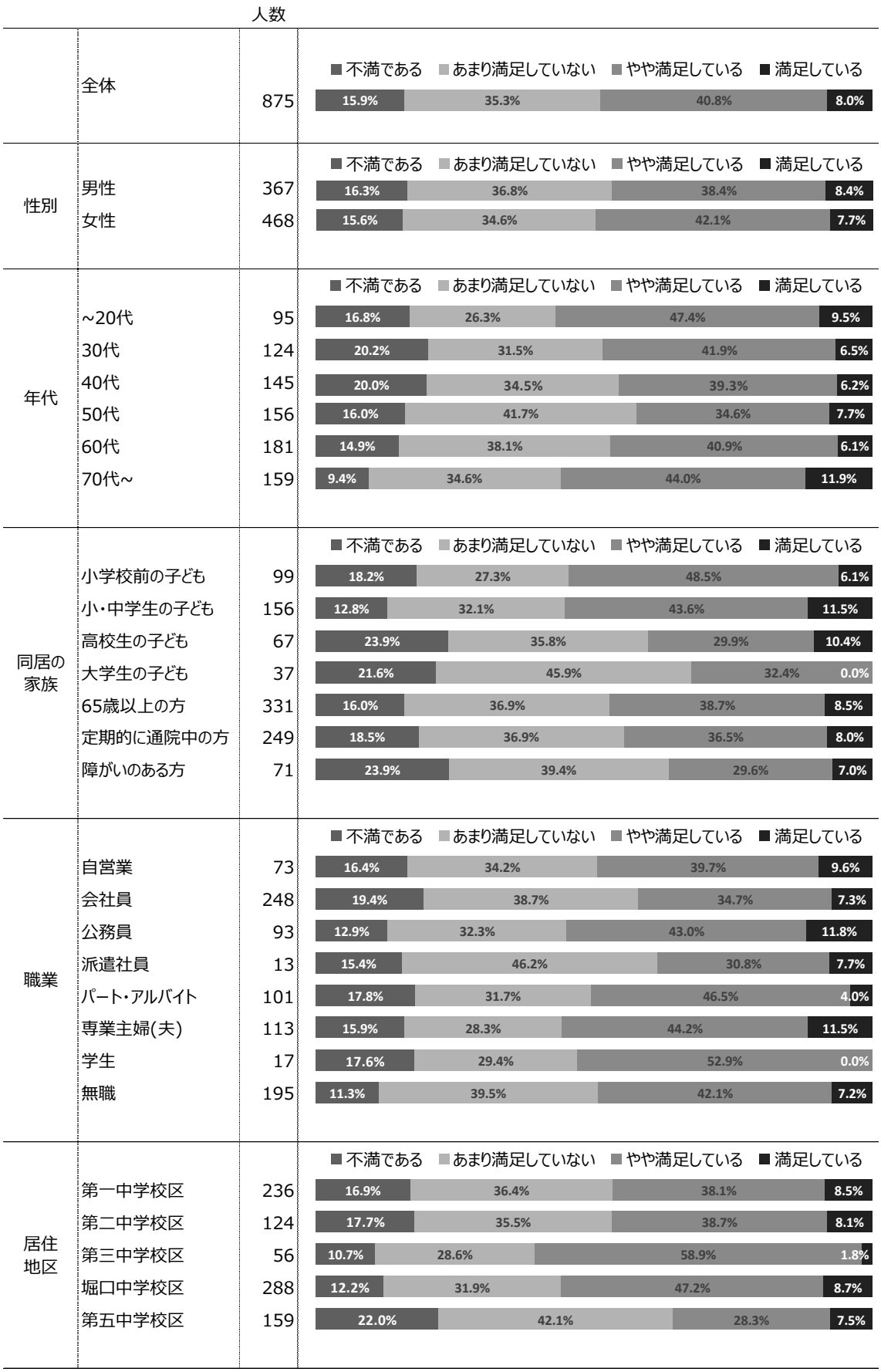
Q12_5-③【公園環境の整備】



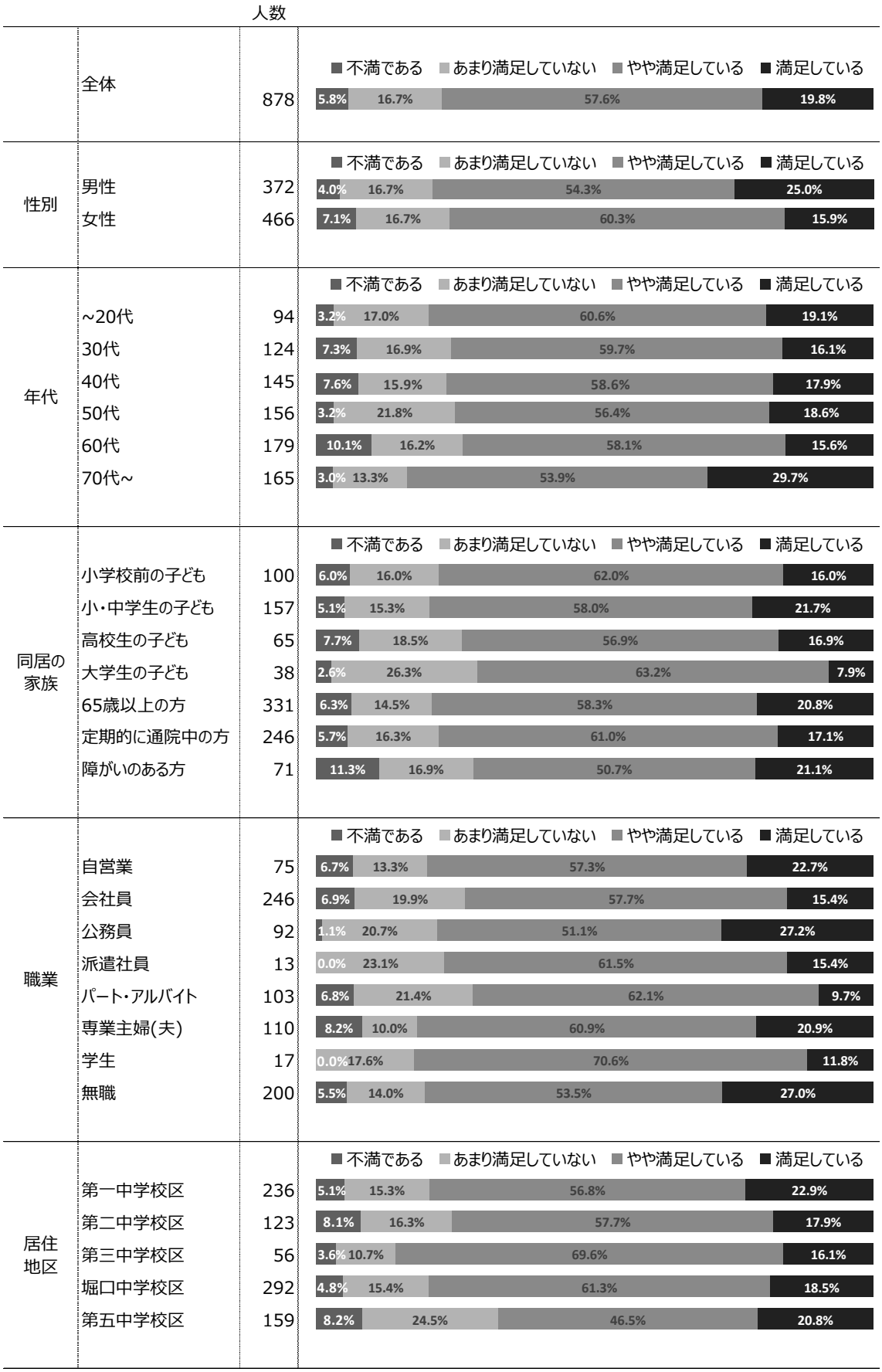
Q12_5-④【他市町村への幹線道路の整備】



Q12_5-⑤【安全で通行しやすい身近な生活道路の整備】

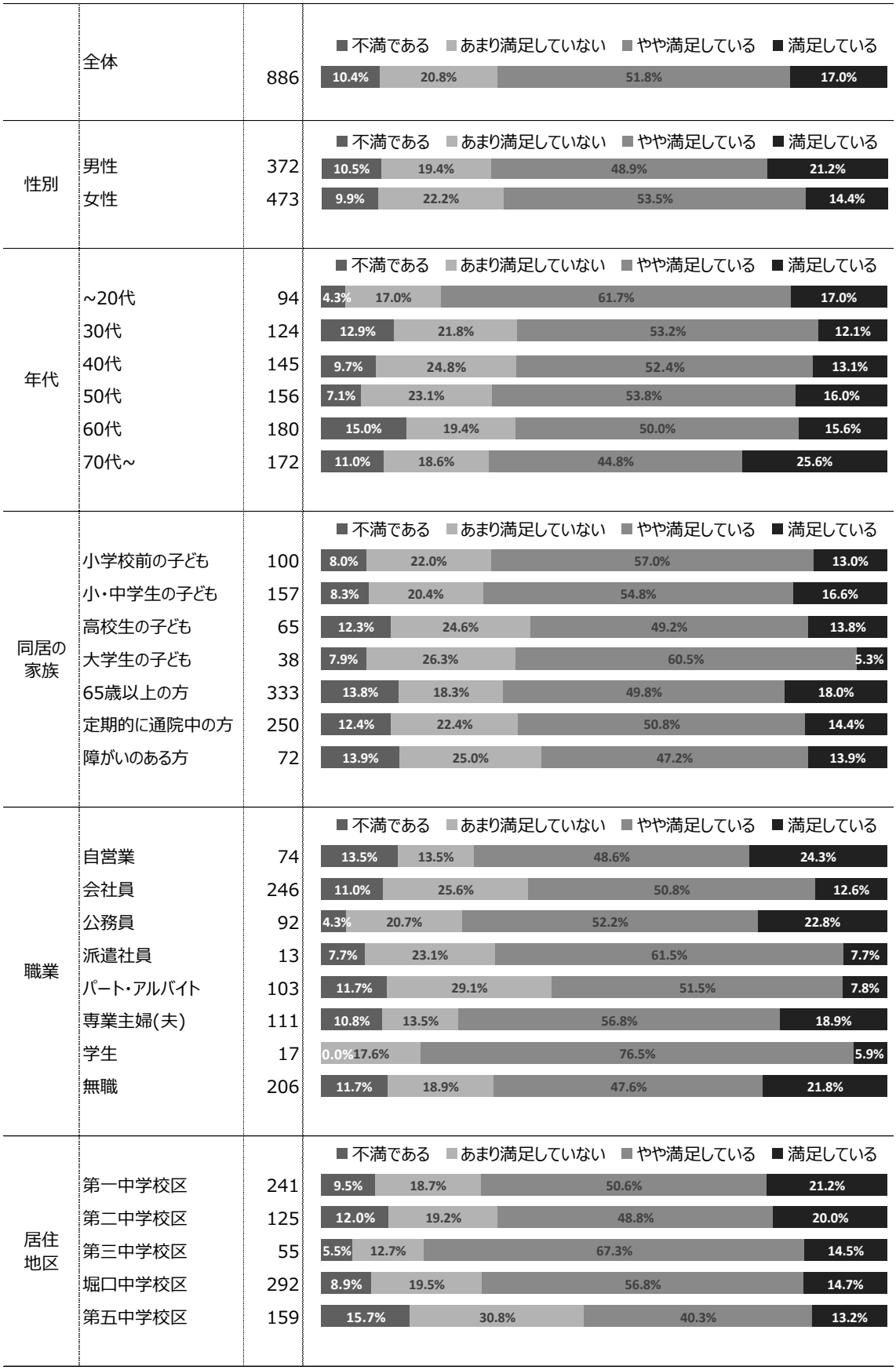


Q12_5-⑥【安全で安定した上水道の整備】

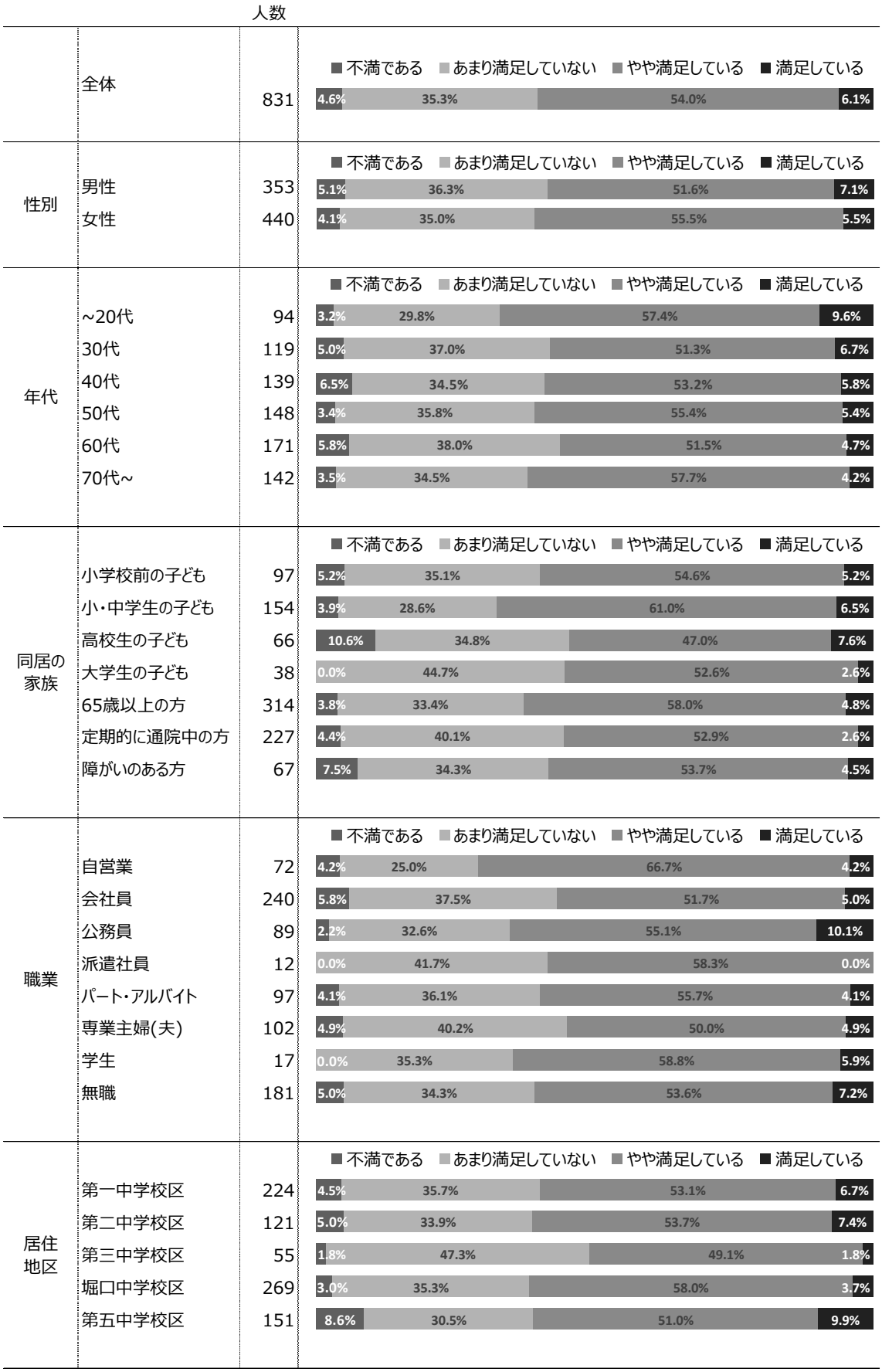


Q12_5-⑦【下水道の整備】

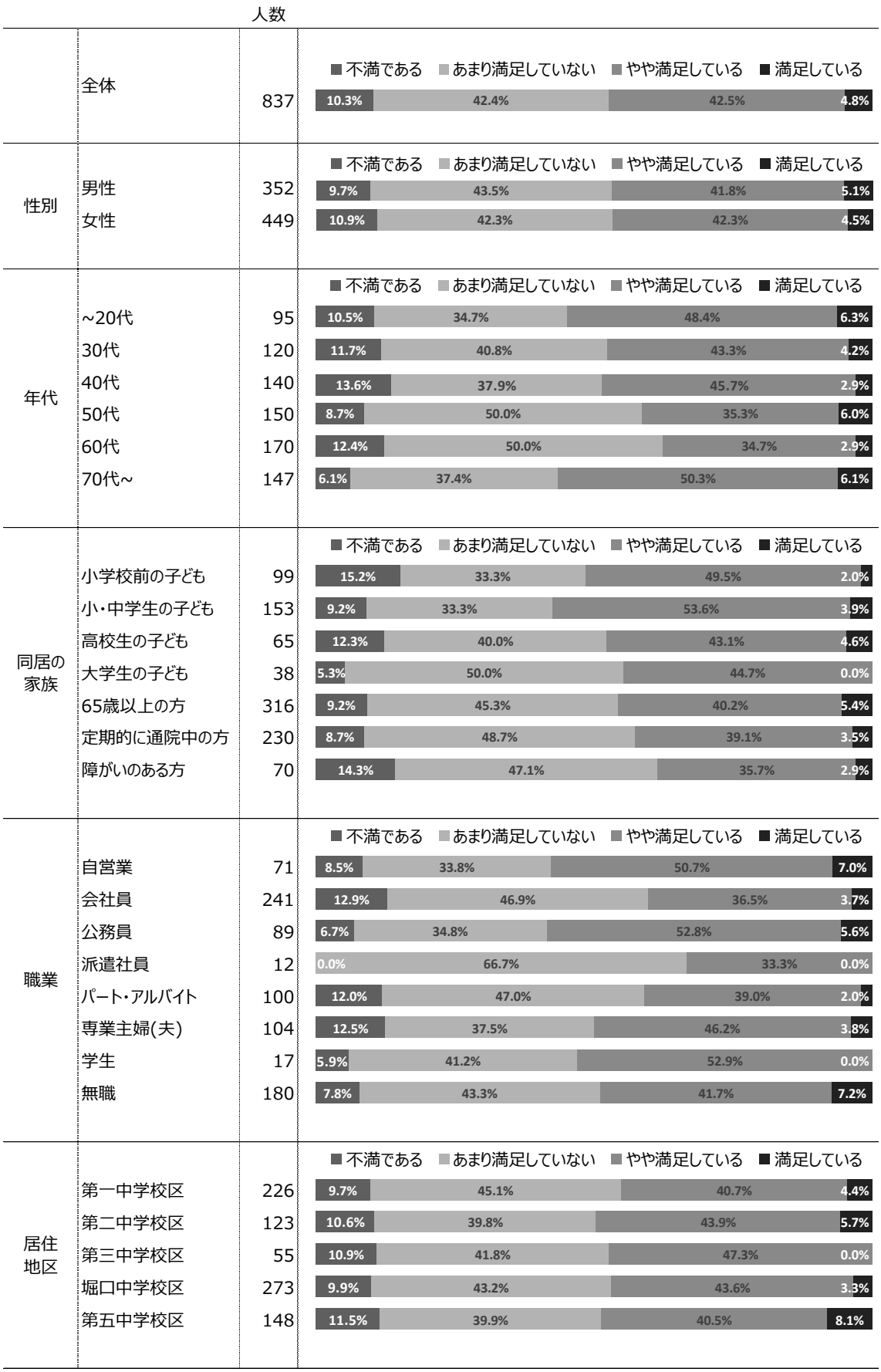
人数



Q12_6-①【地域団体の活動への支援】



Q12_6-②【市役所と皆さんが力を合わせたまちづくり】



Q12_6-③【男女共同参画を推進したまちづくり】

		人数	不満である	あまり満足していない	やや満足している	満足している
	全体	821	6.6%	42.6%	46.3%	4.5%
性別	男性	347	6.6%	42.9%	45.8%	4.6%
	女性	440	6.4%	43.0%	46.1%	4.5%
年代	~20代	93	7.5%	30.1%	54.8%	7.5%
	30代	119	8.4%	37.8%	49.6%	4.2%
	40代	139	8.6%	38.8%	48.9%	3.6%
	50代	150	6.0%	54.7%	34.7%	4.7%
	60代	168	6.0%	48.8%	42.3%	3.0%
	70代~	137	3.6%	39.4%	52.6%	4.4%
同居の家族	小学校前の子ども	97	10.3%	34.0%	52.6%	3.1%
	小・中学生の子ども	152	5.3%	32.2%	57.9%	4.6%
	高校生の子ども	65	10.8%	41.5%	43.1%	4.6%
	大学生の子ども	38	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%
	65歳以上の方	311	4.5%	43.7%	47.3%	4.5%
	定期的に通院中の方	224	6.7%	47.3%	43.8%	2.2%
	障がいのある方	69	10.1%	40.6%	44.9%	4.3%
職業	自営業	70	2.9%	34.3%	55.7%	7.1%
	会社員	240	9.6%	44.2%	42.5%	3.8%
	公務員	89	5.6%	30.3%	57.3%	6.7%
	派遣社員	12	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	パート・アルバイト	98	4.1%	51.0%	41.8%	3.1%
	専業主婦(夫)	101	8.9%	45.5%	43.6%	2.0%
	学生	16	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	無職	174	5.2%	41.4%	47.7%	5.7%
居住地区	第一中学校区	223	7.2%	44.8%	43.0%	4.9%
	第二中学校区	120	5.8%	37.5%	51.7%	5.0%
	第三中学校区	56	7.1%	46.4%	46.4%	0.0%
	堀口中学校区	264	4.5%	44.3%	47.7%	3.4%
	第五中学校区	147	9.5%	40.1%	43.5%	6.8%

Q12_6-④【広報みさわやケーブルテレビによる情報発信】

		人数	■不満である	■あまり満足していない	■やや満足している	■満足している
	全体	872	6.9%	24.5%	54.8%	13.8%
性別	男性	363	7.2%	24.8%	53.7%	14.3%
	女性	468	6.4%	24.4%	55.8%	13.5%
年代	~20代	95	6.3%	16.8%	56.8%	20.0%
	30代	121	7.4%	22.3%	60.3%	9.9%
	40代	143	8.4%	25.9%	50.3%	15.4%
	50代	155	8.4%	29.7%	49.7%	12.3%
	60代	182	7.7%	28.0%	57.1%	7.1%
	70代~	161	3.7%	19.9%	57.1%	19.3%
同居の家族	小学校前の子ども	99	6.1%	16.2%	62.6%	15.2%
	小・中学生の子ども	156	5.1%	19.2%	59.6%	16.0%
	高校生の子ども	66	9.1%	28.8%	48.5%	13.6%
	大学生の子ども	38	0.0%	31.6%	52.6%	15.8%
	65歳以上の方	330	5.8%	25.2%	55.2%	13.9%
	定期的に通院中の方	242	6.2%	27.3%	56.2%	10.3%
	障がいのある方	71	11.3%	28.2%	45.1%	15.5%
職業	自営業	76	5.3%	21.1%	52.6%	21.1%
	会社員	245	9.4%	29.0%	53.5%	8.2%
	公務員	90	4.4%	23.3%	52.2%	20.0%
	派遣社員	12	0.0%	50.0%	41.7%	8.3%
	パート・アルバイト	101	5.0%	22.8%	67.3%	5.0%
	専業主婦(夫)	111	6.3%	26.1%	52.3%	15.3%
	学生	17	0.0%	29.4%	41.2%	29.4%
	無職	197	7.6%	19.8%	56.3%	16.2%
居住地区	第一中学校区	235	7.2%	22.1%	53.2%	17.4%
	第二中学校区	125	7.2%	25.6%	55.2%	12.0%
	第三中学校区	57	8.8%	33.3%	50.9%	7.0%
	堀口中学校区	288	4.5%	24.3%	58.7%	12.5%
	第五中学校区	156	10.3%	25.0%	50.0%	14.7%

Q12_6-⑤【市民の皆さんの視点に立った行政運営】

		人数	■不満である ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している
	全体	838	11.8% 42.7% 40.9% 4.5%
性別	男性	352	12.2% 44.3% 39.2% 4.3%
	女性	449	11.4% 42.3% 41.4% 4.9%
年代	~20代	93	10.8% 33.3% 51.6% 4.3%
	30代	118	16.1% 38.1% 41.5% 4.2%
	40代	141	12.8% 44.0% 39.7% 3.5%
	50代	150	10.7% 48.7% 35.3% 5.3%
	60代	173	15.6% 46.8% 35.3% 2.3%
	70代~	148	5.4% 41.9% 45.9% 6.8%
同居の家族	小学校前の子ども	96	15.6% 34.4% 47.9% 2.1%
	小・中学生の子ども	151	7.3% 39.7% 47.7% 5.3%
	高校生の子ども	65	10.8% 44.6% 41.5% 3.1%
	大学生の子ども	38	7.9% 50.0% 42.1% 0.0%
	65歳以上の方	321	11.5% 45.2% 38.0% 5.3%
	定期的に通院中の方	231	10.0% 50.2% 36.4% 3.5%
	障がいのある方	69	17.4% 47.8% 27.5% 7.2%
職業	自営業	73	9.6% 38.4% 43.8% 8.2%
	会社員	242	15.7% 44.6% 36.4% 3.3%
	公務員	89	6.7% 36.0% 51.7% 5.6%
	派遣社員	12	0.0% 66.7% 25.0% 8.3%
	パート・アルバイト	99	12.1% 46.5% 39.4% 2.0%
	専業主婦(夫)	103	11.7% 45.6% 38.8% 3.9%
	学生	17	5.9% 29.4% 64.7% 0.0%
	無職	181	10.5% 42.5% 40.9% 6.1%
居住地区	第一中学校区	226	12.8% 44.2% 37.6% 5.3%
	第二中学校区	122	12.3% 45.9% 40.2% 1.6%
	第三中学校区	54	11.1% 48.1% 40.7% 0.0%
	堀口中学校区	275	9.5% 42.5% 42.9% 5.1%
	第五中学校区	150	14.7% 36.7% 42.7% 6.0%

＜巻末資料 C＞ 調査結果③：日ごろの意識（属性ごと）

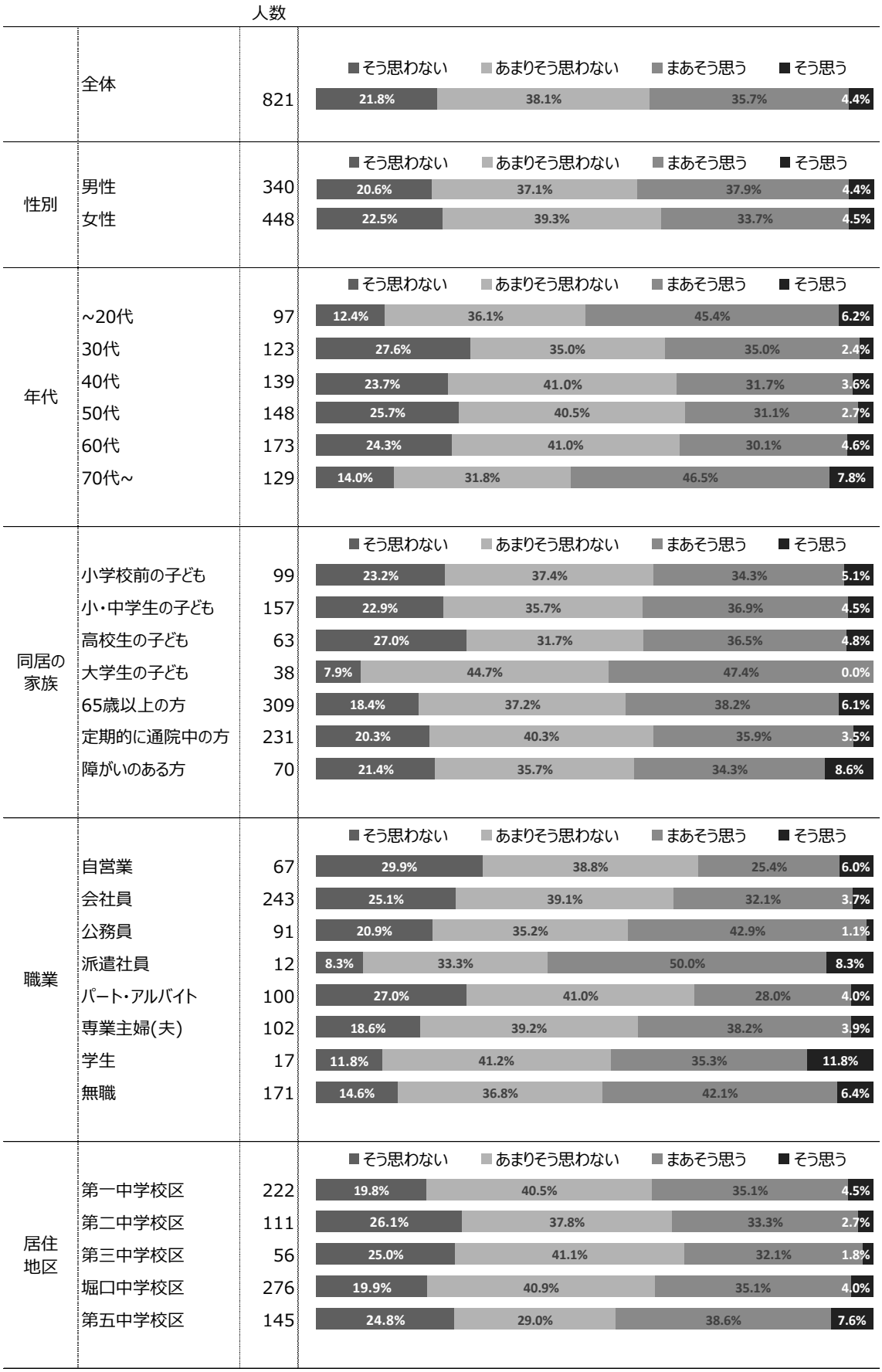
Q13_①【心身ともに健康に生活している】

		人数	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
	全体	933	7.3%	28.6%	49.0%	15.1%
性別	男性	388	4.6%	29.1%	50.8%	15.5%
	女性	499	9.2%	28.1%	48.5%	14.2%
年代	~20代	97	6.2%	20.6%	57.7%	15.5%
	30代	129	9.3%	28.7%	51.9%	10.1%
	40代	145	9.7%	34.5%	41.4%	14.5%
	50代	157	8.3%	36.9%	45.2%	9.6%
	60代	191	8.9%	28.8%	49.7%	12.6%
	70代~	196	3.1%	21.4%	51.0%	24.5%
同居の家族	小学校前の子ども	103	9.7%	24.3%	56.3%	9.7%
	小・中学生の子ども	162	7.4%	27.8%	48.8%	16.0%
	高校生の子ども	66	9.1%	33.3%	40.9%	16.7%
	大学生の子ども	37	5.4%	27.0%	48.6%	18.9%
	65歳以上の方	350	7.7%	28.3%	49.4%	14.6%
	定期的に通院中の方	266	7.9%	33.1%	50.0%	9.0%
	障がいのある方	80	15.0%	23.8%	52.5%	8.8%
職業	自営業	81	7.4%	33.3%	42.0%	17.3%
	会社員	254	8.3%	32.3%	47.2%	12.2%
	公務員	96	1.0%	26.0%	50.0%	22.9%
	派遣社員	13	0.0%	30.8%	46.2%	23.1%
	パート・アルバイト	110	14.5%	29.1%	48.2%	8.2%
	専業主婦(夫)	115	7.8%	28.7%	47.8%	15.7%
	学生	16	6.3%	68.8%		25.0%
	無職	218	6.0%	26.1%	52.3%	15.6%
居住地区	第一中学校区	253	8.3%	28.1%	47.8%	15.8%
	第二中学校区	127	6.3%	27.6%	56.7%	9.4%
	第三中学校区	61	8.2%	41.0%	39.3%	11.5%
	堀口中学校区	310	6.8%	30.6%	44.8%	17.7%
	第五中学校区	165	7.3%	23.0%	55.8%	13.9%

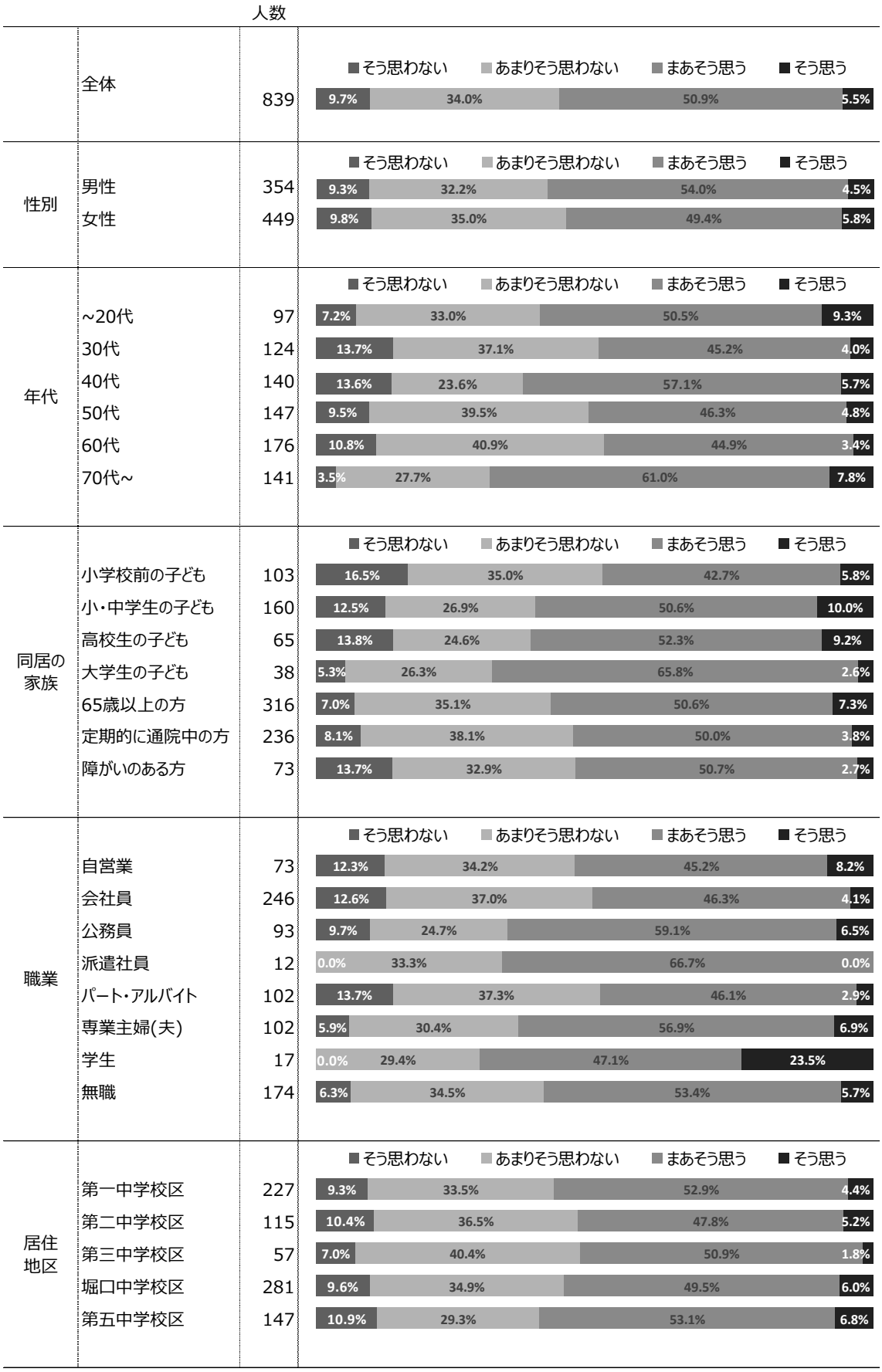
Q13_②【安心して質の高い医療が受けられている】

		人数	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
	全体	928	11.7%	32.5%	47.3%	8.4%
性別	男性	390	10.0%	34.6%	45.6%	9.7%
	女性	493	13.2%	31.6%	48.5%	6.7%
年代	~20代	98	6.1%	33.7%	49.0%	11.2%
	30代	126	10.3%	39.7%	46.0%	4.0%
	40代	145	16.6%	34.5%	46.9%	2.1%
	50代	156	15.4%	35.9%	42.3%	6.4%
	60代	192	15.6%	37.0%	40.1%	7.3%
	70代~	194	5.2%	20.1%	58.2%	16.5%
同居の家族	小学校前の子ども	101	6.9%	37.6%	48.5%	6.9%
	小・中学生の子ども	162	9.9%	33.3%	52.5%	4.3%
	高校生の子ども	66	19.7%	31.8%	43.9%	4.5%
	大学生の子ども	38	10.5%	34.2%	50.0%	5.3%
	65歳以上の方	350	11.1%	30.9%	48.3%	9.7%
	定期的に通院中の方	265	10.9%	34.0%	46.0%	9.1%
	障がいのある方	80	13.8%	33.8%	38.8%	13.8%
職業	自営業	81	13.6%	27.2%	45.7%	13.6%
	会社員	252	17.5%	34.5%	42.5%	5.6%
	公務員	96	7.3%	41.7%	45.8%	5.2%
	派遣社員	13	0.0%	46.2%	46.2%	7.7%
	パート・アルバイト	108	13.9%	34.3%	47.2%	4.6%
	専業主婦(夫)	115	11.3%	33.9%	45.2%	9.6%
	学生	17	5.9%	35.3%	35.3%	23.5%
	無職	219	6.8%	27.9%	54.3%	11.0%
居住地区	第一中学校区	253	14.2%	31.2%	47.4%	7.1%
	第二中学校区	126	9.5%	36.5%	50.0%	4.0%
	第三中学校区	61	14.8%	31.1%	42.6%	11.5%
	堀口中学校区	308	10.7%	32.5%	47.7%	9.1%
	第五中学校区	165	10.9%	33.3%	46.1%	9.7%

Q13_③【妊娠・出産支援が充実している】



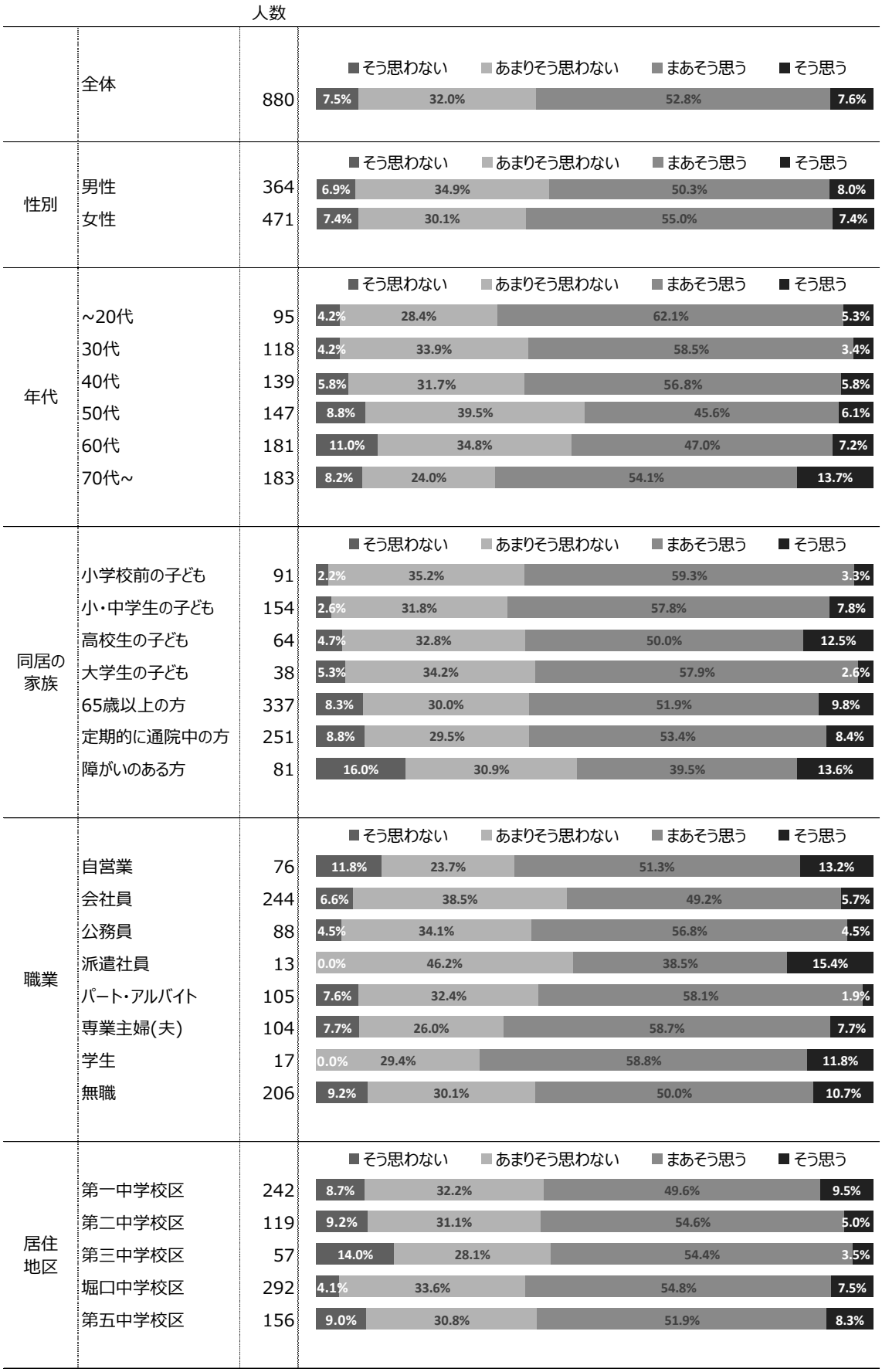
Q13_④【子育ての環境が充実している】



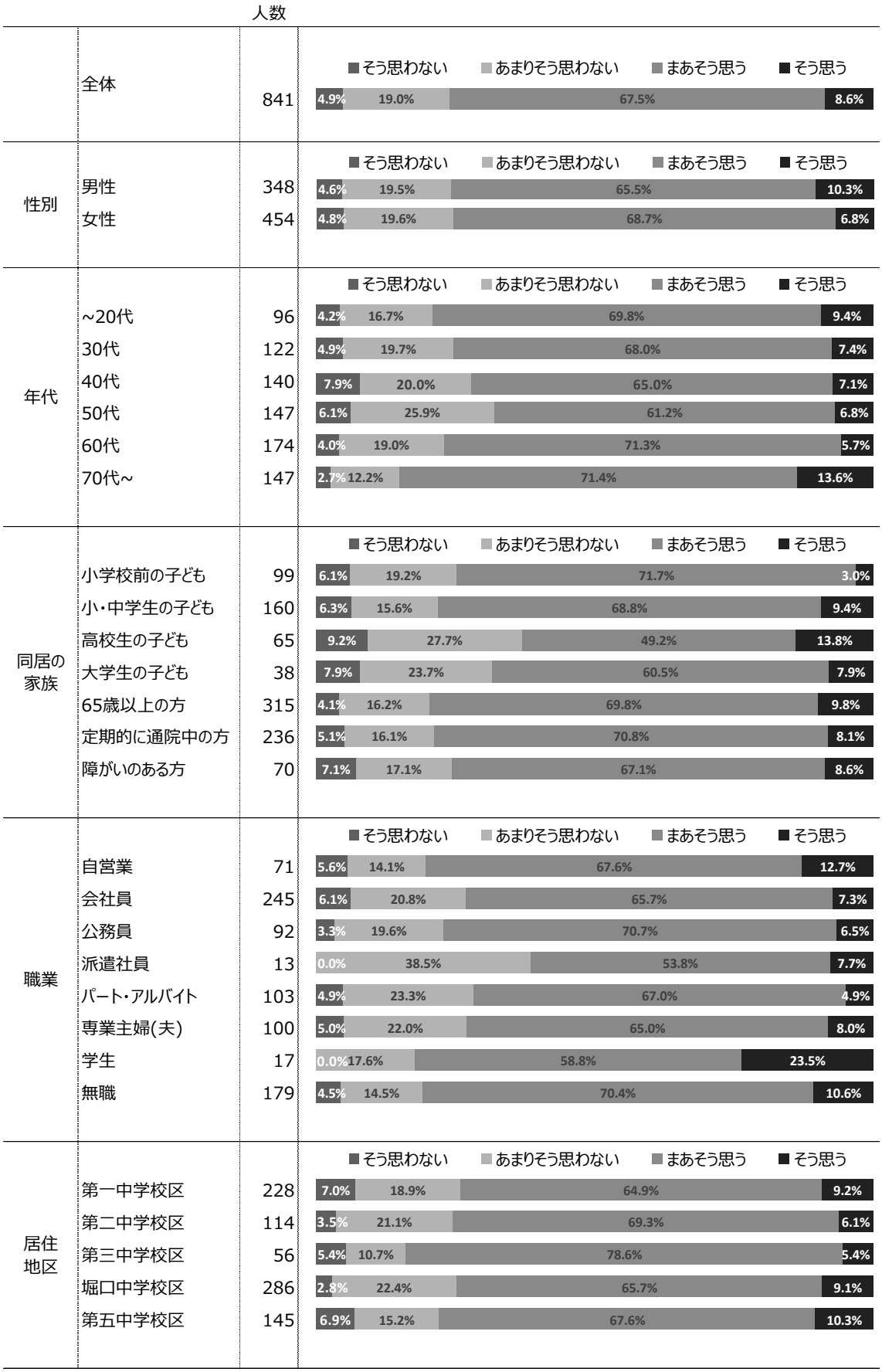
Q13_⑤【普段の生活を安心して過ごしている】

		人数	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
	全体	912	5.9%	26.6%	56.7%	10.7%
性別	男性	379	5.0%	24.0%	60.9%	10.0%
	女性	486	6.4%	29.4%	53.5%	10.7%
年代	~20代	98	2.0%	29.6%	52.0%	16.3%
	30代	126	4.8%	31.0%	55.6%	8.7%
	40代	144	9.0%	25.0%	54.9%	11.1%
	50代	153	5.9%	30.1%	56.2%	7.8%
	60代	189	8.5%	30.2%	52.9%	8.5%
	70代~	187	4.3%	17.6%	64.2%	13.9%
同居の家族	小学校前の子ども	101	4.0%	27.7%	60.4%	7.9%
	小・中学生の子ども	160	2.5%	23.1%	58.8%	15.6%
	高校生の子ども	66	13.6%	24.2%	45.5%	16.7%
	大学生の子ども	38	7.9%	23.7%	63.2%	5.3%
	65歳以上の方	347	6.3%	25.9%	55.3%	12.4%
	定期的に通院中の方	261	5.0%	30.3%	57.1%	7.7%
	障がいのある方	79	13.9%	21.5%	50.6%	13.9%
職業	自営業	77	6.5%	16.9%	58.4%	18.2%
	会社員	252	8.7%	32.1%	52.0%	7.1%
	公務員	92	2.2%	23.9%	58.7%	15.2%
	派遣社員	13	0.0%	38.5%	46.2%	15.4%
	パート・アルバイト	109	6.4%	32.1%	56.9%	4.6%
	専業主婦(夫)	113	5.3%	26.5%	55.8%	12.4%
	学生	17	0.0%	23.5%	47.1%	29.4%
	無職	213	5.2%	22.5%	62.9%	9.4%
居住地区	第一中学校区	243	9.9%	26.7%	50.6%	12.8%
	第二中学校区	129	4.7%	25.6%	61.2%	8.5%
	第三中学校区	60	6.7%	33.3%	50.0%	10.0%
	堀口中学校区	303	4.3%	24.8%	59.4%	11.6%
	第五中学校区	161	4.3%	29.8%	58.4%	7.5%

Q13_⑥【市の福祉サービスや相談体制に満足している】



Q13_⑦【小学生・中学生が充実した教育を受けている】



Q13_⑧【図書館や公民館などの社会教育施設が充実している】

		人数	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
	全体	876	8.7%	29.1%	54.6%	7.6%
性別	男性	367	8.7%	29.7%	53.7%	7.9%
	女性	469	8.5%	29.6%	54.4%	7.5%
年代	~20代	96	7.3%	32.3%	53.1%	7.3%
	30代	125	9.6%	28.8%	54.4%	7.2%
	40代	143	12.6%	30.1%	51.0%	6.3%
	50代	152	9.9%	36.8%	48.7%	4.6%
	60代	181	8.3%	28.2%	59.1%	4.4%
	70代~	165	5.5%	20.0%	59.4%	15.2%
同居の家族	小学校前の子ども	98	8.2%	32.7%	52.0%	7.1%
	小・中学生の子ども	157	10.2%	28.7%	52.2%	8.9%
	高校生の子ども	66	13.6%	28.8%	50.0%	7.6%
	大学生の子ども	38	5.3%	31.6%	57.9%	5.3%
	65歳以上の方	331	7.9%	27.8%	55.6%	8.8%
	定期的に通院中の方	244	7.4%	30.3%	55.7%	6.6%
	障がいのある方	73	15.1%	26.0%	52.1%	6.8%
職業	自営業	73	8.2%	24.7%	57.5%	9.6%
	会社員	250	11.6%	31.6%	50.8%	6.0%
	公務員	94	9.6%	30.9%	50.0%	9.6%
	派遣社員	13	0.0%	53.8%	38.5%	7.7%
	パート・アルバイト	106	9.4%	27.4%	59.4%	3.8%
	専業主婦(夫)	104	8.7%	27.9%	57.7%	5.8%
	学生	17	0.0%	35.3%	52.9%	11.8%
	無職	197	6.1%	26.4%	57.4%	10.2%
居住地区	第一中学校区	241	7.5%	29.5%	54.8%	8.3%
	第二中学校区	120	10.8%	26.7%	59.2%	3.3%
	第三中学校区	56	10.7%	25.0%	58.9%	5.4%
	堀口中学校区	296	8.8%	30.1%	52.7%	8.4%
	第五中学校区	150	8.0%	30.7%	52.0%	9.3%

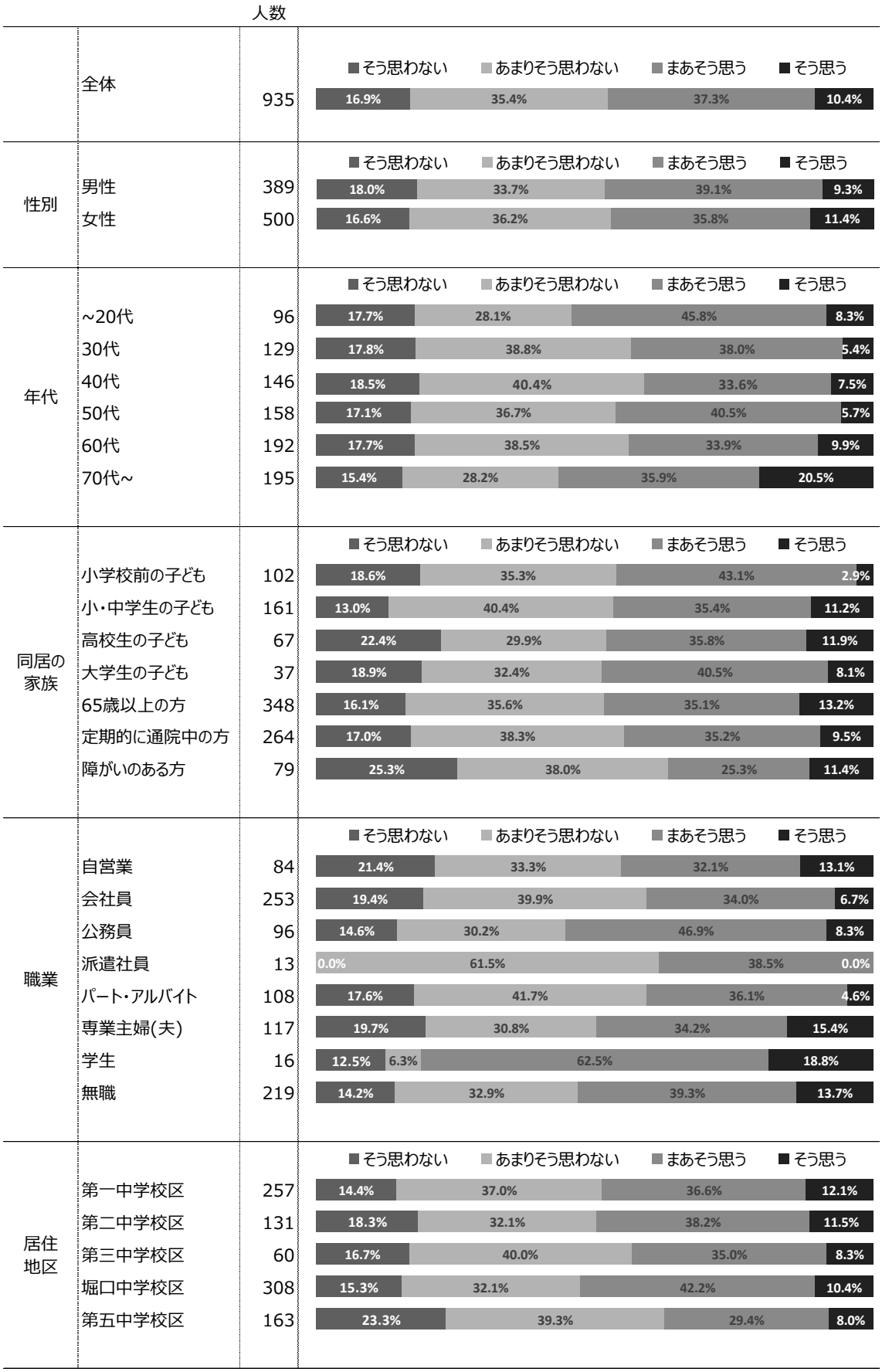
Q13_⑨【伝統文化や歴史遺産が大切に後世に伝えられている】

		人数	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
	全体	879	8.0%	28.1%	55.4%	8.5%
性別	男性	366	8.5%	28.4%	54.9%	8.2%
	女性	471	7.0%	29.7%	54.1%	9.1%
年代	~20代	97	9.3%	27.8%	56.7%	6.2%
	30代	123	7.3%	35.0%	52.0%	5.7%
	40代	141	9.2%	39.7%	44.0%	7.1%
	50代	152	10.5%	25.0%	59.2%	5.3%
	60代	180	8.3%	28.3%	53.9%	9.4%
	70代~	170	4.1%	16.5%	64.7%	14.7%
同居の家族	小学校前の子ども	97	6.2%	29.9%	56.7%	7.2%
	小・中学生の子ども	157	7.6%	32.5%	52.2%	7.6%
	高校生の子ども	66	9.1%	33.3%	54.5%	3.0%
	大学生の子ども	38	15.8%	18.4%	57.9%	7.9%
	65歳以上の方	332	6.9%	23.8%	56.9%	12.3%
	定期的に通院中の方	248	6.9%	26.6%	56.9%	9.7%
	障がいのある方	74	16.2%	21.6%	50.0%	12.2%
職業	自営業	75	10.7%	22.7%	50.7%	16.0%
	会社員	246	9.8%	32.5%	52.8%	4.9%
	公務員	93	8.6%	32.3%	51.6%	7.5%
	派遣社員	13	0.0%	30.8%	61.5%	7.7%
	パート・アルバイト	105	8.6%	24.8%	61.0%	5.7%
	専業主婦(夫)	105	6.7%	31.4%	51.4%	10.5%
	学生	17	11.8%	23.5%	52.9%	11.8%
	無職	201	5.0%	23.9%	60.2%	10.9%
居住地区	第一中学校区	237	8.4%	29.1%	55.7%	6.8%
	第二中学校区	123	7.3%	28.5%	54.5%	9.8%
	第三中学校区	58	15.5%	22.4%	55.2%	6.9%
	堀口中学校区	294	5.4%	31.0%	55.4%	8.2%
	第五中学校区	154	9.7%	23.4%	55.2%	11.7%

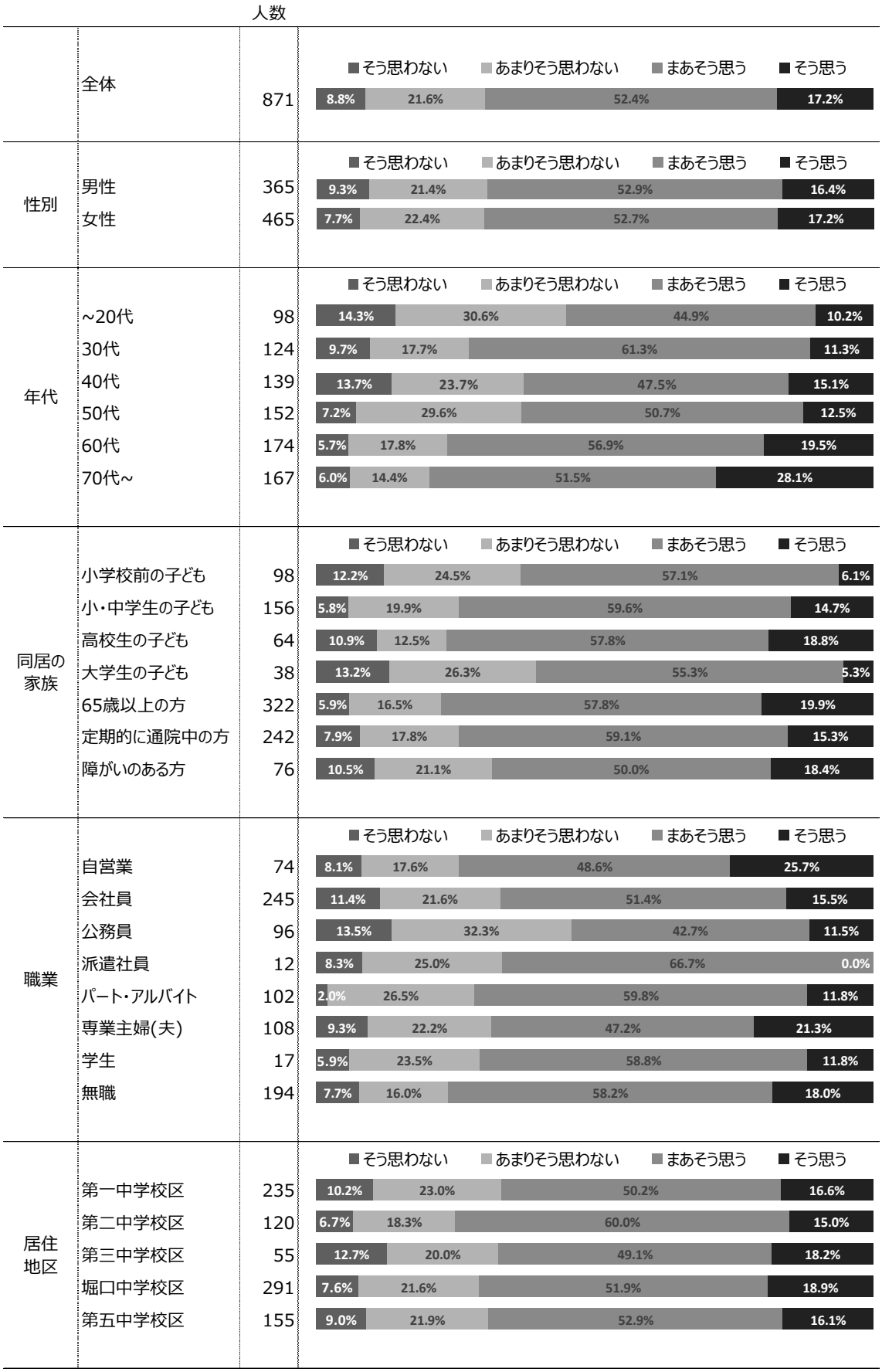
Q13_⑩【市内の体育施設は利用しやすい】

		人数	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
	全体	848	12.6%	36.8%	43.6%	7.0%
性別	男性	354	13.3%	35.6%	42.1%	9.0%
	女性	451	11.8%	37.7%	44.8%	5.8%
年代	~20代	94	10.6%	34.0%	46.8%	8.5%
	30代	121	9.9%	34.7%	51.2%	4.1%
	40代	139	17.3%	33.8%	43.2%	5.8%
	50代	149	14.1%	45.0%	36.2%	4.7%
	60代	167	15.0%	38.9%	40.7%	5.4%
	70代~	159	8.2%	33.3%	46.5%	11.9%
同居の家族	小学校前の子ども	95	10.5%	31.6%	54.7%	3.2%
	小・中学生の子ども	159	15.1%	29.6%	47.8%	7.5%
	高校生の子ども	65	16.9%	26.2%	49.2%	7.7%
	大学生の子ども	38	10.5%	36.8%	47.4%	5.3%
	65歳以上の方	313	11.5%	35.5%	44.1%	8.9%
	定期的に通院中の方	229	11.4%	38.9%	44.1%	5.7%
	障がいのある方	72	19.4%	38.9%	34.7%	6.9%
職業	自営業	69	15.9%	31.9%	40.6%	11.6%
	会社員	244	16.4%	37.7%	38.5%	7.4%
	公務員	93	12.9%	35.5%	47.3%	4.3%
	派遣社員	12	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	パート・アルバイト	99	13.1%	38.4%	46.5%	2.0%
	専業主婦(夫)	98	10.2%	33.7%	50.0%	6.1%
	学生	17	5.9%	29.4%	47.1%	17.6%
	無職	192	9.4%	38.0%	44.3%	8.3%
居住地区	第一中学校区	229	12.7%	35.8%	45.0%	6.6%
	第二中学校区	115	13.0%	36.5%	44.3%	6.1%
	第三中学校区	53	11.3%	39.6%	39.6%	9.4%
	堀口中学校区	287	11.8%	38.3%	43.9%	5.9%
	第五中学校区	150	13.3%	34.7%	42.7%	9.3%

Q13_⑪【自宅周辺の道路は安全で利用しやすい】



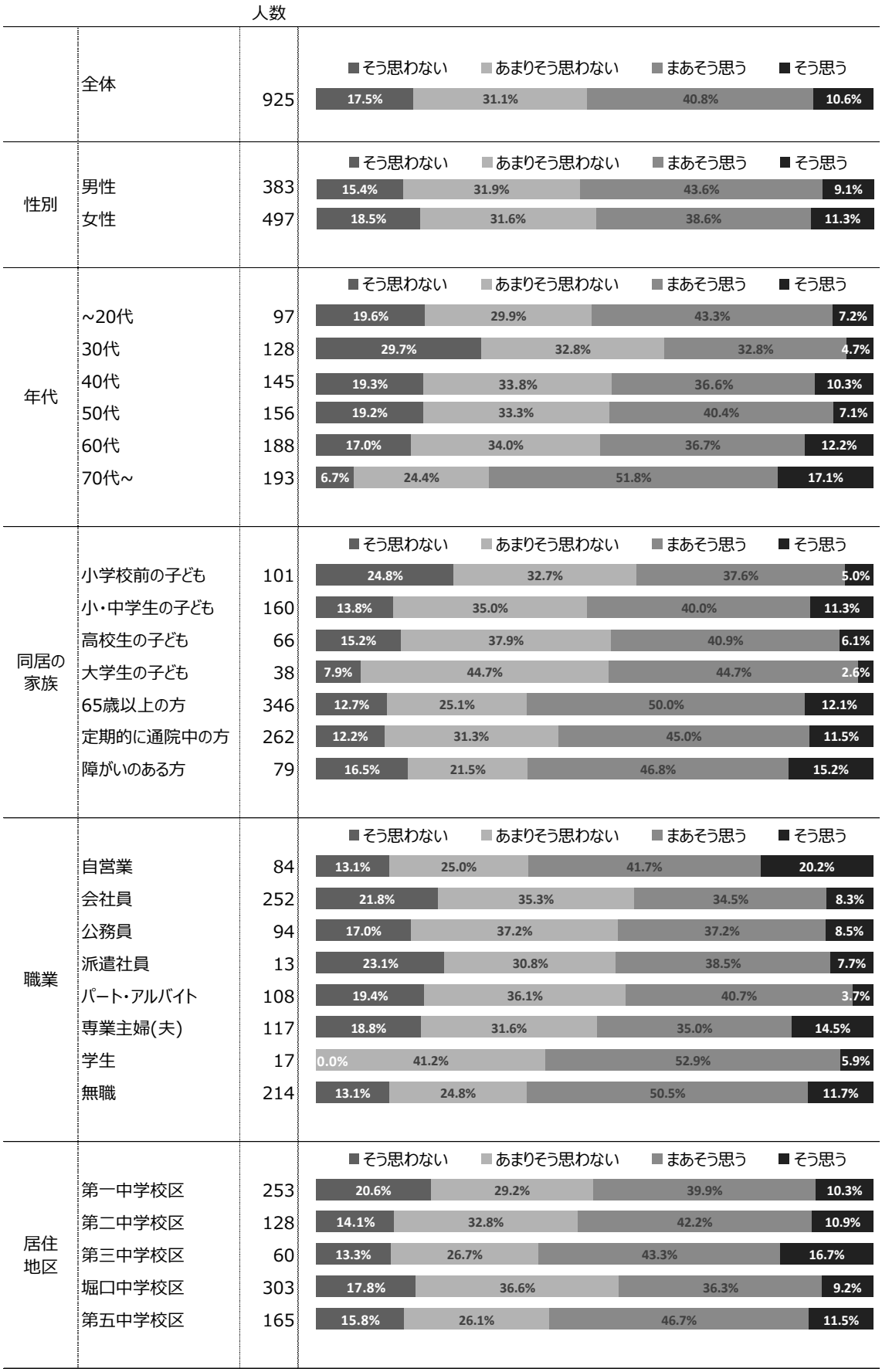
Q13_⑫【三沢空港は利用しやすい】



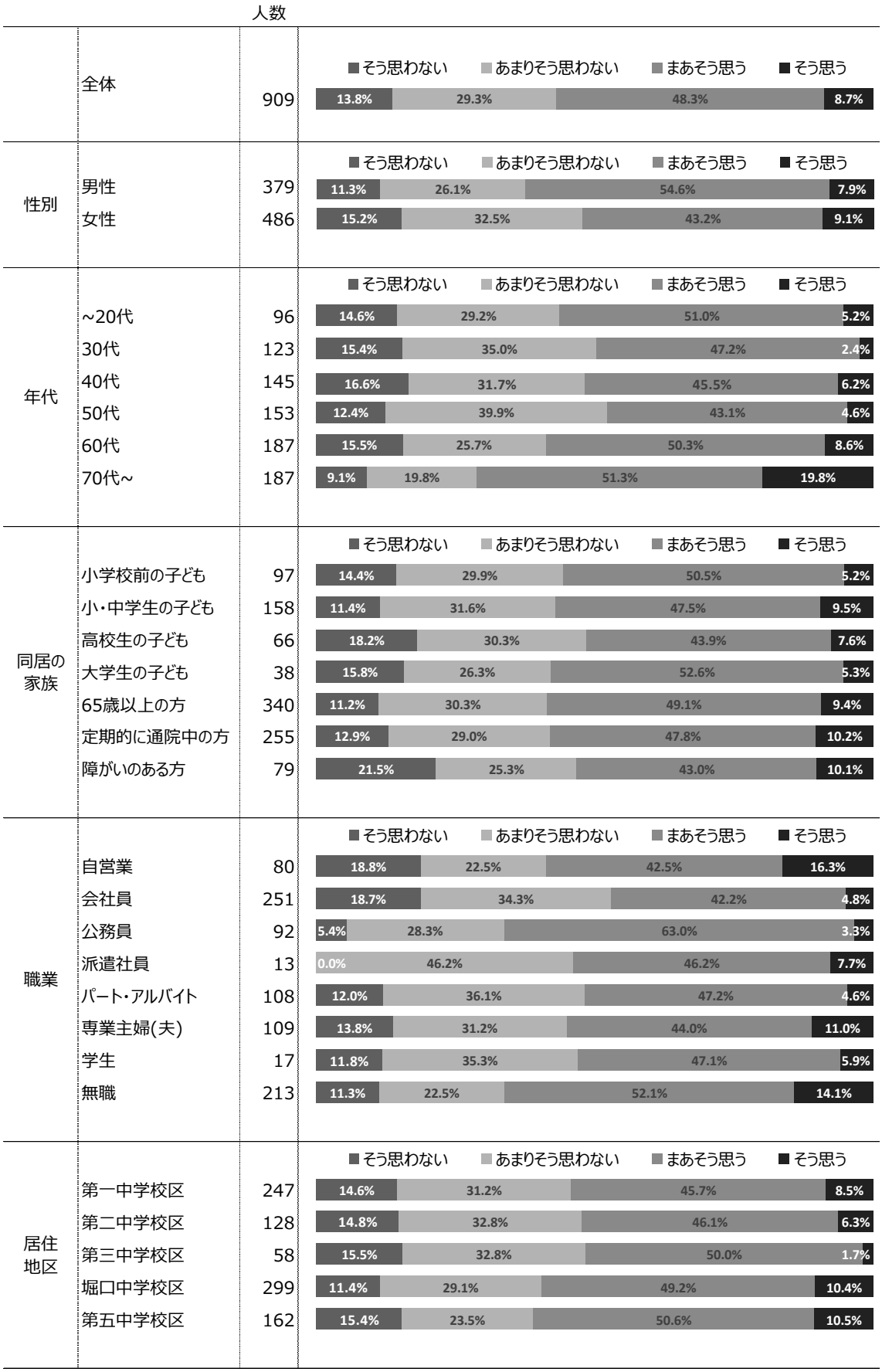
Q13_⑬【青い森鉄道は利用しやすい】

		人数	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
	全体	895	22.5%	34.7%	35.4%	7.4%
性別	男性	375	21.1%	33.9%	38.4%	6.7%
	女性	479	23.2%	36.3%	32.6%	7.9%
年代	~20代	98	19.4%	29.6%	39.8%	11.2%
	30代	126	30.2%	31.0%	34.9%	4.0%
	40代	142	28.2%	37.3%	28.2%	6.3%
	50代	154	22.7%	45.5%	26.6%	5.2%
	60代	179	19.6%	35.8%	36.9%	7.8%
	70代~	178	18.0%	28.1%	44.4%	9.6%
同居の家族	小学校前の子ども	100	21.0%	35.0%	42.0%	2.0%
	小・中学生の子ども	160	23.1%	33.1%	36.9%	6.9%
	高校生の子ども	64	21.9%	28.1%	39.1%	10.9%
	大学生の子ども	38	28.9%	31.6%	31.6%	7.9%
	65歳以上の方	335	21.8%	32.2%	37.3%	8.7%
	定期的に通院中の方	255	20.4%	34.5%	39.2%	5.9%
	障がいのある方	77	23.4%	36.4%	31.2%	9.1%
職業	自営業	78	23.1%	37.2%	32.1%	7.7%
	会社員	248	28.6%	35.1%	30.2%	6.0%
	公務員	96	26.0%	40.6%	30.2%	3.1%
	派遣社員	13	7.7%	61.5%	30.8%	0.0%
	パート・アルバイト	105	16.2%	34.3%	41.9%	7.6%
	専業主婦(夫)	110	19.1%	40.0%	30.9%	10.0%
	学生	17	23.5%	11.8%	47.1%	17.6%
	無職	205	19.5%	28.8%	43.4%	8.3%
居住地区	第一中学校区	245	23.7%	35.9%	31.8%	8.6%
	第二中学校区	121	25.6%	35.5%	36.4%	2.5%
	第三中学校区	58	25.9%	29.3%	37.9%	6.9%
	堀口中学校区	296	21.6%	40.2%	31.8%	6.4%
	第五中学校区	159	19.5%	23.9%	45.9%	10.7%

Q13_⑭【隣近所や地域の方々と交流や助け合いがある】



Q13_⑮【行政サービスの質が向上している】

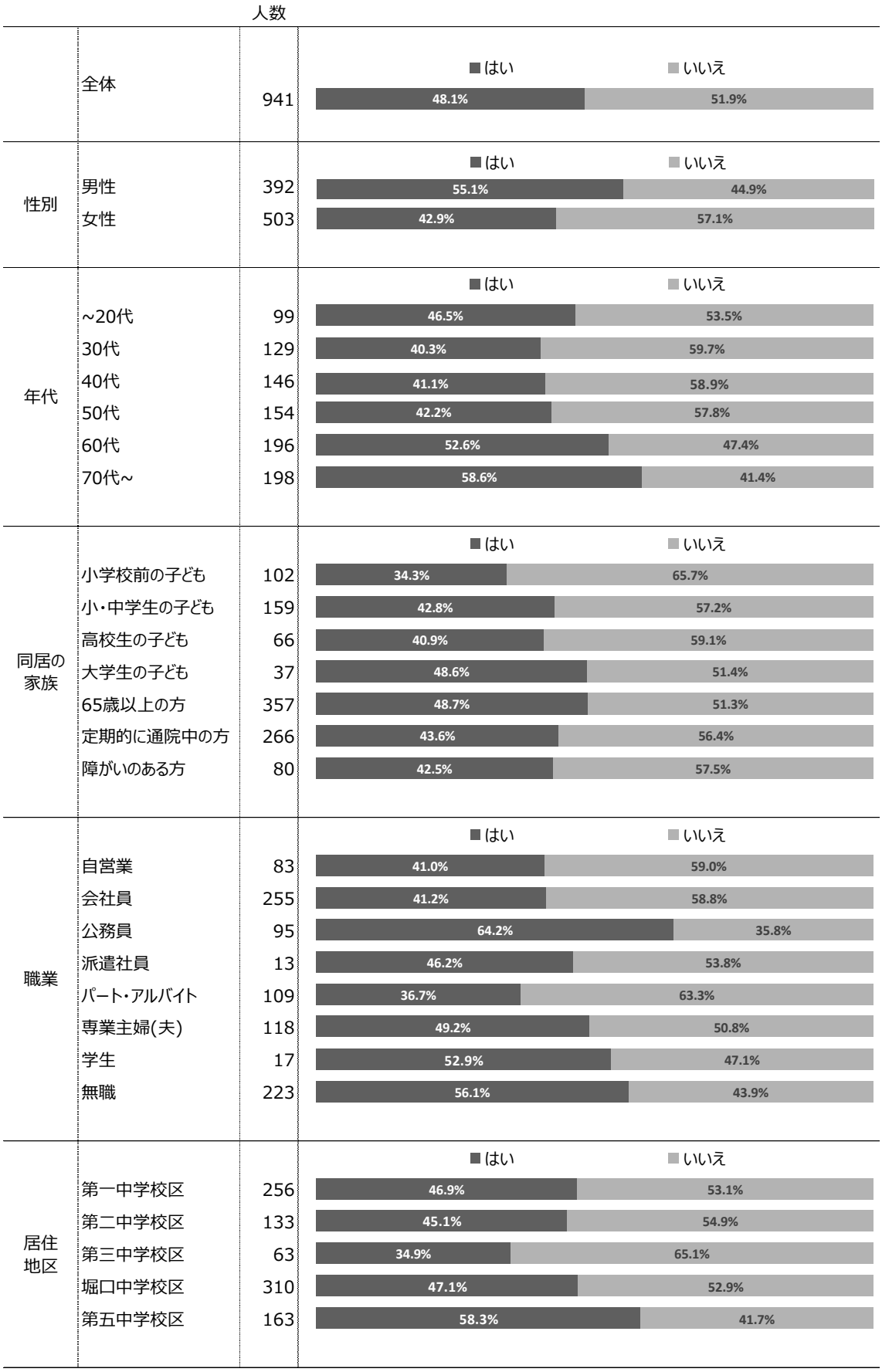


Q13_⑯【三沢市に誇りや愛着を感じている】

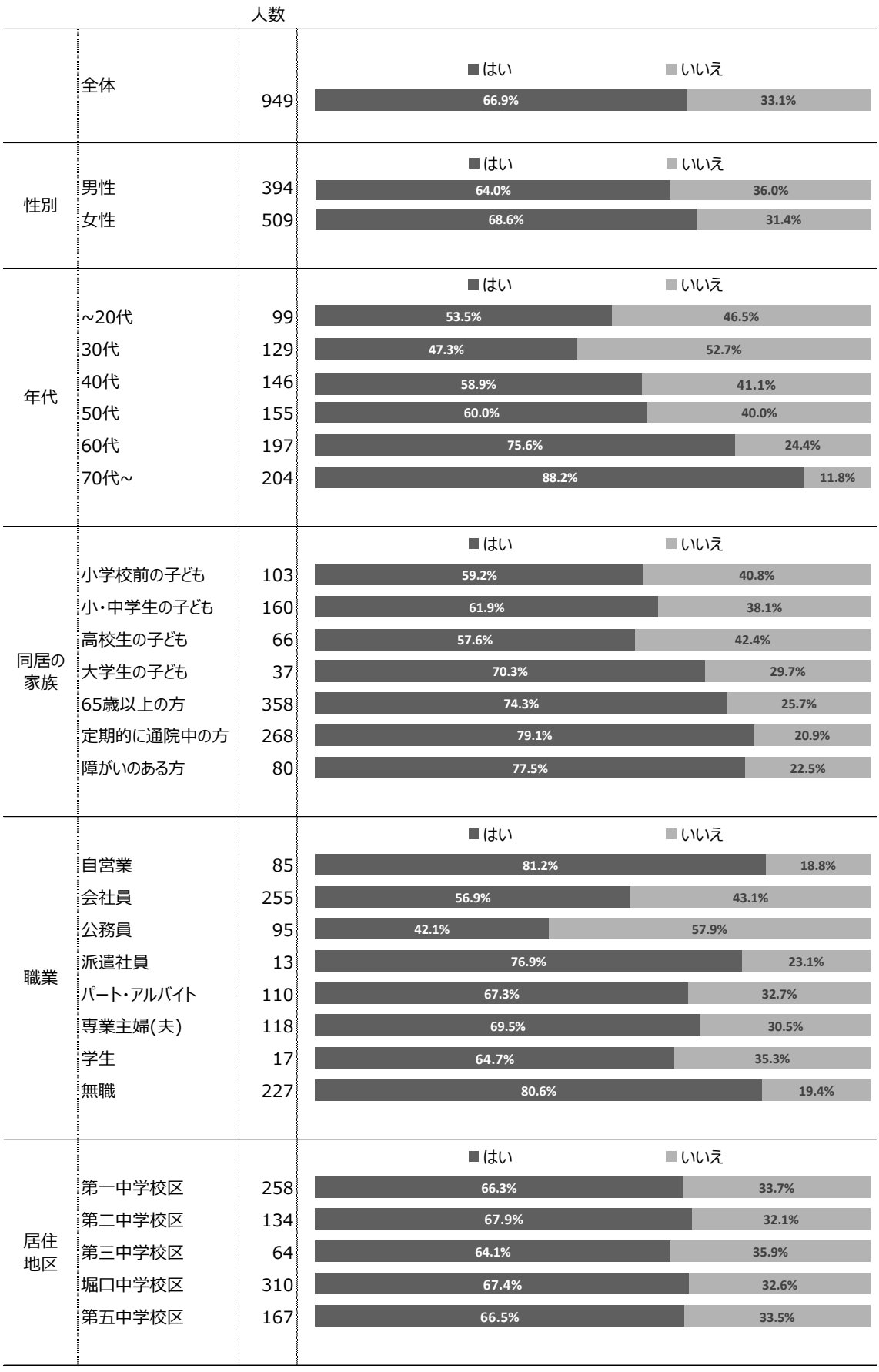
		人数	そう思わない	あまりそう思わない	まあそう思う	そう思う
	全体	931	10.6%	24.6%	47.7%	17.1%
性別	男性	387	10.1%	22.2%	51.4%	16.3%
	女性	499	11.0%	26.1%	46.3%	16.6%
年代	~20代	97	13.4%	26.8%	45.4%	14.4%
	30代	129	14.7%	28.7%	47.3%	9.3%
	40代	146	16.4%	23.3%	45.9%	14.4%
	50代	156	7.7%	30.1%	48.7%	13.5%
	60代	190	8.4%	21.6%	54.7%	15.3%
	70代~	194	6.7%	20.1%	42.8%	30.4%
同居の家族	小学校前の子ども	102	16.7%	29.4%	42.2%	11.8%
	小・中学生の子ども	161	9.9%	24.2%	45.3%	20.5%
	高校生の子ども	67	11.9%	22.4%	47.8%	17.9%
	大学生の子ども	38	5.3%	10.5%	68.4%	15.8%
	65歳以上の方	348	8.3%	24.1%	48.3%	19.3%
	定期的に通院中の方	265	8.3%	27.2%	47.2%	17.4%
	障がいのある方	78	16.7%	15.4%	51.3%	16.7%
職業	自営業	83	12.0%	16.9%	45.8%	25.3%
	会社員	253	11.5%	25.7%	49.4%	13.4%
	公務員	96	10.4%	29.2%	45.8%	14.6%
	派遣社員	13	15.4%	7.7%	53.8%	23.1%
	パート・アルバイト	109	10.1%	33.0%	43.1%	13.8%
	専業主婦(夫)	117	13.7%	24.8%	50.4%	11.1%
	学生	17	5.9%	17.6%	47.1%	29.4%
	無職	216	7.9%	22.7%	46.8%	22.7%
居住地区	第一中学校区	252	10.3%	20.6%	51.2%	17.9%
	第二中学校区	128	13.3%	24.2%	50.0%	12.5%
	第三中学校区	60	20.0%	21.7%	46.7%	11.7%
	堀口中学校区	308	8.4%	27.6%	46.4%	17.5%
	第五中学校区	167	10.2%	25.7%	43.1%	21.0%

＜巻末資料 D＞ 調査結果④：日ごろの行動（属性ごと）

Q14_①【週1回以上の運動やウォーキングなどの健康づくりに取組んでいますか？】



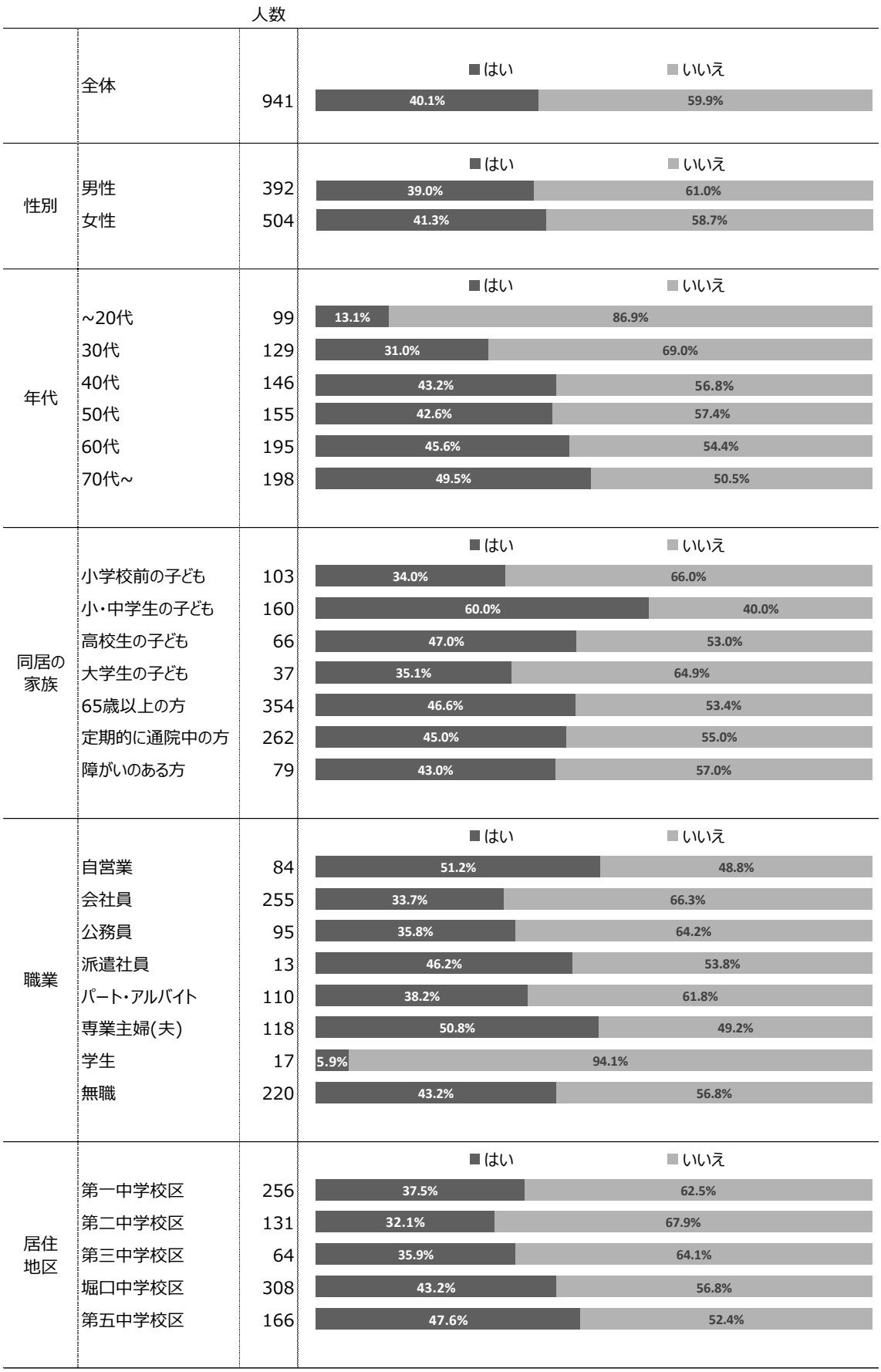
Q14_②【かかりつけ医がいますか？】



Q14_③【過去１年間に、NPOやボランティアなどの市民活動団体で活動されたことはありますか?】

		人数	はい	いいえ
	全体	942	18.5%	81.5%
性別	男性	392	22.4%	77.6%
	女性	504	15.7%	84.3%
年代	~20代	99	13.1%	86.9%
	30代	129	11.6%	88.4%
	40代	146	17.8%	82.2%
	50代	155	13.5%	86.5%
	60代	195	17.9%	82.1%
	70代~	199	30.7%	69.3%
同居の家族	小学校前の子ども	103	10.7%	89.3%
	小・中学生の子ども	160	19.4%	80.6%
	高校生の子ども	66	18.2%	81.8%
	大学生の子ども	37	18.9%	81.1%
	65歳以上の方	356	22.5%	77.5%
	定期的に通院中の方	266	18.8%	81.2%
	障がいのある方	80	21.3%	78.8%
職業	自営業	84	22.6%	77.4%
	会社員	255	16.1%	83.9%
	公務員	95	21.1%	78.9%
	派遣社員	13	30.8%	69.2%
	パート・アルバイト	109	11.0%	89.0%
	専業主婦(夫)	117	12.8%	87.2%
	学生	17	17.6%	82.4%
	無職	224	24.1%	75.9%
居住地区	第一中学校区	258	20.2%	79.8%
	第二中学校区	132	15.9%	84.1%
	第三中学校区	64	17.2%	82.8%
	堀口中学校区	308	18.2%	81.8%
	第五中学校区	164	17.7%	82.3%

Q14_④【過去１年間に、町内会やPTAといったコミュニティ組織で活動されたことはありますか?】



Q14_⑤【過去１年間に、国際交流活動に参加されたことはありますか？】

人数

		人数	はい	いいえ
	全体	941	9.4%	90.6%
性別	男性	391	9.0%	91.0%
	女性	505	9.7%	90.3%
年代	~20代	99	10.1%	89.9%
	30代	128	12.5%	87.5%
	40代	146	13.7%	86.3%
	50代	155	7.7%	92.3%
	60代	195	8.2%	91.8%
	70代~	199	7.0%	93.0%
同居の家族	小学校前の子ども	102	12.7%	87.3%
	小・中学生の子ども	158	14.6%	85.4%
	高校生の子ども	66	9.1%	90.9%
	大学生の子ども	37	10.8%	89.2%
	65歳以上の方	354	8.5%	91.5%
	定期的に通院中の方	264	9.1%	90.9%
	障がいのある方	80	12.5%	87.5%
職業	自営業	84	10.7%	89.3%
	会社員	254	9.4%	90.6%
	公務員	95	15.8%	84.2%
	派遣社員	12	25.0%	75.0%
	パート・アルバイト	110	4.5%	95.5%
	専業主婦(夫)	117	10.3%	89.7%
	学生	17	11.8%	88.2%
	無職	223	6.7%	93.3%
居住地区	第一中学校区	257	9.3%	90.7%
	第二中学校区	132	8.3%	91.7%
	第三中学校区	64	6.3%	93.8%
	堀口中学校区	308	8.4%	91.6%
	第五中学校区	164	11.6%	88.4%

Q14_⑥【過去１年間に、各種講座やサークル活動に参加されたことはありますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	940	20.3%	79.7%
性別	男性	390	16.9%	83.1%
	女性	505	23.2%	76.8%
年代	~20代	99	8.1%	91.9%
	30代	129	16.3%	83.7%
	40代	146	17.1%	82.9%
	50代	154	11.0%	89.0%
	60代	195	24.1%	75.9%
	70代~	198	34.8%	65.2%
同居の家族	小学校前の子ども	103	15.5%	84.5%
	小・中学生の子ども	160	19.4%	80.6%
	高校生の子ども	66	12.1%	87.9%
	大学生の子ども	37	18.9%	81.1%
	65歳以上の方	354	26.0%	74.0%
	定期的に通院中の方	263	22.1%	77.9%
	障がいのある方	80	22.5%	77.5%
職業	自営業	83	21.7%	78.3%
	会社員	255	13.3%	86.7%
	公務員	95	18.9%	81.1%
	派遣社員	13	23.1%	76.9%
	パート・アルバイト	110	14.5%	85.5%
	専業主婦(夫)	117	29.1%	70.9%
	学生	17	5.9%	94.1%
	無職	221	27.6%	72.4%
居住地区	第一中学校区	256	19.1%	80.9%
	第二中学校区	133	18.8%	81.2%
	第三中学校区	64	15.6%	84.4%
	堀口中学校区	309	23.3%	76.7%
	第五中学校区	163	20.2%	79.8%

Q14_⑦【航空機の騒音に悩まされていますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	937	48.7%	51.3%
性別	男性	386	51.3%	48.7%
	女性	506	45.8%	54.2%
年代	~20代	99	46.5%	53.5%
	30代	127	44.1%	55.9%
	40代	146	43.2%	56.8%
	50代	155	41.3%	58.7%
	60代	193	55.4%	44.6%
	70代~	199	55.8%	44.2%
同居の家族	小学校前の子ども	103	40.8%	59.2%
	小・中学生の子ども	159	35.2%	64.8%
	高校生の子ども	66	45.5%	54.5%
	大学生の子ども	37	40.5%	59.5%
	65歳以上の方	353	55.0%	45.0%
	定期的に通院中の方	262	52.7%	47.3%
	障がいのある方	78	73.1%	26.9%
職業	自営業	82	40.2%	59.8%
	会社員	254	44.5%	55.5%
	公務員	95	33.7%	66.3%
	派遣社員	13	30.8%	69.2%
	パート・アルバイト	108	52.8%	47.2%
	専業主婦(夫)	118	55.9%	44.1%
	学生	17	47.1%	52.9%
	無職	221	57.5%	42.5%
居住地区	第一中学校区	252	43.3%	56.7%
	第二中学校区	132	62.1%	37.9%
	第三中学校区	63	61.9%	38.1%
	堀口中学校区	308	53.6%	46.4%
	第五中学校区	166	31.9%	68.1%

Q14_⑧【災害時の緊急避難場所をご存知ですか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	946	75.9%	24.1%
性別	男性	393	74.6%	25.4%
	女性	507	77.3%	22.7%
年代	~20代	99	60.6%	39.4%
	30代	129	64.3%	35.7%
	40代	146	75.3%	24.7%
	50代	154	80.5%	19.5%
	60代	196	80.1%	19.9%
	70代~	203	84.2%	15.8%
同居の家族	小学校前の子ども	103	69.9%	30.1%
	小・中学生の子ども	160	83.1%	16.9%
	高校生の子ども	66	80.3%	19.7%
	大学生の子ども	37	78.4%	21.6%
	65歳以上の方	355	81.1%	18.9%
	定期的に通院中の方	266	81.2%	18.8%
	障がいのある方	80	77.5%	22.5%
職業	自営業	85	87.1%	12.9%
	会社員	255	70.2%	29.8%
	公務員	95	69.5%	30.5%
	派遣社員	13	69.2%	30.8%
	パート・アルバイト	110	73.6%	26.4%
	専業主婦(夫)	117	77.8%	22.2%
	学生	17	76.5%	23.5%
	無職	225	80.4%	19.6%
居住地区	第一中学校区	257	75.5%	24.5%
	第二中学校区	133	71.4%	28.6%
	第三中学校区	64	89.1%	10.9%
	堀口中学校区	309	72.5%	27.5%
	第五中学校区	167	83.2%	16.8%

Q14_⑨【道の駅みさわを定期的に利用していますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	945	10.9%	89.1%
性別	男性	392	12.2%	87.8%
	女性	507	9.1%	90.9%
年代	~20代	98	8.2%	91.8%
	30代	129	14.7%	85.3%
	40代	146	12.3%	87.7%
	50代	155	8.4%	91.6%
	60代	196	12.2%	87.8%
	70代~	202	9.9%	90.1%
同居の家族	小学校前の子ども	103	17.5%	82.5%
	小・中学生の子ども	159	15.7%	84.3%
	高校生の子ども	66	10.6%	89.4%
	大学生の子ども	37	8.1%	91.9%
	65歳以上の方	358	8.4%	91.6%
	定期的に通院中の方	267	7.5%	92.5%
	障がいのある方	80	10.0%	90.0%
職業	自営業	84	13.1%	86.9%
	会社員	254	11.8%	88.2%
	公務員	95	9.5%	90.5%
	派遣社員	13	0.0%	100.0%
	パート・アルバイト	110	15.5%	84.5%
	専業主婦(夫)	118	12.7%	87.3%
	学生	17	5.9%	94.1%
	無職	225	7.6%	92.4%
居住地区	第一中学校区	257	6.6%	93.4%
	第二中学校区	133	12.8%	87.2%
	第三中学校区	64	34.4%	65.6%
	堀口中学校区	310	10.6%	89.4%
	第五中学校区	165	7.9%	92.1%

Q14_⑩【三沢市漁業協同組合の直売所を利用されたことはありますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	944	26.5%	73.5%
性別	男性	391	27.6%	72.4%
	女性	507	25.2%	74.8%
年代	~20代	99	13.1%	86.9%
	30代	129	24.8%	75.2%
	40代	146	23.3%	76.7%
	50代	153	28.1%	71.9%
	60代	195	32.3%	67.7%
	70代~	203	27.6%	72.4%
同居の家族	小学校前の子ども	103	21.4%	78.6%
	小・中学生の子ども	160	29.4%	70.6%
	高校生の子ども	65	20.0%	80.0%
	大学生の子ども	36	22.2%	77.8%
	65歳以上の方	357	26.3%	73.7%
	定期的に通院中の方	267	28.8%	71.2%
	障がいのある方	80	28.8%	71.3%
職業	自営業	83	37.3%	62.7%
	会社員	255	23.9%	76.1%
	公務員	93	23.7%	76.3%
	派遣社員	13	30.8%	69.2%
	パート・アルバイト	110	27.3%	72.7%
	専業主婦(夫)	118	27.1%	72.9%
	学生	17	17.6%	82.4%
	無職	226	26.1%	73.9%
居住地区	第一中学校区	256	26.2%	73.8%
	第二中学校区	134	38.1%	61.9%
	第三中学校区	64	37.5%	62.5%
	堀口中学校区	309	22.0%	78.0%
	第五中学校区	165	20.6%	79.4%

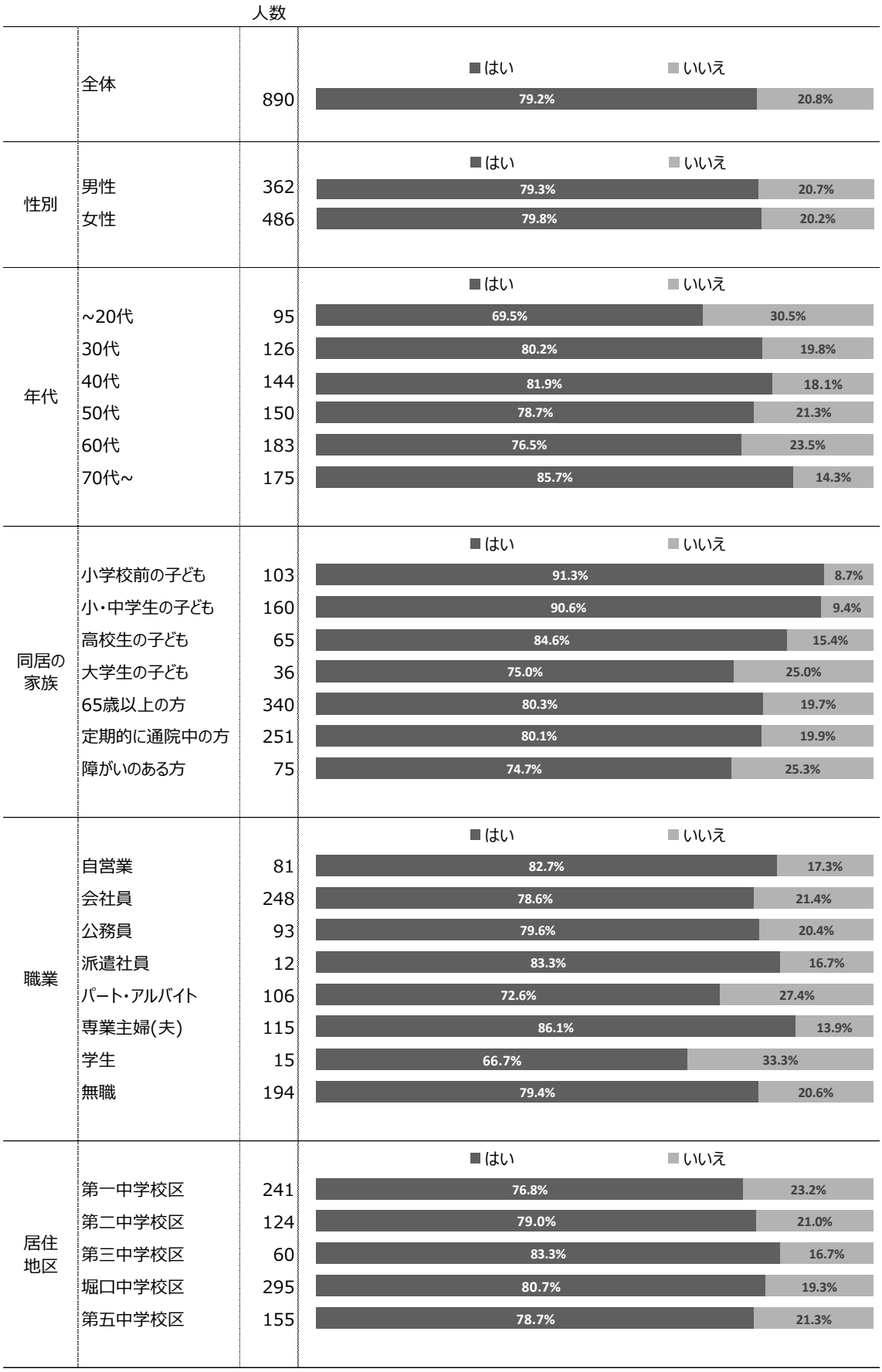
Q14_⑪【過去１年間に、三沢市野菜集出荷所(三沢市青果市場)を利用されたことはありますか?】

		人数	はい	いいえ
	全体	945	51.6%	48.4%
性別	男性	392	45.9%	54.1%
	女性	507	55.0%	45.0%
年代	~20代	98	20.4%	79.6%
	30代	129	31.8%	68.2%
	40代	145	37.2%	62.8%
	50代	155	50.3%	49.7%
	60代	196	66.3%	33.7%
	70代~	203	76.8%	23.2%
同居の家族	小学校前の子ども	103	44.7%	55.3%
	小・中学生の子ども	158	46.8%	53.2%
	高校生の子ども	66	43.9%	56.1%
	大学生の子ども	37	40.5%	59.5%
	65歳以上の方	358	62.3%	37.7%
	定期的に通院中の方	268	57.8%	42.2%
	障がいのある方	80	53.8%	46.3%
職業	自営業	85	64.7%	35.3%
	会社員	254	40.2%	59.8%
	公務員	94	20.2%	79.8%
	派遣社員	13	46.2%	53.8%
	パート・アルバイト	110	47.3%	52.7%
	専業主婦(夫)	118	66.1%	33.9%
	学生	17	23.5%	76.5%
	無職	225	68.4%	31.6%
居住地区	第一中学校区	257	58.4%	41.6%
	第二中学校区	133	49.6%	50.4%
	第三中学校区	64	35.9%	64.1%
	堀口中学校区	310	53.2%	46.8%
	第五中学校区	165	43.6%	56.4%

Q14_⑫【ごみの減量、節電、節水など省エネの取組みをしていますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	944	87.8%	12.2%
性別	男性	390	86.2%	13.8%
	女性	508	88.4%	11.6%
年代	~20代	99	77.8%	22.2%
	30代	129	80.6%	19.4%
	40代	146	83.6%	16.4%
	50代	154	87.7%	12.3%
	60代	196	93.4%	6.6%
	70代~	202	95.0%	5.0%
同居の家族	小学校前の子ども	103	85.4%	14.6%
	小・中学生の子ども	160	85.0%	15.0%
	高校生の子ども	66	81.8%	18.2%
	大学生の子ども	37	89.2%	10.8%
	65歳以上の方	356	90.4%	9.6%
	定期的に通院中の方	265	92.5%	7.5%
	障がいのある方	79	91.1%	8.9%
職業	自営業	84	89.3%	10.7%
	会社員	255	85.1%	14.9%
	公務員	95	78.9%	21.1%
	派遣社員	13	84.6%	15.4%
	パート・アルバイト	110	81.8%	18.2%
	専業主婦(夫)	118	92.4%	7.6%
	学生	17	88.2%	11.8%
	無職	223	94.2%	5.8%
居住地区	第一中学校区	257	87.9%	12.1%
	第二中学校区	133	85.0%	15.0%
	第三中学校区	64	78.1%	21.9%
	堀口中学校区	309	90.3%	9.7%
	第五中学校区	165	87.9%	12.1%

Q14_⑬【家族や夫婦で協力し、家事や子育てなどができていますか？】



Q14_⑭【子育てや介護のための休暇の取得など、仕事と生活のバランスが取れていますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	813	53.1%	46.9%
性別	男性	340	50.0%	50.0%
	女性	435	56.3%	43.7%
年代	~20代	95	58.9%	41.1%
	30代	127	51.2%	48.8%
	40代	142	53.5%	46.5%
	50代	142	52.1%	47.9%
	60代	163	47.9%	52.1%
	70代~	126	55.6%	44.4%
同居の家族	小学校前の子ども	100	57.0%	43.0%
	小・中学生の子ども	155	60.6%	39.4%
	高校生の子ども	64	56.3%	43.8%
	大学生の子ども	34	61.8%	38.2%
	65歳以上の方	298	54.0%	46.0%
	定期的に通院中の方	209	49.8%	50.2%
	障がいのある方	69	46.4%	53.6%
職業	自営業	74	44.6%	55.4%
	会社員	248	50.4%	49.6%
	公務員	95	58.9%	41.1%
	派遣社員	12	83.3%	16.7%
	パート・アルバイト	103	54.4%	45.6%
	専業主婦(夫)	95	71.6%	28.4%
	学生	14	64.3%	35.7%
	無職	146	41.8%	58.2%
居住地区	第一中学校区	217	49.8%	50.2%
	第二中学校区	116	57.8%	42.2%
	第三中学校区	59	42.4%	57.6%
	堀口中学校区	271	54.2%	45.8%
	第五中学校区	137	56.2%	43.8%

Q14_⑮【三沢市ホームページやSNS等で、市の情報を得ることはありますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	919	45.8%	54.2%
性別	男性	385	45.2%	54.8%
	女性	491	47.0%	53.0%
年代	~20代	99	39.4%	60.6%
	30代	129	65.1%	34.9%
	40代	146	51.4%	48.6%
	50代	153	39.2%	60.8%
	60代	191	43.5%	56.5%
	70代~	182	39.6%	60.4%
同居の家族	小学校前の子ども	103	66.0%	34.0%
	小・中学生の子ども	159	60.4%	39.6%
	高校生の子ども	66	53.0%	47.0%
	大学生の子ども	37	51.4%	48.6%
	65歳以上の方	347	44.7%	55.3%
	定期的に通院中の方	254	41.7%	58.3%
	障がいのある方	78	46.2%	53.8%
職業	自営業	84	50.0%	50.0%
	会社員	254	48.4%	51.6%
	公務員	95	62.1%	37.9%
	派遣社員	13	53.8%	46.2%
	パート・アルバイト	109	35.8%	64.2%
	専業主婦(夫)	113	51.3%	48.7%
	学生	17	52.9%	47.1%
	無職	206	34.5%	65.5%
居住地区	第一中学校区	249	45.0%	55.0%
	第二中学校区	130	42.3%	57.7%
	第三中学校区	62	40.3%	59.7%
	堀口中学校区	303	47.9%	52.1%
	第五中学校区	161	47.8%	52.2%

Q14_⑯【三沢市の基本理念「人とまち　みんなで創る　国際文化都市」をご存知ですか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	926	45.9%	54.1%
性別	男性	384	51.3%	48.7%
	女性	497	42.5%	57.5%
年代	~20代	99	44.4%	55.6%
	30代	129	41.9%	58.1%
	40代	146	41.1%	58.9%
	50代	152	43.4%	56.6%
	60代	192	46.9%	53.1%
	70代~	188	53.7%	46.3%
同居の家族	小学校前の子ども	103	46.6%	53.4%
	小・中学生の子ども	160	54.4%	45.6%
	高校生の子ども	66	47.0%	53.0%
	大学生の子ども	37	45.9%	54.1%
	65歳以上の方	350	51.4%	48.6%
	定期的に通院中の方	256	48.8%	51.2%
	障がいのある方	80	48.8%	51.3%
職業	自営業	84	52.4%	47.6%
	会社員	252	40.5%	59.5%
	公務員	95	62.1%	37.9%
	派遣社員	13	61.5%	38.5%
	パート・アルバイト	110	38.2%	61.8%
	専業主婦(夫)	116	38.8%	61.2%
	学生	17	52.9%	47.1%
	無職	210	49.5%	50.5%
居住地区	第一中学校区	250	48.4%	51.6%
	第二中学校区	130	40.8%	59.2%
	第三中学校区	64	43.8%	56.3%
	堀口中学校区	303	46.9%	53.1%
	第五中学校区	164	46.3%	53.7%

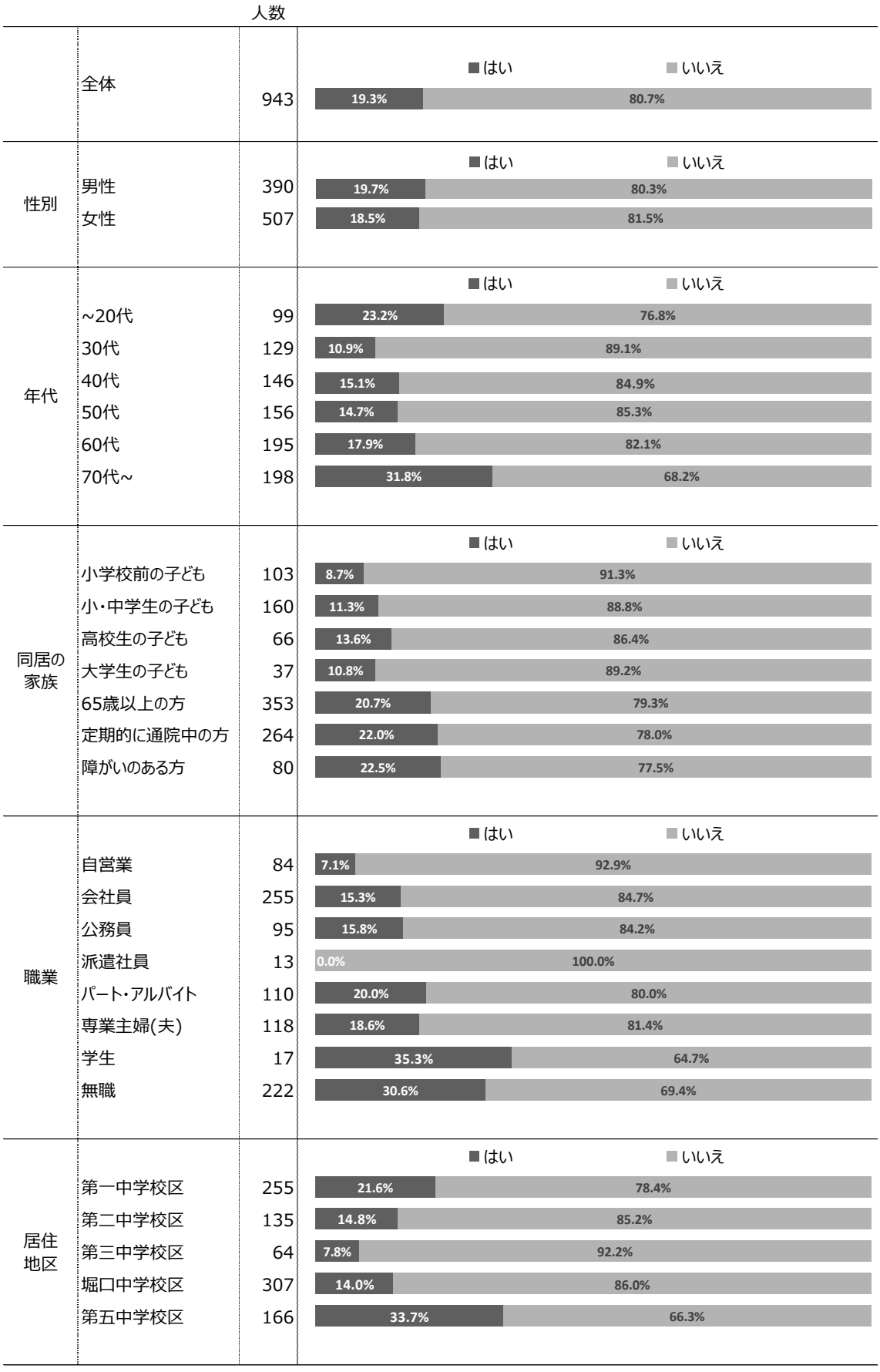
Q14_⑰【過去１年間に、三沢空港発着の飛行機を利用されたことはありますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	945	23.9%	76.1%
性別	男性	391	25.3%	74.7%
	女性	508	23.0%	77.0%
年代	~20代	99	21.2%	78.8%
	30代	129	24.8%	75.2%
	40代	146	28.1%	71.9%
	50代	156	18.6%	81.4%
	60代	196	25.5%	74.5%
	70代~	198	24.2%	75.8%
同居の家族	小学校前の子ども	103	18.4%	81.6%
	小・中学生の子ども	160	23.8%	76.3%
	高校生の子ども	66	24.2%	75.8%
	大学生の子ども	37	18.9%	81.1%
	65歳以上の方	355	24.5%	75.5%
	定期的に通院中の方	266	23.7%	76.3%
	障がいのある方	80	18.8%	81.3%
職業	自営業	86	31.4%	68.6%
	会社員	255	28.2%	71.8%
	公務員	95	29.5%	70.5%
	派遣社員	13	15.4%	84.6%
	パート・アルバイト	109	12.8%	87.2%
	専業主婦(夫)	118	28.0%	72.0%
	学生	17	11.8%	88.2%
	無職	224	17.0%	83.0%
居住地区	第一中学校区	254	24.4%	75.6%
	第二中学校区	136	19.9%	80.1%
	第三中学校区	64	15.6%	84.4%
	堀口中学校区	309	27.2%	72.8%
	第五中学校区	166	22.3%	77.7%

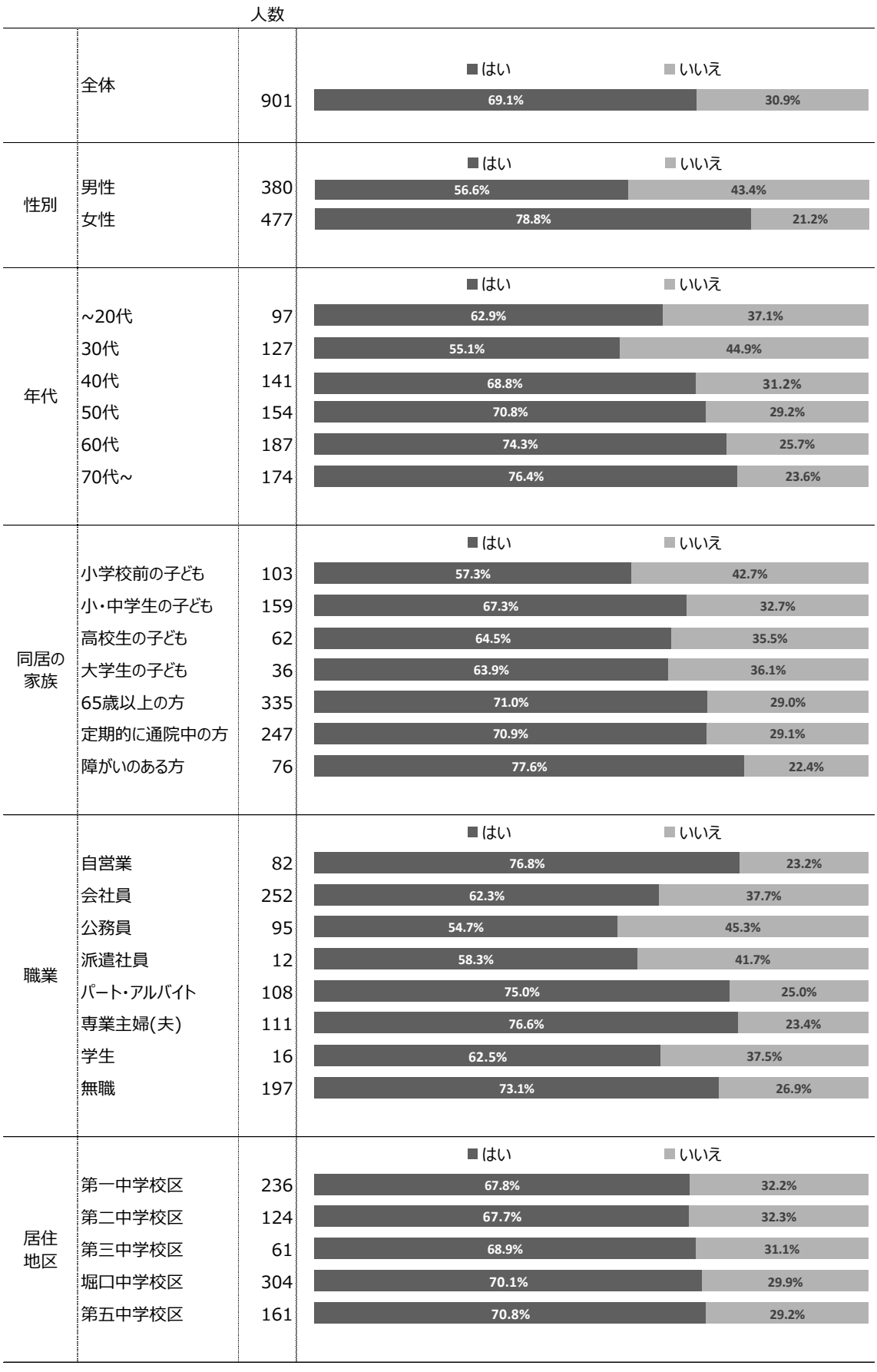
Q14_⑱【過去１年間に、三沢駅で青い森鉄道を利用されたことはありますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	947	54.2%	45.8%
性別	男性	393	53.9%	46.1%
	女性	508	54.7%	45.3%
年代	~20代	99	65.7%	34.3%
	30代	129	53.5%	46.5%
	40代	146	61.0%	39.0%
	50代	156	53.8%	46.2%
	60代	196	48.5%	51.5%
	70代~	200	49.5%	50.5%
同居の家族	小学校前の子ども	103	45.6%	54.4%
	小・中学生の子ども	160	54.4%	45.6%
	高校生の子ども	66	47.0%	53.0%
	大学生の子ども	37	73.0%	27.0%
	65歳以上の方	356	54.8%	45.2%
	定期的に通院中の方	266	54.1%	45.9%
	障がいのある方	80	51.3%	48.8%
職業	自営業	86	41.9%	58.1%
	会社員	255	55.3%	44.7%
	公務員	95	72.6%	27.4%
	派遣社員	13	69.2%	30.8%
	パート・アルバイト	110	56.4%	43.6%
	専業主婦(夫)	118	55.9%	44.1%
	学生	17	94.1%	5.9%
	無職	224	45.5%	54.5%
居住地区	第一中学校区	256	56.6%	43.4%
	第二中学校区	136	41.2%	58.8%
	第三中学校区	64	46.9%	53.1%
	堀口中学校区	309	54.7%	45.3%
	第五中学校区	166	63.9%	36.1%

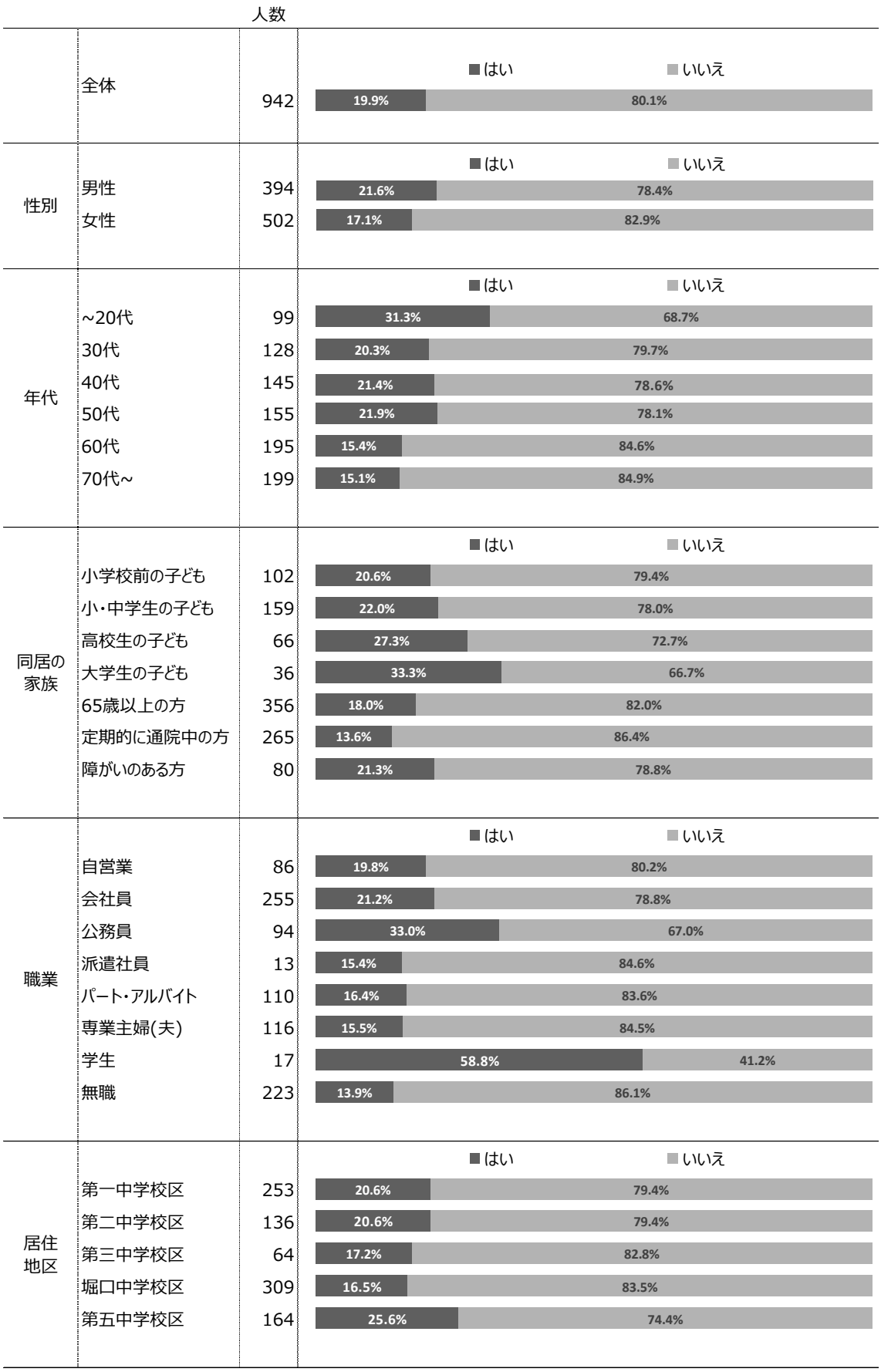
Q14_⑲【過去１年間に、市内でコミュニティバス(路線バス等)を利用されたことはありますか?】



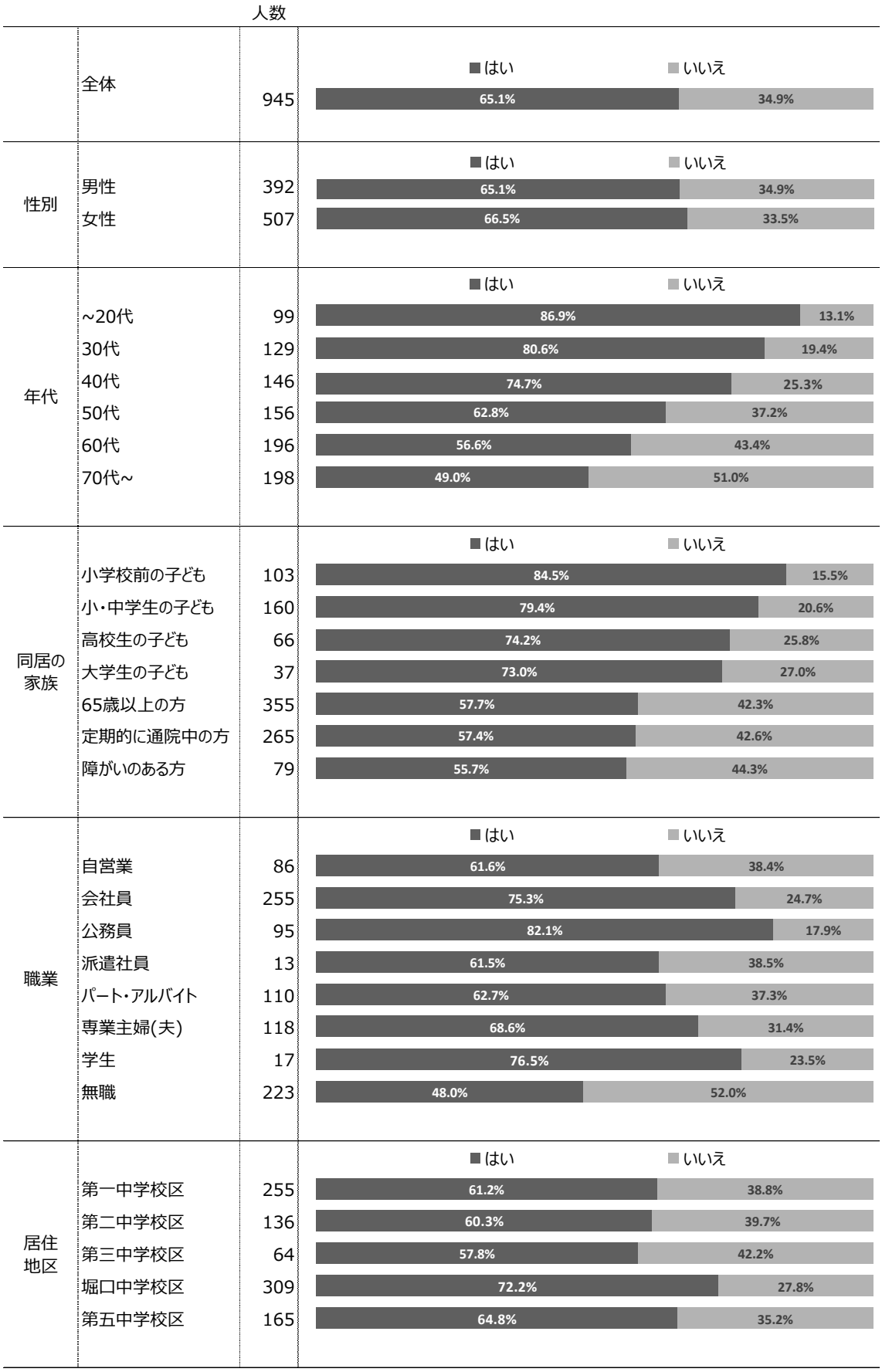
Q14_⑳【将来、高齢等を理由に、運転免許証を積極的に返納しようと思いますか？】



Q14_㉑【日常会話程度の英語を話すことができますか？】



Q14_㉒【休日などに、市外に出かけることが多いですか？】



Q14_㉓【隣近所の方とあいさつや立ち話などをされますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	938	73.0%	27.0%
性別	男性	391	71.1%	28.9%
	女性	501	74.5%	25.5%
年代	~20代	96	38.5%	61.5%
	30代	129	57.4%	42.6%
	40代	145	66.2%	33.8%
	50代	155	76.1%	23.9%
	60代	195	86.7%	13.3%
	70代~	198	89.9%	10.1%
同居の家族	小学校前の子ども	103	63.1%	36.9%
	小・中学生の子ども	160	73.1%	26.9%
	高校生の子ども	64	62.5%	37.5%
	大学生の子ども	34	58.8%	41.2%
	65歳以上の方	352	79.5%	20.5%
	定期的に通院中の方	263	84.8%	15.2%
	障がいのある方	79	75.9%	24.1%
職業	自営業	86	90.7%	9.3%
	会社員	255	61.2%	38.8%
	公務員	95	60.0%	40.0%
	派遣社員	13	69.2%	30.8%
	パート・アルバイト	109	70.6%	29.4%
	専業主婦(夫)	117	81.2%	18.8%
	学生	14	50.0%	50.0%
	無職	220	83.6%	16.4%
居住地区	第一中学校区	252	73.0%	27.0%
	第二中学校区	135	64.4%	35.6%
	第三中学校区	64	76.6%	23.4%
	堀口中学校区	304	73.4%	26.6%
	第五中学校区	167	77.2%	22.8%

Q14_㉔【市役所の仕事、事業、予算などに関心はありますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	939	59.4%	40.6%
性別	男性	390	63.8%	36.2%
	女性	503	55.5%	44.5%
年代	~20代	99	44.4%	55.6%
	30代	129	56.6%	43.4%
	40代	146	54.1%	45.9%
	50代	154	61.0%	39.0%
	60代	195	60.5%	39.5%
	70代~	195	70.3%	29.7%
同居の家族	小学校前の子ども	103	53.4%	46.6%
	小・中学生の子ども	160	62.5%	37.5%
	高校生の子ども	65	63.1%	36.9%
	大学生の子ども	37	59.5%	40.5%
	65歳以上の方	351	60.1%	39.9%
	定期的に通院中の方	261	58.2%	41.8%
	障がいのある方	80	53.8%	46.3%
職業	自営業	85	61.2%	38.8%
	会社員	254	57.9%	42.1%
	公務員	95	63.2%	36.8%
	派遣社員	13	61.5%	38.5%
	パート・アルバイト	110	52.7%	47.3%
	専業主婦(夫)	117	61.5%	38.5%
	学生	17	52.9%	47.1%
	無職	220	63.2%	36.8%
居住地区	第一中学校区	252	61.9%	38.1%
	第二中学校区	135	45.2%	54.8%
	第三中学校区	63	52.4%	47.6%
	堀口中学校区	309	61.5%	38.5%
	第五中学校区	164	66.5%	33.5%

Q14_㉕【市政モニター制度に登録されていますか？】

		人数	はい	いいえ
	全体	937	2.1%	97.9%
性別	男性	389	3.6%	96.4%
	女性	502	1.2%	98.8%
年代	~20代	99	1.0%	99.0%
	30代	129	3.1%	96.9%
	40代	146	3.4%	96.6%
	50代	154	0.0%	100.0%
	60代	196	3.1%	96.9%
	70代~	193	1.0%	99.0%
同居の家族	小学校前の子ども	103	2.9%	97.1%
	小・中学生の子ども	160	4.4%	95.6%
	高校生の子ども	64	1.6%	98.4%
	大学生の子ども	37	2.7%	97.3%
	65歳以上の方	352	1.7%	98.3%
	定期的に通院中の方	262	1.1%	98.9%
	障がいのある方	79	2.5%	97.5%
職業	自営業	85	2.4%	97.6%
	会社員	254	2.0%	98.0%
	公務員	94	4.3%	95.7%
	派遣社員	13	0.0%	100.0%
	パート・アルバイト	110	1.8%	98.2%
	専業主婦(夫)	118	0.8%	99.2%
	学生	17	0.0%	100.0%
	無職	218	2.8%	97.2%
居住地区	第一中学校区	253	3.6%	96.4%
	第二中学校区	135	3.0%	97.0%
	第三中学校区	63	1.6%	98.4%
	堀口中学校区	305	1.0%	99.0%
	第五中学校区	165	1.8%	98.2%

平成 28 年度 三沢市民意識調査 報告書

平成 29 年 3 月発行

調査実施主体：三沢市政策部政策調整課
〒033-8666 青森県三沢市桜町 1-1-38
TEL：0176-53-5111（代表）
Web：https://www.city.misawa.lg.jp/

企画・分析・報告書作成：材 株式会社
〒033-0041 青森県三沢市大町 2-4-7